

ThinkPad

ユーザー・ガイド

ThinkPad T540p、 W540 および W541

注：本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている情報を読んで理解してください。

- *安全上の注意と保証およびセットアップについての手引き*
- *ThinkPad の内蔵無線アダプターを日本国内でご使用になる際の注意*
- vi ページの『重要な安全上の注意』
- 179 ページの付録 E『特記事項』

最新の『安全上の注意と保証およびセットアップについての手引き』および『*ThinkPad の内蔵無線アダプターを日本国内でご使用になる際の注意*』は、次の Lenovo® サポート Web サイトで入手できます。

<http://www.lenovo.com/UserManual>

第 7 版 (2016 年 1 月)

© Copyright Lenovo 2013, 2016.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

はじめにお読みください	v	ThinkPad ポインティング・デバイスの使用	24
重要な安全上の注意	vi	トラックパッド・タッチ・ジェスチャー	29
早急な対処を必要とする状態	vii	ThinkPad ポインティング・デバイスのカスタマイズ	31
保守およびアップグレード	vii	TrackPoint ポインティング・スティックのキャップの交換	31
電源コードおよび電源アダプター	viii	省電力	31
延長コードおよび関連デバイス	ix	バッテリー状況のチェック	31
プラグおよびコンセント	ix	AC 電源アダプターの使用	32
電源機構について	ix	バッテリーの充電	32
外付けデバイス	x	バッテリー寿命を最大限にする	33
バッテリーに関する一般的な注意事項	x	電源プランの管理	33
充電式バッテリーの注意事項	x	省電力モード	33
コイン型リチウム電池の注意事項	xi	バッテリーの取り扱い	34
熱および製品の通気	xi	ネットワーク接続とデータ転送	35
電流に関する安全上の注意	xii	イーサネット接続	36
レーザー規格に関する記述	xiii	ワイヤレス接続	36
液晶ディスプレイ (LCD) に関する注意事項	xiii	外付けモニターの使用	40
ヘッドホンとイヤホンの使用	xiv	外付けモニターの接続	40
その他の安全上の注意	xiv	表示モードの選択	41
		ディスプレイ設定の変更	41
第 1 章 各部の名称と役割	1	NVIDIA Optimus グラフィック機能の使用	42
コンピューターのコントロール、コネクターおよびインジケータの位置	1	カラー・センサーの使用	42
前面	1	オーディオ機能の使用	42
右側面	3	カメラの使用	43
左側面	5	光学式ドライブの使用	44
底面	7	ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの使用	44
背面	8	ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの取り付け	45
状況インジケータ	8	ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの取り外し	46
重要な製品情報の位置	10		
マシン・タイプ、モデル番号	10	第 3 章 コンピューターを快適に使う	47
FCC ID および IC 認証番号	10	ユーザー補助と使いやすさ	47
Windows オペレーティング・システムのラベル	11	快適なご使用のために	47
機能	12	作業の快適性	48
仕様	14	ユーザー補助情報	48
操作環境	14	コンピューターの携帯	51
Lenovo プログラム	15	出張のヒント	51
Lenovo プログラムへのアクセス	15	出張に必要なもの	51
Lenovo プログラムの概要	15		
第 2 章 コンピューターの活用	19	第 4 章 セキュリティー	53
お客様登録	19	パスワードの使用	53
よくある質問と答え	19	パスワードの入力	53
Windows オペレーティング・システムのヘルプについて	21	パワーオン・パスワード	53
特殊キー	21	スーパーバイザー・パスワード	54
ThinkPad ポインティング・デバイス	24		

ハードディスク・パスワード	56
ハードディスクのセキュリティー	58
セキュリティー・チップの設定	59
指紋センサーの使用	60
コンピューターの廃棄・譲渡時のハードディスク・ドライブ上およびソリッド・ステート・ドライブ上のデータ消去に関するご注意	63
ファイアウォールの使用	64
ウイルスからのデータの保護	64

第5章 リカバリー概要 65

Windows 7 オペレーティング・システムのリカバリーの概要	65
リカバリー・メディアの作成および使用	65
バックアップおよびリカバリー操作の実行	66
Rescue and Recovery ワークスペースの使用	67
レスキュー・メディアの作成および使用	68
初期インストール済みプログラムとデバイス・ドライバーの再インストール	69
リカバリー問題の解決	70
Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムのリカバリーの概要	70
コンピューターを最新の情報に更新する	71
コンピューターを工場出荷時の状態にリセットする	71
PCの起動オプションの使用	72
Windows 8 または Windows 8.1 が起動しない場合のオペレーティング・システムの復元	72
リカバリー・メディアの作成および使用	72
Windows 10 オペレーティング・システムのリカバリーの概要	74
コンピューターのリセット	74
PCの起動オプションの使用	74
Windows 10 が起動しない場合のオペレーティング・システムの復元	75
リカバリー USB ドライブの作成および使用	75

第6章 デバイスの交換 77

静電気の防止	77
バッテリー・パックの交換	77
SIM カードの取り付けまたは交換	79
UltraBay デバイスの交換	80
メモリー・モジュールの交換	83
ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブの交換	85
ワイヤレス LAN カードの交換	88
ワイヤレス WAN カードの交換	92
コイン型電池の交換	95
キーボードの交換	97

第7章 オプションや周辺機器の利用 103

ThinkPad のオプション製品を探す	103
----------------------	-----

ThinkPad ドッキング・ステーション	103
ThinkPad ドッキング・ステーション上のコントロールおよびコネクターの位置	103
ThinkPad ドッキング・ステーションの取り付け	109
ThinkPad ドッキング・ステーションの取り外し	110
ドッキング・ステーションへの外付けモニターの接続	110
セキュリティー機構	112

第8章 詳細な構成 113

新しいオペレーティング・システムのインストール	113
Windows 7 オペレーティング・システムのインストール	113
Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティング・システムのインストール	114
デバイス・ドライバーのインストール	115
ThinkPad Setup プログラムの使用	115
『Main』メニュー	116
『Config』メニュー	116
『Date/Time』メニュー	124
『Security』メニュー	124
『Startup』メニュー	131
『Restart』メニュー	133
システム UEFI BIOS の更新	133
システム管理の使用	134
管理機能の設定	135

第9章 トラブルの予防 137

トラブルを予防するための一般的なヒント	137
最新のデバイス・ドライバーの確認	138
コンピューターの取り扱い	139
ThinkPad のクリーニング	141

第10章 コンピューターの問題のトラブルシューティング 143

問題の診断	143
問題判別	143
コンピューターが応答を停止した	143
キーボードに液体をこぼした場合	144
エラー・メッセージ	144
メッセージが表示されないエラー	146
ビープ音が鳴るエラー	147
メモリー・モジュールの問題	147
ネットワークの問題	148
キーボードとポインティング・デバイスの問題	150
ディスプレイとマルチメディア・デバイスの問題	151
指紋センサーの問題	154
バッテリーと電源の問題	155

ドライブとその他のストレージ・デバイスの問題	157
ソフトウェアの問題	159
ポートとコネクタの問題	159
第 11 章. サポートの入手	161
Lenovo に電話をかける前に	161
サービス体制	162
診断プログラムの使用	162
Lenovo サポート Web サイト	162
電話によるサポート	162
有償サービスの利用	163
付録 A. 規制情報	165
UltraConnect ワイヤレス・アンテナの位置	165
ワイヤレスに関する情報	166
無線の規制情報	167
ワイヤレス規制に関する通知の検索	167
認証に関する情報	167
輸出種別に関する注意事項	168
電磁波放出の注記	168
連邦通信委員会 - 適合宣言	168
カナダ工業規格クラス B 排出量適合性宣言	169
欧州連合 - 電磁適合性指令へのコンプライアンス	169
ドイツ: クラス B 適合宣言	169
韓国: クラス B 適合宣言	170
日本: VCCI クラス B 適合宣言	170
定格電流が単相 20 A 以下の主電源に接続する製品に関する日本の適合宣言	170

日本国内のお客様への AC 電源コードに関するご注意	170
Lenovo 製品サービス情報 (台湾向け)	170
ユーラシアの認証マーク	170
ブラジルのオーディオに関する通知	170
メキシコの規制に関する通知	170

付録 B. WEEE およびリサイクルについて	171
重要な WEEE 情報	171
リサイクル情報 (中国)	171
環境配慮に関して	171
リサイクル情報 (ブラジル)	172
バッテリー・リサイクル情報 (欧州連合)	173
バッテリー・リサイクル情報 (台湾)	173
バッテリー・リサイクル情報 (米国およびカナダ)	173

付録 C. 有害物質の使用制限指令 (RoHS)	175
EU 連合 RoHS	175
トルコ RoHS	175
ウクライナ RoHS	175
インド RoHS	175
中国 RoHS	176

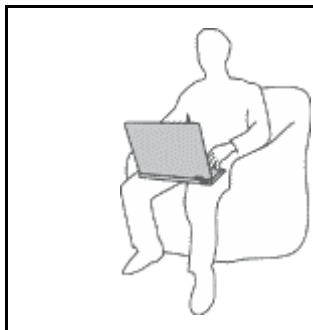
付録 D. ENERGY STAR モデルについて	177
----------------------------------	------------

付録 E. 特記事項	179
商標	179

はじめにお読みください

コンピューターを快適に使用することができるように、下記の注意事項に従ってください。これに従わない場合は、不快感やけが、またはコンピューターの故障につながる恐れがあります。

コンピューターが発する熱にご注意ください。



コンピューターの稼働時やバッテリーの充電時に、コンピューターの底面、パームレストやその他の部分が熱くなる場合があります。達する温度はシステムの稼働状況やバッテリーの充電レベルの状況に応じて変化します。

人体に長時間接触したままだと、衣服を通して不快感が感じられ、低温やけどの原因ともなります。

- 長時間にわたって手、ひざやその他の身体の一部に、熱くなる部分を接触させたままにしないでください。
- キーボードをご使用の際は、パームレストから手を離し、定期的に休憩を取ってください。

AC 電源アダプターが発する熱にご注意ください。

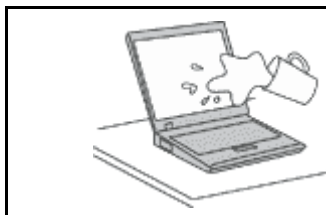


AC 電源アダプターは、コンセントおよびコンピューターとの接続中、熱を発生します。

人体に長時間接触したままだと、衣服を通して不快感が感じられ、低温やけどの原因ともなります。

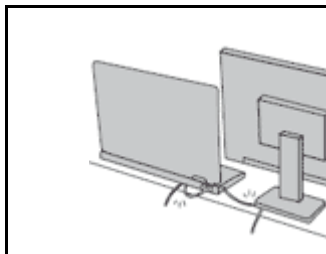
- 体の一定箇所に触れたまま、AC 電源アダプターを使用しないでください。
- また、AC アダプターを体を温めるために使用しないでください。

水のそばでコンピューターをご使用にならないでください。



こぼすことによるトラブルや感電事故の危険を避けるために、水のそばでコンピューターをご使用にならないでください。

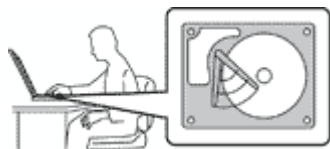
ケーブルの損傷にご注意ください。



配線に強い力が加わると断線の恐れがあります。

通信回線や、AC 電源アダプター、マウス、キーボード、プリンターやその他の電子機器などの配線は、機器で挟み込んだり、操作の邪魔になったり、また歩行の邪魔にならないような位置にセットしてください。

移動の際にはコンピューターとデータを保護してください。



ハードディスク・ドライブを装備したコンピューターを移動させる場合には、以下のいずれかを行い、電源ボタンのランプが消えているか、点滅していることを確認してください。

- コンピューターの電源をオフにします。
- スリープ状態にします。
- コンピューターを休止状態にします。

これにより、コンピューターの破損やデータの消失を防ぐことができます。

コンピューターを丁寧に扱ってください。



コンピューター、ディスプレイ、または外付けデバイスに対して、落とす、ぶつける、引っかく、ねじる、たたく、振動させる、押す、または重いものを上に置く、といったことは決して行わないでください。

コンピューターの持ち運びにご注意ください。



- 十分なクッションと保護を提供する高品質の携帯用ケースを使用してください。
- ぎっしり詰まったスーツケースやバッグにコンピューターを詰め込まないでください。
- コンピューターを携帯用ケースに入れる場合は、電源がオフになっているか、スリープ状態あるいは休止状態であることを確認してください。コンピューターの電源がオンのまま、携帯用ケースに入れしないでください。

重要な安全上の注意

注：最初に、以下の重要な安全上の注意をお読みください。

ここには、ノートブック・コンピューターを安全に使用するための情報が記載されています。ご使用のコンピューターに付属の説明書の記載事項に従い、説明書は保管しておいてください。本書に記載の内容によって、お客様の購入契約や『Lenovo® 保証規定』が影響されることはありません。詳しくは、**安全上の注意と保証およびセットアップについての手引きの『保証情報』**を参照してください。

お客様の安全を確保することは重要です。弊社の製品は、安全性と効率を考慮して開発されています。しかしながら、パーソナル・コンピューターは電子デバイスです。電源コード、電源アダプター、その他の機構は、とりわけ誤った使い方をした場合には、けがや物的損害の原因となることがあります。そうした危険を低減するために、使用製品に付属の説明書に従ってください。また製品や操作説明書に記載の警告表示に注意し、さらに本書の内容をよくお読みください。本書の内容および製品に付属の説明書に従い、危険から身を守り、安全なコンピューター作業環境を構築してください。

注：ここに記載された情報は電源アダプターおよびバッテリーに関する記述を含みます。ノートブック・コンピューター以外にも外部電源アダプターが付属する製品(スピーカー、モニターなど)があります。そのような製品をお持ちの場合、この情報が適用されます。また、コンピューター製品には、コンピューターを電源から外した場合でもシステム・クロックに電源が供給されるようにコイン型電池が使用されているので、バッテリーに関する安全上の注意はすべてのコンピューター製品が対象となります。

早急な対処を必要とする状態

製品は、誤使用や不注意により損傷を受けることがあります。損傷の状態によっては、使用を再開する前に検査を必要とする場合や、認可を受けたサービス業者による修理が必要になる場合があります。

ほかの電子デバイスと同様に、製品の電源を入れるときは特に注意してください。まれに、製品から異臭がしたり、煙や火花が発生することがあります。パンパン、パチパチ、シューといった音がすることもあります。このような場合、必ずしも安全性に問題が生じたとは限りませんが、逆に重大な安全性の問題を示唆している場合もあります。しかしいずれの場合でもあってもお客様ご自身で状態を判断するようなことはやめてください。詳しい対応方法については、スマートセンターにご連絡ください。スマートセンターの電話番号については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.lenovo.com/support/phone>

コンピューターとその構成部品を定期的に点検して、損傷、磨耗、あるいは危険を示す兆候がないかを調べてください。コンポーネントの状態に疑問がある場合は、その製品を使用しないでください。スマートセンターまたは製品メーカーに連絡して、製品の点検方法を問い合わせたり、必要に応じて修理を依頼してください。

万一、下記の状態が発生した場合、またはご使用製品について安全上の問題がある場合は、製品の使用を中止して電源と通信回線を取り外し、スマートセンターに詳しい対応方法をお問い合わせください。

- 電源コード、プラグ、電源アダプター、延長コード、サージ・プロテクター、または電源装置が、ひび割れている、壊れている、または損傷している。
- オーバーヒート、煙、火花、または火災の兆候がある。
- バッテリーの損傷（ひび割れ、へこみ、または折れじわ）、バッテリーからの放電、またはバッテリー上に異物の堆積がある。
- パチパチ、シュー、パンパンといった音、または強い異臭が製品から発生する。
- コンピューター製品、電源コード、または電源アダプターの上に液体が漏れた跡や落下物があった。
- コンピューター製品、電源コード、または電源アダプターに水がかかったことがある。
- 製品が落下したか、または損傷したことがある。
- 操作指示に従っても、製品が正常に動作しない。

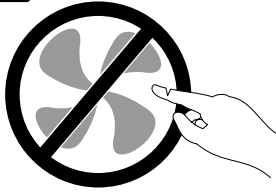
注：Lenovo 以外の製品（延長コードなど）でこのような状態があった場合は、製品メーカーに対応方法を問い合わせるか、部品を交換するなどの処置を実施するまで、その製品を使用しないでください。

保守およびアップグレード

スマートセンターまたは説明書で指示されないかぎり、お客様ご自身で製品の保守を行わないでください。それぞれの製品ごとに認可を受けている保守サービス提供業者をご利用ください。

注：コンピューター部品によっては、お客様がアップグレードや交換を実施できるものがあります。アップグレードは通常、オプションと呼びます。お客様ご自身での取り付けが承認された交換部品は、お客様での取替え可能部品 (CRU) と呼びます。Lenovo では、どのような時にお客様がオプションを取り付けたか、CRU を交換できるかを説明した文書をご提供しています。部品の取り付けまたは交換をする場合は、すべての手順を厳守してください。電源表示ライトがオフ状態でも、製品内部の電圧レベルがゼロであるとは限りません。電源コードが付いた製品からカバーを取り外す前に、電源がオフになっており、製品のプラグが給電部から抜かれていることを必ず確かめてください。ご質問や不明点がございましたら、スマートセンターにご連絡ください。

コンピューターの内部には電源コードを取り外した後に動く部品はありませんが、安全のために以下の警告を遵守してください。



警告：
作動している機器は危険です。指や体の他の部分が触れないようにしてください。

警告：



CRU を交換する場合は、その前にコンピューターの電源を切ってから、3分から5分待ち、コンピューターが冷めてからカバーを開けるようにしてください。

電源コードおよび電源アダプター



危険

電源コードおよび電源アダプターは、製品の製造メーカーから提供されたものだけをご使用ください。電源コードおよび電源アダプターは、この製品専用です。他の電気機器には使用しないでください。

電源コードは、安全性が承認されているものでなければなりません。ドイツの場合、H05VV-F、3G、0.75 mm² 以上である必要があります。その他の国の場合、その国に応じて適切なタイプを使用する必要があります。

電源アダプターその他に電源コードを絶対に巻き付けしないでください。コードに負荷がかかり、コードのすり切れ、ひび割れ、しわなどの原因となります。このような状態は、安全上の問題となる可能性があります。

電源コードを、踏み付けたり、つまずいたり、他の物体によって挟んだりしないように設置してください。

電源コードおよび電源アダプターに液体がかからないようにしてください。例えば、電源コードや電源アダプターを、流し台、浴槽、便器の近くや、液体洗剤を使って清掃される床に放置しないでください。液体は、特に誤使用により電源コードまたは電源アダプターに負荷がかかっている場合、ショートの原因となります。また、液体が原因で電源コード端子または電源アダプターのコネクタ端子(あるいはその両方)が徐々に腐食し、最終的にオーバーヒートを起こす場合があります。

電源コードおよび信号ケーブルは正しい順序で接続し、すべての電源コードが確実に接続され、プラグがコンセントに完全に差し込まれていることを確認してください。

電源アダプターは、AC 入力ピンや電源アダプターのいずれかの場所に腐食や過熱の痕跡がある場合は(プラスチック部分に変形しているなど)使用しないでください。

どちらかの端の電気接触部分に腐食またはオーバーヒートの痕跡がある電源コードや、なんらかの損傷を受けたと考えられる電源コードを使用しないでください。

延長コードおよび関連デバイス

ご使用の延長コード、サージ保護器、無停電電源装置、および電源タップが製品の電気要件を満たしたものであることを確認してください。それらのデバイスが過負荷にならないようにしてください。電源タップを使用した場合、負荷が電源タップの入力定格値を超えてはなりません。電力負荷、電源要件、入力定格値について疑問がある場合は、電気技術者に詳細を問い合わせてください。

プラグおよびコンセント



危険

コンピューター機器で使用する予定のコンセント(電源コンセント)が損傷または腐食しているように思われる場合は、資格のある電気技術者が交換するまで、コンセントを使用しないでください。

プラグを曲げたり、改変しないでください。プラグに損傷がある場合は、製造メーカーに連絡して、交換品を入手してください。

コンセントを、電気を多量に消費する他の家庭用または業務用の装置と共用しないでください。電圧が不安定になり、コンピューター、データ、または接続された装置を損傷する可能性があります。

製品によっては、3ピンプラグが装備されている場合があります。このプラグは、接地したコンセントにのみ適合します。これは、安全機構です。この安全機構を接地されていないコンセントに差し込むことによってこの機構を無効にしないでください。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技術者に連絡して承認済みコンセント・アダプターを入手するか、またはこの安全機構に対応できるコンセントと交換してもらってください。コンセントが過負荷にならないようにしてください。システム負荷全体が、分岐回路レーティングの80%を超えてはなりません。電力負荷および分岐回路レーティングについて疑問がある場合は、電気技術者に詳細を問い合わせてください。

ご使用のコンセントが適切に配線されており、容易に手が届き、機器の近くにあることを確認してください。コードに負荷がかかるほどいっばいにコードを伸ばさないでください。

取り付ける製品に対して、コンセントの電圧と電流が正しいことを確認してください。

コンセントと機器の接続と取り外しは、丁寧に行ってください。

電源機構について



危険

電源機構(パワー・サプライ)または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

外付けデバイス

警告：

コンピューターの電源がオンになっているときに、USB および 1394 ケーブル以外の外付けデバイス・ケーブルを接続したり、取り外したりしないでください。そうでないと、コンピューターを損傷する場合があります。接続されたデバイスに起こりうる損傷を防止するために、コンピューターがシャットダウンされてから 5 秒以上待った後、外付けデバイスを取り外してください。

バッテリーに関する一般的な注意事項



危険

Lenovo 製のパーソナル・コンピューターには、システム・クロックの電源としてコイン型電池が使用されています。ノートブック・コンピューターなどのモバイル製品については、携帯時のシステム電源用として、充電式バッテリー・パックが使用されています。製品のバッテリーは、互換性テストが実施されており、交換する場合は、認可部品と交換する必要があります。

バッテリーを分解、改造しないでください。電池を壊したり、穴を開けたり、焼却したり、または金属接点部分をショートさせたりしないでください。電池に水やその他の液体をかけないでください。バッテリー・パックを充電する場合は、製品の説明資料の記載通りに、正確に実施してください。

電池を乱用したり、誤操作を行うと、電池が過熱して、バッテリー・パックやコイン型電池から煙や炎が『噴き出す』場合があります。バッテリーが損傷した場合、あるいはバッテリーが放電またはバッテリーの端子に異物が付着しているのに気付いた場合は、使用を中止して、バッテリー製造メーカーから交換用のバッテリーを入手してください。

バッテリーは、長期間にわたり未使用のままにしておくと劣化します。一部の充電式電池 (特にリチウムイオン電池など) の場合、電池を放電状態で長期にわたり未使用のままにしておくと、電池がショートを起こして、電池の寿命を短くしたり、危険な状態になることがあります。充電式リチウムイオン電池を完全に放電させたり、放電状態で保管したりしないでください。

充電式バッテリーの注意事項



危険

バッテリー・パックを分解または改造しないでください。分解、改造すると、破裂したり、液漏れすることがあります。Lenovo の指定外のバッテリー・パックや分解や改造を行ったバッテリー・パックの安全性は保証できません。

充電式バッテリー・パックの交換は正しく行わないと、破裂のおそれがあります。バッテリー・パックには、少量の有害物質が含まれています。充分ご注意ください。

- 必ず、Lenovo が推奨するタイプのバッテリーと交換してください。
- バッテリー・パックを火気に近づけないでください。
- 水やその他の液体をかけないでください。
- 分解しないでください。
- ショートさせないでください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- バッテリー・パックを落とさないでください。

ごみ廃棄場で処分されるごみの中にバッテリー・パックを捨てないでください。バッテリーを処分する場合は、現地の条例または規則に従ってください。

バッテリー・パックは室温で保管し、充電は容量の約 30% ~ 50% にしてください。過放電を防ぐために、1 年に 1 回の充電をお勧めします。

コイン型リチウム電池の注意事項



危険

バッテリーの交換は正しく行わないと、破裂のおそれがあります。

コイン型リチウム電池を交換する場合は、同じものか、またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、誤った使用や取り扱い、または廃棄が原因で爆発する危険性があります。

以下のことは行わないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) 以上に加熱する
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例または規則に従ってください。

以下の文は、米国カリフォルニア州のユーザーに適用されます。

カリフォルニアでの過塩素酸塩に関する情報:

二酸化マンガン・コイン型リチウム電池には過塩素酸塩が含まれていることがあります。

過塩素酸物質 - 特別な取り扱いが適用される場合があります。 www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate を参照してください。

熱および製品の通気



危険

コンピューター、AC 電源アダプター、および多くのアクセサリは、電源を入れたり、バッテリーを充電すると熱を発生します。ノートブック・コンピューターは、コンパクトにできているために、大量の熱が発生します。必ず、下記の基本的な予防措置を取ってください。

- コンピューターの稼働時やバッテリーの充電時に、コンピューターの底面、パームレストやその他の部分が熱くなる場合があります。長時間にわたって手、ひざやその他の身体の一部に、熱くなる部分を接触させたままにしないでください。キーボードをご使用の際は、長時間にわたって手をパームレストに乗せたままにしないでください。コンピューターは通常の操作中、多少の熱を放熱します。発生する熱量はシステムの稼働状況やバッテリーの充電レベルの状況に応じて変化します。人体に長時間接触したままだと、衣服を通して不快感が感じられ、低温やけどの原因ともなります。キーボードをご使用の際は、定期的にパームレストから手を離し、休憩を取ってください。長時間にわたってキーボードを使わないようにご注意ください。
- 可燃物の近くや爆発の可能性のある環境でコンピューターを使用したりバッテリーを充電したりしないでください。
- 安全性と快適さ、および信頼性のために、製品には、換気口、ファン、ヒート・シンクが使用されています。しかし、ベッド、ソファー、カーペット、その他の柔らかな表面の上にコンピューター

ターをおくと、気付かないうちにこうした機能が働かなくなります。これらの機構を、塞いだり、覆ったり、使用不能にしないでください。

- AC電源アダプターは、コンセントおよびコンピューターとの接続中、熱を発生します。体の一定箇所に触れたまま、ACアダプターを使用しないでください。また、AC電源アダプターを体を温めるために使用しないでください。人体に長時間接触したままだと、衣服を通して不快感が感じられ、低温やけどの原因ともなります。

お客様の安全のために、必ず、下記の基本的な予防措置を取ってください。

- コンピューターがコンセントに接続されている状態のときは、カバーを開けないでください。
- コンピューターの外側にほこりがたまっていないか定期的に点検してください。
- ベゼル内の換気装置と接続部分からほこりを取り除いてください。ほこりの多い場所や人通りの多い場所で使用しているコンピューターは、頻繁に掃除が必要となることがあります。
- 通気孔をふさいだり、妨げたりしないでください。
- 家具の中でコンピューターを操作しないでください。過熱状態になる危険が高くなります。
- コンピューター内への換気の温度は、35°C (95°F) を超えないようにしてください。

電流に関する安全上の注意



危険

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- コンピューターを雷雨時に使用しないでください。
- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も、正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または取り外しは、できるかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 設置および構成の手順で特に指示がない限り、接続された電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを取り外してから、デバイスのカバーを開いてください。
- すべての内部部品を所定の位置に固定してから、コンピューターを使用するようにしてください。内部部品や回路が露出しているときにコンピューターを使用しないでください。



危険

本製品または接続されたデバイスの設置、移動、またはカバーを開くときは、次の手順に従ってケーブルの接続および取り外し作業を行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. まず、すべての装置にケーブルを取り付けます。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. デバイスの電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべての装置からケーブルを取り外します。

必ず電源コードをコンセントから抜いてから、コンピューターにその他のケーブルを取り付けてください。

必ずすべてのケーブルをコンピューターに取り付けた上で、電源コードをコンセントに入れ直してください。

レーザー規格に関する記述



警告:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には、以下のことに注意してください。

- 分解したりカバーを取り外さないでください。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書で指定された内容以外の、お客様による整備、調整、または手順を行った場合、レーザー放射の危険があります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次の点に注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学機械を使って直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

液晶ディスプレイ (LCD) に関する注意事項

警告:

LCD はガラス製なので、コンピューターを乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。LCD が壊れて内部の液体が目に入ったり、手についたりした場合は、すぐに水で 15 分以上洗ってください。その後、何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。

注: 水銀を含む蛍光灯を使用している製品 (LED 以外の製品など) について、液晶ディスプレイ (LCD) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体、都道府県、または国の法令に従ってください。

ヘッドホンとイヤホンの使用

コンピューターにヘッドホン・コネクタとオーディオ出力コネクタの両方がある場合、ヘッドホン (『ヘッドセット』とも呼ぶ) またはイヤホン用にはヘッドホン・コネクタを常に使用してください。

警告：

イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧により難聴になることがあります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンおよびヘッドホンの出力電圧が増加し、音圧レベルも高くなります。聴覚を保護するため、イコライザーは最適なレベルに調整してください。

EN 50332-2 規格に準拠していないヘッドホンやイヤホンで大音量で長時間使用すると、危険です。ご使用のコンピューターのヘッドホン出力コネクタは、EN 50332-2 副節 7 に準拠しています。この規格は、コンピューターの広帯域での最大の実効出力電圧を 150 mV に制限しています。聴力の低下を防ぐために、ご使用のヘッドホンまたはイヤホンが 75 mV の広帯域の規定電圧に対して EN 50332-2 (副節 7 制限) にも準拠していることを確認してください。EN 50332-2 に準拠していないヘッドホンを使用すると、音圧レベルが高くなりすぎて危険です。

ご使用の Lenovo コンピューターにヘッドホンまたはイヤホンが同梱されている場合は、このヘッドホンまたはイヤホンとコンピューターの組み合わせはセットで EN 50332-1 の規格に準拠しています。別のヘッドホンまたはイヤホンを使用する場合は、EN 50332-1 (副節 6.5 の制限値) に準拠していることを確認してください。EN 50332-1 に準拠していないヘッドホンを使用すると、音圧レベルが高くなりすぎて危険です。

その他の安全上の注意

ビニール袋に関する注意事項



危険

ビニール袋は危険となる恐れがあります。窒息事故防止のために、ビニール袋は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

ガラス製部品に関するご注意

警告：

製品の一部の部品がガラス製の場合があります。製品を硬い表面に落下させたり、製品が強い衝撃を受けた場合、このガラスが割れる恐れがあります。ガラスが割れた場合は、触れたり取り外そうとしたりしないでください。トレーニングを受けたサービス担当者がガラスを交換するまで、製品の使用を中止してください。

窒息の危険性に関する注意事項



窒息の危険性 – 製品には小型部品が含まれています。
3 歳未満のお子様の手の届かないところに置いてください。

第 1 章 各部の名称と役割

この章では、コネクタの位置、重要なプロダクト・ラベル、コンピューターの機能、仕様、運用環境、および初期インストール済みのプログラムについて説明します。

- 1 ページの『コンピューターのコントロール、コネクタおよびインジケータの位置』
- 10 ページの『重要な製品情報の位置』
- 12 ページの『機能』
- 14 ページの『仕様』
- 14 ページの『操作環境』
- 15 ページの『Lenovo プログラム』

コンピューターのコントロール、コネクタおよびインジケータの位置

ここでは、コンピューターのハードウェア機能を紹介し、コンピューターを使い始めるために必要な基本情報について説明します。

前面



図 1. ThinkPad T540p および W540 前面



図2. ThinkPad W541 前面

1 カメラ (一部のモデル)	6 カラー・センサー (一部のモデル)
2 マイクホン	7 TrackPoint® ポインティング・スティック
3 電源ボタン	8 NFC ロゴ (一部のモデル)
4 テンキーパッド	9 ThinkPad® トラックパッド
5 指紋センサー (一部のモデル)	10 TrackPoint ボタン

1 カメラ (一部のモデル)

このカメラを使用して、写真を撮影したりビデオ会議を行ったりすることができます。詳しくは、43ページの『カメラの使用』を参照してください。

2 マイクホン

マイクホンは、オーディオ対応のプログラムと共に使用することで、音声をコンピューターに取り込みます。

3 電源ボタン

ThinkPad の電源をオンにするには、電源ボタンを押します。

コンピューターの電源をオフにするには、Microsoft® Windows® 7 オペレーティング・システムの『スタート』メニューのシャットダウン・オプションを使用します。Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムでは、カーソルを画面の右上または右下に移動してチャームを呼び出します。次に、『設定』 → 『電源』 → 『シャットダウン』をクリックします。

システムが応答しなくなり、ThinkPad の電源をオフにできない場合は、電源ボタンを4秒間以上押し続けます。それでもシステムが応答しない場合は、AC 電源アダプターとバッテリーを取り外して、ThinkPad をリセットします。

また、電源ボタンの動作を定義できます。例えば、電源ボタンを押してコンピューターの電源をオフにしたり、スリープ状態または休止状態にできます。電源ボタンの動作を変更するには、以下のようにします。

1. 『コントロールパネル』に移動し、表示を『カテゴリ』から『大きいアイコン』または『小さいアイコン』に変更します。
2. 『電源オプション』 → 『電源ボタンの動作を選択する』の順にクリックします。
3. 画面の指示に従います。

4 テンキーパッド

このテンキーパッドを使用して、素早く数字を入力できます。

5 指紋センサー (一部のモデル)

指紋認証テクノロジーはパスワードの代わりに指紋認証を利用できるようにするので、ユーザー・アクセスが簡単かつ安全になります。詳しくは、60 ページの『指紋センサーの使用』を参照してください。

6 カラー・センサー (一部のモデル)

カラー・センサーを使用して、画面の色を正確に測定および調整することができます。

ThinkPad ポインティング・デバイス

7 TrackPoint ポインティング・スティック

9 ThinkPad トラックパッド

10 TrackPoint ボタン (ThinkPad W541 のみ)

キーボードには、Lenovo 独自の ThinkPad ポインティング・デバイスが組み込まれています。これを使うと、ポインティング、選択、ドラッグなどの操作を、通常のタイプ位置から指を離さずに一連の動きとして行うことができます。

8 NFC ロゴ (一部のモデル)

ご使用のコンピューターのトラックパッドに近距離通信 (NFC) ロゴがある場合、NFC 機能がサポートされています。詳しくは、39 ページの『NFC 接続の使用』を参照してください。

右側面



図3. 右側面

1 スマート・カード・スロット (一部のモデル)	4 USB 2.0 コネクタ
2 Serial Ultrabay™ Enhanced ベイ	5 セキュリティー・ロック・スロット
3 USB 3.0 コネクタ	

1 スマート・カード・スロット (一部のモデル)

ご使用のコンピューターには、スマート・カード・スロットが装備されていることがあります。詳しくは、44 ページの『ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの使用』を参照してください。

2 Serial Ultrabay Enhanced ベイ

ご使用の ThinkPad には、Serial Ultrabay Enhanced ・デバイス用のベイが装備されています。一部のモデルでは、ベイに光学式ドライブが取り付けられています。一部のモデルでは、セカンダリー・ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブが装備されています。

3 USB 3.0 コネクタ

USB (ユニバーサル・シリアル・バス) 3.0 コネクタは、USB プリンターやデジタル・カメラなどの USB と互換性のあるデバイスの接続に使用されます。

注意：USB ケーブルをこの USB コネクタに接続するときは、USB マークを上に向けてください。逆向きに接続しようとする、コネクタが損傷する恐れがあります。

4 USB 2.0 コネクタ

USB 2.0 コネクタは、USB プリンターやデジタル・カメラなどの USB インターフェースと互換性のあるデバイスを接続します。

注意：USB ケーブルをこの USB コネクタに接続するときは、USB マークを上に向けてください。逆向きに接続しようとする、コネクタが損傷する恐れがあります。

5 セキュリティー・ロック・スロット

コンピューターを盗難から守るには、このセキュリティー・ロック・スロットに対応するセキュリティー・ケーブル・ロックを購入して、コンピューターを頑丈で動かない物体に固定します。

注：セキュリティー・システム・ロック装置とセキュリティー機構の評価、選択、実装は、お客様の責任で行っていただきます。Lenovo では、その機能性、品質、および性能についての言及、評価、および保証は行いません。

左側面



図4. 左側面

1 ファン放熱孔 (左)	5 USB 3.0 コネクタ
2 Mini DisplayPort® コネクタまたは Thunderbolt™ コネクタ (モデルによって異なります)	6 ExpressCard スロット (一部のモデル)
3 VGA コネクタ	7 メディア・カード・スロット
4 Always On USB 2.0 コネクタ	8 コンボ・オーディオ・コネクタ

1 ファン放熱孔 (左)

ファンと放熱孔は、コンピューター内に空気を循環させて、適切に冷却を行います (特にマイクロプロセッサを冷却します)。

注：コンピューター内部に空気を循環させるために、ファン放熱孔をふさがないように気を付けてください。

2 Mini DisplayPort コネクタ () または Thunderbolt コネクタ ()

モデルによっては、コンピューターに Mini DisplayPort コネクタまたは Thunderbolt コネクタが装備されています。

高解像度テレビなど、Mini DisplayPort インターフェースと互換性のあるデバイスにコンピューターを接続する際は、Mini DisplayPort コネクタを使用してください。詳しくは、40 ページの『外付けモニターの接続』を参照してください。

高解像度テレビなど、Mini DisplayPort インターフェースや Thunderbolt インターフェースと互換性のあるデバイスにコンピューターを接続する際は、Thunderbolt コネクタを使用してください。詳しくは、40 ページの『外付けモニターの接続』を参照してください。

3 VGA コネクター

VGA (ビデオ・グラフィックス配列) コネクターを使用して、コンピューターを VGA モニターなどの VGA 対応ビデオ・デバイスに接続します。

注：コンピューターをドッキング・ステーションに接続する場合は、コンピューターの VGA コネクターではなく、ドッキング・ステーションの VGA コネクターを使用します。

詳しくは、40 ページの『外付けモニターの接続』を参照してください。

4 Always On USB 2.0 コネクター

Always-on USB 2.0 コネクターではデフォルトで、コンピューターが次に示す状態の場合は、一部のモバイル・デジタル・デバイスやスマートフォンを充電できます。

- コンピューターがオンまたはスリープ状態の場合
- コンピューターが休止状態または電源が切れた状態であっても、AC 電源に接続されている場合

コンピューターが AC 電源に接続されていない状態で、休止状態または電源オフになっているときにこれらのデバイスを充電するには、次のようにします。

- **Windows® 7 の場合:** Power Manager プログラムを起動し、『**共通省電力設定**』タブをクリックして、画面の指示に従います。
- **Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10 の場合:** Lenovo Settings プログラムを起動し、『**電源**』をクリックして画面の指示に従います。

プログラムの起動方法については、15 ページの『Lenovo プログラムへのアクセス』を参照してください。

注意：USB ケーブルをこのコネクターに接続するときは、USB マークを上に向けてください。逆向きに接続しようとする、コネクターが損傷する恐れがあります。

5 USB 3.0 コネクター

USB 3.0 コネクターは、USB プリンターやデジタル・カメラなどの USB インターフェースと互換性のあるデバイスを接続するために使用します。

注意：USB ケーブルをこの USB コネクターに接続するときは、USB マークを上に向けてください。逆向きに接続しようとする、コネクターが損傷する恐れがあります。

6 ExpressCard スロット (一部のモデル)

ご使用のコンピューターには、ExpressCard スロットが装備されていることがあります。詳しくは、44 ページの『ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの使用』を参照してください。

7 メディア・カード・スロット

フラッシュ・メディア・カードをこのスロットに挿入して、カード上のデータを読み取ります。サポートされているカードについては、44 ページの『ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの使用』を参照してください。

8 コンボ・オーディオ・コネクター

ヘッドホンまたはヘッドセットを接続して、コンピューターでサウンドを聞きます。ヘッドセットを接続して、オーディオを録音したり通話を行うことができます。

注：オーディオ・コネクターは従来のマイクロホンをサポートしません。詳しくは、42 ページの『オーディオ機能の使用』を参照してください。

底面

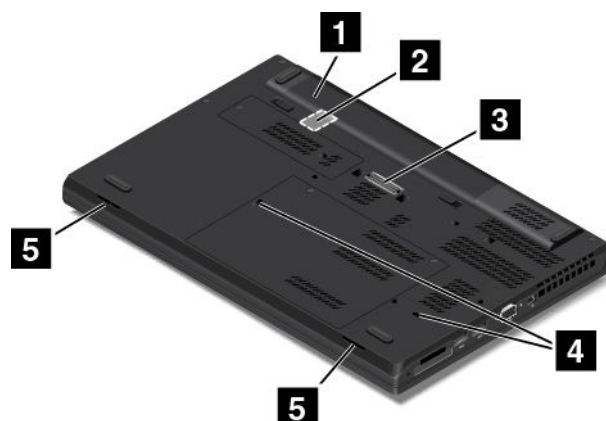


図 5. 底面

1 バッテリー・パック	4 キーボード水抜き穴
2 SIM カード・スロット	5 スピーカー
3 ドッキング・ステーション・コネクタ	

1 バッテリー・パック

AC 電源のない場所では、バッテリー電源を利用してコンピューターをご使用ください。

また、Power Manager プログラムを使用して、必要に応じて電源の設定を調整することもできます。詳しくは、Power Manager プログラムのヘルプ情報システムを参照してください。

2 SIM カード・スロット

ご使用のコンピューターがワイヤレス広域ネットワーク (WAN) 機能をサポートしている場合、ワイヤレス WAN 接続を確立するために加入者識別モジュール (SIM) カードが必要となる場合があります。国または地域によって、SIM カードが SIM カード・スロットに既に取り付けられている場合があります。詳しくは、79 ページの『SIM カードの取り付けまたは交換』を参照してください。

3 ドッキング・ステーション・コネクタ

コネクタを使用して、コンピューターをサポートされるドッキング・ステーションに接続すると、自宅でもオフィスでもコンピューターの機能を拡張できます。サポートされるドッキング・ステーションについては、103 ページの『ThinkPad ドッキング・ステーション』を参照してください。

4 キーボード水抜き穴

キーボード水抜き穴は、誤って水や飲料をキーボードにこぼしてしまっても、コンピューターから液体を排水するのに役立ちます。

5 スピーカー

ご使用のコンピューターには、ステレオ・スピーカーが装備されています。

背面



図6. 背面

1 イーサネット・コネクタ	3 ファン放熱孔 (背面)
2 AC 電源コネクタ	

1 イーサネット・コネクタ

イーサネット・コネクタを使用して、コンピューターをローカル・エリア・ネットワーク (LAN) に接続します。



危険

感電事故の危険を避けるために、電話ケーブルをイーサネット・コネクタに接続しないでください。このコネクタには、イーサネット・ケーブルのみを接続してください。

イーサネット・コネクタには、ネットワーク接続の状況を示す2つのインジケータがあります。左上のインジケータが緑色の場合、コンピューターがLANに接続されており、ネットワークとのセッションが使用可能であることを示しています。右上のインジケータが黄色く点滅している場合は、データが転送中であることを示しています。

注：コンピューターをサポートされているドッキング・ステーションに接続している場合は、コンピューターのイーサネット・コネクタではなく、ドッキング・ステーションのイーサネット・コネクタを使用してLANに接続してください。

2 AC 電源コネクタ

コンピューターへのAC電力供給とバッテリーの充電を行うには、AC電源アダプターをAC電源コネクタに接続してから、電源コンセントに接続してください。

3 ファン放熱孔 (背面)

ファンと放熱孔は、コンピューター内に空気を循環させて、適切に冷却を行います (特にマイクロプロセッサを冷却します)。

注：コンピューター内部に空気を循環させるために、ファン放熱孔をふさがないように気を付けてください。

状況インジケータ

状況インジケータは、ご使用のコンピューターの現在の状況を示します。



1 Fn Lock インジケータ

Fn Lock インジケータは Fn Lock 機能の状況を示します。詳しくは、21 ページの『特殊キー』を参照してください。

2 スピーカーの消音インジケータ

スピーカの消音インジケータがオンの場合、スピーカは消音状態です。

3 マイクロホンの消音インジケータ

マイクロホンの消音インジケータがオンの場合、マイクロホンは消音状態です。

4 カメラ状況インジケータ

カメラ状況インジケータがオンになっている場合、カメラが使用中であることを示します。

5 6 システム状況インジケータ

コンピューターの外側のカバーにある ThinkPad ログのインジケータと電源ボタンの中央のインジケータは、コンピューターのシステム状況を示します。

- 3 回の点滅: コンピューターは電源に接続されています。
- 点灯: コンピューターはオン(通常モード)になっています。
- オフ: コンピューターは、オフか休止状態です。
- 速い点滅: コンピューターはスリープ状態または休止状態に移行中です。

- **遅い点滅:** コンピューターはスリープ状態です。

6 カラー・センサー・インジケーター

カラー・センサーを使用すると、コンピューターの外側のカバーにある ThinkPad ログのインジケーターは一定の間隔で2回点滅します。

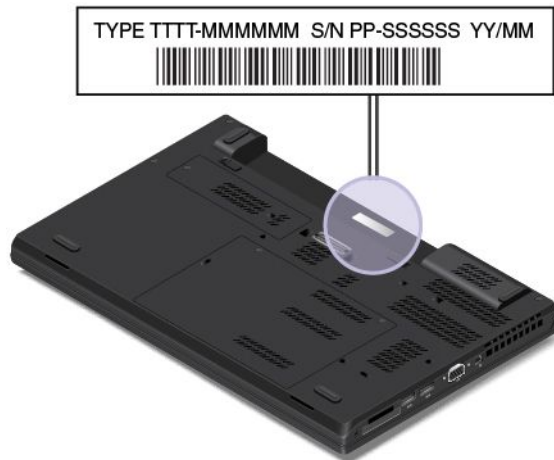
重要な製品情報の位置

ここでは、マシン・タイプ、モデル・ラベル、FCC ID および IC 認証ラベル、Windows Certificate of Authenticity ラベル、純正 Microsoft ラベルの位置に関する情報を提供します。

マシン・タイプ、モデル番号

マシン・タイプとモデル・ラベルにより、コンピューターを識別します。Lenovo のサービスやサポートを受ける場合に、マシン・タイプとモデルの情報は、技術担当者がお客様のコンピューターを特定して迅速なサービスをご提供するのに役立ちます。

次の図は、コンピューターのマシン・タイプとモデルの位置を示しています。

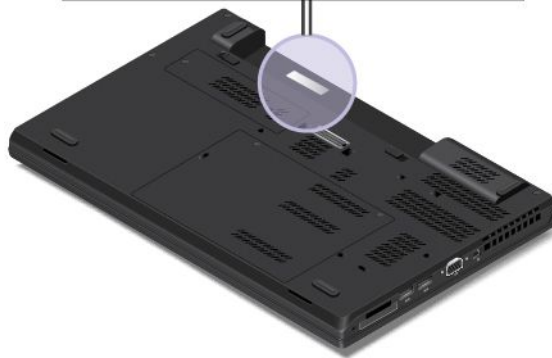


FCC ID および IC 認証番号

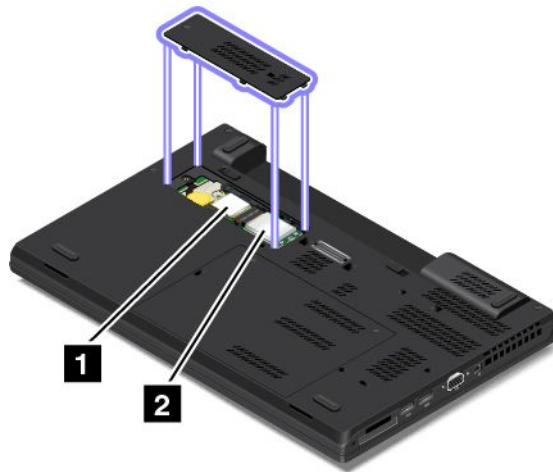
ワイヤレス通信カードの FCC ID または IC 認証番号は、コンピューターの筐体上からは見えません。モデルによっては、コンピューターの背面カバー・アセンブリーの FCC ID および IC 認証番号ラベルの位置についての情報が Lenovo から得られます。

次の図は、FCC ID および IC 認証番号ラベルの位置に関する情報を示しています。

TX FCC ID and IC Certification number for installed transmitter cards are located under the customer accessible bottom cover - see user manual
label P/N: xxxxxxx



FCC ID および IC 認証番号ラベルは、コンピューターに取り付けられているワイヤレス LAN カード **1** とワイヤレス WAN ・カード **2** に貼られています。



修理や交換のためにワイヤレス LAN カードを取り除くには、88 ページの『ワイヤレス LAN カードの交換』を参照してください。

修理や交換のためにワイヤレス WAN カードを取り除くには、92 ページの『ワイヤレス WAN カードの交換』を参照してください。

注：Lenovo 認定のワイヤレス通信カードは、コンピューターでのみ使用できます。コンピューターでの使用が承認されていない、無許可のワイヤレス通信カードを取り付けると、コンピューターの電源をオンにしたときにエラー・メッセージが表示されてピープ音が鳴ります。

Windows オペレーティング・システムのラベル

Windows 7 Certificate of Authenticity: Windows 7 オペレーティング・システムが初期インストールされているコンピューターには、コンピューター・カバー上またはバッテリー・コンポーネントの内側に Certificate of Authenticity ラベルが貼付されています。Certificate of Authenticity は、そのコンピューターが Windows 7 製品のライセンスを受けており、Windows 7 の純正品が初期インストールされていることを示すものです。場合によっては、より古い Windows バージョンが Windows 7 Professional ライセンスのダウングレード権の条件によって初期インストールされていることがあります。Certificate of Authenticity には、そのコンピューターにライセンスされた Windows 7 のバージョンおよび製品 ID が印刷されています。製品 ID は、Lenovo 製品リカバリー・ディスク・セット以外のソースから Windows 7 オペレーティング・システムを再インストールする必要がある場合に重要です。

Windows 8、Windows 8.1、および Windows 10 の純正 Microsoft ラベル: お住いの地域、コンピューターの製造日、および初期インストールされている Windows 8、Windows 8.1 または Windows 10 のバージョンによっては、コンピューターのカバーに純正 Microsoft ラベルが貼付されている場合があります。さまざまな種類の純正 Microsoft ラベルの図については、<http://www.microsoft.com/en-us/howtotell/Hardware.aspx> を参照してください。

- 中華人民共和国では、Windows 8、Windows 8.1、または Windows 10 のどのバージョンが初期インストールされているコンピューターでも、純正 Microsoft ラベルが必要です。
- そのほかの国や地域では、純正 Microsoft ラベルは、Windows 8 Pro、Windows 8.1 または Windows 10 Pro のライセンスを受けたコンピューター・モデルにのみ必要です。

純正 Microsoft ラベルがない場合、初期インストールされている Windows バージョンが純正ではないとは限りません。初期インストールされている Windows 製品が純正であるかどうかについては、<http://www.microsoft.com/en-us/howtotell/default.aspx> で Microsoft から提供される情報を参照してください。

Windows 7 製品とは異なり、製品 ID またはコンピューターがライセンスを受けた Windows バージョンを示す外付けで視認できる表示物はありません。その代わりに、製品 ID はコンピューターのファームウェアに記録されています。Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 製品がインストールされている場合はいつでも、インストール・プログラムがコンピューターのファームウェアにある製品 ID が有効であり一致していることを確認してから、アクティベーションを完了します。


場合によっては、より古い Windows バージョンが Windows 8 Pro、Windows 8.1 Pro、または Windows 10 Pro ライセンスのダウングレード権の条件によって初期インストールされていることがあります。

機能

このトピックでは、ご使用のコンピューターの機能について説明します。

マイクロプロセッサ

ご使用の ThinkPad のシステムのプロパティを表示するには、次のようにします。

- **Windows 7 の場合:** 『スタート』メニューを開き、『コンピューター』を右クリックしてから『プロパティ』をクリックします。
- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** デスクトップ画面に移動し、ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。次に、『設定』 → 『PC 情報』の順にクリックします。
- **Windows 10 の場合:** 以下のいずれかを実行します。
 - 『スタート』メニューを開き、『設定』をクリックします。『設定』が表示されない場合は、『すべてのアプリ』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『設定』 → 『システム』 → 『バージョン情報』をクリックします。
 - 『開始』ボタン  を右クリックします。次に『システム』を選択します。

メモリー

- DDR3 LV SDRAM

ストレージ・デバイス

- 2.5 インチ・フォーム・ファクター (高さ 7 mm または 9.5 mm) のハードディスク・ドライブ
- 2.5 インチ・フォーム・ファクター (高さ 7 mm) のソリッド・ステート・ドライブ
- キャッシュ専用の M.2 ソリッド・ステート・ドライブ (一部のモデル)

ディスプレイ

カラー・ディスプレイでは、薄膜トランジスタ (TFT) テクノロジーが採用されています。

- ディスプレイ・サイズ: 396 mm または 393 mm (15.6 インチまたは 15.5 インチ)
- ディスプレイの解像度: 2880 x 1620、1920 x 1080、または 1366 x 768 (モデルによって異なります)
- 明るさ調節
- カメラ (一部のモデル)
- マイクロホン

キーボード

- 6 列のキーボードまたは 6 列のバックライト付きキーボード (モデルによって異なります)
- ThinkPad ポインティング・デバイス
- ファンクション・キー
- テンキーパッド

インターフェース

- フォーインワン・メディア・カード・スロット
- AC 電源コネクタ
- オーディオ・コネクタ
- カラー・センサー
- ドッキング・ステーション・コネクタ
- イーサネット・コネクタ
- ExpressCard スロット (一部のモデル)
- Mini DisplayPort コネクタまたは Thunderbolt コネクタ (モデルによって異なります)
- Always-on USB 2.0 コネクタ 1 個
- USB 2.0 コネクタ 1 つ
- Serial Ultrabay Enhanced ベイ
- スマート・カード・スロット (一部のモデル)
- USB 3.0 コネクタ 2 個
- VGA コネクタ

光学式ドライブ

- マルチバーナー・ドライブまたは DVD-ROM ドライブ (一部のモデル)

GPS およびワイヤレス機能

- 全地球測位システム (GPS) 衛星信号受信機 (一部のモデル)
- Bluetooth
- ワイヤレス LAN
- ワイヤレス WAN (一部のモデル)
- NFC (一部のモデル)

セキュリティ機構

- 指紋センサー (一部のモデル)

仕様

ここでは、ご使用のコンピューターの物理仕様を示します。

サイズ

- 幅: 376.6 mm (14.83 インチ)
- 奥行き: 248.1 mm (9.77 インチ)
- 高さ: 27.9 ~ 29.5 mm (1.10 ~ 1.16 インチ) または 29.9 ~ 33.9 mm (1.18 ~ 1.33 インチ) (モデルによって異なります)

発熱量 (モデルによって異なります)

- 最大 65 W (1 時間あたり 222 BTU)
- 最大 90 W (1 時間あたり 307 BTU)
- 最大 135 W (1 時間あたり 460 BTU)
- 最大 170 W (1 時間あたり 580 BTU)

電源 (AC 電源アダプター)

- 50 ~ 60 Hz の正弦波入力
- AC 電源アダプターの定格入力: 100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz

バッテリー駆動時間

- バッテリー電源の残量のパーセンテージについては、Windows の通知領域のバッテリー状況アイコンを確認してください。

操作環境

ここでは、ご使用のコンピューターの操作環境について説明します。

環境:

- 気圧を上げていない場所での最大高度: 3,048 m (10,000 フィート)
- 温度
 - 2,438 m (8,000 フィート) までの高度での使用時
 - 動作時: 5.0°C ~ 35.0°C (41°F ~ 95°F)
 - ストレージ: 5.0°C ~ 43.0°C (41°F ~ 109°F)
 - 2,438 m (8,000 フィート) を超える高度での使用時
 - 加圧されていない条件下で使用する場合の最大温度: 31.3°C (88°F)

注: バッテリー・パックを充電する際の気温は、10°C (50°F) 以上である必要があります。

- 相対湿度
 - 動作時: 8% ~ 95%、湿球: 23°C (73°F)
 - ストレージ: 5% ~ 95%、湿球: 27°C (81°F)

可能な限り、コンピューターを換気がよく、直射日光が当たらない乾燥した場所に置いてください。

注意：

- 扇風機、ラジオ、エアコン、電子レンジなどの電化製品は、コンピューターから離しておいてください。これらの電化製品から発生する強力な磁界によって、ハードディスク・ドライブのモーターやデータが損傷する恐れがあります。
- コンピューターまたは他の接続されたデバイスの上または横に飲み物を置かないでください。液体がコンピューターや接続されたデバイスの上または中にこぼれると、ショートまたはその他の損傷が生じる恐れがあります。
- キーボードの上で食べたり喫煙したりしないでください。キーボードの中に落下した粒子が損傷の原因となる場合があります。

Lenovo プログラム

ご使用のコンピューターには、作業を簡単かつ安全に行うために役立つ Lenovo プログラムがインストールされています。

注：使用可能なプログラムは、予告なしに変更される場合があります。

Lenovo が提供するプログラムとその他のコンピューティング・ソリューションについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.lenovo.com/support>


Lenovo プログラムへのアクセス

コンピューターの Lenovo プログラムにアクセスするには、以下のようにします。

• Windows 7 および Windows 10 の場合：

1. 『スタート』ボタンをクリックして『スタート』メニューを開きます。プログラム名でプログラムの場所を確認します。
2. 『スタート』メニューにプログラムが表示されない場合は、『すべてのプログラム』または『すべてのアプリ』をクリックしてすべてのプログラムを表示します。
3. それでもプログラムのリストにプログラムが見つからない場合は、検索ボックスでプログラムを検索します。

• Windows 8 および Windows 8.1 の場合：

1. Windows キーを押してスタート画面を開きます。プログラム名でプログラムの場所を確認します。
2. プログラムがスタート画面に表示されない場合は、矢印アイコン  をクリックしてアプリケーション画面を開きます。
3. アプリケーション画面でもプログラムが見つからない場合は、検索ボックスでプログラムを検索します。

一部の Lenovo プログラムは、インストールを待っている状態です。これらのプログラムは先にインストールしない限り、上記の方法では探すことができません。これらの Lenovo プログラムをインストールするには、『Lenovo PC Experience』 → 『Lenovo Tools』にアクセスし、画面の指示に従います。

Lenovo プログラムの概要

ここでは、Lenovo プログラムについて概説します。ご使用のコンピューター・モデルによっては、一部のプログラムを使用できないことがあります。

Access Connections™	Access Connections プログラムは、ロケーション・プロファイルを作成および管理する接続支援プログラムです。各ロケーション・プロファイルは、自宅や職場などの指定した場所からネットワークへの接続に必要な構成設定を保管しています。
(Windows 7)	コンピューターを移動させるときにロケーション・プロファイルの切り替えを行うことにより、毎回手動で再設定して起動し直すような手間をかけずに、素早く簡単にネットワークへの接続ができます。
Active Protection System™	Active Protection System プログラムを使用可能にすると、コンピューター内部にあるショック・センサーが、内蔵ストレージ・ドライブ (ハードディスク・ドライブなど) に損傷を与える可能性のある衝撃や振動を検知します。
(Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	内蔵ストレージ・ドライブは、動作していないときは損傷を受けるおそれが少なくなります。これは、内蔵ストレージ・ドライブが動作していないときは、ディスクの回転が停止され、ドライブの読み取り/書き込みヘッドがデータを含まないエリアに移動されるためです。
	このシステムは、ショック・センサーが安定した環境を検知 (姿勢変動の有無、与えられる振動及び衝撃の強度などで判断) すると、内蔵ストレージ・ドライブの停止を解除します。
Auto Scroll Utility	このプログラムは、ウィンドウの操作性を拡張します。フォアグラウンド・アプリケーションのウィンドウの位置が自動的に調整されます。ユーザー・インターフェースのスクロール・バーも自動的に調整されます。
(Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	
Communications Utility	Communications Utility プログラムを使用すると、内蔵カメラとオーディオ・デバイスを設定できます。
(Windows 7)	
Fingerprint Manager Pro、Lenovo Fingerprint Manager、または Touch Fingerprint Manager	コンピューターに指紋センサーが付属している場合、Fingerprint Manager Pro プログラム、Lenovo Fingerprint Manager プログラム、または Touch Fingerprint Manager プログラムを使用すると、自分の指紋を登録し、それをパスワードと関連付けることができます。こうすることでパスワードの代わりに指紋認証を利用することができるようになり、ユーザー・アクセスが容易かつ安全になります。
(Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1)	
Hotkey Features Integration	Hotkey Features Integration は、特に特殊キーとボタンのユーティリティ・プログラムを選択しコンピューターにインストールできるユーティリティ・パッケージです。特殊キーとボタンは、アクセシビリティおよび使いやすさの要件を満たすように設計されています。関連のユーティリティ・プログラムをインストールすると、特殊キーとボタンの全機能が有効になります。
(Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	
Lenovo Companion	システムの機能を最大限に活用するには、その機能にアクセスしやすく、分かりやすいものでなければなりません。Companion では、まさにそれが実現されています。
(Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	Companion を使用すると、コンピューターの登録、ユーザー・マニュアルへのアクセス、システムの正常性と更新の管理、保証状況のチェック、およびご使用のコンピューター向けにカスタマイズされたアクセサリーの確認を行うことができます。また、ヒントの確認、Lenovo Forums (Lenovo フォーラム) の内容確認、信頼できる情報源からの記事とブログを読んで、テクノロジー・ニュースに遅れずについていくことができます。このアプリには、新しいシステムについての学習に役立つ、Lenovo 独自のコンテンツが満載です。
Lenovo PC Experience	Lenovo PC Experience プログラムを使用すると、Active Protection System や Lenovo Solution Center などのさまざまなプログラムに容易にアクセスできるので、作業をより簡単かつ安全に行うことができます。
(Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	

Lenovo Settings (Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	Lenovo Settings プログラムを使用すると、コンピューターからポータブル・ホット・スポットへの切り替え、カメラやオーディオの設定、電源設定の最適化や、複数ネットワーク・プロファイルの作成と管理などを行って、コンピューティング体験を拡張できます。
Lenovo Solution Center (Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	Lenovo Solution Center プログラムを使用すると、コンピューターに関連した問題のトラブルシューティングと解決を行うことができます。このプログラムは、最適なシステム・パフォーマンスを実現するためのヒントに加えて、診断テスト、システム情報収集、セキュリティ状況、およびサポート情報を結び付けます。
Mobile Broadband Connect (Windows 7 および Windows 10)	Mobile Broadband Connect プログラムにより、サポートされるワイヤレス WAN カードを使用してコンピューターをモバイル・ブロードバンド・ネットワークに接続することができます。
Message Center Plus (Windows 7)	システム更新の警告や注意が必要な状況の警告など、Lenovo から重要な通知があった場合、Message Center Plus プログラムによってメッセージが表示されます。
Password Manager (Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1)	Password Manager は、Windows プログラムと Web サイトのための認証情報を自動的に取り込んで設定するためのプログラムです。
Power Manager (Windows 7)	Power Manager プログラムは、コンピューターに、便利で柔軟かつ完全な省電力機能を提供します。パフォーマンスと省電力の最適なバランスを実現できるように、コンピューターの電力設定値を容易に調整することができます。
Recovery Media (Windows 7 および Windows 10)	Recovery Media プログラムを使用すれば、ハードディスク・ドライブの内容を工場出荷時の状態に復元することができます。
Rescue and Recovery® (Windows 7)	Rescue and Recovery プログラムは、高度に自動化されたリカバリーと復元のためのプログラムです。Windows オペレーティング・システムを起動できない場合でも、コンピューターの問題を診断し、ヘルプを入手し、システム・クラッシュからリカバリーするための一連の自動リカバリー・ツールが含まれています。
System Update (Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1)	System Update プログラムを使用すると、ソフトウェア・パッケージ(デバイス・ドライバ、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Basic Input/Output System (BIOS) 更新、その他のサードパーティー・プログラム)をダウンロードしてインストールし、コンピューター内のソフトウェアを最新の状態に保つことができます。
WRITEit (Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10)	WRITEit は手書き入力が必要なときに即座に実行できます。どんなアプリやテキスト・フィールドにも直接書き込んだり、テキストをリアルタイムで編集できるほか、フル画面を表示したり、手書きをデジタル形式のテキストに変換することもできます。

第2章 コンピューターの活用

この章では、一部のコンピューターの構成部品の使用について説明しています。

この章には以下のトピックが含まれています。

- 19 ページの 『お客様登録』
- 19 ページの 『よくある質問と答え』
- 21 ページの 『特殊キー』
- 24 ページの 『ThinkPad ポインティング・デバイス』
- 31 ページの 『省電力』
- 35 ページの 『ネットワーク接続とデータ転送』
- 40 ページの 『外付けモニターの使用』
- 42 ページの 『NVIDIA Optimus グラフィック機能の使用』
- 42 ページの 『カラー・センサーの使用』
- 42 ページの 『オーディオ機能の使用』
- 43 ページの 『カメラの使用』
- 44 ページの 『光学式ドライブの使用』
- 44 ページの 『ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの使用』

お客様登録

ご使用のコンピューターを登録すると、リコールまたはその他の重大な問題が発生した際に Lenovo がお客様にご連絡するための情報がデータベースに入力されます。また、一部の地域では、登録済みユーザーに幅広い特典とサービスを提供しています。

ご購入のコンピューターを Lenovo にお客様登録していただくと、次のような利点もあります。

- セットアップ/インストール方法がわからないとき、ご購入後一定の条件にもとづいて電話サポートが受けられます
- 無料ソフトウェアや優待販売製品に関する自動通知の受信

ご使用のコンピューターを Lenovo にお客様登録するには、<http://www.lenovo.com/register> にアクセスし、画面に表示される指示に従ってご使用のコンピューターを登録します。

Windows 7 オペレーティング・システムをご使用の場合は、初期インストールされている Lenovo Product Registration プログラムで、コンピューターを登録できます。このプログラムは、コンピューターの使用時間がある程度の長さには達すると、自動的に起動されます。画面の指示に従って、コンピューターを登録します。

よくある質問と答え

ここでは、ThinkPad ノートブック・コンピューターを快適にご使用いただくためのヒントを紹介します。

コンピューターを最適な状態で使用するために、以下の Web サイトで問題の解決方法やよくある質問の答えをご覧ください。

<http://www.lenovo.com/support/faq> (英語のサイトです)


別の言語版のユーザー・ガイドは入手できますか?

- 別の言語のユーザー・ガイドをダウンロードするには、Lenovo のサポートの Web サイト (<http://www.lenovo.com/support>) にアクセスしてください。そして、画面の指示に従います。


コンピューターの電源をオフにする方法を教えてください。

- 『Windows 7 の場合:』 『スタート』メニューを開き、『シャットダウン』をクリックします。
- Windows 8 および Windows 8.1 の場合: 以下のいずれかを実行します。
 - Windows キーを押してスタート画面に移動し、画面の右上にある電源アイコンをクリックし、次に『シャットダウン』をクリックします。
 - ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。次に、『設定』 → 『電源』 → 『シャットダウン』をクリックします。

注: 設定キー  を押して『設定』チャームを開くこともできます。

- Windows 10 の場合: 『スタート』メニューを開き、 『電源』をクリックして、次に『シャットダウン』をクリックします。

コントロールパネルへのアクセス方法

- Windows 7 の場合: 『スタート』メニューを開き、『コントロールパネル』をクリックします。
- Windows 8 および Windows 8.1 の場合: Windows キーを押してスタート画面を開き、矢印アイコン  をクリックしてアプリ画面を開きます。次に『コントロールパネル』をクリックします。
- Windows 10 の場合: 『スタート』ボタンを右クリックし、『コントロールパネル』をクリックします。

移動中に、より有効にバッテリー電源を使う方法について教えてください。

- 電力を節約する、またはプログラムを終了したりファイルを保存したりせずに操作を中断するには、33 ページの『省電力モード』を参照してください。
- パフォーマンスと省電力のベスト・バランスを取るために、電源プランを活用してください。33 ページの『電源プランの管理』を参照してください。
- コンピューターを長期間オフにする場合は、バッテリーを取り外しておくことでバッテリー電力の消費を防ぐことができます。

ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ内のデータを安全に消去するにはどうすればよいですか?

- ThinkPad の盗難または不正使用を防ぐ方法については、53 ページの第 4 章『セキュリティ』を参照してください。
- コンピューターのデータを保護するには、Password Manager プログラムを使用します。詳しくは、プログラムのヘルプ情報システムを参照してください。
- ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ上のデータを消去する前に、必ずトピック 63 ページの『コンピューターの廃棄・譲渡時のハードディスク・ドライブ上およびソリッド・ステート・ドライブ上のデータ消去に関するご注意』をお読みください。

プレゼンテーションを行ったり、外付けモニターを接続したりするにはどうしたらよいですか?

- トピック 40 ページの『外付けモニターの使用』の手順に従ってください。
- 拡張デスクトップ機能を使用すると、ThinkPad の液晶ディスプレイと外付けモニターの両方に同時に同じ画面を表示させることができます。41 ページの『表示モードの選択』を参照してください。

デバイスを接続または交換する方法について教えてください。

- ご使用の ThinkPad のデバイスの交換について詳しくは、77 ページの第 6 章『デバイスの交換』を参照してください。

コンピューターを使用するにつれ、だんだん速度が遅くなってきました。どうすればよいですか？

- 137 ページの『トラブルを予防するための一般的なヒント』に従います。
- 初期インストール済みの診断ソフトウェアを利用して、問題の診断をご自身で行うことができます。143 ページの『問題の診断』を参照してください。
- 65 ページの第 5 章『リカバリー概要』のリカバリー方法を確認してください。

このオンライン・ユーザー・ガイドにアクセスできない場合のために、以下のセクションを印刷し、お手元にご用意ください。

- 113 ページの『新しいオペレーティング・システムのインストール』
- 143 ページの『コンピューターが応答を停止した』
- 156 ページの『電源の問題』

デスクトップまたはスタート画面が開くように Windows 8.1 の起動動作を変更することはできますか？

Windows 8.1 オペレーティング・システムでは、デフォルトでデスクトップまたはスタート画面が開くように設定できます。デフォルトの起動画面を設定するには、次のようにします。

1. デスクトップで、ポインターを画面下部にあるタスクバーに移動し、タスクバーで右クリックします。
2. 『プロパティ』をクリックします。『タスクバーとナビゲーションのプロパティ』ウィンドウが表示されます。
3. 『ナビゲーション』タブで、『スタート画面』セクションを見つけ、次のいずれかを実行します。
 - デフォルトの起動画面としてデスクトップを設定するには、『サインイン時または画面上のすべてのアプリを終了したときに、スタート画面ではなくデスクトップに移動する』を選択して、チェック・マークが表示されるようにします。
 - デフォルトの起動画面としてスタート画面を設定するには、『サインイン時または画面のすべてのアプリを閉じたときにスタート画面ではなくデスクトップに移動する』チェック・ボックスのチェック・マークを外します。
4. 『OK』をクリックして、新しい設定を保存します。

この機能は、Windows 8 オペレーティング・システムではサポートされていません。

Windows オペレーティング・システムのヘルプについて

Windows のヘルプ情報システムでは、コンピューターを最大限に利用できるように、Windows オペレーティング・システムの使い方に関する詳しい情報を提供しています。Windows のヘルプ情報システムにアクセスするには、次のいずれかを実行します。

- **Windows 7 の場合:** 『スタート』メニューをクリックし、次に『ヘルプとサポート』をクリックします。
- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** チャームを表示するには、ポインターを画面の右上または右下に移動します。次に、『設定』→『ヘルプ』の順にクリックします。また、Windows 8.1 オペレーティング・システムでは、『ヘルプ+使い方』のアプリケーションが用意されています。これは、スタート画面またはアプリ画面から開くことができます。
- **Windows 10 の場合:** 『スタート』メニューを開き、『開始する』をクリックします。また、タスクバーでヘルプ、アプリ、ファイル、設定などを検索できます。





特殊キー

キーボードには、Fn キー **1** とファンクション・キー **2** で構成される複数の特殊キーがあります。



1 その他のショートカット・キー

さらに4つのショートカット・キーが装備されている場合があります。

- : 電卓を起動します。
- : オペレーティング・システムをロックします。
- : デフォルトのブラウザを開きます。
- : コンピューターを開きます。

注：ご使用のコンピューター・モデルによっては、ショートカット・キーがありません。

2 テンキーパッド

このテンキーパッドを使用して、素早く数字を入力できます。

注：ご使用のコンピューター・モデルによっては、テンキーパッドがありません。

3 Windows キー



Windows 7 および Windows 10 オペレーティング・システムで、Windows キーを押して『スタート』メニューを開きます。Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムでは、Windows キーを押して現在のワークスペースとスタート画面を切り替えます。

Windows キーと他のキーを組み合わせる方法については、Windows オペレーティング・システムのヘルプ情報システムを参照してください。

4 ファンクション・キー


Fn キーおよびファンクション・キーは、次のようにして『キーボードのプロパティ』ウィンドウで構成できます。

1. 『コントロールパネル』に移動し、表示を『カテゴリ』から『大きいアイコン』または『小さいアイコン』に変更します。
2. 『キーボード』をクリックします。『キーボードのプロパティ』ウィンドウで『Fn キーおよびファンクション・キー』または『ThinkPad F1-F12 キー』タブをクリックします。
3. 使いたいオプションを選択します。






-  + : Fn Lock 機能を有効または無効にします。

Fn Lock 機能が使用可能になっている場合: Fn Lock インジケータがオンになります。F1 ~ F12 を入力するには、ファンクション・キーを直接押します。各キーに印刷されているアイコンの特殊機能を起動するには、Fn キーと対応するファンクション・キーを押します。


Fn Lock 機能が無効になっている場合: Fn Lock インジケータがオフになります。各ファンクション・キーに印刷されているアイコンの特殊機能を起動するには、ファンクション・キーを直接押します。F1 ~ F12 を入力するには、Fn キーを押してから、対応するファンクション・キーを押します。

- : スピーカーの消音/消音解除を切り替えます。スピーカーが消音状態のときには、スピーカーの消音インジケータがオンになります。



消音してから ThinkPad の電源をオフにすると、再び電源をオンにしたときは消音のままになっています。音声をオンにするには、F1、F2 または F3 キーを押します。

- : スピーカーのボリュームを下げます。
- : スピーカーのボリュームを上げます。
- : マイクホンの消音/消音解除を切り替えます。マイクホンが消音状態のときには、マイクホンの消音インジケータがオンになります。
- : モニターを暗くします。
- : モニターを明るくします。

2つのキーを押して、ThinkPad 画面の明るさを一時的に変更できます。デフォルトの明るさを変更するには、Windows 通知領域からバッテリー状況アイコンを右クリックします。次に、『**画面の明るさを調整**』をクリックし、必要な調整を行います。

- : 外付けモニターを管理します。


注: 液晶ディスプレイと外付けモニターの間で切り替えをするために、Windows + P キーの組み合わせを使用することも可能です。


- : ワイヤレス機能を使用可能または使用不可にします。
- :


Windows 8 および Windows 8.1 の場合: 『**設定**』チャームを開きます。

Windows 7 の場合: 『**コントロール パネル**』をひらきます。

Windows 10 の場合: 『設定』ウィンドウを開きます。

- : Windows 8 および Windows 8.1 の場合: 『**検索**』チャームを開きます。
Windows 7 の場合: 『**Windows サーチ**』を開きます。
Windows 10 の場合: Cortana® 検索ボックスを開きます。

- : 開いているプログラムが表示されます。

- : Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10 の場合: すべてのプログラムが表示されます。
Windows 7 の場合: 『**コンピューター**』が開きます。

- **Fn + スペース・キー:** キーボードのバックライトを制御します。

キーボードのバックライトには、**オフ**、**低**、**高**の3つのモードがあります。Fn + スペース・キーを押して、キーボードのバックライト・モードを変更します。

- **Fn + B:** Break キーと同じ機能があります。
- **Fn + K:** ScrLK キーと同じ機能があります。
- **Fn + P:** Pause キーと同じ機能があります。
- **Fn + S:** SysRq キーと同じ機能があります。

ThinkPad ポインティング・デバイス

ThinkPad ポインティング・デバイスは、ポインタの移動、左クリック、右クリック、スクロールなど、従来のマウスの機能をすべて行うことができます。ThinkPad ポインティング・デバイスではまた、回転やズームイン、ズームアウトなどさまざまなタッチ・ジェスチャーを行うことができます。

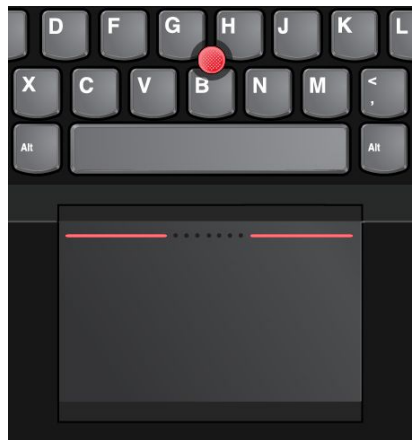
ThinkPad ポインティング・デバイスの使用

モデルによって、コンピューターのポインティング・デバイスの外観は以下の図のいずれかに近いものになります。ポインティング・デバイスの使用方法については、対応するリンクをクリックしてください。

- 25 ページの『TrackPoint ボタン付き ThinkPad ポインティング・デバイス』



- 27 ページの『TrackPoint ボタンなし ThinkPad ポインティング・デバイス』



TrackPoint ボタン付き ThinkPad ポインティング・デバイス

このタイプの ThinkPad ポインティング・デバイスには、次のコンポーネントがあります。

- 1 TrackPoint ポインティング・デバイス
- 2 トラックパッド



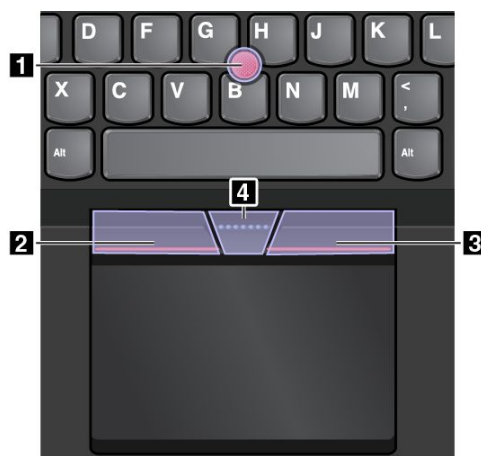
デフォルトでは、TrackPoint ポインティング・デバイスおよびトラックパッドのどちらでもタッチ・ジェスチャーが使用可能になっています。設定を変更するには、31 ページの『ThinkPad ポインティング・デバイスのカスタマイズ』を参照してください。

TrackPoint ポインティング・デバイス

TrackPoint ポインティング・デバイスは、ポインティング、クリック、スクロールなど従来のマウスの機能をすべて行うことができます。

TrackPoint ポインティング・デバイスは、TrackPoint ポインティング・スティックと TrackPoint ボタン一式で構成されています。

- 1 TrackPoint ポインティング・スティック
- 2 左クリック・ボタン(第1クリック・ボタン)
- 3 右クリック・ボタン(第2クリック・ボタン)
- 4 スクロール・バー



TrackPoint ポインティング・デバイスを使用するには、以下の手順に従ってください。

注：両手をタイプ位置に置き、人差し指または中指を使ってポインティング・スティックのキャップに圧力を加えます。左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンを押すには、親指を使用します。

- **ポインタ**

TrackPoint ポインティング・スティック **1** を使って画面上のポインタを動かします。ポインティング・スティックを使用するには、ポインティング・スティックのキャップに指で圧力を加えます。圧力は、キーボード面に対して平行に 360° 自由に加えます。圧力に従ってポインタが動きますが、ポインティング・スティック自体は動きません。マウス・ポインタの移動速度は、ポインティング・スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。

- **左クリック**

左クリック・ボタン **2** を押して項目を選択または開きます。

- **右クリック**

右クリック・ボタン **3** を押してショートカット・メニューを表示します。

- **スクロール**

点状のスクロール・バー **4** を押したままにしながら、垂直または水平方向にポインティング・スティックに圧力を加えます。文書、Web サイト、またはアプリなどをスクロールできます。

トラックパッド

トラックパッド全体で指の接触や動きを感知します。従来のマウスのポインティング、クリック、スクロール機能をすべてトラックパッドで行うことができます。

トラックパッドは2つのゾーンに分けられます。

1 左クリック・ゾーン (基本クリック・ゾーン)

2 右クリック・ゾーン (セカンダリー・クリック・ゾーン)



トラックパッドを使用する場合は、以下の説明を参照してください。

- **ポインタ**

1本指をトラックパッドの表面でスライドさせると、それに応じてポインタが移動します。

- **左クリック**

左クリック・ゾーン **1** を押して項目を選択または開きます。

またはトラックパッドの表面の任意の場所を1本の指でタップすることでも、左クリックと同様の操作になります。

- **右クリック**

右クリック・ゾーン **2** を押してショートカット・メニューを表示します。

またはトラックパッドの表面の任意の場所を2本の指でタップすることでも、右クリックと同様の操作になります。

- スクロール

トラックパッドに2本の指を置き、垂直または水平方向に移動させます。この動作で、文書、Web サイト、またはアプリなどをスクロールできます。2本の指は少し離して置いてください。

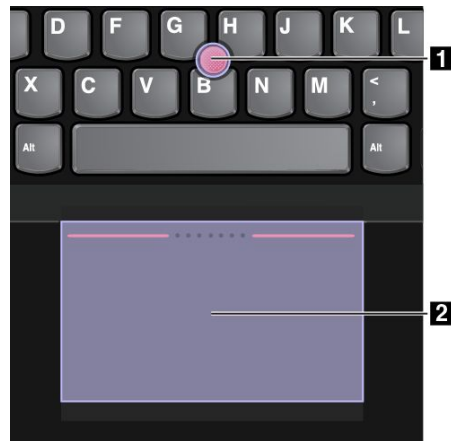
また、トラックパッドでさまざまなタッチ・ジェスチャーを実行できます。タッチ・ジェスチャーの使用 方法については詳しくは、29 ページの『トラックパッド・タッチ・ジェスチャー』を参照してください。

TrackPoint ボタンなし ThinkPad ポインティング・デバイス

このタイプの ThinkPad ポインティング・デバイスには、次のコンポーネントがあります。

1 ポインティング・スティック

2 トラックパッド



お好みによって、次のいずれかのモードでポインティング・デバイスを使用できます。

- TrackPoint モード
- トラックパッド・モード
- 従来の TrackPoint モード

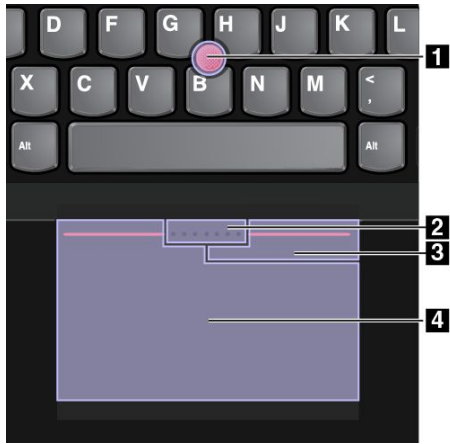
ポインティング・デバイスのモードを変更するには、31 ページの『ThinkPad ポインティング・デ バイスのカスタマイズ』を参照してください。

注：デフォルトでは、TrackPoint モードとトラックパッド・モードが使用可能です。これらのうちの 1 つを使用できます。

TrackPoint モード

TrackPoint モードでは、ポインティング・スティックを使用してポインターを動かし、トラックパッドを 使用して右クリック、左クリック、スクロールなどの操作を行います。

また、さまざまなタッチ・ジェスチャーを実行するのもトラックパッドを使用します。タッチ・ジェ スチャーの使用方法については詳しくは、29 ページの『トラックパッド・タッチ・ジェスチャー』 を参照してください。



1 ポイント

ポインティング・スティックを使用して画面上のポインタを動かします。ポインティング・スティックを使用するには、ポインティング・スティックのキャップに指で圧力を加えます。圧力は、キーボード面に対して平行に360°自由に加えます。圧力に従ってポインタが動きますが、ポインティング・スティック自体は動きません。マウス・ポインタの移動速度は、ポインティング・スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。

2 スクロール

点状のスクロール・バーを押したままにしながら、垂直または水平方向にポインティング・スティックに圧力を加えます。文書、Web サイト、またはアプリなどをスクロールできます。

3 右クリック

右クリック・ゾーンを押してショートカット・メニューを表示します。

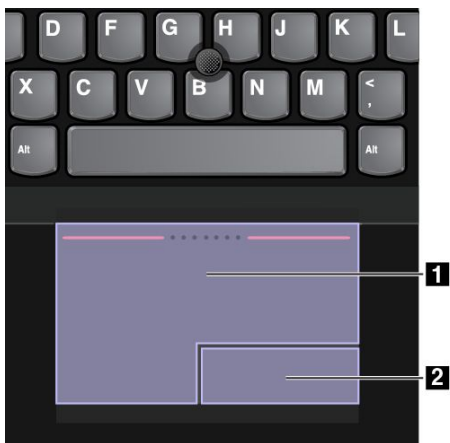
4 左クリック

左クリック・ゾーンを押して項目を選択または開きます。

トラックパッド・モード

トラックパッド・モードでは、トラックパッドでポイント、左クリック、右クリック、スクロールなどのすべての操作を行います。

また、さまざまなタッチ・ジェスチャーを実行するのもトラックパッドを使用します。タッチ・ジェスチャーの使用方法について詳しくは、29 ページの『トラックパッド・タッチ・ジェスチャー』を参照してください。



ポイント

1 本指をトラックパッドの表面でスライドさせると、それに応じてポインタが移動します。

スクロール

トラックパッドに2本の指を置き、垂直または水平方向に移動させます。文書、Web サイト、またはアプリなどをスクロールできます。2本の指は少し離して置いてください。

1 左クリック

左クリック・ゾーンを押して項目を選択または開きます。

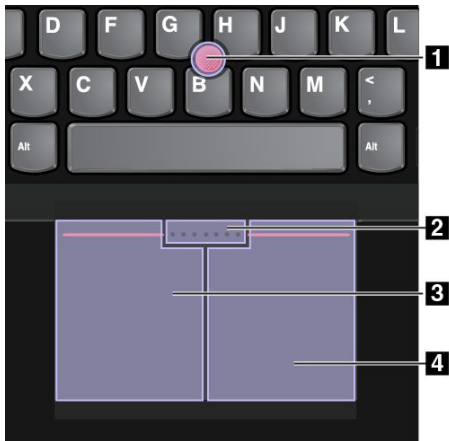
2 右クリック

右クリック・ゾーンを押してショートカット・メニューを表示します。

従来の TrackPoint モード

従来の TrackPoint モードでは、ポインティング・スティックを使用してポインタを動かし、トラックパッドを使用して右クリック、左クリック、スクロールなどの操作を行います。

注：TrackPoint モードと比較すると、従来の TrackPoint モードでは右クリック・ゾーンが広く、トラックパッド上の右クリック・ゾーンと左クリック・ゾーンの大きさが均等になっています。ただし、タッチ・ジェスチャーは従来の TrackPoint モードでは使用できません。



1 ポイント

ポインティング・スティックを使用してポインターを動かします。ポインティング・スティックを使用するには、ポインティング・スティックの先に付いているキャップに指で圧力を加えます。圧力は、キーボード面に対して平行に 360° 自由に加えます。圧力に従ってポインターが動きますが、ポインティング・スティック自体は動きません。マウス・ポインターの移動速度は、ポインティング・スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。

2 スクロール

点状のスクロール・バーを押したままにしながら、垂直または水平方向にポインティング・スティックに圧力を加えます。文書、Web サイト、またはアプリなどをスクロールできます。

3 左クリック

左クリック・ゾーンを押して項目を選択または開きます。

4 右クリック

右クリック・ゾーンを押してショートカット・メニューを表示します。

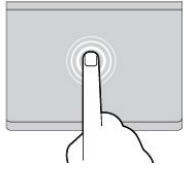
トラックパッド・タッチ・ジェスチャー

トラックパッドの表面全体で指の接触や動きを感知します。従来のマウスで行うのと同じように、ポイントやクリックをトラックパッドで行うことができます。また、さまざまなタッチ・ジェスチャーを実行するのにもトラックパッドを使用します。

このトピックでは、タップ、ドラッグ、スクロール、回転などのよく使われるジェスチャーについて説明します。その他のジェスチャーについては、ThinkPad ポインティング・デバイスのヘルプ情報システムを参照してください。

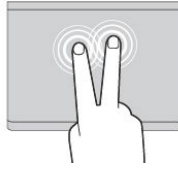
注：

- 複数の指を使用する場合は、指の間を少し離して置いてください。
- 一部のジェスチャーは、直前の操作が TrackPoint ポインティング・デバイスで行われた場合は使用できません。
- 一部のジェスチャーは、特定のアプリを使用している場合にのみ使用できます。
- モデルによっては、ご使用のコンピューターのトラックパッドの外観は、このトピックに示す図と異なる場合があります。



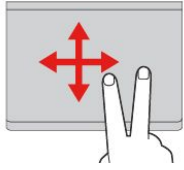
タップ

トラックパッドの任意の場所を1本の指でタップして、項目を選択または開きます。



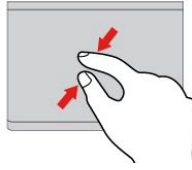
2本指でタップ

トラックパッドの任意の場所を2本の指でタップして、ショートカット・メニューを表示します。



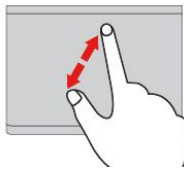
2本指でスクロール

トラックパッドに2本の指を置き、垂直または水平方向に移動させます。この動作で、文書、Web サイト、またはアプリなどをスクロールできます。



2本指でズームアウト

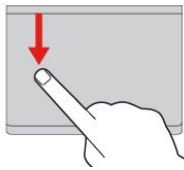
トラックパッドに2本の指を置き、指を近づけるように移動させ、ズームアウトします。



2本指でズームイン

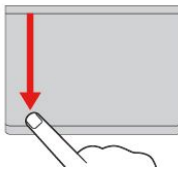
トラックパッドに2本の指を置き、指を離すように移動させ、ズームインします。

以下のセクションでは Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムのタッチ・ジェスチャーの一部を説明します。



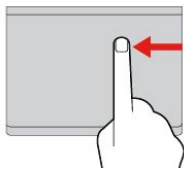
上端からスワイプ

スタート画面または現在のアプリで、トラックパッドの上端から内側へ1本の指でスワイプし、コマンド・メニューを表示します。



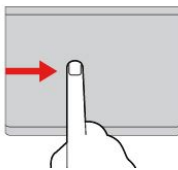
上端から下端にスワイプ

トラックパッドの上端から下端に1本の指でスワイプして、現在のアプリを閉じます。デスクトップでこのジェスチャーを実行すると、デスクトップを閉じてスタート画面を表示します。



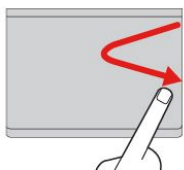
右端からスワイプ

トラックパッドの右端から内側に1本の指でスワイプして、チャームを表示します。



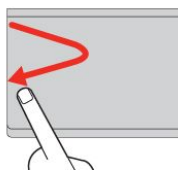
左端からスワイプ

トラックパッドの左端から内側に1本の指でスワイプして、前に使ったアプリを表示します。



右端から内側や外側にスワイプ

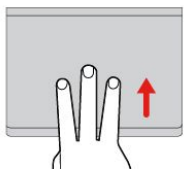
トラックパッドの右端から内側や外側に1本の指でスワイプして、チャームを非表示にします。



左端から内側や外側にスワイプ

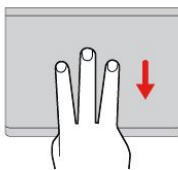
トラックパッドの左端から内側や外側に1本の指でスワイプして、すべてのチャームを表示します。

以下のセクションでは Windows 10 オペレーティング・システムのタッチ・ジェスチャーの一部を説明します。



3本指で上方向にスワイプ

トラックパッドに3本の指を置き、上方向になぞってタスク・ビューを開き、開いているウィンドウをすべて表示します。



3本指で下方向にスワイプ

トラックパッドに3本の指を置き、下に動かしてデスクトップを表示します。

ThinkPad ポインティング・デバイスのカスタマイズ

より快適に効率的にご使用いただくために、ThinkPad ポインティング・デバイスをカスタマイズできます。たとえば、TrackPoint ポインティング・デバイス、トラックパッド、または両方を有効にできます。また、タッチ・ジェスチャーを無効または有効にできます。

ThinkPad ポインティング・デバイスのカスタマイズを行うには、次のようにします。

1. 『コントロールパネル』に進みます。
2. 『ハードウェアとサウンド』 → 『マウス』をクリックします。『マウスのプロパティ』ウィンドウが表示されます。
3. 『マウスのプロパティ』ウィンドウで、画面の指示に従ってカスタマイズを完了させます。

TrackPoint ポインティング・スティックのキャップの交換

TrackPoint ポインティング・スティックの先に付いているキャップ **1** は着脱式で、キャップを長期間使用したら、新しいものと交換することができます。

注：次の図に示すような溝 **a** 付きキャップを使用していることを確認して下さい。



省電力

電源コンセントのない場所でコンピューターを使用するときは、バッテリー電力に頼ってコンピューターを稼働させることになります。コンピューターの各コンポーネントは、さまざまな比率で電力を消費します。電力消費率の高いコンポーネントを多く使用すれば、それだけバッテリー電力は速く消費されます。

ThinkPad 用バッテリー・パックを使用すれば、長時間のバッテリー駆動が可能になります。どこへでも持ち運べるモビリティにより、ビジネスに革命を起こします。バッテリーを上手に利用すれば、ThinkPad を電源コンセントに接続せずに作業ができます。

バッテリー状況のチェック

ポインターを Windows の通知領域のバッテリー状況アイコンに移動させてバッテリー状況を確認します。バッテリー状況アイコンには、バッテリー電源の残量のパーセンテージおよび充電が必要になるまでのコンピューターの使用可能時間が表示されます。

充電後にコンピューターのバッテリーを使用できる時間は、バッテリー電源の使用率により変動します。お客様ごとに使い方とニーズは異なるため、充電後のバッテリーがどれだけ長持ちするかを予測することは困難です。主にバッテリーでの使用時間を左右する要素は、次の2つです。

- 作業を開始したときにバッテリーに蓄えられている電力の量。
- ThinkPad の使用法。次に例を示します。
 - ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブにアクセスする頻度。
 - ThinkPad 画面の明るさ。
 - ワイヤレス機能の使用頻度。

AC 電源アダプターの使用

コンピューターの AC 電源をオンにするには、内蔵のリチウムイオン (Li-ion) バッテリー・パックか、AC 電源アダプターを使用します。AC アダプターをコンピューターに接続している間は、バッテリーが自動的に充電されます。

ThinkPad に付属の AC 電源アダプターは、次の基本コンポーネントで構成されています。

- AC 電源をコンピューター用に変換する AC アダプター本体 (変圧器パック)
- AC コンセントと AC アダプター本体に接続する電源コード

注意：不適切な電源コードを使用すると、ThinkPad に重大な損傷を与えるおそれがあります。

AC 電源アダプターの接続

AC 電源アダプターを接続するには、次のようにします。

注：次に示す順序で操作を実行してください。

1. 電源コードを AC 電源アダプターに接続します。
2. AC 電源アダプターをコンピューターの電源コネクタに接続します。
3. 電源コードを電源コンセントに接続します。

AC アダプターを使用する際のヒント

- AC 電源アダプターを使用していないときは、AC アダプターを電源コンセントから外してください。
- 電源コードが AC 電源アダプター本体に接続されている場合、コードを AC 電源アダプター本体に強く巻き付けしないでください。
- バッテリーを充電する前に、バッテリー・パックを使用する環境の気温が 10 °C (50 °F) 以上であることを確認してください。
- コンピューターに AC 電源アダプターを接続したときバッテリーが取り付けられていると、バッテリーを充電することができます。次の場合は、バッテリーを充電する必要があります。
 - 新しいバッテリーを取り付けた。
 - バッテリー電源の残量のバッテリー電源の残量のパーセンテージが少ない。
 - バッテリーが長期間使用されていない。

バッテリーの充電

バッテリーの残量が少ないことがわかった場合、または電源アラームによってバッテリー残量が少ないことが警告された場合は、バッテリーを充電するか、充電済みバッテリーと交換する必要があります。

AC コンセントが近くにある場合は、コンピューターに AC 電源アダプターのプラグを接続し、それからコンピューターに AC 電源アダプターを接続します。バッテリーは、3 ~ 6 時間でフル充電されます。この時間は、バッテリーのサイズと物理的環境によって左右されます。Windows の通知領域のバッテリー状況アイコンにより、いつでも、バッテリーの充電状態を確認できます。

注：バッテリー残量が95%以上あるときは、バッテリーの充電が始まらない場合があります。これはバッテリーの劣化を抑制するための仕様です。

バッテリー寿命を最大限にする

バッテリーの寿命を最大限に使用する手順は、次のとおりです。

- バッテリー・モードでバッテリーが完全に空になるまで、バッテリーを使いきります。
- バッテリーを使用する前に、再びフル充電してください。バッテリーが充電されたかどうかは、Windows の通知領域のバッテリー状況アイコンで確認してください。
- ディスプレイの省電力モードなどの電源管理機能を有効に使うようにしてください。

電源プランの管理

パフォーマンスと省電力の最適なバランスを実現するには、電源プランの設定を調整してください。

電源プランの設定にアクセスするには、次のようにします。

1. 『コントロールパネル』に移動し、表示を『カテゴリ』から『大きいアイコン』または『小さいアイコン』に変更します。
2. 『電源オプション』をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

Power Manager プログラムについて詳しくは、ヘルプ情報システムを参照してください。

省電力モード

複数のモードを使用して、いつでも電力を節約することができます。ここでは、各モードおよびバッテリー電力の効率的な利用方法について説明します。




• スクリーン・ブランク・モード (Windows 7 のみ)

液晶ディスプレイは、バッテリー電力をかなり必要とします。ディスプレイの電源を切り、コンピューターをスクリーン・ブランク・モードにするには、Windows の通知領域にあるバッテリー・ゲージ・アイコンを右クリックし、『ディスプレイの電源をオフにする』を選択します。

• スリープ状態

スリープ状態にすると、作業内容がメモリーに保存され、その後ソリッド・ステート・ドライブまたはハードディスク・ドライブおよび液晶ディスプレイがオフになります。コンピューターがウェイクアップすると、数秒以内に作業内容が復元されます。

ThinkPad をスリープ状態にするには、次のようにします。

- **Windows 7 の場合:** 『スタート』メニューを開き、『シャットダウン』ボタンの横にある矢印をクリックします。表示されるメニューから『スリープ』をクリックします。
- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** Windows キー  を押してスタート画面に移動し、電源アイコン  をクリックし、次に『スリープ』をクリックします。
- **Windows 10 の場合:** 『スタート』メニューを開き、 『電源』をクリックし、次に『スリープ』をクリックします。

• 休止状態

このモードを使用すると、実行しているプログラムを終了したりファイルを保存したりせずに、コンピューターの電源を完全にオフにできます。コンピューターが休止状態に入ると、開いているプログラム、フォルダー、およびファイルはすべてハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブに保存され、その後コンピューターの電源がオフになります。

ウェイクアップ機能を無効にしてコンピューターを休止状態にすると、電力はまったく消費されません。ウェイクアップ機能は、出荷時は無効に設定されています。ウェイクアップ機能を有効にしてコンピューターを休止状態にすると、少量の電力が消費されます。

ウェイクアップ機能を有効にするには、次のようにします。

1. 『コントロールパネル』に進み、『システムとセキュリティ』をクリックします。
2. 『管理ツール』をクリックします。
3. 『タスク スケジューラ』をクリックします。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。
4. ウェイクアップ機能を有効にしたいタスク・フォルダーを左ペインから選択します。スケジュールされたタスクが表示されます。
5. スケジュールされたタスクをクリックして、次に『条件』タブをクリックします。
6. 『電源』の下にある『タスクの実行時にスリープを解除する』にチェックを入れます。

コンピューターを休止状態にするには、次のようにして、電源プランの設定を変更します。

- Windows 7 の場合: Power Manager プログラムを起動して、『電源プラン』タブをクリックします。そして、画面の指示に従います。Power Manager プログラムを起動する手順については、15 ページの『Lenovo プログラムへのアクセス』を参照してください。
- Windows 8 および Windows 8.1 の場合: Windows 通知領域にあるバッテリー状況アイコンを右クリックし、『電源オプション』をクリックして、電源プランの横にある『プラン設定の変更』をクリックします。そして、画面の指示に従います。
- Windows 10 の場合: 最初に電源ボタンの動作を定義し、次に電源ボタンを押してコンピューターを休止状態にします。

● ワイヤレスのオフ

Bluetooth またはワイヤレス LAN などのワイヤレス機能を使用していないときは、これらの機能をオフにしておいてください。これにより、消費電力が抑えられます。ワイヤレス機能をオフにするには、F8 を押してください。

バッテリーの取り扱い

このシステムは、本システム向けに設計され、Lenovo または認定された業者によって製造されたバッテリーのみをサポートします。このシステムでは、認定されていないバッテリー、または他のシステム向けに設計されたバッテリーはサポートしません。認定されていないバッテリー、または他のシステム向けに設計されたバッテリーを取り付けても、システムは充電されません。

注意: Lenovo は、無許可のバッテリーのパフォーマンスおよび安全性について責任を負うものではありません。また、使用に起因するエラーや損害について一切保証いたしません。

注: 認定されていないバッテリーを取り付けると、次のメッセージが表示されます。『取り付けられているバッテリーはこのシステムではサポートされないため、充電は行われません。ご使用のシステムに適した Lenovo バッテリーに交換してください』



危険

バッテリー・パックを分解または改造しないでください。

分解、改造すると、破裂したり、液漏れすることがあります。

Lenovo の指定したバッテリー・パックでかつ、分解、改造していないもの以外では、安全性は保証できません。



危険

充電式バッテリー・パックの交換は正しく行わないと、破裂のおそれがあります。バッテリー・パックには、少量の有害物質が含まれています。充分ご注意ください。

- 必ず、Lenovo が推奨するタイプのバッテリーと交換してください。
- バッテリー・パックを火気に近づけないでください。
- 加熱したり、高温状態で放置しないでください。
- 水やその他の液体をかけないでください。
- ショートさせないでください。
- できるだけ湿度の低い冷暗所で保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。

バッテリー・パックは消耗品です。バッテリー駆動時間が短くなってきた場合には、Lenovo 推奨の新しいバッテリー・パックと交換をしてください。バッテリー・パックを交換する方法については、スマートセンターにお問い合わせください。



危険

バッテリーを落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。電池を乱用したり、誤操作を行うと、電池が過熱して、バッテリー・パックやコイン型電池から煙や炎が『噴き出す』場合があります。バッテリーが損傷した場合、あるいはバッテリーが放電またはバッテリーの端子に異物が付着しているのに気付いた場合は、使用を中止して、バッテリー製造メーカーから交換用のバッテリーを入手してください。



危険

バッテリー・パックを充電する場合は、製品の説明資料の記載通りに、正確に実施してください。



危険

ごみ廃棄場で処分されるごみの中にバッテリー・パックを捨てないでください。バッテリーを処分する場合は、地方自治体の条例・規則および自社の安全基準に従ってください。



危険

コイン型電池の交換は正しく行わないと、破裂のおそれがあります。リチウム・バッテリーにはリチウムが含まれており、誤った取り扱いまたは廃棄が原因で爆発する危険性があります。必ず、同じタイプのバッテリーと交換してください。死傷事故を避けるため、次のことを行わないでください。(1) バッテリーを投げたり、水に浸したりする。(2) 100°C 以上に熱する。(3) 修理または分解する。バッテリーを処分する場合は、地方自治体の条例・規則および自社の安全基準に従ってください。

ネットワーク接続とデータ転送

ご使用のコンピューターには、インターネットや他のネットワーク接続への接続に必要な1つまたは複数のネットワーク・カードが装備されています。

イーサネット接続

ご使用のコンピューターの内蔵イーサネット機能を利用して、コンピューターをローカル・ネットワークやブロードバンドに接続することができます。



危険

ご使用の ThinkPad にはイーサネット・コネクタが装備されています。感電事故の危険を避けるために、電話ケーブルをイーサネット・コネクタに接続しないでください。

ワイヤレス接続

ワイヤレス接続により、ケーブルを使わずに電波のみでデータが転送されます。

機内モードでは、すべてのワイヤレス機能は無効になっています。機内モードを無効にするには、次のようにします。

- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** 画面の右端からスワイプしてチャームを表示し、『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『ネットワーク』をタップし、『機内モード』のコントロールを左にスライドさせます。
- **Windows 10 の場合:** 『スタート』メニューを開き、『設定』をクリックします。『設定』が表示されない場合は、『すべてのアプリ』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『設定』 → 『ネットワークとインターネット』 → 『機内モード』をクリックして、機内モードのコントロールを左にスライドさせます。

コンピューターに取り付けられたワイヤレス・デバイスによっては、次のワイヤレス・ネットワークを使用できる場合があります。

- ワイヤレス LAN 接続
- ワイヤレス WAN 接続
- Bluetooth 接続
- NFC 接続

ワイヤレス LAN 接続の使用

ワイヤレス・ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) では、オフィス・ビルまたは家などの、比較的範囲の狭い地理的エリアをカバーします。このタイプのネットワークの接続は、802.11 規格に準拠した装置で実行することができます。

お使いのコンピューターには、ワイヤレス接続を確立し、接続状況をモニターする上で役立つ内蔵ワイヤレス・ネットワーク・カードと構成ユーティリティーが標準装備されています。これにより、オフィス、会議室、またはご自宅で、有線接続がなくてもネットワークに接続した状態でいられます。

ワイヤレス LAN 接続を確立するには、次のようにします。

1. Windows の通知領域にあるワイヤレス・ネットワーク接続ステータス・アイコンをクリックします。使用可能なワイヤレス・ネットワークのリストが表示されます。
2. 接続するネットワークをダブルクリックします。必要な情報を入力します。

場所が変わるとコンピューターは自動的に使用可能なワイヤレス・ネットワークに接続します。『ネットワークと共有センター』を開いて複数のネットワーク・プロファイルを管理します。詳しくは、Windows ヘルプ情報システムを参照してください。

ワイヤレス LAN 機能を使用する際のヒント

接続をより良くするために次のガイドラインに従ってください。





- ワイヤレス LAN のアクセス・ポイントとコンピューターの間になるべく物を置かないようにしてください。
- コンピューター・カバーの角度が 90° よりやや大きくなるように開いてください。
- ワイヤレス機能 (802.11 規格) と Bluetooth 機能を同時に使用するとデータ転送速度が遅くなり、ワイヤレス機能のパフォーマンスが低下する可能性があります。

ワイヤレス LAN の接続状況のチェック




ワイヤレス LAN の接続状況は、Windows の通知領域のワイヤレス・ネットワーク接続ステータス・アイコンで確認できます。アイコンのバーが多いほど、信号の強度は強くなります。

Windows 7 オペレーティング・システムの場合、Access Connections ゲージ、Access Connections ステータス・アイコン、または Windows の通知領域に表示される Access Connections ワイヤレス・ステータス・アイコンを確認することもできます。







Access Connections ゲージ:

-  ワイヤレスの電源がオフか信号がありません。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。ワイヤレス接続の信号強度は非常に弱い状態です。信号強度を上げるには、ThinkPad をワイヤレス・アクセス・ポイントの近くに移動させてください。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。ワイヤレス接続の信号強度は最低限の状態です。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。ワイヤレス接続の信号強度が最も良い状態です。

Access Connections ステータス・アイコン:

-  アクティブなロケーション・プロファイルがないか、ロケーション・プロファイルが存在しません。
-  現行のロケーション・プロファイルは切断されています。
-  現行のロケーション・プロファイルは接続されています。

Access Connections ワイヤレス・ステータス・アイコン:

-  ワイヤレスの電源はオフになっています。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。登録されていません。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。信号がありません。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。ワイヤレス接続の信号強度が最も良い状態です。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。ワイヤレス接続の信号強度は最低限の状態です。
-  ワイヤレスの電源はオンになっています。ワイヤレス接続の信号強度は非常に弱い状態です。信号強度を上げるには、ThinkPad をワイヤレス・アクセス・ポイントの近くに移動させてください。

ワイヤレス WAN 接続の使用

ワイヤレス WAN (ワイヤレス広域ネットワーク) では、データ転送にセルラー・ネットワークを使用し、離れた場所にある公共ネットワークまたはプライベート・ネットワークとワイヤレス接続を確立できます。ワイヤレス・サービス・プロバイダーが保守している複数のアンテナ・サイトまたはサテライト・システムを利用することにより、都市または国全体など広い地理的範囲で接続を維持できます。

ThinkPad ノートブック・コンピューターの一部のモデルには内蔵ワイヤレス WAN カードが装備されており、1xEV-DO、HSPA、3G、GPRS、または LTE などのワイヤレス WAN テクノロジーが内蔵されています。

す。お使いのコンピューターに付属の内蔵ワイヤレス WAN カードと構成ユーティリティを使用することにより、ワイヤレス WAN 接続を確立し、接続状況をモニターすることができます。

注：一部の国では、ワイヤレス WAN サービスは認定サービス・プロバイダーにより提供されています。

ワイヤレス WAN 機能を使用する際のヒント

接続をより良くするために次のガイドラインに従ってください。

- ThinkPad に身体を近づけ過ぎないでください。
- コンピューターを平らな場所に置き、液晶ディスプレイの角度が 90° よりやや大きくなるように開いてください。
- コンクリートおよびレンガ等の壁によりセルラー信号が弱まる場合があります。壁から ThinkPad を離してご使用ください。
- 窓の付近や、携帯電話の電波が最も強い場所が、受信に適しています。

ワイヤレス WAN の接続状況のチェック




ワイヤレス WAN の接続状況は、Windows の通知領域のワイヤレス・ネットワーク接続ステータス・アイコンで確認できます。アイコンのバーが多いほど、信号の強度は強くなります。

Windows 7 オペレーティング・システムの場合、Access Connections ゲージ、Access Connections ステータス・アイコン、または Windows の通知領域に表示される Access Connections ワイヤレス・ステータス・アイコンを確認することもできます。







Access Connections ゲージ:

-  信号がありません
-  弱い信号
-  中程度の信号
-  強い信号

Access Connections ステータス・アイコン:

-  アクティブなロケーション・プロファイルがないか、ロケーション・プロファイルが存在しません。
-  現行のロケーション・プロファイルは切断されています。
-  現行のロケーション・プロファイルは接続されています。

Access Connections ワイヤレス・ステータス・アイコン:


-  WAN 無線の電源はオフになっています
-  登録されていません
-  信号がありません
-  弱い信号
-  中程度の信号
-  強い信号

Bluetooth 接続の使用

Bluetooth では距離の近い装置同士を接続することが可能です。一般的には、コンピューターと周辺装置を接続したり、ハンドヘルド・デバイスとパーソナル・コンピューター間でデータ転送を行ったり、携帯電話などの装置でリモート・コントロールやリモート通信を行ったりする際に使用されます。

モデルによっては、Bluetooth 機能がサポートされていることがあります。Bluetooth 機能を使用してデータを転送するには、次のようにします。

注：ワイヤレス機能 (802.11 規格) と Bluetooth 機能を同時に使用するとデータ転送速度が遅くなり、ワイヤレス機能のパフォーマンスが低下する可能性があります。

- Bluetooth 機能が使用可能になっていることを確認します。
 - **Windows 7 の場合:** ワイヤレス制御キー  を押して Bluetooth 機能をオンにします。
 - **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:**
 - ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。
 - 『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『PC とデバイス』 → 『Bluetooth』 の順にクリックします。
 - Bluetooth 機能をオンにします。
 - **Windows 10 の場合:** 以下のいずれかを実行します。
 - 『スタート』メニューを開き、『設定』をクリックします。『設定』が表示されない場合は、『すべてのアプリ』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『設定』 → 『デバイス』 → 『Bluetooth』をクリックします。Bluetooth 機能をオンにします。
 - 『スタート』メニューを開き、『設定』をクリックします。『設定』が表示されない場合は、『すべてのアプリ』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『設定』 → 『ネットワークとインターネット』 → 『機内モード』をクリックします。Bluetooth 機能をオンにします。
- 送信したいデータを右クリックします。
- 『送る』 → 『Bluetooth デバイス』を選択します。
- Bluetooth デバイスを選択し、画面の指示に従います。

詳しくは、Windows ヘルプ情報システムと Bluetooth ヘルプ情報システムを参照してください。

NFC 接続の使用

近距離通信は高周波の短距離無線通信テクノロジーです。モデルによっては、NFC 機能が搭載されていることがあります。NFC 機能を使用することで、ご使用のコンピューターと数センチ以内にある他の NFC 対応デバイスとの間で無線通信を確立できます。

デフォルトでは、NFC 機能は有効になっています。コンピューターの NFC 機能が無効になっている場合、NFC 機能を有効にするには、次のようにします。

- **Windows 7 の場合:**
 - ThinkPad Setup プログラムを開始します。115 ページの 『ThinkPad Setup プログラムの使用』 を参照してください。
 - 『Security』 → 『I/O Port Access』 を選択します。
 - 『NFC device』 オプションを 『Enabled』 に設定します。
- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:**
 - ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。
 - 次の操作を行います。
 - **Windows 8 の場合:** 『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『ワイヤレス』 をクリックします。
 - **Windows 8.1 の場合:** 『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『ネットワーク』 → 『無線デバイス』 をクリックします。
 - 『NFC』 スイッチを右側にスライドして NFC 機能を有効にします。
- **Windows 10 の場合:**
 - 『スタート』メニューを開き、『設定』 → 『ネットワークとインターネット』 → 『機内モード』 をクリックし、『機内モード』のコントロールを左にスライドさせます。

2. 『NFC』スイッチを右側にスライドしてNFC機能を有効にします。

NFC機能を有効にできない場合は、次のようにして、ThinkPad Setupプログラムの『NFC device』設定を確認します。

1. ThinkPad Setupプログラムを開始します。115ページの『ThinkPad Setupプログラムの使用』を参照してください。
2. 『Security』 → 『I/O Port Access』を選択します。
3. 『NFC device』オプションを『Enabled』に設定します。

NFCをサポートするプログラムでは、NFC機能を使用できます。

外付けモニターの使用

プレゼンテーションを行ったりワークスペースを拡張したりするために、プロジェクターやモニターなどの外付けディスプレイを使用できます。このトピックでは、外付けディスプレイの接続方法、表示モードの選択方法、ディスプレイ設定の変更方法について説明します。

外付けモニターを接続する場合には、フェライト・コア内蔵のビデオ・インターフェース・ケーブルが必要です。ご使用のコンピューターは次の解像度をサポートします(外付けディスプレイもこの解像度をサポートする場合)。

- 外付けディスプレイをコンピューターのVGAコネクタに接続した場合、最大2048x1536まで。
- 外付けディスプレイをコンピューターのmini DisplayPortコネクタに接続した場合、最大2560x1600まで。

外付けディスプレイについて詳しくは、外付けディスプレイに付属のマニュアルを参照してください。

外付けモニターの接続

有線ディスプレイとワイヤレス・ディスプレイのどちらも使用できます。有線ディスプレイは、HDMI、VGAまたはMini DisplayPortコネクタにケーブルで接続できます。ワイヤレス・ディスプレイはWi-DiまたはMiracast機能で追加できます。

• 有線ディスプレイの接続

注：外付けモニターを接続する場合には、フェライト・コア内蔵のビデオ・インターフェース・ケーブルが必要です。

1. コンピューターの適切なビデオ・コネクタ(VGAコネクタ、mini DisplayPortコネクタまたはHDMIコネクタなど)に外付けディスプレイを接続します。
2. 外付けディスプレイを電源コンセントに接続します。
3. 外付けディスプレイの電源をオンにします。

コンピューターが外付けディスプレイを検出できない場合は、次のようにします。

– Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1 の場合

デスクトップ上で右クリックし、『画面の解像度』 → 『検出』をクリックします。

– Windows 10 の場合

デスクトップ上で右クリックして、『ディスプレイの設定』 → 『検出』の順にクリックします。

• ワイヤレス・ディスプレイの接続

注：ワイヤレス・ディスプレイを使用するには、コンピューターと外付けディスプレイの両方がWi-DiまたはMiracast機能をサポートしていることを確認します。

– Windows 7 の場合

『スタート』メニューを開き、『デバイスとプリンター』→『デバイスの追加』をクリックします。


– Windows 8 および Windows 8.1 の場合

1. ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。
2. 『デバイス』→『プロジェクター』→『ワイヤレス ディスプレイの追加』の順にクリックします。
3. 目的のワイヤレス・ディスプレイを選択し、画面の指示に従います。

– Windows 10 の場合


以下のいずれかを実行します。

– 『スタート』メニューを開き、『設定』→『デバイス』→『接続中のデバイス』→『デバイスの追加』をクリックします。

– Windows 通知領域のアクションセンター・アイコン  をクリックします。『メディア接続』をクリックします。目的のワイヤレス・ディスプレイを選択し、画面の指示に従います。

詳しくは、Windows ヘルプ情報システムを参照してください。

表示モードの選択

デスクトップやアプリを、コンピューターの液晶ディスプレイ、外付けディスプレイ、またはその両方に表示させることができます。ビデオ出力の表示方法を選択するには、表示モード切り替えキー  を押して、使用したい表示モードを選択します。

表示モードは4種類あります。

- **切断**: コンピューター画面のみにビデオ出力を表示します。

注: 『切断』 『PC 画面のみ』 『コンピューターのみ』、または 『プロジェクターを切断』 と表示されている場合もあります。

- **複製**: コンピューターの液晶ディスプレイと外付けディスプレイの両方に同じビデオ出力を表示します。
- **拡張**: コンピューターの液晶ディスプレイから外付けディスプレイにビデオ出力を拡張できます。2つのディスプレイの間で項目をドラッグして移動できます。
- **プロジェクターのみ**: 外付けディスプレイのみにビデオ出力を表示します。

注: 『プロジェクターのみ』または 『セカンド スクリーンのみ』 と表示されている場合もあります。

注: DirectDraw または Direct3D® を使用するプログラムをフルスクリーン・モードで実行すると、プライマリ・ディスプレイにだけ表示されます。

ディスプレイ設定の変更

コンピューターの液晶ディスプレイと外付けディスプレイの両方の設定を変更できます。たとえば、どちらをメイン・ディスプレイにしてどちらをセカンダリー・ディスプレイにするか定義できます。また、解像度や向きも変更できます。

ディスプレイの設定を変更するには、次のようにします。

1. デスクトップ上で右クリックし、『画面の解像度』または『ディスプレイの設定』を選択します。
2. 構成するディスプレイを選択します。
3. ディスプレイの設定を変更します。

注: コンピューターの液晶ディスプレイを外付けディスプレイより高い解像度に設定した場合は、外付けディスプレイには画面の一部分しか表示できません。

NVIDIA Optimus グラフィック機能の使用

一部の ThinkPad ノートブック・コンピューターは、NVIDIA Optimus グラフィックスをサポートしています。

コンピューターのパフォーマンスとバッテリー寿命のベスト・バランスを取るため、実行中のプログラムが求めるグラフィックの品質および使用している電源プランの設定に応じて、NVIDIA Optimus Graphics 機能により、ハイ・パフォーマンス・グラフィックスと省電力グラフィックスの間で自動的に切り替えが行われます。コンピューターの再起動、プログラムの終了、ユーザーによる手動操作を行う必要はありません。

カラー・センサーの使用

コンピューターには、カラー・センサーが装備されているモデルがあります。カラー・センサーを使用して、画面の色を正確に測定および調整することができます。

カラー・センサーを使用するには、次のようにします。

- **Windows 7 の場合:** 『スタート』 → 『すべてのプログラム』 → 『X-Rite』 → 『PANTONE Color Calibrator』の順にクリックします。
- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** チャームを表示するには、カーソルを画面の右上または右下に移動します。『検索』チャームをクリックして、*X-Rite*を検索します。
- **Windows 10 の場合:** 『スタート』 → 『すべてのアプリ』 → 『X-Rite』 → 『PANTONE Color Calibrator』の順にクリックします。

カラー・センサーを使用する場合は、カラー・センサーのインジケーターが一定の間隔で2回点滅します。カラー・センサーの測定が完了すると、カラー・センサーのインジケーターは点灯したままになります。カラー・センサーのインジケーターの位置を確認するには、8ページの『状況インジケーター』を参照してください。

ご使用の ThinkPad にカラー・センサーが搭載されている場合は、このディスプレイは、Microsoft Image Color Management (ICM) 機能と一緒に機能するカラー・プロファイルを提供します。ご使用のグラフィックス・ソフトウェアが ICM と互換性がある場合は、スキャナーまたはプリンターなど、他のデバイスと同じ品質のカラー・イメージを ThinkPad の画面に表示させることができます。

Microsoft ICM について詳しくは、Windows のヘルプ情報システムを参照してください。

重要: 初めてカラー・センサーを使用した後に、キャリブレーション・プロファイル *ECCM2SensorData.dat* が作成されます。DAT の場所を確認するには、次のようにします。

- **Windows 7、Windows 8、および Windows 8.1 の場合:** *C:\ProgramData\X-Rite\ECCM-2* に移動します。
- **Windows 10 の場合:** 『PC』 → 『ドキュメント』 → 『X-Rite』の順にクリックします。

カラー・センサーとハードディスク・ドライブ(またはソリッド・ステート・ドライブ)を両方とも交換することが必要になる場合に備えて、このキャリブレーション・プロファイルを外付けのメディア・デバイスにバックアップしてください。

注: ご使用の ThinkPad には、ThinkPad LCD のカラー・プロファイルが既に初期インストールされています。別のカラー・プロファイルをインストールする必要がある場合は <http://www.lenovo.com/ThinkPadDrivers> にアクセスしてください。カラー・センサーを使用して画面の色の精度を測定および調整した場合は、その処理中に作成されるカラー・プロファイルを使用することもできます。

オーディオ機能の使用

お使いのコンピューターには、次の付属品が装備されています。

- 直径 3.5 mm (0.14 インチ) のオーディオ・コネクタ
- マイクロホン
- スピーカー

ThinkPad は、また、次のような各種のマルチメディア・オーディオ機能を使用できるオーディオ・チップを装備しています。

- ハイデフィニション・オーディオに準拠
- MIDI ファイルおよび MP3 ファイルの再生
- PCM ファイルと WAV ファイルの録音と再生
- 接続したヘッドセットなど、さまざまな音源からの録音

次の表は、コンピューターまたはドッキング・ステーションのコネクタに接続したオーディオ・デバイスがサポートする機能を示しています。

表 1. オーディオ機能のリスト

コネクタ	3.5 mm (0.14 インチ) 4 極プラグのヘッドセット	従来型ヘッドホン	従来型マイクロホン
オーディオ・コネクタ	ヘッドホンとマイクロホン機能をサポート	ヘッドホン機能をサポート	サポートしない

録音の構成

最適な録音ができるようにマイクロホンを設定するには、Realtek HD Audio Manager プログラムを使用します。プログラムを起動するには、『コントロールパネル』に進み、『ハードウェアとサウンド』 → 『Realtek HD Audio Manager』の順にクリックします。

カメラの使用

ご使用のコンピューターにカメラが搭載されている場合、カメラを使用してビデオ・イメージをプレビューし、現在のイメージのシステム・スナップショットをとることができます。

カメラを開始する手順は、次のとおりです。

- **Windows 7 の場合:** Communications Utility プログラムを起動します。15 ページの『Lenovo プログラムへのアクセス』を参照してください。
- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** スタート画面から『カメラ』をクリックします。
- **Windows 10 の場合:** 『スタート』メニューを開き、『すべてのアプリ』のリストから『カメラ』をクリックします。

カメラを起動すると、カメラを使用中であることを示す緑色のインジケータが点灯します。

内蔵カメラを、撮影、ビデオ・キャプチャー、ビデオ会議などの機能を提供する他のプログラムで使用することもできます。内蔵カメラを他のプログラムで使用するには、そのプログラムを起動し、撮影、ビデオ・キャプチャー、またはビデオ会議の機能を開始します。カメラが自動的に起動し、カメラを使用中であることを示す緑色のインジケータが点灯します。プログラムでのカメラの使用については、プログラムのヘルプ情報システムを参照してください。

カメラ設定の構成

ビデオ出力の品質を調整するなど、必要に応じて、カメラの設定を構成できます。

カメラ設定を構成するには、次のようにします。

- **Windows 7 の場合:** Communications Utility プログラムを起動し、必要に応じてカメラの設定を構成します。
- **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** 以下のいずれかを実行します。
 - カメラを使用しているプログラムから直接カメラ設定を構成します。詳しくは、プログラムのヘルプ情報システムを参照してください。
 - スタート画面から『**Lenovo Settings**』をクリックします。その後、『**カメラ**』をクリックします。画面の指示に従って、必要なカメラ設定を構成します。
- **Windows 10 の場合:** 以下のいずれかを実行します。
 - 『**カメラ**』アプリを開き、右上の設定アイコンをクリックします。画面の指示に従って、必要なカメラ設定を構成します。
 - 『スタート』メニューから『**Lenovo Settings**』をクリックします。その後、『**カメラ**』をクリックします。画面の指示に従って、必要なカメラ設定を構成します。

光学式ドライブの使用

注: ご使用のコンピューターでは、DVD-ROM ドライブおよびマルチ・バーナー・ドライブがサポートされています。

DVD-ROM ドライブ

このドライブは、DVD-ROM ディスクと、CD-ROM ディスクや CD-RW ディスク、CD-R ディスク、およびオーディオ CD など全種類の CD を読み込むことができます。このドライブには、書き込み機能はありません。

マルチ・バーナー・ドライブ

このドライブは、DVD-ROM ディスク、DVD-R ディスク、DVD-RAM ディスク、DVD-RW ディスク、および全種類の CD (CD-ROM ディスクや CD-RW ディスク、CD-R ディスク、および音楽 CD など) を読み込むことができます。また、DVD-R ディスク、DVD-RW ディスク、タイプ II DVD-RAM ディスク、標準および高速の CD-RW ディスク、そして CD-R ディスクへの書き込みが可能です。

ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの使用

ご使用のコンピューターには、ExpressCard スロット、メディア・カード・スロットまたはスマート・カード・スロットが装備されていることがあります。

ご使用のコンピューターにメディア・カード・スロットが装備されている場合は、次のカードをサポートします。

- SD (Secure Digital) カード
- SDHC (Secure Digital High-Capacity) カード
- SDXC (Secure Digital eXtended-Capacity) カード
- MultiMediaCard (MMC)

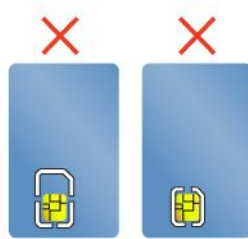
注: ご使用のコンピューターは、SD カードのリムーバブル・メディア用コンテンツ保護 (CPRM) 機能をサポートしません。

ご使用のコンピューターのスマート・カード・リーダーは、以下の仕様のスマート・カードのみをサポートします。



- 長さ: 85.60 mm (3.37 インチ)
- 幅: 53.98 mm (2.13 インチ)
- 厚さ: 0.76 mm (0.03 インチ)

コンピューターにスリット付きスマート・カードを挿入しないでください。スマート・カード・リーダーが損傷するおそれがあります。



注意：フラッシュ・メディア・カードやスマート・カードにデータを転送したり、フラッシュ・メディア・カードやスマート・カードからデータを転送する場合は、データ転送が完了するまでご使用のコンピューターをスリープ状態または休止状態にしないでください。そうしないと、データが破損することがあります。

ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの取り付け

注意：

- カードを取り付ける前に、金属製のテーブルまたは接地 (アース) された金属製品に触れてください。これを行うと、身体の静電気が減少します。静電気はカードを損傷させる恐れがあります。
- ThinkPad がスリープ状態または休止状態になっているときは、ExpressCard を挿入しないでください。そうしないと、ThinkPad をレジュームしようとしても、ThinkPad が応答しない場合があります。

カードを取り付けるには、次のようにします。

1. カードに適切なタイプのスロットの位置を確認します。1 ページの『コンピューターのコントロール、コネクタおよびインジケータの位置』を参照してください。
2. カードの方向が正しいことを確認します。
 - ExpressCard の場合: カードの切り欠きを上向きにして、カード・スロットの方を向いているようにします。
 - フラッシュ・メディア・カードの場合: 金属端子を下向きにして、カード・スロットの方を向いているようにします。
 - スマート・カードの場合: 金属端子を上向きにして、カード・スロットの方を向いているようにします。
3. カードをカード・スロットにしっかりと挿入します。

取り付けした ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードのプラグ・アンド・プレイ機能が有効になっていない場合、この機能を有効にするには、次のようにします。

1. 『コントロールパネル』に進みます。
2. 『ハードウェアとサウンド』をクリックします。

- 『**デバイス マネージャー**』をクリックします。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。
- 『**操作**』メニューで、『**レガシハードウェアの追加**』を選択します。『**ハードウェアの追加ウィザード**』が開始されます。
- 画面の指示に従います。

ExpressCard、フラッシュ・メディア・カード、またはスマート・カードの取り外し

注意：

- カードを取り外す前に、カードを停止します。停止せずに取り出すと、カード上のデータが破損したり失われたりすることがあります。
- ThinkPad がスリープ状態または休止状態になっているときは、カードを取り外さないでください。取り外すと、レジューム時にシステムが応答しなくなることがあります。

カードを取り出すには、次のようにします。

- 隠れているインジケータを表示するには、Windows の通知領域にある三角形のアイコンをクリックします。次に、『**ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す**』アイコンを右クリックします。
- カードを停止させるために取り外す項目を選択します。
- カードを押すと、カードがコンピューターの外に出ます。
- カードを取り出し、大切に保管します。

注：Windows オペレーティング・システムからカードを取り外した後に、カードを取り出さなかった場合は、カードにアクセスできなくなります。このカードにアクセスするには、まずカードを取り出してから、再度挿入する必要があります。

第3章 コンピューターを快適に使う

この章では、ThinkPad のユーザー補助、使いやすさ、および携帯に関する情報について説明します。

ユーザー補助と使いやすさ

ご使用のパーソナル・コンピューターを最大限に使用し、不快感を避けるには、人間工学的な配慮が重要になります。作業環境およびご使用になる機器を、個々のニーズと実行する作業の種類に合うように配置してください。さらに、コンピューターの使用中は、パフォーマンスと快適さを最大化できるような作業習慣を実行してください。

以下のトピックには、ワークエリアの配置、コンピューター機器のセットアップ、健康的な作業習慣の確立についての説明があります。

Lenovo は、障害をお持ちのお客様に最新の情報とテクノロジーを提供できるよう最大の努力を重ねております。当社のユーザー補助情報を参照してください。この領域における当社の試みを概説しています。48 ページの『ユーザー補助情報』を参照してください。

快適なご使用のために

オフィスでは、頻繁に変化する環境に適応させて作業しなければならない場合があります。たとえば、周囲の光源に適合すること、正しく座ること、コンピューター・ハードウェアを効果的に配置することは作業効率の向上や快適な使用に役立ちます。

この例は、標準的な作業環境での場合を示しています。このような状況にない場合でも、下記の多くの注意事項を参考にして、体によい習慣を身に付けるようにしてください。



全体的な姿勢: 作業姿勢を少し変えることにより、同じ姿勢で作業を長時間行うことから生じる不快感を抑えることができます。作業を頻繁に短時間中断させることも、作業姿勢に関連した不快感を解消するのに役立ちます。

ディスプレイ: ディスプレイの位置は、目から画面までの距離を 510 ~ 760 mm に保つようにします。頭上の照明や室外の光源によるぎらつきや反射がディスプレイ上で起きないようにしてください。ディスプレイをきれいに保ち、画面がはっきりと表示されるように明るさを設定します。ディスプレイの明るさをキーボードで調整するには、F5 または F6 キーを押します。

頭部の位置: 頭部と首は、楽で自然な (垂直、つまり直立の) 位置に保ちます。

いす: 背中をしっかり支え、座部の高さを調整できるいすを使用します。正しい姿勢で座れるように、いすを調整してください。

腕と手の位置: 前腕部、手首、手をリラックスさせ、自然な位置に置きます。キーをたたかずに、軽く触るようにタイプします。

脚の位置: ももを床と並行に保ち、足を床またはフットレストの上に水平に置きます。

出張先での使用に関する注意

移動中や臨時の環境でコンピューターを使用しているときは、よい姿勢を保てないかもしれません。どのような状況でも、注意事項をできるだけ守るようにしてください。たとえば、正しい姿勢で座り、十分な照明を使用すれば、快適さと効率を維持できます。

視覚に関する注意

ThinkPad ノートブック・コンピューターの表示画面は最高の基準に合致し、はっきりとした明確なイメージと、大きく、明るく、見やすく、それでいて目に優しい表示が得られるように設計されています。もちろん、集中し、連続して目を使う作業は疲れるものです。目の疲労や視覚的な不快感については、眼科の専門医にご相談ください。

作業の快適性

次のガイドラインに従うことで、使いやすさと作業効率が向上します。

正しい着席方法と休憩時間: 着席して ThinkPad で作業を行う時間が長ければ長いほど、作業姿勢に注意することが重要になります。47 ページの『快適なご使用のために』に記載されている姿勢や注意事項を守ること、『作業姿勢』に関連した不快さを避けることができます。また、健康的なコンピューター作業には、姿勢を自発的に少し変えたり、作業を定期的に短時間中断したりすることも必要です。ThinkPad は軽量の携帯システムですので、作業面で簡単に位置を変更して姿勢を変えることができます。

作業場の整備とオプション: ご自分が使いやすいように、作業面、座席、その他の作業ツールを調整する方法を理解しておいてください。作業場がオフィス環境でない場合は、適切な着席方法を行い、短時間の休憩を頻繁に取ることを特に注意してください。ThinkPad のシステム構成をご自分のニーズに最も適したものになるよう変更したり、拡張したりするうえで役立つ周辺機器が多数揃っています。<http://www.lenovo.com/essentials> では、これらのオプションのいくつかを見ることができます。ThinkPad を使う作業をより快適にしてくれるドッキング・ソリューションや周辺機器を探してみてください。

ユーザー補助情報

Lenovo は、聴覚、視覚、運動機能に制約のあるお客様が情報やテクノロジーにさらにアクセスしやすくなるように最大の努力を重ねています。このセクションでは、これらのユーザーがコンピューターをより有効に活用していただくことを目的とした仕組みを説明します。また、以下の Web サイトから最新のアクセシビリティ情報を得ることができます:

<http://www.lenovo.com/accessibility>

キーボード ショートカット

次の表には、コンピューターの使用を容易にするキーボード ショートカットが記載されています。

注: ご使用のキーボードによっては、以下の一部のキーボード ショートカットを使用できないことがあります。

キーボード ショートカット	ファンクション
Windows ロゴ・キー + U	『コンピューターの簡単操作センター』を開きます
右 Shift キーを 8 秒間押す	フィルター キーをオンまたはオフにします
Shift キーを 5 回押す	Sticky キーをオンまたはオフにします
Num Lock を 5 秒間押す	切り替えキーをオンまたはオフにします

キーボードショートカット	ファンクション
左 Alt + 左 Shift + Num Lock	マウス キーをオンまたはオフにします
左 Alt + 左 Shift + PrtScn (または PrtSc)	ハイ コントラストをオンまたはオフにします

詳しくは、<http://windows.microsoft.com/> にアクセスして、『キーボードショートカット』、『組み合わせキー』、『ショートカット キー』のキーワードのうちのいずれかを入力します。

コンピューターの簡単操作センター

Windows オペレーティング・システムの『コンピューターの簡単操作センター』を使用すると、ユーザーは物理的なニーズや認識ニーズを満たすようにコンピューターを構成できます。

『コンピューターの簡単操作センター』を使用するには、次のようにします。

1. 『コントロール パネル』に移動し、カテゴリ別表示になっていることを確認します。
2. 『コンピューターの簡単操作』 → 『コンピューターの簡単操作センター』の順にクリックします。
3. 画面の指示に従って、ツールを使用します。

『コンピューターの簡単操作センター』には、主に次のツールが含まれています。

- 拡大鏡
拡大鏡は、項目がよく見えるように、画面の全体または一部を拡大できる便利なユーティリティです。
- ナレーター
ナレーターは、画面表示を音声で読み上げて、エラー・メッセージなどのイベントを説明する画面リーダーです。
- スクリーン キーボード
物理的なキーボードを使用しないでコンピューターにデータを入力したい場合は、スクリーン キーボードを使用できます。スクリーン キーボードでは、標準キーをすべて備えた仮想キーボードが表示されます。マウスまたは別のポインティング・デバイスを使用してキーを選択するか、複数のタッチ・スクリーンがサポートされている場合はタップしてキーを選択できます。
- ハイ コントラスト
ハイ コントラスト機能を使用すると、画面の一部のテキストと画像の色のコントラストが高くなります。その結果、項目がはっきりと識別しやすくなります。
- 個人設定キーボード
キーボード設定を調整してキーボードを使いやすくします。たとえば、キーボードでポインターを制御したり、特定の組み合わせキーが入力しやすくなります。
- 個人設定マウス
マウス設定を調整してマウスを使いやすくします。たとえば、ポインターの外観を変更したり、マウスでウィンドウを管理しやすくなります。

音声認識

『音声認識』を使用すると、音声でコンピューターを制御できます。

ユーザーの音声のみを使用すると、プログラムの開始、メニューの展開、画面上のオブジェクトのクリック、テキストのドキュメントへの書き取り、電子メールの作成および送信などを実行できます。キーボードやマウスで実行するあらゆる操作を音声のみで実行できます。

『音声認識』を使用するには、次のようにします。

1. 『コントロール パネル』に移動し、カテゴリ別表示になっていることを確認します。

2. 『コンピューターの簡単操作』 → 『音声認識』の順にクリックします。
3. 画面の指示に従います。

画面リーダー・テクノロジー

画面リーダー・テクノロジーは、主として、ソフトウェア・プログラム・インターフェース、ヘルプ情報システム、および各種のオンライン・ドキュメントについて特に力を入れています。画面リーダーについて詳しくは、次を参照してください。

- 画面リーダーで PDF を使用する場合:
<http://www.adobe.com/accessibility.html?promoid=DJGVE>
- JAWS 画面リーダーを使用する場合:
<http://www.freedomscientific.com/jaws-hq.asp>
- NVDA 画面リーダーを使用する場合:
<http://www.nvaccess.org/>

画面の解像度

コンピューターの画面の解像度を調整することにより、画面のテキストと画像を読みやすくなります。

画面の解像度を調整するには、次のようにします。

- Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1 の場合:
 1. デスクトップの空白領域を右クリックし、『画面の解像度』を選択します。
 2. 画面の指示に従います。
- Windows 10 の場合:
 1. デスクトップの空白領域を右クリックし、『ディスプレイの設定』 → 『ディスプレイの詳細設定』を選択します。
 2. 『解像度』で設定を選択します。

注：解像度の設定が低すぎると、項目の一部が画面に収まらない場合があります。

カスタマイズ可能な項目サイズ

項目のサイズを変更して画面上の項目を読みやすくなります。

- 項目のサイズを一時的に変更するには、『コンピューターの簡単操作センター』の『拡大鏡』を使用します。49 ページの『コンピューターの簡単操作センター』を参照してください。
- 項目の値を永続的に変更するには、次のようにします。
 - 画面上のすべての項目のサイズを変更します。
 1. 『コントロールパネル』に移動し、カテゴリー別表示になっていることを確認します。
 2. 『デスクトップのカスタマイズ』 → 『ディスプレイ』の順にクリックします。
 3. 画面の指示に従って、項目のサイズを変更します。
 4. 『適用』をクリックします。この変更は次回オペレーティング・システムにログインしたときに有効になります。
 - Web ページの項目のサイズを変更します。
Ctrl キーを長押しして、次にプラス符号 (+) キーを押してテキスト・サイズを拡大、マイナス符号 (-) キーを押してテキスト・サイズを縮小します。
 - デスクトップまたはウィンドウの項目のサイズを変更します。

注：この機能は、一部のウィンドウでは動作しない場合があります。

マウスにホイールがついている場合、Ctrl キーを長押しして、次にホイールをスクロールさせて項目サイズを変更します。

業界標準のコネクター

ご使用のコンピューターは、補助デバイスを接続できる業界標準のコネクターを提供します。

コネクターの場所および機能については、1 ページの『コンピューターのコントロール、コネクターおよびインジケーターの位置』を参照してください。

アクセス可能な形式の資料

Lenovo は、適切にタグ付けされた PDF ファイルやハイパー・テキスト・マークアップ言語 (HTML) ファイルなど、アクセス可能な形式の電子資料を提供しています。Lenovo の電子資料は、視覚障害者がスクリーン・リーダーを使用して確実に読めるようにするために開発されています。文書の各画像には、視覚障害のあるユーザーが画面リーダーを使用する際に画像について理解できるように、十分な代替テキストが含まれています。

コンピューターの携帯

このトピックでは、出張の際にコンピューターを使用するのに役立つ情報について説明します。

出張のヒント

コンピューターを携帯して、より快適かつ効率良く出張するために、以下の出張のヒントを参考にしてください。

- ThinkPad が空港のセキュリティー・ゲートにある X 線を通り抜けるのは安全ですが、盗難防止のために、ThinkPad から目を離さないでください。
- 自動車または航空機の中で使用できる電源アダプターを携帯することをお勧めします。
- AC 電源アダプターを持ち運ぶときは、コードを傷つけないために電源コードを抜いてください。

飛行機での出張のヒント

コンピューターを飛行機に持ち込む場合には、次のヒントを確認してください。

- コンピューターやワイヤレス・サービス (インターネットや Bluetooth など) を使用する場合、搭乗前にサービスの提供状況と制限事項を航空会社に確認してください。ワイヤレス機能を搭載したコンピューターを機内で使用することが制限されている場合、その制限を遵守してください。必要に応じて、搭乗前に機内モードを有効にします。機内モードでは、すべてのワイヤレス機能は無効になっています。機内モードを有効にする手順は、次のとおりです。
 - **Windows 8 および Windows 8.1 の場合:** 画面の右端からスワイプしてチャームを表示し、『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『ネットワーク』をタップし、『機内モード』のコントロールを右にスライドさせます。
 - **Windows 10 の場合:** 『スタート』メニューを開き、『設定』をクリックします。『設定』が表示されない場合は、『すべてのアプリ』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『設定』 → 『ネットワークとインターネット』 → 『機内モード』をクリックして、機内モードのコントロールを右にスライドさせます。
- 航空機のご自分の前の座席に注意してください。前の席に座っている人が後ろにもたれたときに当たらないように、コンピューターの液晶ディスプレイの角度を調節しておきます。
- 離着陸時には必ず、ThinkPad の電源をオフにするか、休止状態にしてください。

出張に必要なもの

以下は、出張時の携帯品を検討するためのチェックリストです。

- ThinkPad AC 電源アダプター
- HDMI アダプター対応 Mini DisplayPort
- マウス (マウスの使用が習慣になっている場合)
- イーサネット・ケーブル
- 充電済みの予備バッテリー
- 十分なクッションと保護を提供する高品質の携帯用ケース
- 外部ストレージ・デバイス

外国に出張する場合は、出張先の国に適合した AC 電源アダプターを考慮する必要があります。

出張時に必要なアクセサリを購入するには、<http://www.lenovo.com/accessories> にアクセスしてください。

第4章 セキュリティー

本章では、コンピューターの盗難または不正使用を防ぐ方法について説明します。

- 53 ページの『パスワードの使用』
- 58 ページの『ハードディスクのセキュリティー』
- 59 ページの『セキュリティー・チップの設定』
- 60 ページの『指紋センサーの使用』
- 63 ページの『コンピューターの廃棄・譲渡時のハードディスク・ドライブ上およびソリッド・ステート・ドライブ上のデータ消去に関するご注意』
- 64 ページの『ファイアウォールの使用』
- 64 ページの『ウイルスからのデータの保護』

パスワードの使用

パスワードを使用すると、自分のコンピューターを無断で使用されないようにすることができます。パスワードを設定すると、ThinkPad の電源を入れるたびに画面にプロンプトが表示されます。この時に、パスワードを入力します。正しいパスワードを入力しないと、コンピューターは使用できません。

パワーオン・パスワード、スーパーバイザー・パスワード、またはハードディスク・パスワードを設定していた場合、コンピューターがスリープ状態から再開すると、ロックが自動的に解除されます。


注：Windows パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。


パスワードの入力



このアイコンが表示された場合は、パワーオン・パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードを入力します。



このアイコンが表示された場合は、ユーザー・ハードディスク・パスワードを入力します。マスター・ハードディスク・パスワードを入力するには、F1 キーを押します。アイコンが  に変わったら、マスター・ハードディスク・パスワードを入力します。

注：アイコン  に戻すには、再度 F1 を押します。

パワーオン・パスワード

コンピューターへの不正アクセスを防ぐために、パワーオン・パスワードを設定することをお勧めします。

パワーオン・パスワードを設定すると、コンピューターの電源をオンにするたびにパスワード・プロンプトが表示されます。コンピューターの使用を開始するには、正しいパスワードを入力する必要があります。

パワーオン・パスワードの設定、変更、または削除

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

パワーオン・パスワードの設定、変更、または削除を実行するには、次のようにします。

1. PC を再起動します。ロゴ画面が表示されたら、F1 キーを押して ThinkPad Setup プログラムを起動します。
2. 方向キーを使用して、『Security』 → 『Password』 → 『Power-on Password』 を選択します。
3. 必要に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - パスワードを設定するには、次のようにします。
 - a. 『Enter New Password』 フィールドに希望のパスワードを入力し、Enter キーを押します。
 - b. 『Confirm New Password』 フィールドにパスワードをもう一度入力して、Enter キーを押します。
 - パスワードを変更するには、次のようにします。
 - a. 『Enter Current Password』 フィールドに、現在のパワーオン・パスワードを入力し、Enter キーを押します。
 - b. 『Enter New Password』 フィールドに新しいパワーオン・パスワードを入力し、Enter キーを押します。次に、『Confirm New Password』 フィールドにパスワードを再度入力し、Enter キーを押します。
 - パスワードを削除するには、次のようにします。
 - a. 『Enter Current Password』 フィールドに、現在のパワーオン・パスワードを入力し、Enter キーを押します。
 - b. 『Enter New Password』 と 『Confirm New Password』 フィールドは空白のままにします。Enter キーを 2 回押します。
4. 『Setup Notice』 ウィンドウが表示されます。続行するには、Enter キーを押してください。
5. F10 を押します。『Setup Confirmation』 ウィンドウが表示されます。『Yes』 を選択し、構成変更を保存して終了します。

注：パスワードを記録し、大切に保管しておいてください。メモを取らずにパスワードを忘れてしまった場合は、スマートセンターにご連絡いただき、パスワードの取り消しをご依頼いただく必要があります。

スーパーバイザー・パスワード

スーパーバイザー・パスワードは、ThinkPad Setup プログラムに保存されているシステム情報の保護に使用されます。スーパーバイザー・パスワードを設定している場合は、スーパーバイザー・パスワードがなければ、だれもコンピューターの構成を変更できません。このパスワードには次のセキュリティ機能があります。

- スーパーバイザー・パスワードのみが設定されている場合は、ThinkPad Setup プログラムを開始しようとしたときにパスワード・プロンプトが表示されます。許可されていないユーザーは、パスワードがなければ、ThinkPad Setup プログラムにアクセスできません。
- システム管理者は、コンピューターのユーザーがパワーオン・パスワードを設定していても、スーパーバイザー・パスワードを使用してコンピューターにアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードがパワーオン・パスワードを一時的に無効にします。
- スーパーバイザー・パスワードとパワーオン・パスワードの両方が設定されている場合は、スーパーバイザー・パスワードを入力しないと次の作業を実行できません。
 - パワーオン・パスワードの変更または取り消し
 - スーパーバイザー・パスワードの変更または取り消し
 - 日付と時刻の変更
 - パワーオン・パスワードおよびハードディスク・パスワードの最小文字数の指定
 - セキュリティー・チップの設定変更
 - 指紋データの消去
 - 以下の機能を使用可能または使用不可にします。

- Wake on LAN および Flash over LAN
- Lock UEFI BIOS Settings
- Password at unattended boot
- Boot Device List F12 Option
- Boot Order Lock
- Flash BIOS Updating by End-Users
- 内蔵ネットワーク・デバイス
- 内蔵ワイヤレス・デバイス
- 内蔵 Bluetooth デバイス
- 内蔵ネットワーク・オプション ROM
- 内蔵ワイヤレス WAN デバイス
- セキュリティー・モード
- 指紋センサーの優先順位

注：

- システム管理者は、管理を容易にするために、多くの ThinkPad ノートブック・コンピューターと同じスーパーバイザー・パスワードを設定することができます。
- 『**Lock UEFI BIOS Settings**』 オプションを選択すると、すべての BIOS 設定を変更できなくなります。この設定を変更するには、スーパーバイザー・パスワードが必要です。

スーパーバイザー・パスワードの設定、変更、または取り消し

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

スーパーバイザー・パスワードの設定、変更、または取り消しを実行できるのは、システム管理者のみです。スーパーバイザー・パスワードの設定、変更、または取り消しを実行するには、次のようにします。

1. PC を再起動します。ロゴ画面が表示されたら、F1 キーを押して ThinkPad Setup プログラムを起動します。
2. 方向キーを使用して、『**Security**』 → 『**Password**』 → 『**Supervisor Password**』 を選択します。
3. 必要に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - パスワードを設定するには、次のようにします。
 - a. 『**Enter New Password**』 フィールドに希望のパスワードを入力し、Enter キーを押します。
 - b. 『**Confirm New Password**』 フィールドにパスワードをもう一度入力して、Enter キーを押します。
 - パスワードを変更するには、次のようにします。
 - a. 『**Enter Current Password**』 フィールドに現行のスーパーバイザー・パスワードを入力し、Enter キーを押します。
 - b. 『**Enter New Password**』 フィールドに新しいスーパーバイザー・パスワードを入力し、Enter キーを押します。次に、『**Confirm New Password**』 フィールドにパスワードを再度入力し、Enter キーを押します。
 - パスワードを削除するには、次のようにします。
 - a. 『**Enter Current Password**』 フィールドに現行のスーパーバイザー・パスワードを入力し、Enter キーを押します。
 - b. 『**Enter New Password**』 と 『**Confirm New Password**』 フィールドは空白のままにします。Enter キーを 2 回押します。
4. 『**Setup Notice**』 ウィンドウが表示されます。続行するには、Enter キーを押してください。

5. F10 を押します。『Setup Confirmation』 ウィンドウが表示されます。『Yes』 を選択し、構成変更を保存して終了します。

注：パスワードを記録し、大切に保管しておいてください。次に ThinkPad Setup プログラムにアクセスすると、先に進むためにスーパーバイザー・パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。スーパーバイザー・パスワードを忘れてしまった場合、Lenovo でパスワードをリセットすることはできません。スマートセンターにコンピューターをお預けいただき、システム・ボードの交換をご依頼いただくこととなります。ご購入を証明する書類が必要です。また、パーツおよびサービスは有料です。

ハードディスク・パスワード

ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、どちらもハードディスク・ドライブに保存されている情報の保護に役立ちます。

● ユーザー・ハードディスク・パスワード

ユーザー・ハードディスク・パスワードが設定されていても、マスター・ハードディスク・パスワードが設定されていない場合、ハードディスク・ドライブ上のファイルおよびアプリケーションにアクセスするには、ハードディスク・パスワードを入力しなければなりません。

● マスター・ハードディスク・パスワード

マスター・ハードディスク・パスワードには、ユーザー・ハードディスク・パスワードも必要です。マスター・ハードディスク・パスワードの設定と使用は、通常はシステム管理者が行います。マスター・キーと同様に、マスター・ハードディスク・パスワードにより、管理者はシステム内のどのハードディスク・ドライブにもアクセスできます。管理者はマスター・パスワードを設定します。そして、ネットワーク内の各コンピューターのためにユーザー・パスワードを割り当てます。その後ユーザーはユーザー・ハードディスク・パスワードを変更することもできますが、管理者はマスター・ハードディスク・パスワードを使ってそのままアクセス可能です。

マスター・ハードディスク・パスワードを設定すると、管理者のみがユーザー・ハードディスク・パスワードを削除できます。

ハードディスク・パスワードの設定

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

ハードディスク・パスワードを設定するには、次のようにします。

1. PC を再起動します。ロゴ画面が表示されたら、F1 キーを押して ThinkPad Setup プログラムを起動します。
2. 方向キーを使用して、『Security』 → 『Password』 → 『Hard disk 1 Password』 を選択します。
3. パスワードのウィンドウが表示されます。『User』 または 『User + Master』 を選択するように指示されます。ユーザー・ハードディスク・パスワードだけを設定したい場合は 『User』 を選択します。管理者やスーパーバイザーであるなど、ユーザー・ハードディスク・パスワードとマスター・ハードディスク・パスワードを設定する場合、『User + Master』 を選択します。
 - 『User』 を選択した場合は、以下の手順を行います。
 - a. 新しいパスワードを入力するウィンドウが開いたら、『Enter New Password』 フィールドに新しいパスワードを入力し、Enter キーを押します。
 - b. 『Confirm New Password』 フィールドに、直前に入力したパスワードを再度入力し、Enter キーを押します。
 - 『User + Master』 を選択した場合は、以下の手順を行います。
 - a. 最初に、ユーザー・ハードディスク・パスワードを設定します。メッセージ・ウィンドウが開き、ユーザー・ハードディスク・パスワードを設定するように指示されたら、Enter キーを押して続行します。『Enter New Password』 フィールドに、新しいユーザー・ハードディスク・パスワードを入力し、Enter キーを押します。『Confirm New Password』 フィールドにパスワードをもう一度入力して、Enter キーを押します。

- b. 次に、マスター・ハードディスク・パスワードを設定します。メッセージ・ウィンドウが開き、マスター・ハードディスク・パスワードを設定するように指示されます。続行するには、Enter キーを押してください。『**Enter New Password**』フィールドに、新しいマスター・ハードディスク・パスワードを入力し、Enter キーを押します。『**Confirm New Password**』フィールドにパスワードをもう一度入力して、Enter キーを押します。

4. 『**Setup Notice**』ウィンドウが表示されます。続行するには、Enter キーを押してください。
5. F10 を押します。『**Setup Confirmation**』ウィンドウが表示されます。『**Yes**』を選択し、構成変更を保存して終了します。

次回コンピューターの電源をオンにするときは、ユーザー・ハードディスク・パスワードまたはマスター・ハードディスク・パスワードを入力して、コンピューターを起動し、オペレーティング・システムにアクセスします。

ハードディスク・パスワードの変更または取り消し

ハードディスク・パスワードを変更または削除するには、次のようにします。

- 『**User + Master**』ハードディスク・モードの場合、必要に応じて『**User HDP**』または『**Master HDP**』を選択して、パスワードを変更できます。
 - 『**User HDP**』モードを選択した場合、以下の手順に従ってユーザー・ハードディスク・パスワードを変更します。
 1. 『**Enter Current Password**』フィールドに現在のユーザー・ハードディスク・パスワードを入力し、Enter キーを押します。
 2. 『**Enter New Password**』フィールドに新しいパスワードを入力し、Enter キーを押します。次に、『**Confirm New Password**』フィールドにパスワードを再度入力し、Enter キーを押します。
 3. 『**Setup Notice**』ウィンドウが表示されます。Enter キーを再度押して、続行します。ユーザー・ハードディスク・パスワードが変更されます。

注：『**User HDP**』モードでは、ハードディスク・パスワードは削除できません。

- 『**Master HDP**』モードを選択した場合、以下の手順に従ってマスター・ハードディスク・パスワードを変更します。
 1. 『**Enter Current Password**』フィールドに現在のマスター・ハードディスク・パスワードを入力し、Enter キーを押します。
 2. 『**Enter New Password**』フィールドに新しいマスター・ハードディスク・パスワードを入力し、Enter キーを押します。次に、『**Confirm New Password**』フィールドに、直前に入力した新しいパスワードを再度入力し、Enter キーを押します。
 3. 『**Setup Notice**』ウィンドウが表示されます。続行するには、Enter キーを押してください。マスター・ハードディスク・パスワードが変更されました。

注：『**Enter New Password**』フィールドと『**Confirm New Password**』フィールドを空白のままにして Enter キーを 2 回押した場合、ユーザー・ハードディスク・パスワードとマスター・ハードディスク・パスワードの両方が削除されます。

- 『**User**』ハードディスク・モードの場合、以下の手順に従ってユーザー・ハードディスク・パスワードを変更します。
 1. 56 ページの『ハードディスク・パスワードの設定』のステップ 1 ~ 7 を実行し、パスワードを入力して ThinkPad Setup プログラムにアクセスします。
 2. 『**Enter Current Password**』フィールドに現在のユーザー・ハードディスク・パスワードを入力し、Enter キーを押します。
 3. 『**Enter New Password**』フィールドに新しいパスワードを入力し、Enter キーを押します。次に、『**Confirm New Password**』フィールドに新しいパスワードを再度入力し、Enter キーを押します。
 4. 『**Setup Notice**』ウィンドウが表示されます。Enter キーを再度押して、続行します。ユーザー・ハードディスク・パスワードが変更されます。

注：『Enter New Password』フィールドと『Confirm New Password』フィールドを空白のままにして Enter キーを2回押した場合、ユーザー・ハードディスク・パスワードが削除されます。

ハードディスク・パスワード使用のヒント

- 『Security』メニューで、ハードディスク・パスワードの最小文字数を設定できます。
- ハードディスク・パスワードを7文字を超える文字数に設定した場合、7文字を超える文字数のパスワードを認識できるシステムを使用する必要があります。7文字を超えるハードディスク・パスワードを認識できないコンピューターにハードディスク・ドライブを取り付けた場合、そのドライブにアクセスすることはできません。
- パスワードを記録し、大切に保管しておいてください。ユーザー・ハードディスク・パスワードを忘れていたり、ユーザー・ハードディスク・パスワードとマスター・ハードディスク・パスワードの両方を忘れた場合は、Lenovo ではパスワードをリセットすることも、ハードディスク・ドライブからデータを回復することもできません。Lenovo 販売店や営業担当員にコンピューターをお預けいただき、ハードディスク・ドライブの交換をご依頼いただくことになります。ご購入を証明する書類が必要です。また、パーツおよびサービスは有料です。

注：eDrive ストレージ・ドライブまたは Trusted Computing Group (TCG) Opal 対応ストレージ・ドライブには、データを保護するために自己暗号化機能があります。

- TCG Opal 対応ストレージ・ドライブが取り付けられ、TCG Opal 管理ソフトウェア・プログラムがインストールされていて、TCG Opal 管理ソフトウェア・プログラムが起動している場合、ハードディスク・パスワードは使用できません。
- eDrive ストレージ・ドライブがコンピューターに取り付けられ、コンピューターに Windows 8.1 または Windows 10 オペレーティング・システムが初期インストールされている場合、ハードディスク・パスワードは使用できません。

ハードディスクのセキュリティー

パスワードを無許可のセキュリティー攻撃から保護するには、以下のトピックを参照してセキュリティーを強化してください。

- 内蔵されているソリッド・ステート・ドライブまたはハードディスク・ドライブに、パワーオン・パスワードとハードディスク・パスワードを設定します。53 ページの『パワーオン・パスワード』および56 ページの『ハードディスク・パスワード』の手順に従ってください。セキュリティー対策として、長めのパスワードを設定することをお勧めします。
- UEFI BIOS のセキュリティーの信頼性を高めるために、セキュリティー・チップや Trusted Platform Module 管理機能を利用したセキュリティー・アプリケーションをご使用ください。59 ページの『セキュリティー・チップの設定』を参照してください。

注：モデルによっては、TPM 管理機能がサポートされていることがあります。

- ご使用のコンピューターに暗号機能付きストレージ・ドライブが取り付けられている場合は、必ず Microsoft Windows BitLocker® ドライブ暗号化などのドライブ暗号化ソフトウェアを利用して、不正なアクセスからコンテンツを保護するようにしてください。59 ページの『Windows BitLocker ドライブ暗号化の使用』を参照してください。
- ご使用のコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、データを消去してください。詳しくは、63 ページの『コンピューターの廃棄・譲渡時のハードディスク・ドライブ上およびソリッド・ステート・ドライブ上のデータ消去に関するご注意』を参照してください。

ご使用のコンピューターに装備されているハードディスク・ドライブは、UEFI BIOS で保護することができます。

Windows BitLocker ドライブ暗号化の使用

ご使用のコンピューターを不正なアクセスから保護するために、Windows BitLocker ドライブ暗号化などのドライブ暗号化ソフトウェアをご使用ください。

Windows BitLocker ドライブ暗号化は、Windows オペレーティング・システムの一部のエディションに内蔵されたセキュリティー機能です。この機能により、ご使用の ThinkPad の紛失、盗難事故の場合でも、保存されたオペレーティング・システムやデータを保護することができます。BitLocker は、スワップ・ファイルや休止状態のファイルを含むすべてのユーザー・ファイルおよびシステム・ファイルを暗号化します。

BitLocker では、Trusted Platform Module を利用してデータ保護を強化し、初期ブート・コンポーネントの整合性を確認します。互換性のある TPM は、V1.2 TPM として定義されています。

BitLocker 状況を確認するには、『コントロールパネル』に進み、『システムとセキュリティー』 → 『BitLocker ドライブ暗号化』の順にクリックします。

Windows BitLocker ドライブ暗号化について詳しくは、Windows オペレーティング・システムのヘルプ情報システムを参照してください。または、Microsoft 社の Web サイトで『Microsoft Windows BitLocker ドライブ暗号化のステップバイステップガイド』を参照してください。

暗号機能付きハードディスク・ドライブと暗号機能付きソリッド・ステート・ドライブ

一部のモデルには、暗号機能付きハードディスク・ドライブと暗号機能付きソリッド・ステート・ドライブが装備されています。これは、ハードウェアの暗号化チップを使用して、メディア、NAND フラッシュやデバイス・コントローラーのセキュリティーに対する攻撃から ThinkPad を保護する機能です。暗号化機能を有効に使用するには、内部ストレージ・デバイスにハードディスク・パスワードを設定してください。

セキュリティー・チップの設定

機密情報を電子的に転送するネットワーク・クライアント・コンピューターでは、厳密なセキュリティー要件が要求されます。コンピューターの一部のモデルには、暗号処理専用のマイクロ・プロセッサである、エンベデッド・セキュリティー・チップが装備されています。セキュリティー・チップでは、次のことができます。

- データおよびシステムの保護
- アクセス制御の強化
- 通信を安全にする

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

『Security Chip』サブメニューの項目を設定するには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオフにします。5 秒待ってから、再度コンピューターの電源をオンにします。
2. ログ画面が表示されたら、F1 キーを押して ThinkPad Setup プログラムを起動します。
3. 方向キーを使用して、『Security』 → 『Security Chip』を選択します。
4. Enter キーを押します。『Security Chip』サブメニューが開きます。
5. 方向キーを使用して、設定したい項目に移動します。項目が強調表示されたら、Enter キーを押します。
6. 項目を設定します。
7. F10 を押します。『Setup Confirmation』ウィンドウが表示されます。『Yes』を選択し、構成変更を保存して終了します。

注：

- 『ThinkPad Setup』でスーパーバイザー・パスワードが設定されていることを確認します。このパスワードが設定されていない場合は、誰でも、セキュリティー・チップの設定を変更できます。
- セキュリティー・チップが無効 (Inactive) または使用不可 (Disabled) に設定されている場合、『**Clear Security Chip**』オプションは画面に表示されません。
- セキュリティー・チップを消去したい場合は、セキュリティー・チップを有効『**Active**』に設定してから、コンピューターの電源をオフにして再度オンにしてください。そうしないと、『**Clear Security Chip**』オプションは表示されません。

指紋センサーの使用

モデルによっては、コンピューターに指紋センサーが装備されていることがあります。指紋認証機能は、パスワード (Windows パスワード、パワーオン・パスワード、ハードディスク・パスワードなど) の代わりとなるものです。こうして、コンピューターに簡単かつ安全にログオンできます。

指紋認証を有効にするには、まず指紋を登録します。登録中、指紋は Windows パスワードに自動的に関連付けられます。指紋をパワーオン・パスワードおよびハードディスク・パスワードと関連付けるには、手動で接続を作成します。

指紋の登録

指を怪我した場合に備えて、他の指も登録することをお勧めします。指紋を登録するには、次のようにします。

• Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1 の場合

1. Fingerprint Manager Pro プログラムを起動します。Fingerprint Manager Pro プログラムを起動する手順については、15 ページの『Lenovo プログラム』を参照してください。
2. 必要に応じて、Windows パスワードを入力します。
3. 登録する指のアイコンをクリックし、登録が完了するまで、指紋センサーで対応する指を一定の速度でなぞります。
4. 『完了』をクリックします。指紋が正常に登録されます。

指紋センサーの使用方法について詳しくは、Fingerprint Manager Pro プログラムのヘルプ・システムを参照してください。

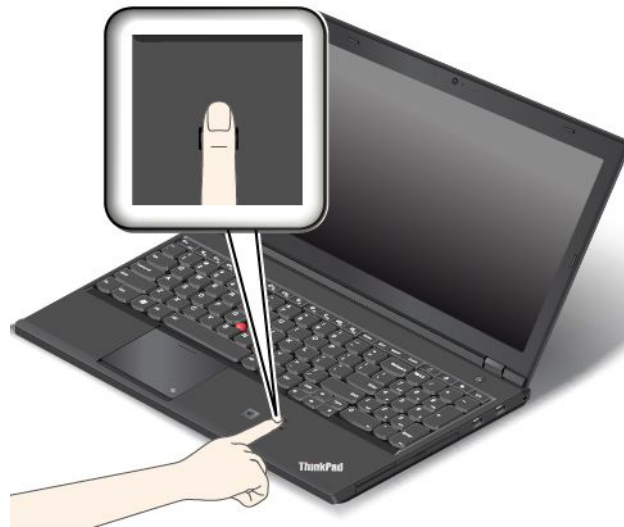
• Windows 10 の場合

1. 『スタート』メニューを開き、『設定』をクリックします。『設定』が表示されない場合は、『すべてのアプリ』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『設定』 → 『アカウント』 → 『サインインオプション』をクリックします。
2. 画面の指示に従って、登録を完了します。

指紋センサーを指でなぞる

センサーに指紋を読み込ませるには、次のようにします。

1. 指の第一関節をセンサーに乗せます。



2. 軽く圧力をかけて、指でセンサーを滑らかに1回なぞります。なぞっている間は、指を放さないでください。



指紋センサーのインジケータの動作



インジケータの動作	説明
緑	指紋センサーで読み取りができる状態です。
黄色	指紋が認証されていません。

指紋をパワーオン・パスワードおよびハードディスク・パスワードに関連付ける

指紋をパワーオン・パスワードおよびハードディスク・パスワードに関連付けるには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオフにして、再びオンにします。
2. プロンプトが出されたら、指で指紋センサーをなぞります。
3. 要求されたら、パワーオン・パスワード、ハードディスク・パスワード、または両方を入力します。接続が作成されます。

コンピューターを再度起動すると、Windows パスワード、パワーオン・パスワード、およびハードディスク・パスワードを入力することなく、指紋を使用してコンピューターにログインできるようになります。

注意：コンピューターにログインする際に毎回指紋認証を使用していると、パスワードを忘れる可能性があります。パスワードを書き留めて、安全な場所に保管しておいてください。パワーオン・パスワードを忘れてしまった場合、Lenovo 認定のサービス業者または営業担当員にコンピューターをお預けいただき、パスワードのキャンセルをご依頼いただくことになります。ハードディスク・パスワードを忘れてしまった場合、Lenovo ではパスワードをリセットすることも、ハードディスク・ドライブからデータを回復することもできません。スマートセンターにコンピューターをお預けいただき、ハードディスク・ドライブの交換をご依頼いただくことになります。ご購入を証明する書類が必要です。また、パーツおよびサービスは有料です。

指紋センサーの設定

Fingerprint Manager Pro プログラムがある場合は、このプログラムで指紋センサーを設定できます。また、ThinkPad Setup プログラムで詳細設定を変更することもできます。

Fingerprint Manager Pro プログラムで設定を変更するには、プログラムのメイン・インターフェースで『**設定**』をクリックします。ThinkPad Setup プログラムで設定を変更するには、115 ページの『ThinkPad Setup プログラムの使用』を参照してください。

ThinkPad Setup プログラムで、以下の構成を設定できます。

- **Predesktop Authentication:** オペレーティング・システムがロードされる前の指紋認証を、使用可能または使用不可にします。
- **Reader Priority:** 外付け指紋センサーが装備されている場合は、指紋センサーの優先順位を定義します。
- **Security Mode:** セキュリティー・モードの設定を指定します。
- **Password Authentication:** パスワード認証を使用可能または使用不可にします。

注：この項目は、『**High security**』モードを選択した場合にのみ表示されます。

- **Reset Fingerprint Data:** この項目を選択すると、内蔵と外付けのいずれかの指紋センサーに登録されたすべての指紋認証データを消去できます。

指紋センサーの保守

以下のことを行うと、指紋読み取り部分に傷が付いたり正常に作動しなくなる可能性があります。

- センサー表面を、硬くて先のとがったもので引っかくこと。
- センサー表面を、爪または何か硬いもので引っかくこと。
- 汚れた指でセンサーを使用したり触ったりすること。

下記のような場合には、センサー表面を乾いた柔らかい糸くずの出ない布でふいてください。

- センサーの表面が汚れていたり、染みがある。
- センサーの表面が濡れている。
- センサーが指紋の登録や認証に頻繁に失敗する。

指が下記のような状態であると、指の登録または認証を行えない場合があります。

- 指にしわが多い。
- 指がざらざらしている、乾いている、または傷がある。
- 指が乾いている。
- 指にごみ、泥、または油が付着している。
- 登録した指紋から変化している。
- 指が濡れている。
- 登録した指と異なる指を使用している。

問題を解決するには、以下のことを行ってください。

- 手をきれいに洗って拭くか、指から余分な汚れまたは湿気を取り除く。
- 別の指を認証用に登録して使用する。
- 手が乾燥している場合は、ハンドクリームを塗る。

コンピューターの廃棄・譲渡時のハードディスク・ドライブ上およびソリッド・ステート・ドライブ上のデータ消去に関するご注意

ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブに保存された一部のデータは、機密情報である可能性があります。オペレーティング・システムやアプリケーション・ソフトウェアなどを削除することなくコンピューターを譲渡すると、使用許諾契約違反となる場合もありますので、ご使用のコンピューターを譲渡あるいは廃棄する前に、ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ上のデータを必ず消去してください。

以下の方法で、ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブからデータを消去できます。

- データをごみ箱に捨て、ごみ箱を空にする。
- データを消去する。
- ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを初期化するソフトウェアでフォーマットする。
- Lenovo が提供するリカバリー・プログラムを使い、ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを工場出荷時の状態に戻す。

などの作業をすることが考えられますが、これらのことをしても、ドライブ内に記録されたデータ・ファイルの場所が変更されただけで、データそのものが消されたわけではありません。つまり、Windows などのオペレーティング・システムのもとで、データを呼び出す処理ができなくなっただけです。一見消去されたように見えますが、本来のデータは残っているという状態にあるのです。従って、データを復元する特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターのハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

データが流出するというトラブルを回避するためには、コンピューターの廃棄・譲渡等を行う際に、ドライブに記録された全データを消去することが重要となります。消去するためには、ハードディスク・ドライブ上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。プロセスには数時間かかる場合があります。

ソリッド・ステート・ドライブのデータを廃棄するため、Lenovo では Drive Erase Utility for Resetting the Cryptographic Key and Erasing the Solid State Drive ツールをご用意しています。ハードディスク・ドライブ上のデータを廃棄するためのソフトウェアとして、Lenovo では Secure Data Disposal™ ツールをご用意しています。これらのツールのダウンロードについては、<http://www.lenovo.com/support> を参照してください。

ご使用のコンピューターで暗号機能付きソリッド・ステート・ドライブまたは暗号機能付きハードディスク・ドライブがサポートされ、装備されている場合は、暗号鍵を消去することで、ドライブ上の全データを短時間で論理的に消去することが可能です。古い鍵を使って暗号化されたデータは物理的に消去されずドライブ上に残りますが、復号はその古い鍵以外で実行することはできません。この機能は、Drive Erase Utility for Resetting the Cryptographic Key and Erasing the Solid State Drive ツールでも使用できます。

ファイアウォールの使用

お使いのシステムにファイアウォール・プログラムが初期インストールされている場合、インターネットにおけるセキュリティ上の危険、不正なアクセス、侵入、インターネット攻撃から ThinkPad を保護します。また、プライバシーも保護します。

ファイアウォール・プログラムの使用について詳しくは、プログラムに付属のヘルプ情報システムを参照してください。

ウィルスからのデータの保護

ご使用のコンピューターには、ウィルスを検出して除去するためにアンチウィルス・プログラムが初期インストールされています。アンチウィルス・プログラムは、ウィルスを検出して除去できるように設計されています。

Lenovo は、30 日間無償で使用できる、完全バージョンのアンチウィルス・ソフトウェアを初期インストール済みの状態で提供します。30 日間が経過した後、アンチウィルス・ソフトウェアの更新を継続するにはライセンスを更新する必要があります。

アンチウィルス・ソフトウェアの使用方法について詳しくは、アンチウィルス・ソフトウェアのヘルプ情報システムを参照してください。

第 5 章 リカバリー概要

この章では、リカバリー方法についての情報を記載しています。

- 65 ページの『Windows 7 オペレーティング・システムのリカバリーの概要』
- 70 ページの『Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムのリカバリーの概要』

Windows 7 オペレーティング・システムのリカバリーの概要

ここでは、Windows 7 オペレーティング・システムがプレインストールされている Lenovo に付属するリカバリー方法について説明します。

注：

- ソフトウェアまたはハードウェアが関係した問題が発生した場合に、どのようにリカバリーするかについては、さまざまな方法が選択できます。いくつかの方法は、ご使用のオペレーティング・システムのタイプによって異なります。
- リカバリー・メディアに収録されている製品は、以下の目的にのみ使用できます。
 - ご使用のコンピューターにプリインストールされている製品の復元
 - 製品の再インストール
 - 追加ファイルを使用しての製品の変更

新しいハードディスク・ドライブ・テクノロジーで発生する可能性があるパフォーマンス上のリスクや予期しない動作の可能性を回避するには、次のバックアップ用ソフトウェア・プログラムのいずれかを使用することをお勧めします。

- Rescue and Recovery 4.52 以降
- Symantec Norton Ghost バージョン 15 以降
Symantec Norton Ghost プログラムを起動するには、次のようにします。
 1. 『スタート』 → 『ファイル名を指定して実行』をクリックします。『ファイル名を指定して実行』ウィンドウが開きます。
 2. フィールドに `cmd` と入力します。その後、『OK』をクリックします。
 3. `ghost -align=1mb` と入力して Enter キーを押します。
- Acronis True Image 2010 以降
- Paragon Backup & Recovery 10 Suit 以降、Paragon Backup & Recovery 10 Home 以降

リカバリー・メディアの作成および使用

リカバリー・メディアを使用して、ハードディスク・ドライブを工場出荷時の状態に復元することができます。Recovery Media は、ご使用のコンピューターを他の場所へ移動したり、売却またはリサイクルする場合、あるいはあらゆるリカバリー方法に失敗した後に、コンピューターを操作可能な状態にする場合に役立ちます。障害発生に備えてリカバリー・メディアはできるだけ早く作成しておくことが重要です。

注：リカバリー・メディアを使用して実行できるリカバリー操作は、そのリカバリー・メディアを作成したときのオペレーティング・システムによって異なります。リカバリー・メディアには、ブート・メディアおよびデータ・メディアを含めることができます。Microsoft Windows ライセンスで作成が許可されているデータ・メディアは 1 つのみです。したがって、作成したリカバリー・メディアは必ず安全な場所に保管しておいてください。

リカバリー・メディアの作成

ここでは、リカバリー・メディアの作成方法について説明します。

注：ディスクまたは外部 USB ストレージ・デバイスを使用してリカバリー・メディアを作成できます。

リカバリー・メディアを作成するには、『スタート』 → 『すべてのプログラム』 → 『Lenovo PC Experience』 → 『Lenovo Tools』 → 『Factory Recovery Disks』の順にクリックします。そして、画面の指示に従います。

リカバリー・メディアのご利用にあたって

ここでは、さまざまなオペレーティング・システムでリカバリー・メディアを使用する方法について説明します。

- リカバリー・メディアを使用することにより、コンピューターの工場出荷時の状態への復元のみを行うことができます。リカバリー・メディアは、あらゆるリカバリー方法に失敗した後に、コンピューターを操作可能な状態にするために使用できます。

注意：リカバリー・メディアを使用してコンピューターを工場出荷時の状態に復元すると、ハードディスク・ドライブ上に現在あるすべてのファイルが削除され、工場出荷時の状態に置き換えられます。

リカバリー・メディアを使用するには、次のようにします。

- リカバリー・メディアのタイプに応じて、ブート・メディア (メモリー・キーまたは他の USB ストレージ・デバイス) をコンピューターに接続するか、あるいはブート・ディスクを光学式ドライブに挿入します。
- コンピューターに電源を入れる時に、繰り返し F12 キーを押したり放したりします。『Boot Menu』ウィンドウが開いたら、F12 キーを放します。
- 希望する起動デバイスを選択し、Enter キーを押します。復元処理が開始されます。
- 画面の指示に従って、操作を完了します。

注：

- コンピューターを工場出荷時の状態に復元すると、一部のデバイスのデバイス・ドライバーの再インストールが必要になる場合があります。69 ページの『初期インストール済みプログラムとデバイス・ドライバーの再インストール』を参照してください。
- 一部のコンピューターには、Microsoft Office または Microsoft Works が初期インストールされています。Microsoft Office または Microsoft Works プログラムを復元または再インストールする必要がある場合は、*Microsoft Office CD* または *Microsoft Works CD* を使用する必要があります。これらのディスクは、Microsoft Office または Microsoft Works が初期インストールされたコンピューターにしか付属していません。

バックアップおよびリカバリー操作の実行

Rescue and Recovery プログラムを使用すると、オペレーティング・システム、データ・ファイル、ソフトウェア・プログラム、個人の設定など、ハードディスク・ドライブのすべての内容をバックアップできます。Rescue and Recovery プログラムでバックアップを保存する場所を、以下の中から指定することができます。

- ハードディスク・ドライブの保護された領域
- セカンダリー・ハードディスク・ドライブ (セカンダリー・ハードディスク・ドライブがコンピューターに取り付けられている場合)
- 接続された外付け USB ハードディスク・ドライブ
- ネットワーク・ドライブ
- 記録可能ディスク (記録可能な光学式ドライブが必要です)

ハードディスク・ドライブの内容をバックアップした後は、ハードディスク・ドライブのすべての内容、選択したファイルのみ、または Windows オペレーティング・システムとアプリケーションのみを復元できます。

バックアップ操作の実行

ここでは、Rescue and Recovery プログラムを使用してバックアップ操作を実行する方法について説明します。

1. Windows デスクトップで、『スタート』 → 『すべてのプログラム』 → 『Lenovo PC Experience』 → 『Lenovo Tools』 → 『Enhanced Backup and Restore』の順にクリックします。Rescue and Recovery プログラムが開きます。
2. Rescue and Recovery のメインウィンドウで、**拡張 Rescue and Recovery の起動**をクリックします。
3. 『ハードディスクのバックアップ』をクリックし、バックアップ操作オプションを選択します。次に、画面の指示に従って、バックアップ操作を完了します。

リカバリー操作の実行

ここでは、Rescue and Recovery プログラムを使用してリカバリー操作を実行する方法について説明します。

1. Windows デスクトップで、『スタート』 → 『すべてのプログラム』 → 『Lenovo PC Experience』 → 『Lenovo Tools』 → 『Enhanced Backup and Restore』の順にクリックします。Rescue and Recovery プログラムが開きます。
2. Rescue and Recovery プログラムのメインウィンドウで、『**拡張 Rescue and Recovery の起動**』をクリックします。
3. 『バックアップからシステムを復元する』アイコンをクリックします。
4. 画面の指示に従って、リカバリー操作を完了します。

Rescue and Recovery ワークスペースの使用

Rescue and Recovery ワークスペースは、Windows オペレーティング・システムから独立して稼働する、保護されて非表示になっているハードディスク上の領域に常駐しています。このため、Windows オペレーティング・システムを起動できない場合でも、リカバリー操作を実行できます。Rescue and Recovery ワークスペースからは、以下のリカバリー操作を実行することができます。

● ハードディスク・ドライブまたはバックアップからファイルをレスキューする

Rescue and Recovery ワークスペースによって、ハードディスク上でファイルを見つけ、それらをネットワーク・ドライブやその他の記録可能メディア (USB デバイス、ディスクなど) に転送することができます。このソリューションは、ファイルをバックアップしていなかった場合や最後にバックアップ操作を行った後にファイルを変更した場合でも使用できます。また、ローカル・ハードディスク・ドライブ、USB デバイス、またはネットワーク・ドライブにある Rescue and Recovery バックアップから個々のファイルをレスキューすることもできます。

● Rescue and Recovery バックアップからハードディスク・ドライブを復元する

Rescue and Recovery プログラムを使用してハードディスク・ドライブのバックアップ操作を行うとき、Windows オペレーティング・システムを起動できない場合でも Rescue and Recovery バックアップからハードディスク・ドライブを復元できます。

● ハードディスク・ドライブを工場出荷時の状態に復元する

Rescue and Recovery ワークスペースによって、ハードディスク・ドライブのすべての内容を工場出荷時の状態に復元することができます。ハードディスク・ドライブに複数のパーティションがある場合は、工場出荷時の状態を C: パーティションに復元し、その他のパーティションを現存のままにすることもできます。Rescue and Recovery ワークスペースは Windows オペレーティング・システムから独立して稼働するため、Windows オペレーティング・システムを起動できない場合でも出荷時の状態の復元が可能です。

注意： Rescue and Recovery のバックアップからハードディスク・ドライブを復元する場合、またはハードディスク・ドライブを工場出荷時の状態に復元する場合、1次ハードディスク・ドライブ・パーティション (通常は C: ドライブ) 上のすべてのファイルはリカバリー処理中に削除されます。できれば、重要なファイルはコピーしておいてください。Windows オペレーティング・システムを起動できない場合、Rescue and Recovery ワークスペースの『ファイルのレスキュー』機能を使用して、ハードディスクから他のメディアにファイルをコピーすることができます。

Rescue and Recovery ワークスペースを開始するには、次の手順を実行します。

1. 電源がオフになっていることを確認してください。
2. コンピューターに電源を入れる時に、繰り返し F11 キーを押したり放したりします。ビープ音が聞こえるか、ロゴ画面が開いたら、F11 キーを押すのを停止します。
3. Rescue and Recovery パスワードを設定してある場合は、画面に表示されるメッセージに従い、パスワードを入力します。Rescue and Recovery ワークスペースが開きます。

注： Rescue and Recovery ワークスペースが開かない場合は、70 ページの『リカバリー問題の解決』を参照してください。

4. 以下のいずれかを実行します。
 - ハードディスク・ドライブまたはバックアップからファイルをレスキューする場合は、『**ファイルのレスキュー**』をクリックし、画面の指示に従います。
 - Rescue and Recovery のバックアップからハードディスク・ドライブを復元する場合、またはハードディスク・ドライブを工場出荷時の状態に復元する場合は、『**システムの復元**』をクリックし、画面の指示に従います。

Rescue and Recovery ワークスペースの機能に関する詳細については、『**ヘルプ**』をクリックしてください。

注：

1. ハードディスク・ドライブを工場出荷時の状態に復元すると、一部のデバイスのデバイス・ドライバーの再インストールが必要になる場合があります。69 ページの『初期インストール済みプログラムとデバイス・ドライバーの再インストール』を参照してください。
2. 一部のコンピューターには、Microsoft Office または Microsoft Works が初期インストールされています。Microsoft Office または Microsoft Works プログラムを復元または再インストールする必要がある場合は、*Microsoft Office CD* または *Microsoft Works CD* を使用する必要があります。これらのディスクは、Microsoft Office または Microsoft Works が初期インストールされたコンピューターにしか付属していません。

レスキュー・メディアの作成および使用

ディスクまたは USB ハードディスク・ドライブなどのレスキュー・メディアを使用すると、ハードディスク上の Rescue and Recovery ワークスペースにアクセスできなくなる障害からリカバリーすることができます。

注：

1. レスキュー・メディアを使用して実行できるリカバリー操作は、オペレーティング・システムによって異なります。
2. レスキュー・ディスクはあらゆるタイプの光学式ドライブで起動できます。

レスキュー・メディアの作成

ここでは、レスキュー・メディアの作成方法について説明します。

1. Windows デスクトップで、『**スタート**』 → 『**すべてのプログラム**』 → 『**Lenovo PC Experience**』 → 『**Lenovo Tools**』 → 『**Enhanced Backup and Restore**』の順にクリックします。Rescue and Recovery プログラムが開きます。
2. Rescue and Recovery のメインウィンドウで、『**拡張 Rescue and Recovery の起動**』をクリックします。

3. 『レスキュー・メディアの作成』アイコンをクリックします。『レスキューと復元メディアの作成』ウィンドウが開きます。
4. 『レスキュー・メディア』領域で、作成するレスキュー・メディアのタイプを選択します。レスキュー・メディアを作成するには、ディスク、USB ハードディスク・ドライブ、またはセカンダリ内蔵ハードディスク・ドライブを使用できます。
5. 『OK』をクリックし、画面の指示に従ってレスキュー・メディアを作成します。

レスキュー・メディアの使用

ここでは、作成したレスキュー・メディアの使用方法について説明します。

- ディスクを使用してレスキュー・メディアを作成した場合、以下の手順に従ってレスキュー・メディアを使用してください。
 1. コンピューターの電源をオフにします。
 2. コンピューターに電源を入れる時に、繰り返し F12 キーを押したり放したりします。『Boot Menu』ウィンドウが開いたら、F12 キーを放します。
 3. 『Boot Menu』ウィンドウで、目的の光学式ドライブを最初の起動デバイスとして選択します。次に、レスキュー・ディスクを光学式ドライブに挿入し、Enter キーを押します。レスキュー・メディアが起動します。
- USB ハードディスク・ドライブを使用してレスキュー・メディアを作成した場合、以下の手順に従ってレスキュー・メディアを使用してください。
 1. USB ハードディスク・ドライブをコンピューターの USB コネクタの 1 つに接続します。
 2. コンピューターに電源を入れる時に、繰り返し F12 キーを押したり放したりします。『Boot Menu』ウィンドウが開いたら、F12 キーを放します。
 3. 『Boot Menu』ウィンドウで、USB ハードディスク・ドライブを最初の起動デバイスとして選択し、Enter キーを押します。レスキュー・メディアが起動します。

レスキュー・メディアが起動すると、Rescue and Recovery ワークスペースが開きます。Rescue and Recovery ワークスペースから、各機能のヘルプ情報を参照することができます。指示に従って、リカバリー・プロセスを完了します。

初期インストール済みプログラムとデバイス・ドライバーの再インストール

ThinkPad に初期インストール済みのプログラムとデバイス・ドライバーを再インストールすることができます。

インストール済みのプログラムの再インストール

初期インストールされたアプリケーション・プログラムを再インストールするには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオンにします。
2. C:\YSWTOOLS ディレクトリーに移動します。
3. APPS フォルダーを開きます。このフォルダーには、さまざまな初期インストール・アプリケーションに対応した名前のサブフォルダーがいくつかあります。
4. 再インストールするアプリケーションのサブフォルダーを開きます。
5. 『Setup』をダブルクリックし、画面の指示に従ってアプリケーションを再インストールします。

初期インストール済みデバイス・ドライバーの再インストール

注意：デバイス・ドライバーを再インストールすると、ご使用のコンピューターの現在の設定が変更されます。デバイス・ドライバーの再インストールは、コンピューターに起こった問題を修正する目的でのみ行ってください。

工場出荷時に取り付けられたデバイスのデバイス・ドライバーを再インストールするには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオンにします。
2. C:\SWTOOLS ディレクトリーに移動します。
3. DRIVERS フォルダーを開きます。このフォルダーには、ご使用のコンピューターに接続されたさまざまなデバイス (オーディオ、ビデオなど) に応じて命名されたサブフォルダーがいくつかあります。
4. デバイスのサブフォルダーを開きます。
5. 以下のいずれかの手順でデバイス・ドライバーを再インストールします。
 - デバイスのサブフォルダーで、テキスト・ファイル (拡張子が .txt というファイル) を探します。このテキスト・ファイルには、デバイス・ドライバーの再インストール方法が含まれています。
 - デバイスのサブフォルダーにセットアップ情報のファイル (拡張子が .INF というファイル) がある場合、Windows の『コントロールパネル』の『ハードウェアの追加』を使用して、デバイス・ドライバーを再インストールすることができます。しかし、これですべてのデバイス・ドライバーを再インストールできるわけではありません。『ハードウェアの追加』プログラムで、インストールするデバイス・ドライバーを求めるプロンプトが表示されたら、『**ディスク使用**』または『**参照**』をクリックしてください。次に、デバイス・サブフォルダーからデバイス・ドライバーのファイルを選択します。
 - デバイスのサブフォルダーで、実行可能ファイル (拡張子が .exe というファイル) を探します。このファイルをダブルクリックし、画面の指示に従います。

注意：お使いのコンピューターのデバイス・ドライバーを更新する際は、Windows Update の Web サイトからではなく、Lenovo の Web サイトからダウンロードしてください。詳しくは、138 ページの『最新のデバイス・ドライバーの確認』を参照してください。

リカバリー問題の解決

Rescue and Recovery ワークスペースまたは Windows 環境にアクセスできない場合は、次のいずれかを実行します。

- レスキュー・メディアを使用して、Rescue and Recovery ワークスペースを起動する。68 ページの『レスキュー・メディアの作成および使用』を参照してください。
- あらゆるリカバリー方法に失敗し、ハードディスク・ドライブを工場出荷時の状態に復元する場合、リカバリー・メディアを使用する。65 ページの『リカバリー・メディアの作成および使用』を参照してください。

注：レスキュー・メディアまたはリカバリー・メディアから Rescue and Recovery ワークスペースまたは Windows 環境にアクセスできない場合は、レスキュー・デバイス (内蔵ハードディスク・ドライブ、ディスク、USB ハードディスク・ドライブ、またはその他の外付けデバイス) を始動デバイスの順序で最初の起動デバイスに設定していない可能性があります。最初に、ThinkPad Setup プログラムで、使用するレスキュー・デバイスが始動デバイス順序で最初の起動デバイスに設定されていることを確認する必要があります。始動デバイス順序の一時的または永続的な変更については、131 ページの『『Startup』メニュー』を参照してください。

レスキュー・メディアおよびリカバリー・メディア・セットはできるだけ早く作成し、将来使用できるように安全な場所に保管しておくことが重要です。

Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムのリカバリーの概要

ここでは、Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システム向けのリカバリー方法について説明します。

Windows リカバリー・イメージは、コンピューター上のリカバリー・パーティションにプレインストールされています。Windows リカバリー・イメージを使用すると、コンピューターの更新や、コンピューターの工場出荷時の状態へのリセットを行うことができます。

Windows リカバリー・イメージのバックアップまたは交換として、リカバリー・メディアを作成できます。リカバリー・メディアを使用すると、Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティング・システムを起動できない場合でも、コンピューターの問題のトラブルシューティングと修正を行うことができます。リカバリー・メディアはできるだけ早く作成することをお勧めします。詳しくは、72 ページの『リカバリー・メディアの作成および使用』を参照してください。

コンピューターを最新の情報に更新する

コンピューターが正常に機能せず、最近インストールしたプログラムが問題の原因と考えられる場合は、ユーザー・ファイルの消失や設定変更なしにコンピューターを最新の情報に更新できます。

注意：コンピューターを最新の情報に更新すると、コンピューターにプレインストールされていたプログラムや、Windows ストアからインストールしたプログラムは再インストールされますが、他のプログラムはすべて削除されます。

コンピューターを最新の情報に更新するには、次のようにします。

1. オペレーティング・システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - **Windows 8 の場合：**
ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『全般』の順にクリックします。
 - **Windows 8.1 の場合：**
ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『保守と管理』 → 『回復』をクリックします。
2. 『PC をリフレッシュする』セクションで『開始する』をクリックします。
3. 画面の指示に従って、コンピューターを更新します。

コンピューターを工場出荷時の状態にリセットする

コンピューターをリサイクルする場合や初期化する場合は、工場出荷時の状態にコンピューターをリセットできます。コンピューターのリセットによって、オペレーティング・システムが再インストールされるほか、コンピューターにプレインストールされていたすべてのプログラムが再インストールされ、すべての設定が工場出荷時の状態にリセットされます。

注意：コンピューターを工場出荷時の状態にリセットすると、すべての個人用ファイルと設定が削除されます。データ損失を防ぐためには、保存しておきたいすべてのデータのバックアップ・コピーを作成してください。

コンピューターを工場出荷時の状態にリセットするには、次のようにします。

1. オペレーティング・システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - **Windows 8 の場合：**
ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『全般』の順にクリックします。
 - **Windows 8.1 の場合：**
ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。『設定』 → 『PC 設定の変更』 → 『保守と管理』 → 『回復』をクリックします。
2. 『すべてを削除して Windows を再インストールする』セクションで『開始する』をクリックします。『次へ』をクリックして、操作を決定します。

- 必要に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - クイック・フォーマットを実行するには、『**ファイルの削除のみ行う**』をクリックしてプロセスを開始します。プロセスには数分間かかる場合があります。
 - 完全なフォーマットを実行するには、『**ドライブを完全にクリーンアップする**』をクリックしてプロセスを開始します。プロセスには数時間かかる場合があります。
- 画面の指示に従って、コンピューターを工場出荷時の状態にリセットします。

PC の起動オプションの使用

PC の起動オプションを使用すると、コンピューターのファームウェア設定の変更、Windows オペレーティング・システムの起動設定の変更、外部デバイスからのコンピューターの起動、システム・イメージからの Windows オペレーティング・システムの復元を行うことができます。

PC の起動オプションを使用するには、次のようにします。

- オペレーティング・システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - Windows 8 の場合:**
ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。『**設定**』 → 『**PC 設定の変更**』 → 『**全般**』の順にクリックします。
 - Windows 8.1 の場合:**
ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示します。『**設定**』 → 『**PC 設定の変更**』 → 『**保守と管理**』 → 『**回復**』をクリックします。
- 『**PC の起動をカスタマイズする**』セクションで、『**今すぐ再起動する**』 → 『**トラブルシューティング**』 → 『**詳細オプション**』の順にクリックします。
- 目的の起動オプションを選択し、画面の指示に従います。

Windows 8 または Windows 8.1 が起動しない場合のオペレーティング・システムの復元

コンピューターの Windows 回復環境は、Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティング・システムから独立して稼働させることができます。このため、Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティング・システムが起動しない場合でも、オペレーティング・システムをリカバリーまたは修復できます。

2 回連続してブートに失敗した場合、Windows 回復環境は自動的に開始されます。画面に表示される指示に従って、修復およびリカバリーのオプションを選択します。

注: リカバリー処理中は、コンピューターが AC 電源に接続されていることを確認します。

リカバリー・メディアの作成および使用

Windows 回復環境と Windows リカバリー・イメージのバックアップとして、リカバリー・メディアを作成できます。コンピューターを起動できない場合は、リカバリー・メディアを使用すると、コンピューターの問題のトラブルシューティングと修正を行うことができます。

リカバリー・メディアはできるだけ早く作成することをお勧めします。リカバリー・メディアを作成したら、安全な場所に保管してください。リカバリー・メディアを他のデータの保存用として使用しないでください。

リカバリー・メディアの作成

リカバリー・メディアを作成するには、8 GB 以上のストレージ容量を持つ USB ドライブが必要です。必要な USB の容量は、リカバリー・イメージのサイズによって異なります。

注意：リカバリー・メディアを作成すると、USBドライブに保存されていたデータはすべて削除されます。データ損失を防ぐためには、保存しておきたいすべてのデータのバックアップ・コピーを作成してください。

リカバリー・メディアを作成するには、次のようにします。

注：コンピューターが AC 電源に接続されていることを確認します。

1. ポインターを画面の右上または右下に移動してチャームを表示し、『**検索**』をクリックします。
2. オペレーティング・システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - **Windows 8 の場合：**
『**検索**』フィールドに recovery と入力して、『**設定**』をクリックします。次に、『**回復ドライブの作成**』をクリックします。
 - **Windows 8.1 の場合：**
『**検索**』フィールドに recovery と入力して、『**検索**』をクリックします。次に、『**回復ドライブの作成**』をクリックします。
3. 『ユーザーアカウント制御』ウィンドウで『**はい**』をクリックすると、Recovery Media 作成ツール・プログラムを起動できます。
4. 『**回復パーティションを PC から回復ドライブにコピーします。**』オプションがオンになっていることを確認します。『**次へ**』をクリックします。

重要：『**回復パーティションを PC から回復ドライブにコピーします。**』オプションをオフにすると、回復パーティションのコンテンツを含まないリカバリー・メディアが作成されます。リカバリー・メディアからコンピューターを起動できますが、コンピューターの回復パーティションが破損している場合、コンピューターをリカバリーできない場合があります。

5. 適切な USB ドライブを接続してから、『**次へ**』をクリックします。
6. 『**回復ドライブ**』ウィンドウの『**作成**』をクリックします。リカバリー・メディアの作成が開始されます。
7. リカバリー・メディアの作成が完了したら、次のいずれかを実行します。
 - コンピューター上の回復パーティションを維持する場合は、『**完了**』をクリックします。
 - コンピューター上の回復パーティションを削除する場合は、『**回復パーティションの削除**』をクリックします。

注意：コンピューター上の回復パーティションを削除する場合は、リカバリー・メディアを安全な場所に保管してください。Windows リカバリー・イメージはコンピューターに保存されません。コンピューターの更新やリセットには、リカバリー・メディアが必要になります。

8. USB ドライブを取り外します。リカバリー・メディアは正常に作成されました。

リカバリー・メディアのご利用にあたって

コンピューターを起動できない場合や、コンピューターの Windows 回復イメージを開始できない場合は、リカバリー・メディアを使用して、コンピューターをリカバリーします。

リカバリー・メディアを使用するには、次のようにします。

注：コンピューターが AC 電源に接続されていることを確認します。

1. コンピューターの電源をオンにするか、再起動します。Windows オペレーティング・システムが起動する前に、F12 キーを繰り返し押します。『**Boot Menu**』ウィンドウが開きます。
2. 起動デバイスとして回復ドライブを選択します。
3. 希望する言語を選択してから、キーボード・レイアウトを選択します。
4. 『**トラブルシューティング**』をクリックして、オプションのリカバリー方法を表示します。

5. 状況に応じて、対応するリカバリー・ソリューションを選択します。たとえば、コンピューターを工場出荷時の状態にリセットする場合は、『**PCを初期状態に戻す**』を選択します。

Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムに付属するリカバリー方法の詳細については、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=263800>

Windows 10 オペレーティング・システムのリカバリーの概要

Windows 回復プログラムを使用して、ご使用のコンピューターのリセットや高度な起動オプションの使用ができます。

リカバリー USB ドライブはできるだけ早く作成することをお勧めします。リカバリー USB ドライブはバックアップとして保存するか、または Windows 回復プログラムと交換してください。

詳しくは、75 ページの『リカバリー USB ドライブの作成および使用』を参照してください。

コンピューターのリセット

コンピューターの調子がよくない場合、コンピューターのリセットを検討する場合があります。リセット処理では、ファイルを保存するか削除するかを選択して Windows オペレーティング・システムを再インストールできます。

コンピューターをリセットするには、次のようにします。

注：オペレーティング・システムのグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) 項目は予告なしに変更される場合があります。

1. 『スタート』メニューを開き、『**設定**』をクリックします。『**設定**』が表示されない場合は、『**すべてのアプリ**』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『**設定**』 → 『**更新とセキュリティ**』 → 『**回復**』をクリックします。
2. 『**この PC を初期状態に戻す**』セクションで、『**開始する**』をクリックします。
3. 画面の指示に従って、コンピューターをリセットします。

PC の起動オプションの使用

PC の起動オプションを使用すると、コンピューターのファームウェア設定の変更、Windows オペレーティング・システムの起動設定の変更、外部デバイスからのコンピューターの起動、システム・イメージからの Windows オペレーティング・システムの復元を行うことができます。

PC の起動オプションを使用するには、次のようにします。

注：オペレーティング・システムの GUI 項目は予告なしに変更される場合があります。

1. 『スタート』メニューを開き、『**設定**』をクリックします。『**設定**』が表示されない場合は、『**すべてのアプリ**』をクリックしてすべてのプログラムを表示し、『**設定**』 → 『**更新とセキュリティ**』 → 『**回復**』をクリックします。
2. 『**PC の起動をカスタマイズする**』セクションで、『**今すぐ再起動する**』 → 『**トラブルシューティング**』 → 『**詳細オプション**』の順にクリックします。
3. 目的の起動オプションを選択し、画面の指示に従います。

Windows 10 が起動しない場合のオペレーティング・システムの復元

コンピューターの Windows 回復環境は、Windows 10 オペレーティング・システムから独立して稼働させることができます。このため、Windows 10 オペレーティング・システムが起動しない場合でも、オペレーティング・システムをリカバリーまたは修復できます。

2回連続してブートに失敗した場合、Windows 回復環境は自動的に開始されます。画面に表示される指示に従って、修復およびリカバリーのオプションを選択します。

注：リカバリー処理中は、コンピューターが AC 電源に接続されていることを確認します。

リカバリー USB ドライブの作成および使用

Windows 回復プログラムのバックアップとして、リカバリー USB ドライブを作成できます。リカバリー USB ドライブを使用すると、初期インストールされている Windows の回復プログラムに損傷があっても、問題のトラブルシューティングと修正を行うことができます。

リカバリー USB ドライブの作成

リカバリー USB ドライブの作成に使用するドライブは、16 GB 以上のストレージが必要です。実際に必要な USB の容量は、リカバリー・イメージのサイズによって異なります。

注意：作成処理で USB ドライブに保存されていたデータはすべて削除されます。データ損失を防ぐためには、保存しておきたいすべてのデータのバックアップ・コピーを作成してください。

新しいリカバリー USB ドライブを作成するには、次のようにします。

注：以下の処理中は、コンピューターが AC 電源に接続されていることを確認します。

1. 適切な USB ドライブ (ストレージが 16 GB 以上) を接続します。
2. タスクバーの検索ボックスに『recovery』と入力します。次に、『回復ドライブの作成』をクリックします。
3. 『ユーザーアカウント制御』ウィンドウで『はい』をクリックすると、Recovery Media 作成ツール・プログラムを起動できます。
4. 『回復ドライブ』ウィンドウで、画面の指示に従ってリカバリー USB ドライブを作成します。

リカバリー USB ドライブの使用

コンピューターを起動できない場合は、トピック143 ページの『問題判別』にある対応する項目を参照し、お客様自身で問題の解決を試みてください。それでもコンピューターを起動できない場合は、リカバリー USB ドライブを使用してコンピューターをリカバリーします。

リカバリー USB ドライブを使用するには、以下のようになります。

注：コンピューターが AC 電源に接続されていることを確認します。

1. コンピューターにリカバリー USB ドライブを接続します。
2. コンピューターの電源をオンにするか、再起動します。Windows オペレーティング・システムが起動する前に、F12 キーを繰り返し押します。『Boot Menu』ウィンドウが開きます。
3. 起動デバイスとしてリカバリー USB ドライブを選択します。
4. 優先するキーボードのレイアウトを選択します。
5. 『トラブルシューティング』をクリックして、オプションのリカバリー方法を表示します。
6. 状況に応じて、対応するリカバリー・ソリューションを選択します。画面の指示に従って、処理を完了します。

第 6 章 デバイスの交換

ここでは、コンピューターのハードウェアの取り付けと交換の方法について説明します。

- 77 ページの『静電気の防止』
- 77 ページの『バッテリー・パックの交換』
- 79 ページの『SIM カードの取り付けまたは交換』
- 80 ページの『UltraBay デバイスの交換』
- 83 ページの『メモリー・モジュールの交換』
- 85 ページの『ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブの交換』
- 88 ページの『ワイヤレス LAN カードの交換』
- 92 ページの『ワイヤレス WAN カードの交換』
- 95 ページの『コイン型電池の交換』
- 97 ページの『キーボードの交換』

静電気の防止

静電気は人体には無害ですが、ご使用のコンピューターのコンポーネントやオプションには重大な損傷を与える可能性があります。静電気に弱い部品を不適切に取り扱くと、部品を損傷する恐れがあります。オプションまたは CRU を開梱するときは、部品を取り付ける指示があるまで、部品が入っている帯電防止パッケージを開けないでください。

オプションまたは CRU を取り扱うか、コンピューター内部で作業を行うときは、静電気による損傷を避けるために以下の予防措置を取ってください。

- あまり動かないようにしてください。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- コンポーネントは常に注意して取り扱う。アダプター、メモリー・モジュール、およびその他の回路ボードを取り扱うときは、縁を持ってください。回路のはんだ付けした部分には決して手を触れないでください。
- 他の人がコンポーネントに触れないようにする。
- 静電気に弱いオプションまたは CRU を取り付ける際には、部品が入っている帯電防止パッケージを、コンピューターの金属の拡張スロット・カバーか、その他の塗装されていない金属面に 2 秒間以上接触させる。これによって、パッケージや人体の静電気を放電することができます。
- 静電気に弱い部品を帯電防止パッケージから取り出した後は、部品をできるだけ下に置かず、コンピューターに取り付けます。これができない場合は、帯電防止パッケージを平らな場所に置き、その上に部品を置くようにしてください。
- コンピューターのカバーやその他の金属面の上に部品を置かないようにする。

バッテリー・パックの交換

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

このシステムは、本システム向けに設計され、Lenovo または認定された業者によって製造されたバッテリーのみをサポートします。このシステムでは、認定されていないバッテリー、または他のシステム向けに設計されたバッテリーはサポートしません。無許可のバッテリーまたは他のシステム向けに設計されたバッテリーを取り付けても、システムは充電されず、以下のメッセージが表示されます。

『取り付けられているバッテリーはこのシステムではサポートされないため、充電は行われません。ご使用のシステムに適した Lenovo バッテリーに交換してください』

注意：Lenovo は、無許可のバッテリーのパフォーマンスおよび安全性について責任を負うものではありません。また、使用に起因するエラーや損害について一切保証いたしません。



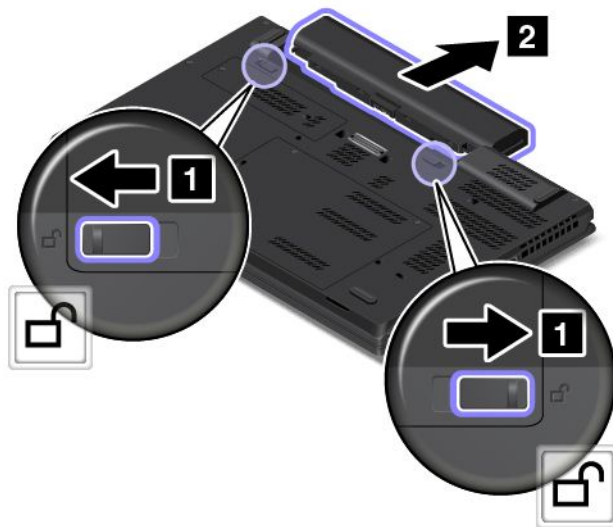
危険

充電式バッテリー・パックの交換は正しく行わないと、破裂のおそれがあります。バッテリー・パックには、少量の有害物質が含まれています。充分ご注意ください。

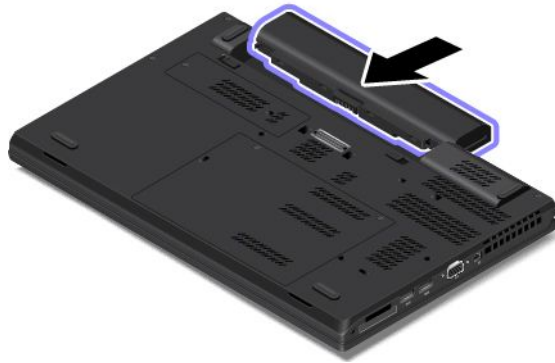
- 必ず、Lenovo が推奨するタイプのバッテリーと交換してください。
- バッテリー・パックを火気に近づけないでください。
- 加熱したり、高温状態で放置しないでください。
- 水やその他の液体をかけないでください。
- ショートさせないでください。
- バッテリーを落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。電池を乱用したり、誤操作を行うと、電池が過熱して、バッテリー・パックやコイン型電池から煙や炎が『噴き出す』場合があります。

バッテリー・パックを交換するには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオフにします。次に、コンピューターから AC 電源アダプターとすべてのケーブルを取り外します。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックのラッチをアンロック位置にスライドさせてアンロックします **1**。次に、バッテリー・パックを取り外します **2**。



4. カチッと音がするまで、新しいバッテリー・パックを挿入します。



5. 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

SIM カードの取り付けまたは交換

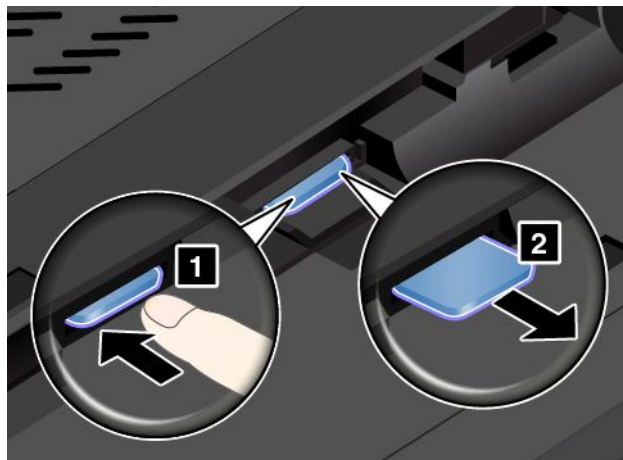
作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

SIM カードは小さなプラスチック・カードで、カードの片面に集積回路 (IC) チップが装着されています。

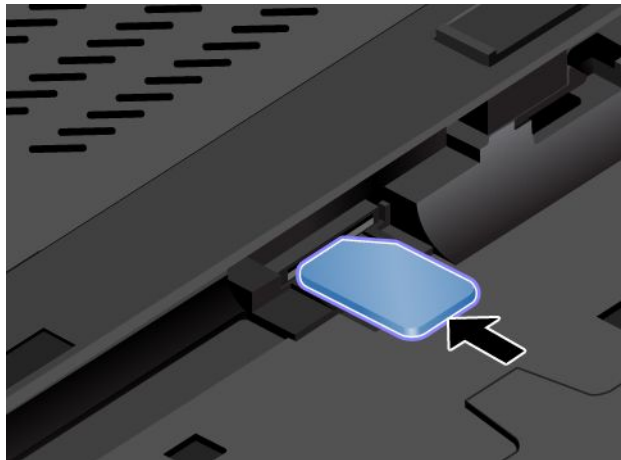
ご使用のコンピューターに SIM カード・スロットが付属している場合、ワイヤレス WAN 接続を確立するために SIM カードが必要になることがあります。出荷先の国または地域によっては、SIM カードを購入する必要がある場合もあれば、SIM カードがコンピューターに既に取り付けられているか、コンピューターに同梱されている場合もあります。

ワイヤレス SIM カードを取り付けるか、または交換するには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3分から5分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
4. バッテリー・コンパートメントの内部にある SIM カード・スロットを探します。SIM カードがスロットに既に挿入されている場合は、SIM カードを押してスロットから取り外します。



5. 新しい SIM カードを、金属端子を上に向けた状態でスロットに差し込みます。次に、カチッと音がするまで、新しい SIM カードをスロットに挿入します。



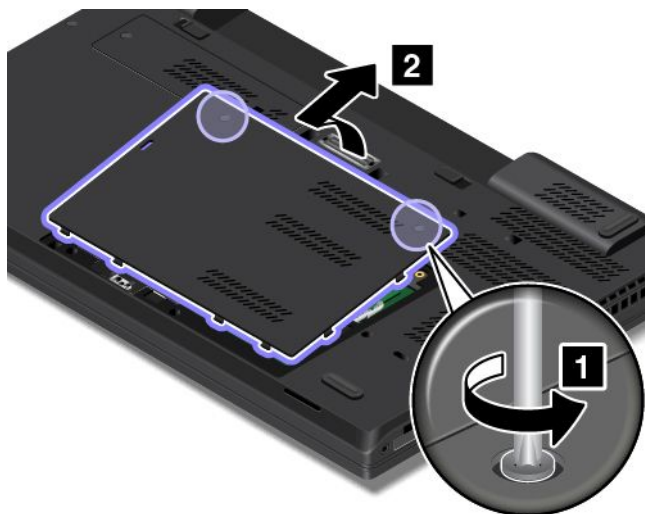
6. その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
7. 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

UltraBay デバイスの交換

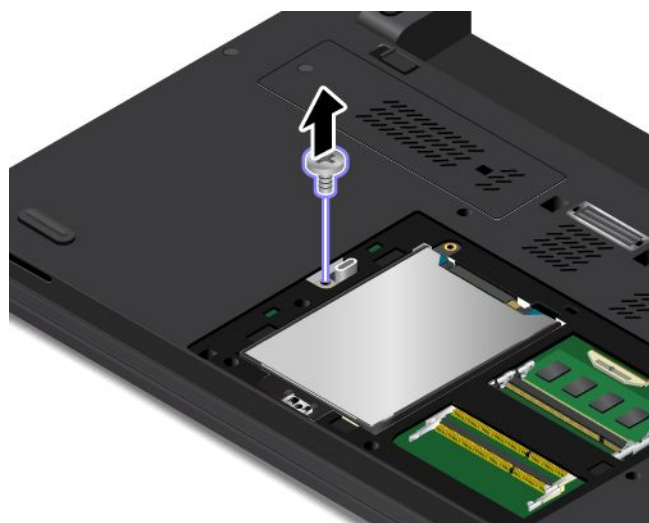
作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

UltraBay デバイスを交換するには、次のようにします。

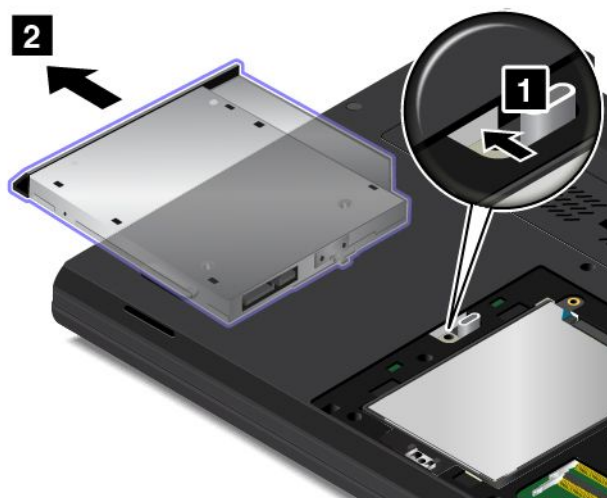
1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3 分から 5 分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
4. ねじを緩め **1**、大型の下部カバーを取り外します **2**。



5. Ultrabay デバイスを固定しているねじを取り外します。



6. Ultrabay デバイスを押し出して一部が出るようにします **1**。必要に応じて、ボール・ペンなどを使用してください。コンピューターから Ultrabay デバイスを引き出します **2**。



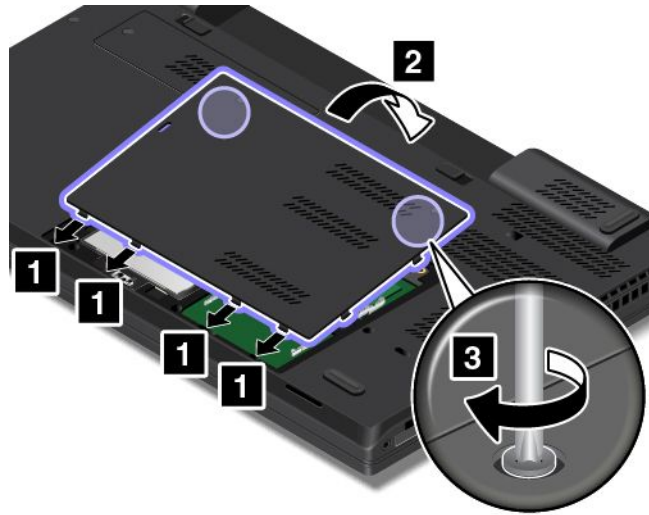
7. 新しい Ultrabay デバイスをベイに挿入します。



8. ねじをもう一度取り付けて、Ultrabay デバイスを固定します。



9. 大型の下部カバーを取り付け直し **1 2**、ねじを締めます **3**。



10. その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
11. 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

メモリー・モジュールの交換

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

メモリー容量を増やすことは、プログラムの実行速度を速くするのに効果的な方法です。メモリー・モジュールを交換または追加するには、以下の注意事項を読み、その後手順に従ってください。

注：メモリー・モジュールの動作速度は、システム構成によって変化します。ある条件下では、コンピューターのメモリー・モジュールが最速で作動しない場合があります。

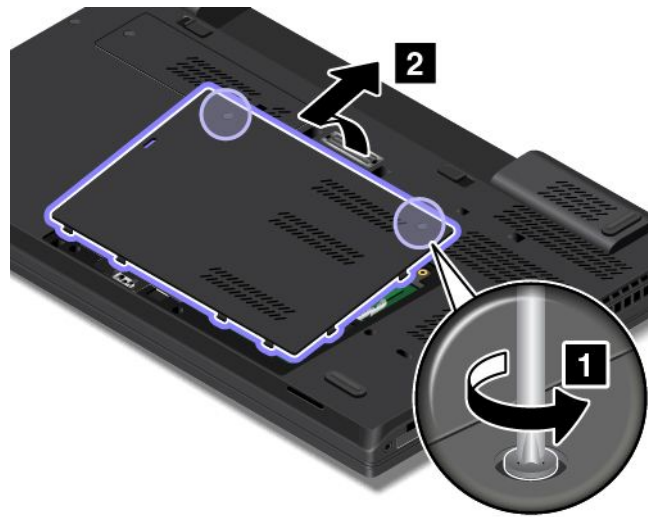
注意：メモリー・モジュールを取り付ける前に、金属製のテーブルまたは接地 (アース) された金属製品に触れてください。これを行うと、身体の静電気が減少します。静電気はメモリー・モジュールを損傷させる恐れがあります。

メモリー・モジュールの交換

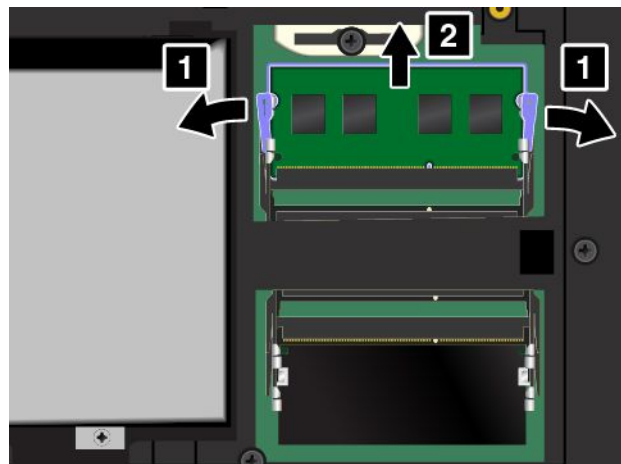
メモリー・モジュールを交換するには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3 分から 5 分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。

4. ねじを緩め **1**、大型の下部カバーを取り外します **2**。



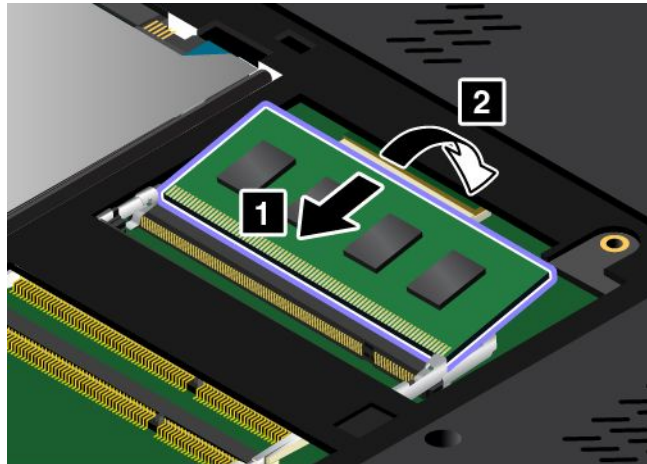
5. メモリー・スロットの両側のラッチ部分を同時に開いて **1**、メモリー・モジュールを取り外します **2**。取り外したメモリー・モジュールは将来使用できるように大切に保管しておいてください。



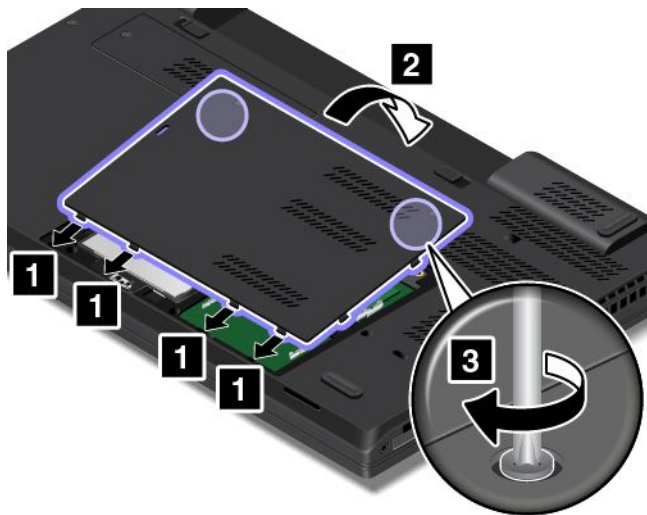
- 新しいメモリー・モジュールの切り欠きをメモリー・スロットの突起に合わせて、メモリー・モジュールを約20度の角度でメモリー・スロットに差し込んでから、しっかりと押し込みます**1**。カチッと音がして正しい位置に収まるまでメモリー・モジュールを手前に倒します**2**。メモリー・モジュールがメモリー・スロットにしっかりと固定されていて、簡単に動かないことを確認します。

注意：メモリー・モジュールの接続部分には手を触れないでください。逆向きに接続しようとする
と、メモリー・モジュールが損傷する恐れがあります。

注：メモリー・モジュールを1つだけ取り付ける場合は、下部スロットに取り付けてください。



- 大型の下部カバーを取り付け直し**1****2**、ねじを締めます**3**。



- その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
- 裏返したコンピューターを元に戻します。AC電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブの交換

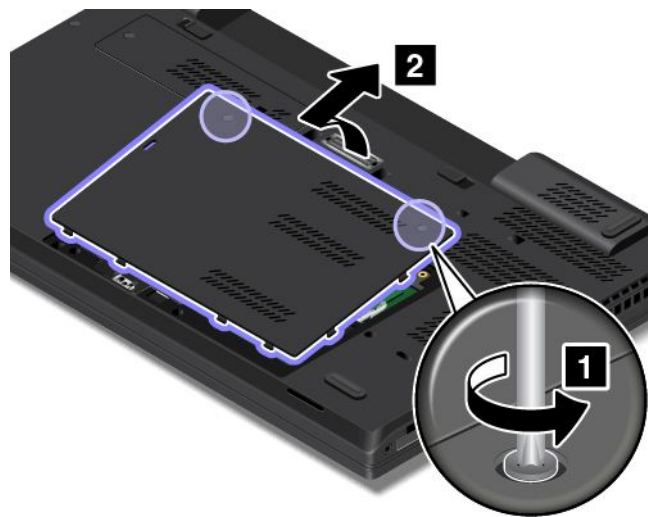
作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

注意：ハードディスク・ドライブやソリッド・ステート・ドライブは衝撃に非常に敏感です。取り扱いを誤ると、重大な損傷やデータ損失の原因となります。次のガイドラインをよくお読みください。

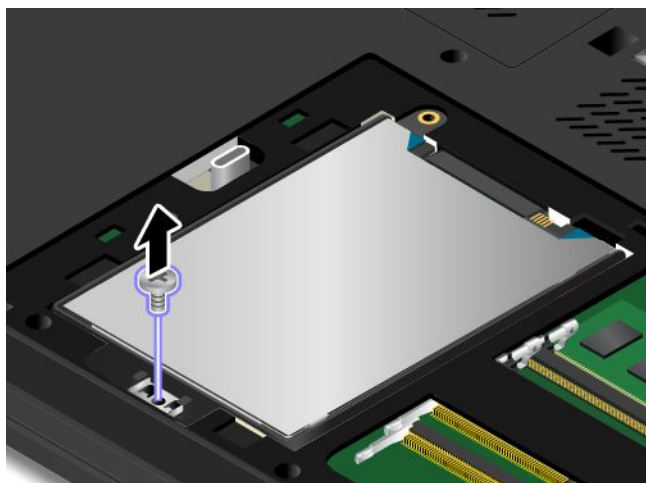
- ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブの交換は、アップグレードや修理の目的でのみ行ってください。ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブのコネクターとスロットは、頻繁な着脱やドライブの交換に耐えるようには設計されていません。
- ドライブを落としたり、物理的な衝撃を与えないでください。物理的な衝撃を吸収する物質 (柔らかい布など) の上にドライブを置いてください。
- ドライブのカバーに圧力をかけないでください。
- コネクターには触れないでください。
- ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを取り外す前に、ドライブ内のすべての情報のバックアップ・コピーを作成してから、コンピューターの電源をオフにしてください。
- システムが作動しているとき、スリープ状態または休止状態にあるときは、ハードディスク・ドライブを絶対に取り外さないでください。

ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを交換するには、次のようにします。

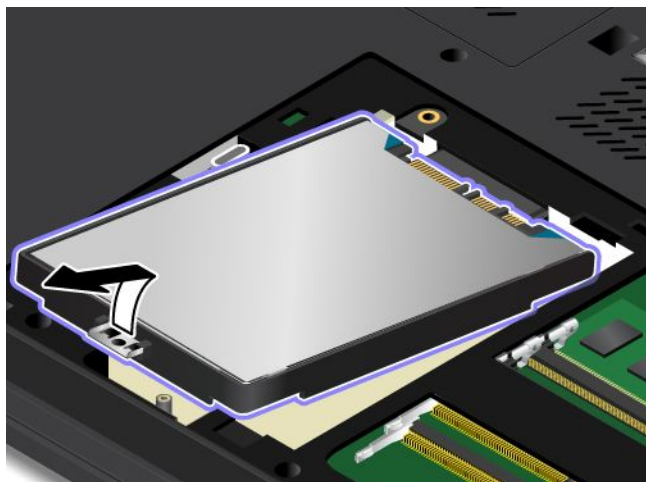
1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3分から5分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
4. ねじを緩め **1**、大型の下部カバーを取り外します **2**。



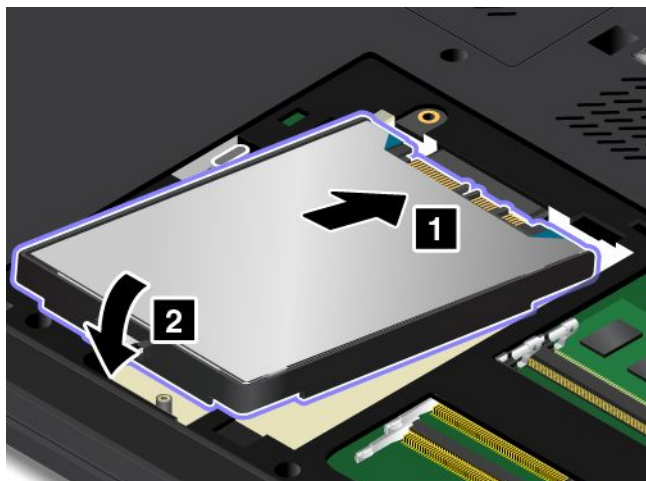
5. ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを固定しているねじを取り外します。



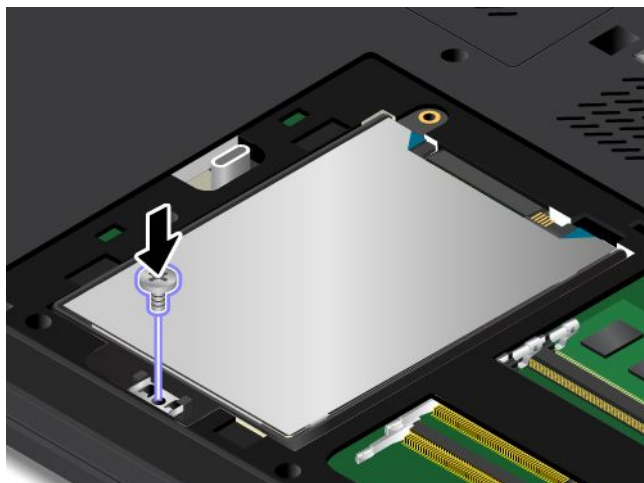
6. ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを取り外します。



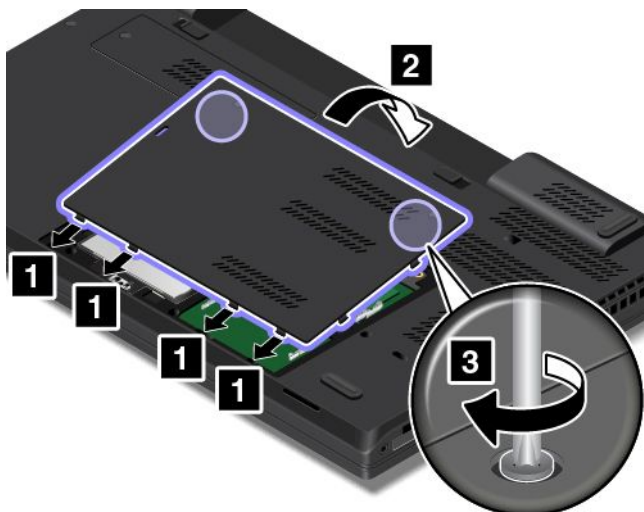
7. 所定の位置に新しいハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを取り付けます。



- ねじをもう一度取り付けて、ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを固定します。



- 大型の下部カバーを取り付け直し **1** **2**、ねじを締めます **3**。



- その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
- 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

ワイヤレス LAN カードの交換

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。



危険

雷雨時には、交換を行ったり壁の電話のモジュラー・ジャックからケーブルを抜き差ししたりしないでください。



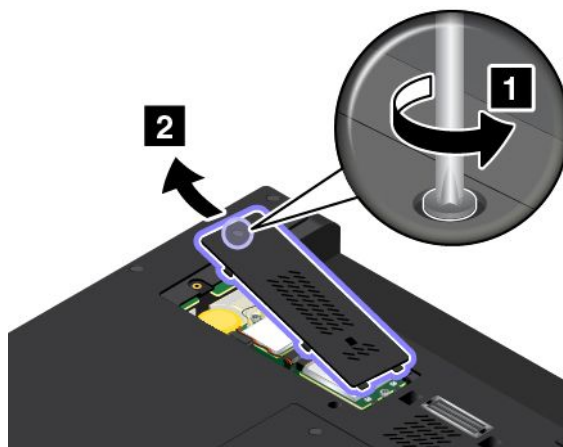
危険

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、このスロットのカバーを開く前にケーブルを取り外してください。

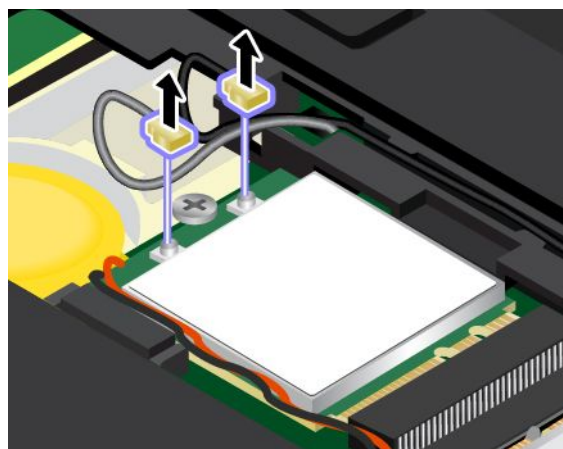
注意：ワイヤレス LAN カードを取り付ける前に、金属製のテーブルまたは接地 (アース) された金属製品に触れてください。これを行うと、身体の静電気が減少します。静電気はカードを損傷させる恐れがあります。

ワイヤレス LAN カードを交換するには、次のようにします。

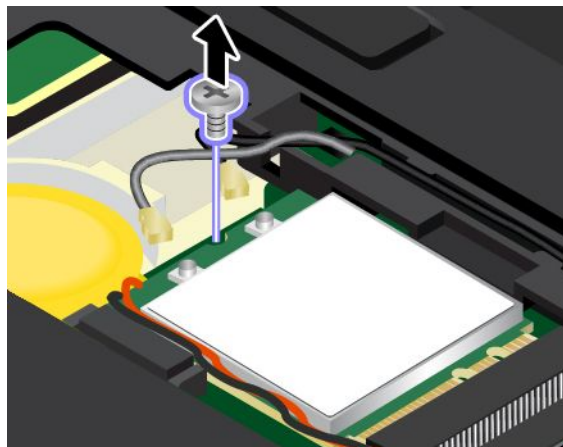
1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3 分から 5 分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
4. ねじを緩め **1**、それから小型の下部カバーを取り外します **2**。



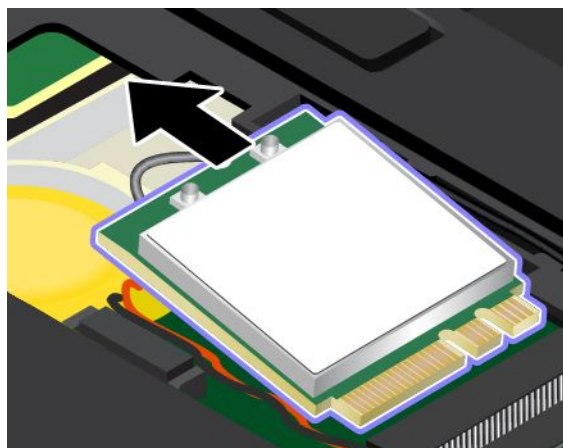
5. 新しいワイヤレス LAN カードにケーブル取り外しツールが同梱されている場合はそれを使用して、ワイヤレス LAN カードからケーブルを取り外します。ツールが無ければ、ケーブル・コネクタを指で引き上げて、各ケーブルをワイヤレス LAN カードからそっと取り外してください。



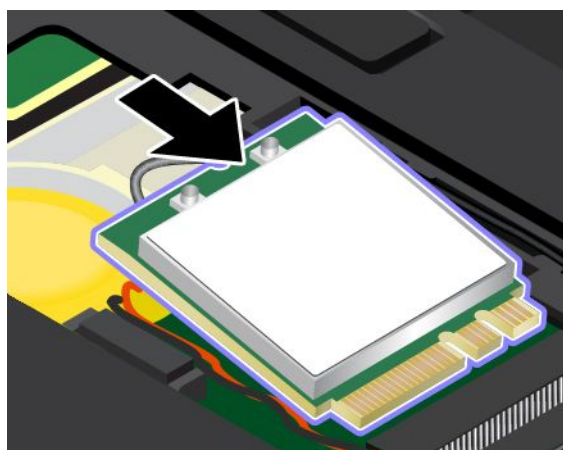
6. ねじを取り外します。ワイヤレス LAN カードが固定位置から解放され、上方に持ち上がります。



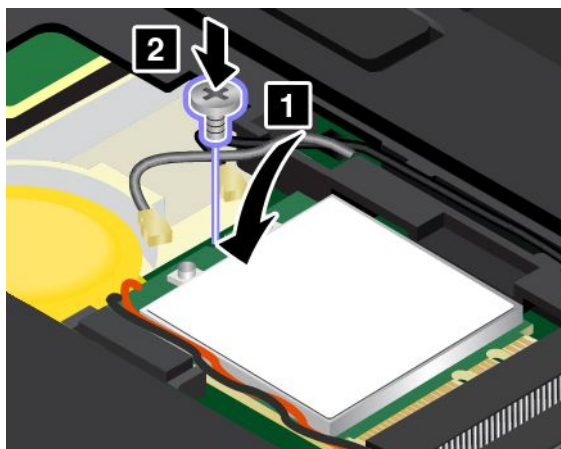
7. ワイヤレス LAN カードをスロットからそっと取り出します。



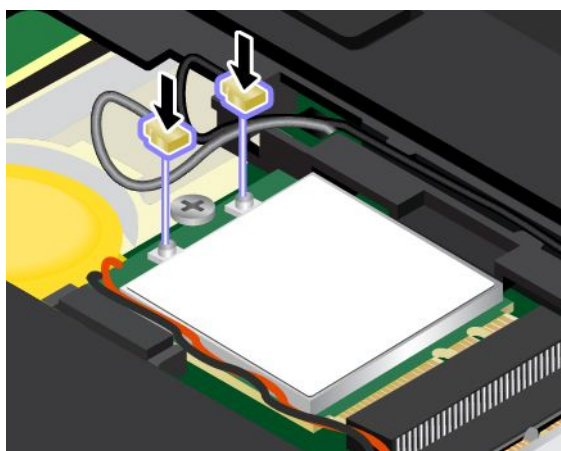
8. 新しいワイヤレス LAN カードの接続部分をスロットのキーに合わせて。次に、新しいワイヤレス LAN カードを約 20 度の角度でスロットに慎重に挿入します。



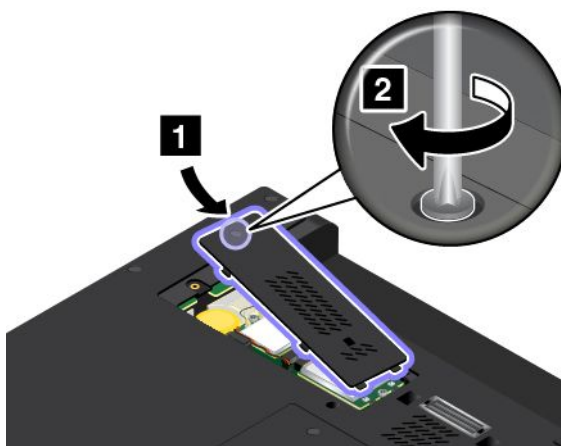
9. ワイヤレス LAN カードを下げ **1**、ねじでワイヤレス LAN カードを定位置に固定します **2**。



10. ワイヤレス LAN カードにアンテナ・ケーブルを接続します。グレーのケーブルをメイン・コネクタに、黒いケーブルをワイヤレス LAN カードの補助コネクタに、それぞれ接続してください。



11. 小型の下部カバーを取り付け直します **1**。それから、ねじを締めます **2**。



12. その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
13. 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

ワイヤレス WAN カードの交換

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

ワイヤレス WAN カードの交換および取り付け作業の際のご注意



雷雨時には、交換を行ったり壁の電話のモジュラー・ジャックからケーブルを抜き差ししたりしないでください。

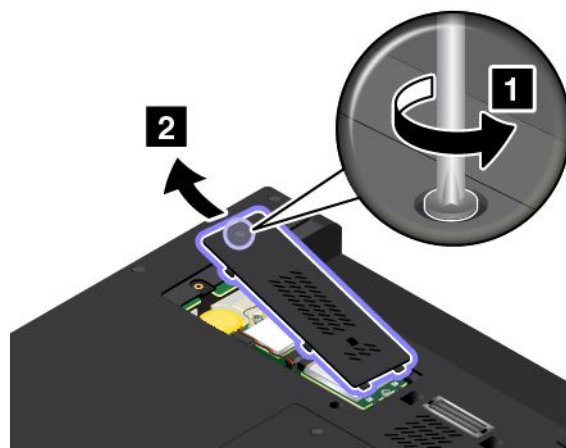


電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、このスロットのカバーを開く前にケーブルを取り外してください。

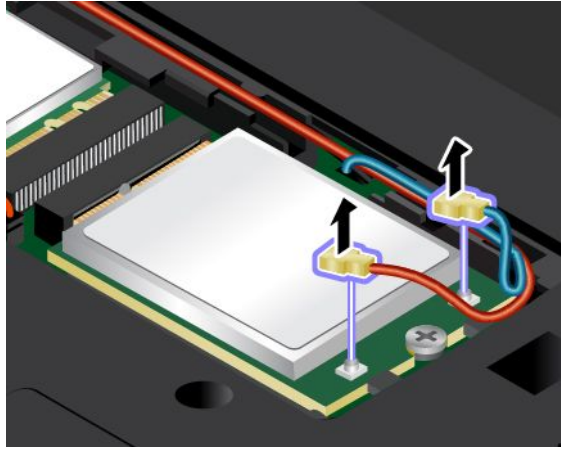
注意：ワイヤレス WAN カードを取り付ける前に、金属製のテーブルまたは接地 (アース) された金属製品に触れてください。これを行うと、身体の静電気が減少します。静電気はカードを損傷させる恐れがあります。

ご使用のコンピューターには、ワイヤレス WAN カードが装備されていることがあります。ワイヤレス WAN カードを交換するには、次のようにします。

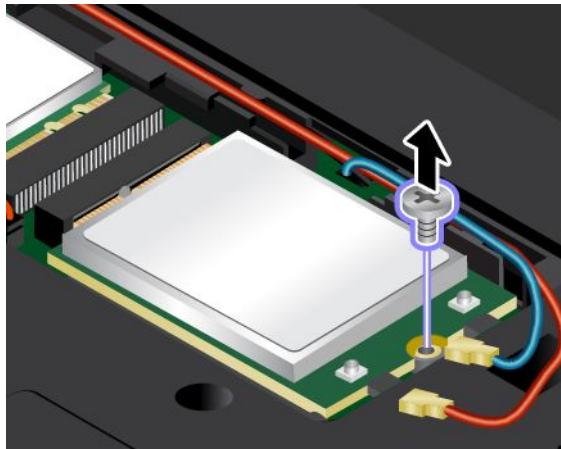
1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3 分から 5 分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
4. ねじを緩め **1**、それから小型の下部カバーを取り外します **2**。



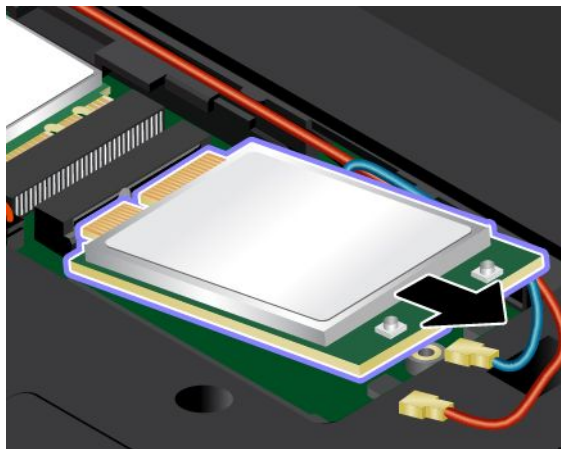
5. ワイヤレス WAN カードにケーブル取り外しツールが同梱されている場合はそれを使用して、ワイヤレス WAN カードからケーブルを取り外します。ツールが無ければ、ケーブル・コネクタを指で引き上げて、各ケーブルをワイヤレス WAN カードからそっと取り外してください。



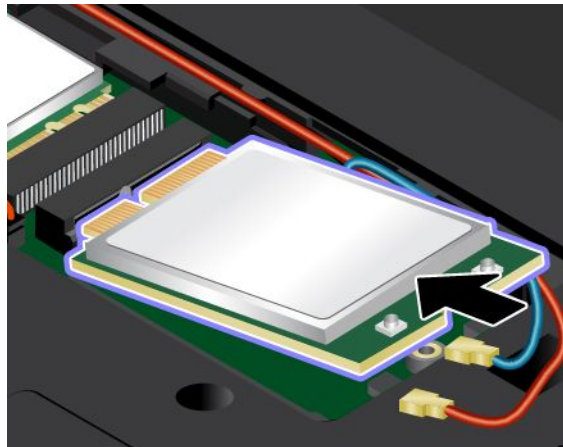
6. ねじを取り外します。ワイヤレス WAN カードが固定位置から解放され、上方に持ち上げられます。



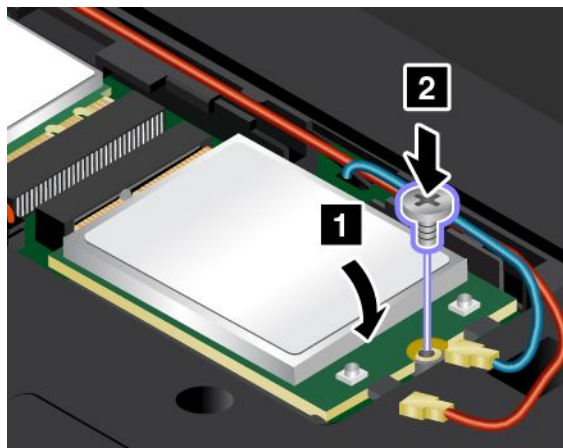
7. ワイヤレス WAN カードをスロットからそっと取り出します。



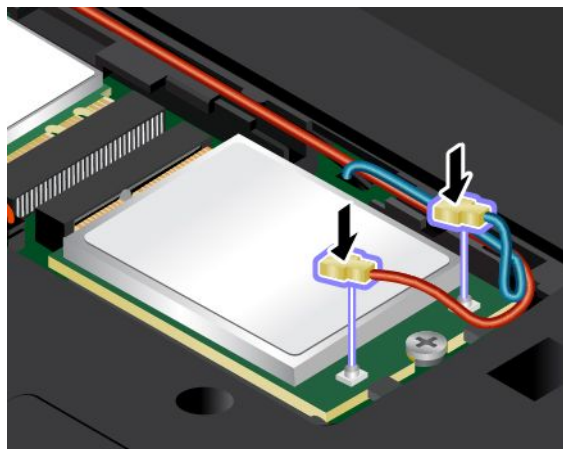
8. 新しいワイヤレス WAN カードの接続部分をスロットのキーに合わせて。次に、新しいワイヤレス WAN カードを約 20 度の角度でスロットに慎重に挿入します。



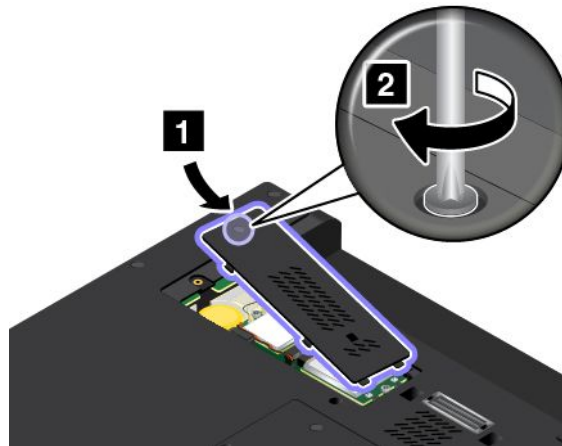
9. ワイヤレス WAN カードを下げ **1**、ねじでワイヤレス WAN カードを定位置に固定します **2**。



10. ワイヤレス WAN カードにアンテナ・ケーブルを接続します。赤いケーブルをメイン・コネクタに、青いケーブルをワイヤレス WAN カードの補助コネクタに、それぞれ接続してください。



11. 小型の下部カバーを取り付け直します **1**。それから、ねじを締めます **2**。



12. その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
13. 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

コイン型電池の交換

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

作業の際のご注意



危険

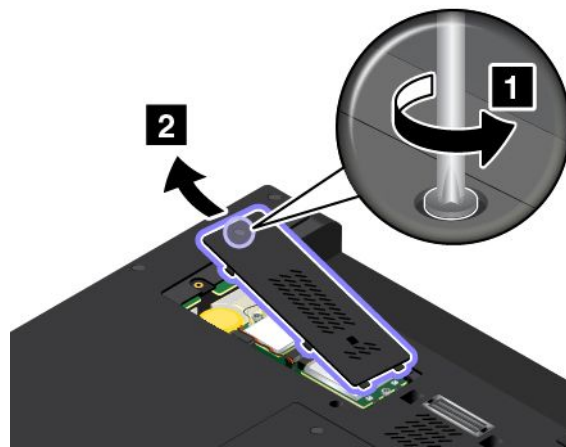
コイン型電池の交換は正しく行わないと、破裂のおそれがあります。コイン型電池には少量の有害物質が含まれているため、充分ご注意ください。

- 必ず、Lenovo が推奨するタイプのバッテリーと交換してください。
- バッテリー・パックを火気に近づけないでください。
- 加熱したり、高温状態で放置しないでください。
- 水やその他の液体をかけないでください。
- ショートさせないでください。
- バッテリーを落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。電池を乱用したり、誤操作を行うと、電池が過熱して、バッテリー・パックやコイン型電池から煙や炎が『噴き出す』場合があります。

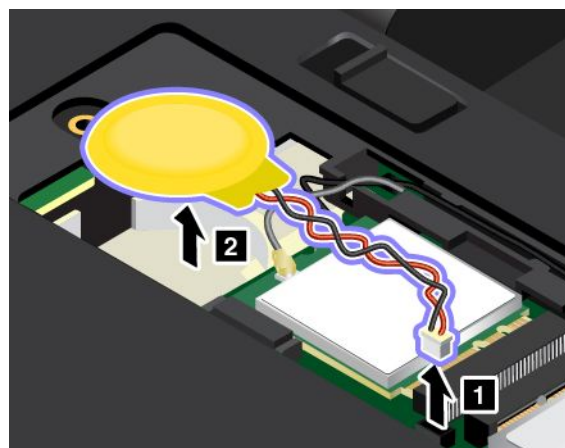
コイン型電池を交換するには、次のようにします。

1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3 分から 5 分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。

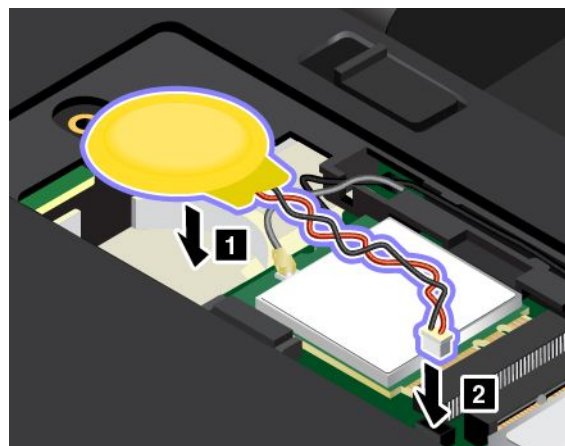
4. ねじを緩め **1**、それから小型の下部カバーを取り外します **2**。



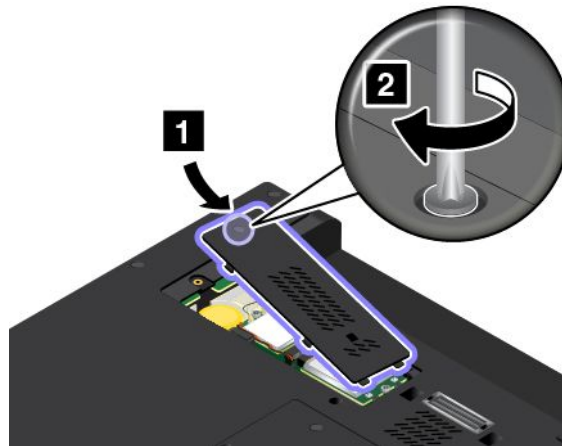
5. コネクターを取り外し **1**、コイン型電池を取り外します **2**。



6. 新しいコイン型電池を取り付け **1**、コネクターを取り付けます **2**。



7. 小型の下部カバーを取り付け直します **1**。それから、ねじを締めます **2**。



8. その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
9. 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

キーボードの交換

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。



雷雨時には、交換を行ったり壁の電話のモジュラー・ジャックからケーブルを抜き差ししたりしないでください。



電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、このスロットのカバーを開く前にケーブルを取り外してください。

キーボードの取り外し

キーボードを取り外すには、次のように行います。

1. コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターやケーブル類をすべて取り外します。3 分から 5 分間、コンピューターの温度が下がるまでお待ちください。
2. コンピューター・カバーを閉じて、コンピューターを裏返します。
3. バッテリー・パックを取り外します。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。

4. 新しいキーボードの配送用パッケージにあるキーボード・マルチツールを見つけます。次の図は、キーボード・マルチツールを示しています。



5. キーボード・フレームの下のねじの頭を出すには、キーボード・マルチツールの平らな方でキーボード・フレームを 2.5 mm (0.1 インチ) 前方にスライドさせます。



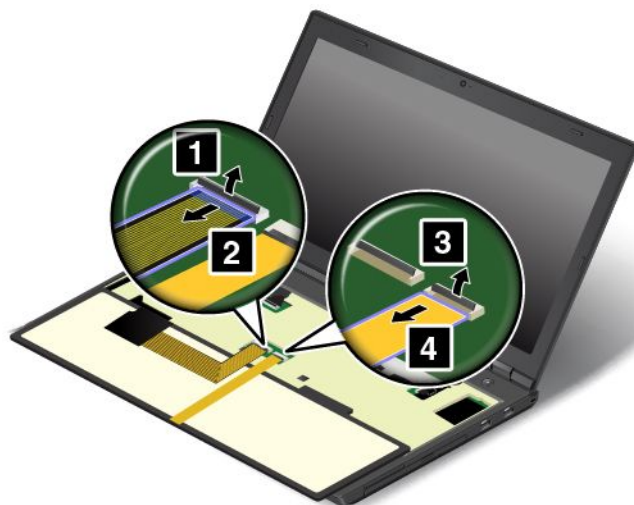
6. キーボード・マルチツールの十字の方でキーボードを固定しているねじを緩めます。



7. キーボードの底面のコネクタが見えるまで、キーボードを持ち上げます **1**。次に、キーボードを裏返します **2**。



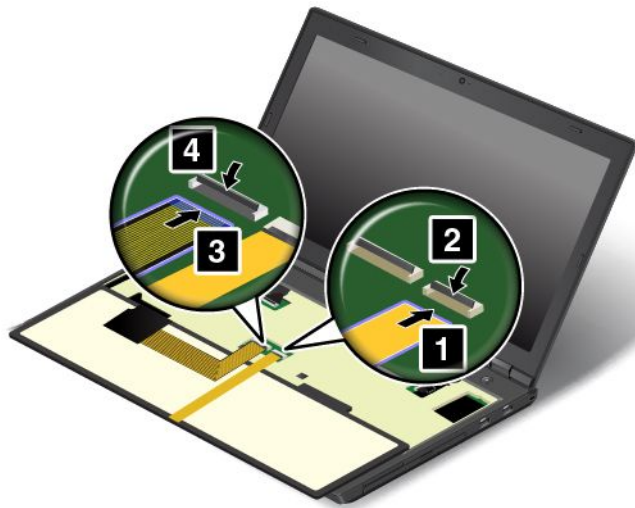
8. キーボードをそっとパームレストに乗せ、コネクタを取り外します。次に、キーボードを取り外します。



新しいキーボードの取り付け

新しいキーボードを取り付けるには、次のようにします。

1. コネクタを接続し、キーボードを裏返します。



2. 下図のように、キーボード・ベゼルのフレームの下に来るようにキーボードを取り付けます。キーボード手前の端がキーボード・ベゼルのフレームより下にあることを確認してください。



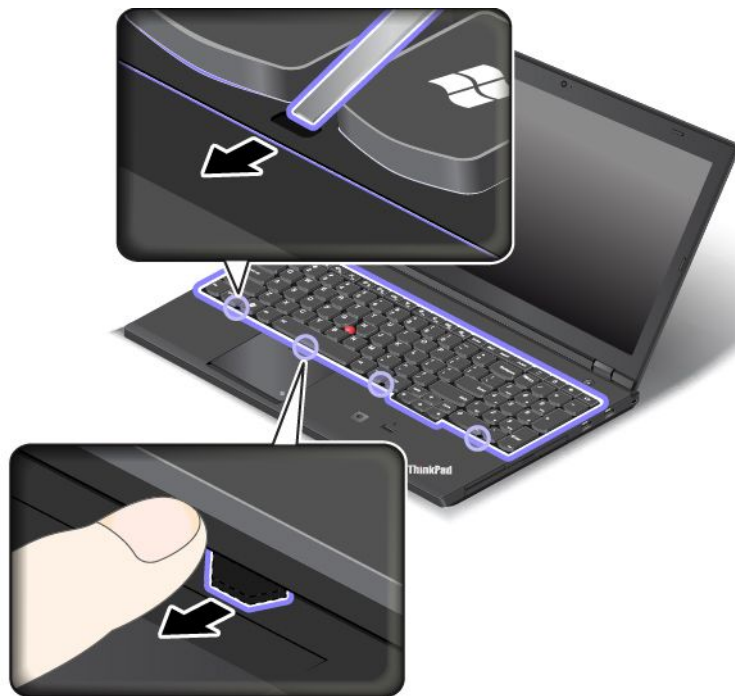
3. キーボード・マルチツールの平らな方でキーボード・フレームを前方にスライドさせ、ねじの頭が見えるようにします。ねじの頭が完全に出ていることを確認してください。



4. キーボード・マルチツールの十字の方でねじを締め、キーボードを定位置に固定します。



5. キーボード・マルチツールの平らな方でキーボードを後方に 2.5 mm (0.1 インチ) スライドさせます。次の図に示すように、ラッチを指で押し込み、キーボード・フレームのラッチをキーボード・ベゼルの下に隠します。



6. キーボード・マルチツールの平らな方でキーボード・フレームの位置を調整し、すべてのラッチがキーボード・ベゼルの下に固定されていることを確認します。



7. その後、バッテリー・パックを再度取り付けます。77 ページの『バッテリー・パックの交換』を参照してください。
8. 裏返したコンピューターを元に戻します。AC 電源アダプターとすべてのケーブルを本体に接続します。

第 7 章 オプションや周辺機器の利用

この章では、ハードウェア・デバイスを使用してコンピューターの機能を拡張する方法について説明します。

- 103 ページの『ThinkPad のオプション製品を探す』
- 103 ページの『ThinkPad ドッキング・ステーション』

ThinkPad のオプション製品を探す

コンピューターの機能を拡張したい場合、Lenovo ではさまざまなハードウェア・アクセサリや、アップグレードするためのオプションを用意しています。メモリー・モジュール、ストレージ・デバイス、ネットワーク・カード、ポート・リプリケーターまたはドッキング・ステーション、バッテリー、電源アダプター、プリンター、スキャナー、キーボード、マウス、その他を取り揃えています。

Lenovo の Web サイトでは、土日も含め、毎日 24 時間ショッピングができます。お手元にクレジット・カードをご用意のうえ、インターネットに接続してください。

Lenovo の製品は、次の Web サイトでご購入いただけます。
<http://www.lenovo.com/essentials>

ThinkPad ドッキング・ステーション

コンピューターの機能を拡張するには、コンピューターをサポートされるドッキング・ステーションに接続します。モデルによっては、次のドッキング・ステーションがサポートされていることがあります。

- ThinkPad Basic Dock
- ThinkPad Pro Dock
- ThinkPad Ultra Dock

警告：

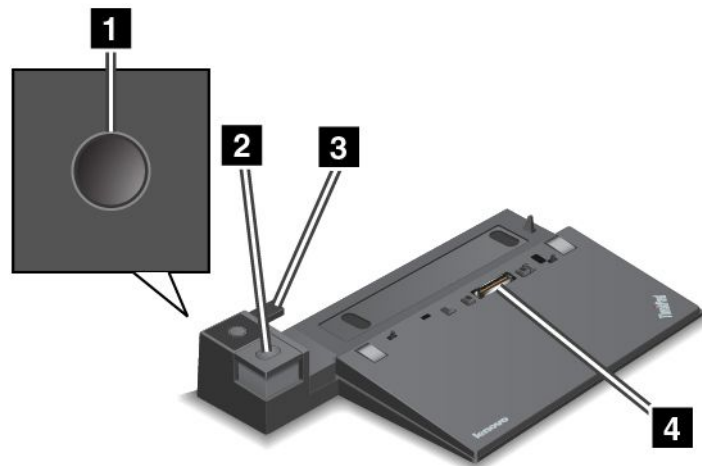
コンピューターをドッキング・ステーションに接続しているときは、コンピューターだけを持って全体を持ち上げようとしないでください。常に一体化したものの全体を持つようにしてください。

ThinkPad ドッキング・ステーション上のコントロールおよびコネクターの位置

このセクションでは、ThinkPad ドッキング・ステーション上のコントロールおよびコネクターの位置について説明します。

ThinkPad Basic Dock

前面



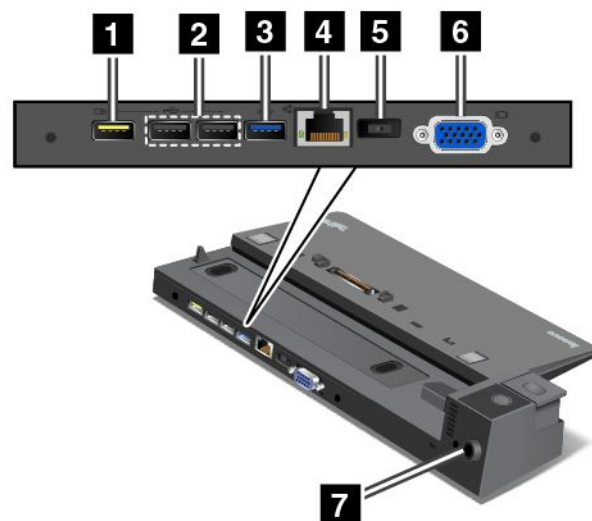
1 電源ボタン: 電源ボタンを押して、コンピューターをオンまたはオフにします。

2 イジェクト・ボタン: イジェクト・ボタンを押して、ドッキング・ステーションから ThinkPad を取り外します。

3 スライディング・アジャスター: スライディング・アジャスターをガイドとして使用して、ドッキング・ステーションを接続するときに、コンピューターのドッキング・ステーション・コネクターの位置を合わせます。

4 ドッキング・ステーション・コネクター: コンピューターを接続するときに使用します。

背面



1 Always-On USB コネクター: USB 2.0 と互換性があるデバイスを接続したり、コンピューターがスリープ状態または休止状態のときに一部のモバイル・デジタル・デバイスやスマートフォンを充電するために使用します。

2 USB 2.0 コネクター: USB 2.0 と互換性があるデバイスと接続するために使用します。

3 USB 3.0 コネクター: USB 3.0 と互換性があるデバイスを接続するために使用します。

4 イーサネット・コネクター: ドッキング・ステーションをイーサネット LAN に接続するために使用します。

注: ご使用のコンピューターがドッキング・ステーションに接続され、イーサネット・コネクターまたは外付けモニター・コネクターを使用する必要がある場合は、コンピューターのコネクターではなく、ドッキング・ステーションのイーサネット・コネクターまたは外付けモニター・コネクターを使用してください。

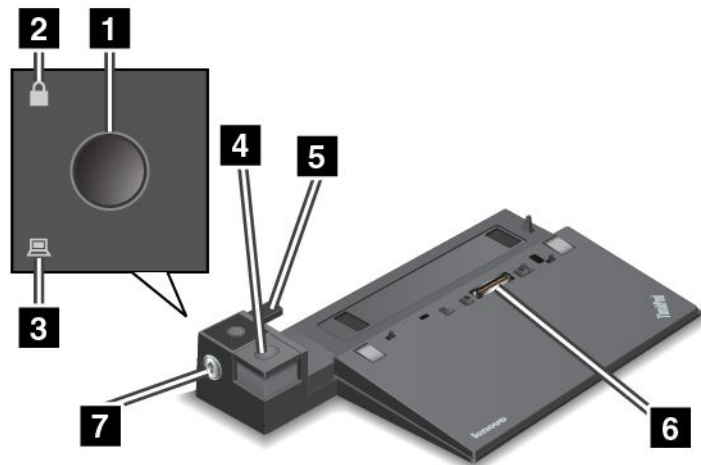
5 AC 電源コネクター: AC 電源アダプターを接続するために使用します。

6 VGA コネクター: コンピューターを VGA モニターなどの VGA 対応ビデオ・デバイスに接続するために使用します。

7 セキュリティー・ロック・スロット: ドッキング・ステーションを盗難から守るには、このセキュリティー・ロック・スロットに対応する Kensington スタイルのケーブル・ロックなどのセキュリティー・ケーブル・ロックを使用して、ドッキング・ステーションをデスク、テーブル、または他の一時的な固定物に固定します。

ThinkPad Pro Dock

前面



1 電源ボタン: 電源ボタンを押して、コンピューターをオンまたはオフにします。

2 キーロック・インジケター: システム・ロック・キーがロック位置にあるときに、このインジケターが点灯します。

3 ドッキング状況インジケター: コンピューターがドッキングされると、このインジケターが点灯します。

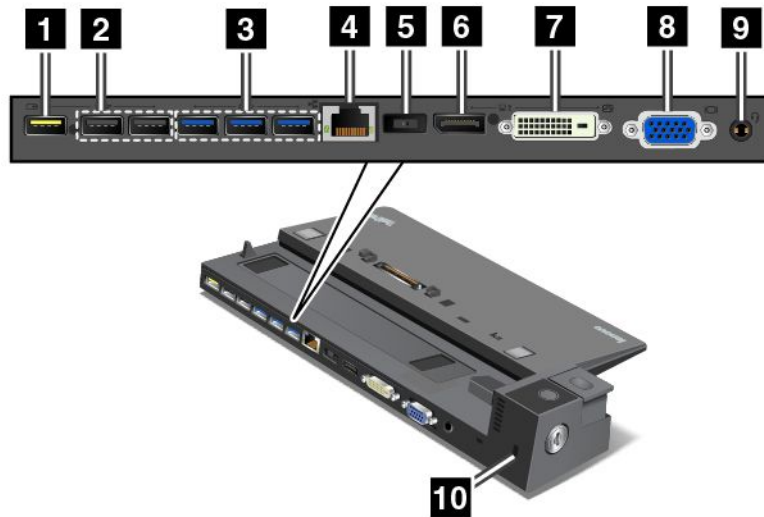
4 イジェクト・ボタン: イジェクト・ボタンを押して、ドッキング・ステーションから ThinkPad を取り外します。

5 スライディング・アジャスター: スライディング・アジャスターをガイドとして使用して、ドッキング・ステーションを接続するときに、コンピューターのドッキング・ステーション・コネクターの位置を合わせます。

6 ドッキング・ステーション・コネクタ: コンピューターを接続するときに使用します。

7 システム・ロック: システム・ロック・キーを使用して、イジェクト・ボタンをロックします。システム・ロック・キーがロック位置にあるときは、ドッキング・ステーションのイジェクト・ボタンがロックされて ThinkPad の接続や取り外しができません。

背面



1 Always-On USB コネクタ: USB 2.0 と互換性があるデバイスを接続したり、コンピューターがスリープ状態または休止状態のときに一部のモバイル・デジタル・デバイスやスマートフォンを充電するために使用します。

2 USB 2.0 コネクタ: USB 2.0 と互換性があるデバイスと接続するために使用します。

3 USB 3.0 コネクタ: USB 3.0 と互換性があるデバイスと接続するために使用します。

4 イーサネット・コネクタ: ドッキング・ステーションをイーサネット LAN に接続するために使用します。

注: ご使用のコンピューターがドッキング・ステーションに接続され、イーサネット・コネクタまたは外付けモニター・コネクタを使用する必要がある場合は、コンピューターのコネクタではなく、ドッキング・ステーションのイーサネット・コネクタまたは外付けモニター・コネクタを使用してください。

5 AC 電源コネクタ: AC 電源アダプターを接続するために使用します。

6 DisplayPort® コネクタ: 高性能モニター、ダイレクト・ドライブ・モニター、または DisplayPort コネクタを使用するその他のデバイスを接続するために使用します。

7 DVI コネクタ: DVI (デジタル・ビジュアル・インターフェース) 接続をサポートするモニターを接続するために使用します。

注: DVI コネクタは、デジタル・インターフェースのみ提供します。このコネクタは、DVI 接続をサポートするコンピューターでのみ使用できます。

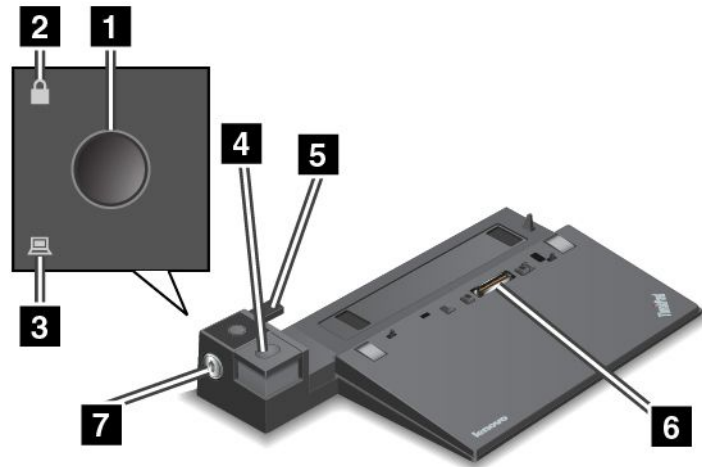
8 VGA コネクタ: コンピューターを VGA モニターなどの VGA 対応ビデオ・デバイスに接続するために使用します。

9 オーディオ・コネクタ: 3.5 mm (0.14 インチ)、4 極プラグのヘッドホンまたはヘッドセットをオーディオ・コネクタに接続して、コンピューターからの音を聴くために使用します。

10 セキュリティー・ロック・スロット: ドッキング・ステーションを盗難から守るには、このセキュリティー・ロック・スロットに対応する Kensington スタイルのケーブル・ロックなどのセキュリティー・ケーブル・ロックを使用して、ドッキング・ステーションをデスク、テーブル、または他の一時的な固定物に固定します。

ThinkPad Ultra Dock

前面



1 電源ボタン: 電源ボタンを押して、コンピューターをオンまたはオフにします。

2 キーロック・インジケーター: システム・ロック・キーがロック位置にあるときに、このインジケーターが点灯します。

3 ドッキング状況インジケーター: コンピューターがドッキングされると、このインジケーターが点灯します。

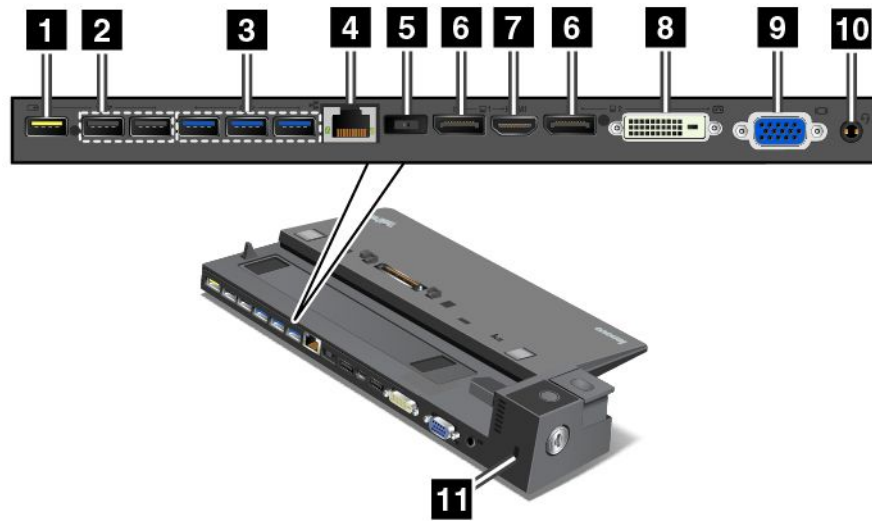
4 イジェクト・ボタン: イジェクト・ボタンを押して、ドッキング・ステーションから ThinkPad を取り外します。

5 スライディング・アジャスター: スライディング・アジャスターをガイドとして使用して、ドッキング・ステーションを接続するときに、コンピューターのドッキング・ステーション・コネクターの位置を合わせます。

6 ドッキング・ステーション・コネクタ: コンピューターを接続するときに使用します。

7 システム・ロック: システム・ロック・キーを使用して、イジェクト・ボタンをロックします。システム・ロック・キーがロック位置にあるときは、ドッキング・ステーションのイジェクト・ボタンがロックされて ThinkPad の接続や取り外しができません。

背面



1 Always-On USB コネクター: USB 2.0 と互換性があるデバイスを接続したり、コンピューターがスリープ状態または休止状態のときに一部のモバイル・デジタル・デバイスやスマートフォンを充電するために使用します。

2 USB 2.0 コネクター: USB 2.0 と互換性があるデバイスと接続するために使用します。

3 USB 3.0 コネクター: USB 3.0 と互換性があるデバイスと接続するために使用します。

4 イーサネット・コネクター: ドッキング・ステーションをイーサネット LAN に接続するために使用します。

注: ご使用のコンピューターがドッキング・ステーションに接続され、イーサネット・コネクターまたは外付けモニター・コネクターを使用する必要がある場合は、コンピューターのコネクターではなく、ドッキング・ステーションのイーサネット・コネクターまたは外付けモニター・コネクターを使用してください。

5 AC 電源コネクター: AC 電源アダプターを接続するために使用します。

6 DisplayPort コネクター: 高性能モニター、ダイレクト・ドライブ・モニター、または DisplayPort コネクターを使用するその他のデバイスを接続するために使用します。

7 HDMI コネクター: 高解像度テレビを接続するために使用します。

8 DVI コネクター: DVI (デジタル・ビジュアル・インターフェース) 接続をサポートするモニターを接続するために使用します。

注: DVI コネクターは、デジタル・インターフェースのみ提供します。このコネクターは、DVI 接続をサポートするコンピューターでのみ使用できます。

9 VGA コネクター: コンピューターを VGA モニターなどの VGA 対応ビデオ・デバイスに接続するために使用します。

10 オーディオ・コネクター: 3.5 mm (0.14 インチ)、4 極プラグのヘッドホンまたはヘッドセットをオーディオ・コネクターに接続して、コンピューターからの音を聴くために使用します。

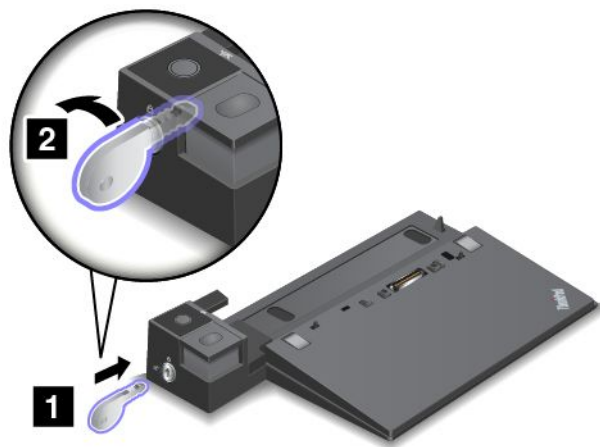
11 セキュリティー・ロック・スロット: ドッキング・ステーションを盗難から守るには、このセキュリティー・ロック・スロットに対応する Kensington スタイルのケーブル・ロックなどのセキュリティー・ケーブル・ロックを使用して、ドッキング・ステーションをデスク、テーブル、または他の一時的な固定物に固定します。

ThinkPad ドッキング・ステーションの取り付け

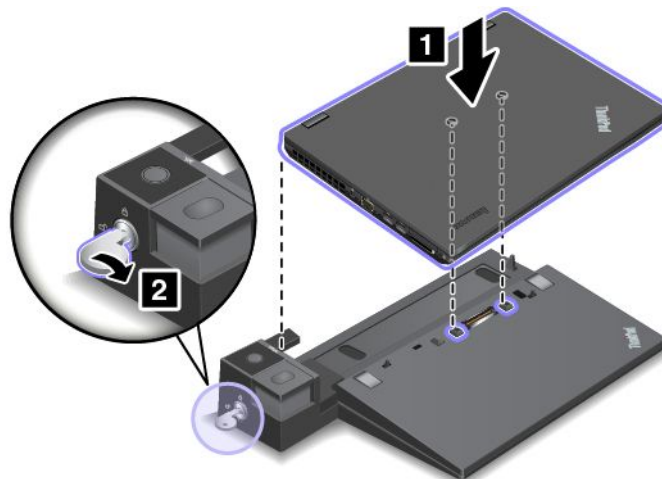
サポートされている ThinkPad ドッキング・ステーションにコンピューターを接続するには、次のようにします。

注: ThinkPad Basic Dock にはシステム・ロックは付属していません。

1. コンピューターからケーブルおよびデバイスをすべて取り外します。
2. システム・ロック・キーがアンロック位置 (水平) にあることを確認します。



3. コンピューターの左上隅とドッキング・ステーションの位置マークを合わせます。カチッという音がするまで、コンピューターをドッキング・ステーションに垂直方向にはめ込みます **1**。次に、システム・ロック・キーをロック位置にします **2**。



4. ドッキング状況インジケータを確認します。ドッキング状況インジケータが点灯していない場合、コンピューターはドッキング・ステーションに正しく接続されていません。ドッキング・ステーションの AC 電源アダプターを確認するか、または AC 電源アダプターを取り外して接続し直してください。

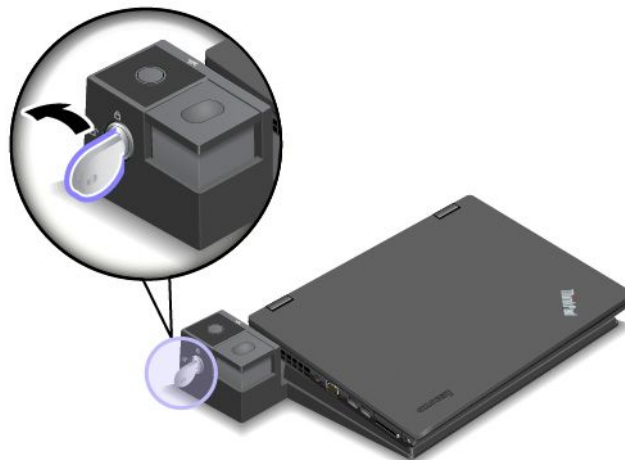
注：コンピューターをドッキング・ステーションに接続しても、ドッキング・ステーションの AC 電源アダプターを AC 電源コネクタに接続しないと、コンピューターはバッテリー・モードになります。

ThinkPad ドッキング・ステーションの取り外し

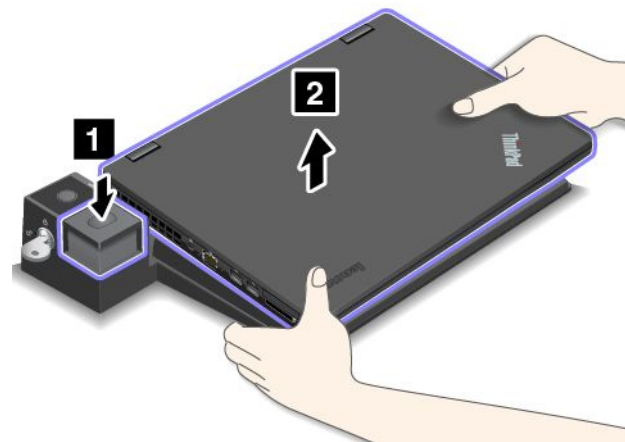
ThinkPad ドッキング・ステーションからコンピューターを取り外すには、次のようにします。

注：ThinkPad Basic Dock にはシステム・ロックは付属していません。

1. コンピューターからケーブルおよびデバイスをすべて取り外します。
2. システム・ロック・キーがアンロック位置 (水平) にあることを確認します。



3. ThinkPad が持ち上がるまでイジェクト・ボタンを押します。次に、両端を持ってコンピューターを取り外します。

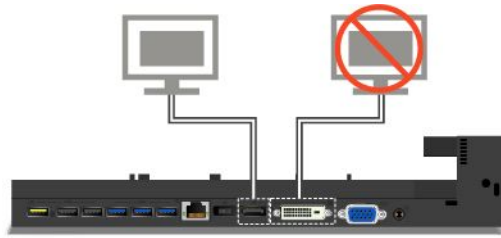


ドッキング・ステーションへの外付けモニターの接続

サポートされている ThinkPad ドッキング・ステーションに複数の外付けディスプレイを接続できます。複数のディスプレイが正しく動作するように、次のガイドラインを確認し、適切なコネクタにディスプレイを接続してください。

- 複数のモニターを接続するときに、次の図に示すようにコネクタを同時に使用しないでください。そうしないと、図に示すように、ディスプレイの1つが作動しません。

– ThinkPad Pro Dock

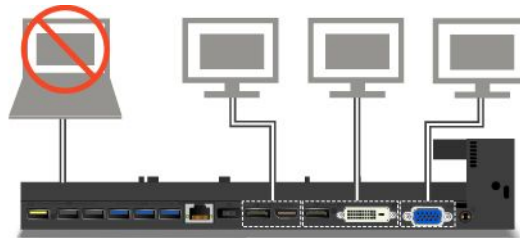


– ThinkPad Ultra Dock



- ThinkPad Ultra Dock では、最大 3 台のディスプレイ (ご使用のコンピューターのディスプレイを含む) を同時に使用できます。このため、ThinkPad Ultra Dock に 3 台の外付けディスプレイを接続すると、VGA コネクタに接続されたディスプレイは、コンピューターのディスプレイがオンになっている場合は動作しません。

– コンピューターのディスプレイがオフの場合:

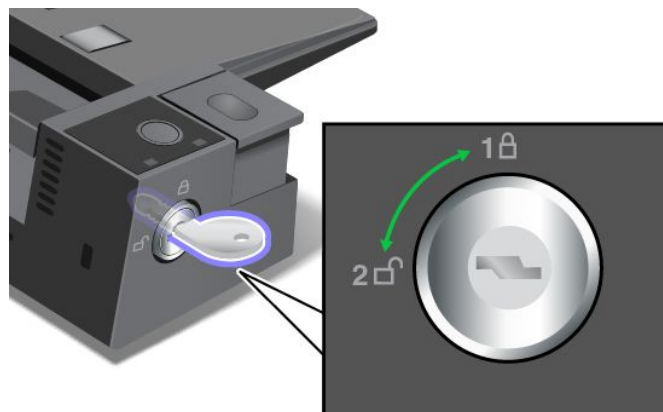


– コンピューターのディスプレイがオンの場合:



セキュリティー機構

図に示すように、システム・ロック・キーには、2つの位置があります。



このセキュリティー機能は、キーの位置によって異なります。

- キーがロック位置 (位置 1) にあるときは、ドッキング・ステーションのイジェクト・ボタンがロックされるため、コンピューターの取り外しができなくなります。キーロック・インジケータはイジェクト・ボタンがロック状態のときにオンになります。
- キーがアンロック位置 (位置 2) にあるときは、ドッキング・ステーションのイジェクト・ボタンがアンロックされるため、コンピューターを取り外すことができます。キーロック・インジケータはイジェクト・ボタンがアンロック状態のときにオフになります。

第 8 章 詳細な構成

この章では、コンピューターの設定に役立つ情報を提供します。

- 113 ページの『新しいオペレーティング・システムのインストール』
- 115 ページの『デバイス・ドライバーのインストール』
- 115 ページの『ThinkPad Setup プログラムの使用』

新しいオペレーティング・システムのインストール

新しいオペレーティング・システムのインストールが必要になる場合があります。このトピックでは、新しいオペレーティング・システムのインストール方法について説明します。

Windows 7 オペレーティング・システムのインストール

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

注意：

- 新しいオペレーティング・システムをインストールするプロセスによって、非表示のフォルダーに保存されているデータを含むハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブのデータはすべて削除されます。
- ハードディスク・ドライブと M.2 ソリッド・ステート・ドライブの両方が付属しているコンピューターの場合、M.2 ソリッド・ステート・ドライブを起動可能デバイスとして使用しないでください。M.2 ソリッド・ステート・ドライブは『キャッシュ』機能と Intel Rapid Start Technology をサポートするために使用されています。

Windows 7 オペレーティング・システムをインストールするには、次のようにします。

1. C:\SWTOOLS ディレクトリー内のすべてのサブディレクトリーとファイルを、取り外し可能なストレージ・デバイスにコピーしておきます。
 - Windows 7 オペレーティング・システム用の修正ファイルは、C:\SWTOOLS\OSFIXES ディレクトリーに入っています。
 - デバイス・ドライバーは、C:\SWTOOLS\DRIVERS ディレクトリーに入っています。
 - 初期インストール済みプログラムは、C:\SWTOOLS\APPS ディレクトリーに入っています。
2. ThinkPad Setup プログラムを開始します。115 ページの『ThinkPad Setup プログラムの使用』を参照してください。
3. 『Startup』 → 『UEFI/Legacy Boot』を選択します。以下のいずれかを実行します。
 - Windows 7 (32 ビット) オペレーティング・システムをインストールするには、『Legacy Only』または『Both』を選択します。
 - 『Legacy』モードで Windows 7 (64 ビット) オペレーティング・システムをインストールするには、『Legacy Only』を選択します。
 - 『UEFI』モードで Windows 7 (64 ビット) オペレーティング・システムをインストールするには、『UEFI Only』を選択します。
4. F10 キーを押して、ThinkPad Setup プログラムを終了します。
5. Windows 7 オペレーティング・システムのインストール DVD を光学式ドライブに挿入し、コンピューターを再起動します。
6. Windows 7 オペレーティング・システムをインストールする前に、バックアップした C:\SWTOOLS ディレクトリーを復元します。

7. デバイス・ドライバーをインストールします。115 ページの『デバイス・ドライバーのインストール』を参照してください。
8. Windows 7 アップデート・モジュールをインストールします。Windows 7 アップデート・モジュールは C:\\$SWTOOLS\OSFIXES\ ディレクトリーにあります。詳細については、以下の Microsoft Knowledge Base ホーム・ページにアクセスしてください。
<http://support.microsoft.com/>
9. ENERGY STAR バージョンでスタンバイ状態から Wake on LAN 機能を有効にするパッチなどのレジストリー・パッチをインストールします。レジストリー・パッチをダウンロードしてインストールするには、次の Lenovo サポート Web サイトにアクセスしてください。
<http://www.lenovo.com/support>

注：オペレーティング・システムをインストールした後は、ThinkPad Setup プログラムで『UEFI/Legacy Boot』の初期設定を変更しないでください。そうしないと、新しいオペレーティング・システムが正しく起動できません。

Windows 7 オペレーティング・システムをインストールする場合、以下の国または地域コードのいずれかが必要となる場合があります。

国または地域	コード	国または地域	コード
中華人民共和国	SC	オランダ	NL
デンマーク	DK	ノルウェー	NO
フィンランド	FI	スペイン	SP
フランス	FR	スウェーデン	SV
ドイツ	GR	台湾および香港	TC
イタリア	IT	アメリカ合衆国	US
日本	JP		

Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティング・システムのインストール

作業を始める前に、以下の手順を印刷してください。

注意：

- 新しいオペレーティング・システムをインストールするプロセスによって、非表示のフォルダーに保存されているデータを含む内蔵ストレージ・ドライブのデータはすべて削除されます。
- ハードディスク・ドライブと M.2 ソリッド・ステート・ドライブの両方が付属しているコンピューターの場合、M.2 ソリッド・ステート・ドライブを起動可能デバイスとして使用しないでください。M.2 ソリッド・ステート・ドライブは『キャッシュ』機能と Intel Rapid Start Technology をサポートするために使用されています。

Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティング・システムをインストールするには、次のようにします。

1. ThinkPad Setup プログラムを開始します。115 ページの『ThinkPad Setup プログラムの使用』を参照してください。
2. 『Startup』 → 『Boot』を選択して、『Boot Priority Order』サブメニューを表示します。
3. 『USB HDD』などのオペレーティング・システムのインストール・プログラムが格納されるドライブを選択します。
4. F10 キーを押して、ThinkPad Setup プログラムを終了します。
5. オペレーティング・システムのインストール・プログラムが格納されるドライブをコンピューターに接続し、コンピューターを再起動します。

6. デバイス・ドライバーおよび必要なプログラムをインストールします。115 ページの『デバイス・ドライバーのインストール』を参照してください。
7. デバイス・ドライバーをインストールした後、Windows Update を適用してセキュリティ・パッチなど最新のモジュールを入手します。
8. お好みによって、Lenovo プログラムをインストールします。Lenovo プログラムについては、15 ページの『Lenovo プログラム』を参照してください。

注：オペレーティング・システムをインストールした後は、ThinkPad Setup プログラムで『UEFI/Legacy Boot』の初期設定を変更しないでください。そうしないと、新しいオペレーティング・システムが正しく起動できません。

Windows 8、Windows 8.1 または Windows 10 オペレーティング・システムをインストールする場合、以下の国または地域コードのいずれかが必要となる場合があります。

国または地域	コード	国または地域	コード
中華人民共和国	SC	オランダ	NL
デンマーク	DK	ノルウェー	NO
フィンランド	FI	スペイン	SP
フランス	FR	スウェーデン	SV
ドイツ	GR	台湾および香港	TC
イタリア	IT	アメリカ合衆国	US
日本	JP		

デバイス・ドライバーのインストール

デバイス・ドライバーは、コンピューターの特定のハードウェア・デバイスを稼働させるプログラムです。デバイスが正常に稼働しない場合や、新しいデバイスをインストールする場合は、対応するデバイス・ドライバーをインストールまたは更新する必要があります。たとえば、Windows 7 オペレーティング・システムを使用している場合に、USB 3.0 コネクタを使用するには、USB 3.0 ドライバーをダウンロードしてインストールする必要があります。

最新のデバイス・ドライバーをダウンロードするには、次のようにします。

1. <http://www.lenovo.com/ThinkPadDrivers> にアクセスします。
2. 製品名を選択して、お使いのコンピューターのデバイス・ドライバーをすべて表示します。
3. 必要なデバイス・ドライバーを選択し、画面の指示に従います。

注意：Windows Update Web サイトから、デバイス・ドライバーをダウンロードしないでください。デバイス・ドライバーは必ず、次の Web サイトからダウンロードしてください。

<http://www.lenovo.com/ThinkPadDrivers>

Windows 7 オペレーティング・システムを使用する場合、ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブの C:\¥SWTOOLS¥DRIVERS ディレクトリにもデバイス・ドライバーがあります。詳しくは、69 ページの『初期インストール済みプログラムとデバイス・ドライバーの再インストール』を参照してください。

ThinkPad Setup プログラムの使用

ThinkPad Setup プログラムを使用して BIOS を構成すると、コンピューターのさまざまなセットアップ構成を選択できます。

コンピューターの BIOS を構成するには、次のようにします。

1. コンピューターを再起動します。ThinkPad ロゴが表示されたら、F1 キーを押します。ThinkPad Setup プログラムが起動します。
スーパーバイザー・パスワードの入力を求められたら、正しいパスワードを入力してください。Enter キーを押してパスワード・プロンプトをスキップし、ThinkPad Setup プログラムを起動することもできます。パスワードを入力しなかった場合は、スーパーバイザー・パスワードによって保護されている構成を変更できません。詳しくは、53 ページの『パスワードの使用』を参照してください。
2. カーソル・キーを使用してタブを選択します。またはカーソル・キーを使用して項目に移動し、Enter キーを押してその項目を選択します。サブメニューが表示されます。

注： ご使用のコンピューターが該当する機能をサポートしている場合のみに表示されるメニュー項目もあります。

3. 項目の値を設定するには、以下のいずれかを実行します。
 - より大きい値に変更するには F6 キーを押します。
 - より小さい値に変更するには F5 キーを押します。

注： 太字は出荷時の設定値です。

4. 他の構成を変更するには、Esc キーを押してサブメニューを終了し、親メニューに戻ります。
5. 構成が完了したら、F10 キーを押して変更内容を保存して終了します。『ThinkPad Setup』メニューで『**Restart**』タブを選択し、表示されたいずれかのオプションを指定してコンピューターを再起動することもできます。

注： F9 キーを押すとデフォルト設定に復元できます。

『Main』メニュー

ThinkPad Setup プログラムを開くと、最初に次のような『**Main**』メニューが表示されます。

- **UEFI BIOS Version**
- **UEFI BIOS Date (Year-Month-Day)**
- **Embedded Controller Version**
- **ME Firmware Version**
- **Machine Type Model**
- **System-unit serial number**
- **System board serial number**
- **Asset Tag**
- **CPU Type**
- **CPU Speed**
- **Installed memory**
- **UUID**
- **MAC address (Internal LAN)**
- **Preinstalled OS License**
- **UEFI Secure Boot**

『Config』メニュー

コンピューターの構成を変更するには、『ThinkPad Setup』メニューから『**Config**』タブを選択します。

次の表に、『**Config**』メニュー項目を示します。**太字**は出荷時の設定値です。メニュー項目は事前の予告なしに変更される場合があります。モデルによっては、デフォルトの値が異なることがあります。

注意：デフォルト構成は、通常のご使用に最適な状態に設定されています。構成を誤って変更すると、予期しない結果が生じる場合があります。

表 2. 『Config』メニューの項目

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
Network	Wake On LAN	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • AC Only • AC and Battery 	<p>イーサネット・コントローラーがマジック・パケット (特殊なネットワーク・メッセージ) を受信したときにコンピューターが電源オンとなるようにすることができます。</p> <p>『AC Only』を選択すると、AC 電源アダプターが接続されているときのみ Wake on LAN が使用可能になります。</p> <p>『AC and Battery』を選択すると、どの電源でも Wake on LAN が使用可能です。</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> • マジック・パケット型の Wake on LAN には、AC 電源が必要です。 • Wake on LAN 機能は、ハードディスク・パスワードが設定されている場合は動作しません。
	Ethernet LAN Option ROM (『 Legacy Only 』起動モードまたは『 Both 』および『 Legacy first 』)	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	Ethernet LAN Option ROM がロードされて、内蔵ネットワーク・デバイスからの起動が可能になります。
	UEFI IPv4 Network Stack (『 UEFI Only 』起動モードまたは『 Both 』および『 UEFI first 』)	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	UEFI 環境のインターネットプロトコルバージョン 4 (IPv4) ネットワーク・スタックを使用可能または使用不可にします。
	UEFI IPv6 Network Stack (『 UEFI Only 』起動モードまたは『 Both 』および『 UEFI first 』)	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	UEFI 環境のインターネットプロトコルバージョン 6 (IPv6) ネットワーク・スタックを使用可能または使用不可にします。
	UEFI PXE Boot Priority (『 Both 』および『 UEFI first 』起動モードでは、IPv6 および IPv4 スタックは使用可能です。)	<ul style="list-style-type: none"> • IPv6 First • IPv4 First 	UEFI PXE 起動のネットワーク・スタック優先順位を選択します。

表 2. 『Config』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
USB	USB UEFI BIOS Support	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	USB ストレージ・デバイスのブート・サポートを使用可能または使用不可にします。
	Always-On USB	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『 Enabled 』を選択すると、コンピューターが低電力モード(スリープ、休止状態、電源オフ)でもUSBコネクタを経由して外付けのUSBデバイスを充電できます。
	Always-On USB - Charge in Battery Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『 Enabled 』を選択すると、スリープ、休止状態、または電源オフのモードになっていて、バッテリー電力で稼働している場合でも、USBコネクタを経由して外付けのUSBデバイスを充電できます。
	USB 3.0 Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled • Auto 	<p>USB 2.0 コントローラーと USB 3.0 コントローラーで共有するポートの USB 3.0 コントローラー・モードを設定します。</p> <p>『Auto』を選択すると、適切な USB 3.0 コネクタまたは USB 2.0 コネクタの接続と配線を行うことができます。</p> <p>『Enabled』を選択すると、USB 3.0 モードが有効になり、オペレーティング・システムで USB 3.0 がサポートされます。</p> <p>『Disabled』を選択すると、USB 3.0 コネクタは無効にされて非表示になり、USB 3.0 コネクタは USB 2.0 コネクタとして機能します。</p>

表 2. 『Config』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
Keyboard/Mouse	TrackPoint	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>標準装備の TrackPoint ポインティング・デバイスを使用可能または使用不可にします。</p> <p>注: 外部マウスを使用する場合、『Disabled』を選択します。</p>
	Trackpad	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>標準装備のトラックパッドを使用可能または使用不可にします。</p> <p>注: 外部マウスを使用する場合、『Disabled』を選択します。</p>
	Fn and Ctrl Key swap	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>キーボードの左下部の Fn キーと Ctrl キーの動作の入れ替えを有効にします。</p> <p>Disabled: Fn キーと Ctrl キーの動作は、キーボードに印刷されているとおりです。</p> <p>Enabled: Fn キーが Ctrl キーとして機能します。Ctrl キーは Fn キーとして機能します。</p>
	F1-F12 as primary function	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>各キーにアイコンとして印刷されている F1 ~ F12 の機能または特殊機能を優先機能として有効にします。</p> <p>Enabled: F1 ~ F12 の機能を実行します。</p> <p>Disabled: 特殊機能を実行します。</p> <p>上記の2つのオプションを一時的に切り替えるには、Fn+Esc を押して FnLock を有効にします。FnLock 機能が有効の場合、FnLock インジケータがオンになります。</p>
	Fn Sticky key	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>このオプションを有効にすると、Fn キーを押したままの状態にでき、それから目的のファンクション・キーを押すことができます。この操作は、Fn キーと同時に必要なキーを押す場合と同様です。Fn キーを2回押すと、Fn キーをも</p>

表 2. 『Config』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
			う一度押すまで状態はロックされます。
Display	Boot Display Device	<ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad LCD • Analog (VGA) • Digital on ThinkPad • Display on Dock 	<p>起動時にアクティブになるディスプレイ・デバイスを選択します。この選択は、起動時、パスワード・プロンプト時、および ThinkPad Setup 時に有効になります。</p> <p>『Digital on ThinkPad』は、コンピューターの Mini DisplayPort コネクターになります。</p> <p>『Display on dock』を選択すると、ドッキング・ステーションの DisplayPort、DVI、または VGA コネクターになります。</p>
	Video mode on dock	<ul style="list-style-type: none"> • Standard • Advanced 	<p>『Standard』モードでは、内蔵グラフィックスによりドックの表示がオンになります。</p> <p>『Advanced』モードでは、ディスクリート・グラフィックスによりドックの表示がオンになります。</p>
	Discrete GFX Perf Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Balanced • High performance 	<p>Balanced: このモードでは、システムの熱性能とディスクリート・グラフィックス性能のバランスをとります。</p> <p>High Performance: このモードでは、ディスクリート・グラフィックス性能が最も高くなります。</p>
Power	Intel SpeedStep® technology	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled <p>Mode for AC</p> <ul style="list-style-type: none"> • Maximum Performance • Battery Optimized <p>Mode for Battery</p> <ul style="list-style-type: none"> • Maximum Performance • Battery Optimized 	<p>実行時に Intel SpeedStep テクノロジーのモードを選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Maximum Performance: 常に最高速度 • Battery Optimized: 常に最低速度 • Disabled: 最高速度、実行時のサポートなし
	Adaptive Thermal Management	<p>Scheme for AC</p> <ul style="list-style-type: none"> • Maximize Performance 	使用する温度管理の設定を選択します。

表 2. 『Config』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
		<ul style="list-style-type: none"> • Balanced Scheme for Battery <ul style="list-style-type: none"> • Maximize Performance • Balanced 	<p>Maximize Performance: マイクロプロセッサが減速します。</p> <p>Balanced: 音、温度、パフォーマンスのバランスを取ります。</p> <p>注: それぞれの設定は、ファンの音、温度、およびパフォーマンスに影響を与えます。</p>
	Optical Drive Speed	<ul style="list-style-type: none"> • High Performance • Normal • Silent 	光学式ドライブの速度を目的のパフォーマンスに設定します。
	CPU Power Management	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	コンピューターが動作していないときに、マイクロプロセッサ・クロックを自動的に停止する省電力機能を使用可能または使用不可にします。通常、この設定を変更する必要はありません。
	Express Card Speed	<ul style="list-style-type: none"> • Generation 1 • Automatic 	ExpressCard の転送速度を、目的のパフォーマンス・レベルに設定します。『 Automatic 』オプションを使用すると、ExpressCard に、自身がサポートする転送速度を指定させることができます。
	PCI Express Power Management	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>PCI Express がアクティブでない場合に省電力を自動的に調整する機能を、使用可能または使用不可に設定します。</p> <p>通常、この設定を変更する必要はありません。</p>
	Power On with AC Attach	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>AC 電源アダプターを接続しているときに、システムの電源をオンにする機能を使用可能または使用不可にします。</p> <p>『Enabled』を選択した場合、AC 電源アダプターを接続するとシステムの電源がオンになります。システムが休止状態の場合、システムは操作可能な状態に戻ります。</p>

表 2. 『Config』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
			『 Disabled 』を選択した場合、AC 電源アダプターを接続してもシステムの電源はオンにならず、再開もされません。
	Intel Rapid Start Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled Enter after: <ul style="list-style-type: none"> • Immediately • 1 minute • 2 minutes • 5 minutes • 10 minutes • 15 minutes • 30 minutes • 1 hour • 2 hours • 3 hours 	この機能を使用するには、ソリッド・ステート・ドライブに特殊なパーティションが必要です。 この機能を有効にすると、スリープ状態に入ってから指定の時間が経過すると、コンピュータは低電力状態に入ります。通常の動作への復帰に数秒しかかかりません。
Beep and Alarm	Password Beep	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	システムがパワーオン・パスワード、ハードディスク・ドライブ・パスワード、またはスーパーバイザー・パスワードを待機しているときに、ビープ音を鳴らすには、このオプションを有効にします。入力したパスワードが一致するとき、または設定したパスワードと一致しないときに、異なるビープ音が鳴ります。
	Keyboard Beep	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	このオプションを有効にして、処理不可能な組み合わせでキーが入力された場合にキーボードがビープ音を出すようにします。
Serial ATA (SATA)	SATA Controller Mode Option	<ul style="list-style-type: none"> • AHCI • RAID (RAID モデルのみ) 	RAID モデルの場合、オプション RAID はデフォルトで使用可能になっていません。

表 2. 『Config』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
CPU	Core Multi-Processing	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>『Enabled』を選択して CPU 内のコア・ユニットの追加実行を有効にします。</p> <p>『Disabled』を選択して CPU 内の 1 つのみのコア・ユニットの実行を有効にします。</p>
	Intel Hyper-Threading Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>『Enabled』を選択して追加の CPU スレッドを有効にします。これらのスレッドは追加のプロセッサとして表示されますが、CPU 内の他のスレッドと一部のリソースを共有します。</p> <p>『Disabled』を選択して各コア・ユニット内の 1 つのみのスレッドの実行を有効にします。</p>
Intel AMT	Intel AMT Control	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled • Permanently Disabled 	<p>『Enabled』を選択すると、Intel Active Management Technology (AMT) が構成され、Management Engine BIOS Extension (MEBx) セットアップにセットアップ項目が追加されます。</p> <p>『Permanently Disabled』を選択すると、以降、『Enabled』にすることはできません。このオプションを使用するときは注意が必要です。</p> <p>注：MEBx セットアップ・メニューに入るには、『Startup Interrupt Menu』ウィンドウで Ctrl + P キーの組み合わせを押します。Startup Interrupt Menu ウィンドウを表示するには、電源投入時自己診断 (POST) の実行中に黒色のボタンまたは Enter キーを押します。</p>
	CIRA Timeout	<p>0-255</p> <p>注：デフォルト値は 60 秒です。</p>	<p>CIRA 接続を確立するためのタイムアウト・オプションを設定します。選択可能な秒の値は 1 ~ 254 です。</p> <p>『0』を選択すると、デフォルトのタイムアウト値として 60 秒が使用されます。</p>

表 2. 『Config』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
			『255』を選択すると、接続を確立するまでの待ち時間が無制限になります。
	Console Type	<ul style="list-style-type: none"> • PC-ANSI • VT100 • VT100+ • VT-UTF8 	AMT のコンソール・タイプを選択します。 注： このコンソール・タイプは、Intel AMT リモート・コンソールと一致している必要があります。

『Date/Time』メニュー

コンピューターの日付または時刻を変更するには、『ThinkPad Setup』メニューから『Date/Time』タブを選択します。その後、次のようにします。

1. カーソル・キーを使用して、『System Date』または『System Time』を選択します。
2. 日付または時刻を入力します。

『Security』メニュー

コンピューターのセキュリティー設定を変更するには、『ThinkPad Setup』メニューから『Security』タブを選択します。

次の表に、『Security』メニュー項目を示します。**太字**は出荷時の設定値です。メニュー項目は事前の予告なしに変更される場合があります。モデルによっては、デフォルトの値が異なることがあります。

注意：デフォルト構成は、通常のご使用に最適な状態に設定されています。構成を誤って変更すると、予期しない結果が生じる場合があります。

表 3. 『Security』メニューの項目

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
Password	Hardware Password Manager	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	パワーオン・パスワード、スーパーバイザー・パスワード、ハードディスク・パスワードを管理します。
	Supervisor Password	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	54 ページの『スーパーバイザー・パスワード』を参照してください。
	Lock UEFI BIOS Settings	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	スーパーバイザー・パスワードを持たないユーザーが ThinkPad Setup プログラムの項目を変更できないようにするための機能を、使用可能または使用不可にします。出荷時の設定値は『Disabled』です。スー

表 3. 『Security』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
			パーバイザー・パスワードを設定して、この機能を使用可能にすると、システム管理者以外のだれも ThinkPad Setup プログラムの項目を変更できなくなります。
	Password at unattended boot	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>『Password at unattended boot』を使用可能にすると、電源が切れた状態または休止状態から ThinkPad の電源がオンになったときに、パスワード・プロンプトが表示されます。</p> <p>『Disabled』を選択すると、パスワード・プロンプトは表示されず、コンピューターの操作は続行され、オペレーティング・システムを読み込みます。不正アクセスを防ぐために、オペレーティング・システムにユーザー認証を設定してください。</p>
	Password at restart	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>『Password at restart』を選択すると、コンピューターを再起動するときにパスワード・プロンプトが表示されます。『Disabled』を選択すると、パスワード・プロンプトは表示されず、コンピューターの操作は続行され、オペレーティング・システムを読み込みます。不正アクセスを防ぐために、オペレーティング・システムにユーザー認証を設定してください。</p>
	Set Minimum Length	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • x characters (4£x£12) 	<p>パワーオン・パスワードおよびハードディスク・パスワードの最小文字数を指定します。出荷時の設定値は『Disabled』です。スーパーバイザー・パスワードを設定して、最小文字数を設定すると、そのスーパーバイザー以外のだれも『Set Minimum Length』の項目を変更できなくなります。</p>
	Power-On Password	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>53 ページの『パワーオン・パスワード』を参照してください。</p>

表 3. 『Security』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
	Hard Disk1 Password	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	56 ページの『ハードディスク・パスワード』を参照してください。
Fingerprint	Predesktop Authentication	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	オペレーティング・システムがロードされる前の指紋認証を、使用可能または使用不可にします。
	Reader Priority	<ul style="list-style-type: none"> • External → Internal • Internal Only 	『 External 』 → 『 Internal 』を選択すると、外付けの指紋センサーが接続されている場合、これが使用されます。外付けの指紋センサーが接続されていない場合は、内蔵の指紋センサーが使用されます。『 Internal Only 』を選択すると、内蔵の指紋センサーが使用されます。
	Security Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Normal • High 	指紋認証に失敗した場合、パスワードを入力して ThinkPad を起動します。『 Normal 』を選択するとパワーオン・パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードの入力が必要になります。『 High 』を選択するとスーパーバイザー・パスワードの入力が必要になります。
	Password Authentication	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	パスワード認証を使用可能または使用不可にします。『Security mode』で『 High 』が選択されていると、この項目が表示されません。
	Reset Fingerprint Data	<ul style="list-style-type: none"> • Enter 	このオプションを使用するのは、指紋センサーに保存されているすべての指紋データを消去し、設定を工場出荷時状態にリセットする場合です。結果として、有効にしていたパワーオン・セキュリティー機能は、Fingerprint Software で改めて有効にするまで機能しません。

表 3. 『Security』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
UEFI BIOS Update Option	Flash BIOS Updating by End-Users	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『 Enabled 』を選択すると、全ユーザーがUEFI BIOSを更新することができます。『 Disabled 』を選択すると、スーパーバイザー・パスワードを知っている人だけがUEFI BIOSを更新できます。
	Secure RollBack Prevention	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『 Disabled 』を選択すると、以前のバージョンのUEFI BIOSにフラッシュバックできます。
Security	Security Chip	<ul style="list-style-type: none"> • Active • Inactive • Disabled 	『 Active 』を選択すると、セキュリティー・チップが機能します。『 Inactive 』を選択すると、『 Security Chip 』のオプションが表示されますが、セキュリティー・チップは使用できません。『 Disabled 』を選択すると、『 Security Chip 』のオプションは非表示になり、セキュリティー・チップは機能しません。
	Security Reporting Options		このオプションは、『 Security Chip 』が有効であるときのみ使用できます。次の Security Reporting Options を使用可能または使用不可にする場合に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • BIOS ROM String Reporting (Windows 7) または UEFI ROM String Reporting (Windows 8 および Windows 8.1): BIOS テキスト文字列 • CMOS Reporting: CMOS データ • NVRAM Reporting: Asset ID に保存されたセキュリティー・データ • SMBIOS Reporting: SMBIOS データ
	Clear Security Chip	<ul style="list-style-type: none"> • Enter 	暗号鍵を消去します。 注：この項目は、『 Security Chip 』オプションで『 Active 』を選択した場合にのみ表示されます。

表 3. 『Security』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
	Intel TXT Feature	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>Intel Trusted Execution Technology を使用可能または使用不可にします。</p> <p>注：この項目は、『Security Chip』オプションで『Active』を選択した場合にのみ表示されます。</p>
	Physical Presence for Provisioning	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>セキュリティー・チップの設定を変更するときの確認メッセージを使用可能または使用不可にします。</p>
	Physical Presence for Clear	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>セキュリティー・チップを消去するときの確認メッセージを使用可能または使用不可にします。</p>
Memory Protection	Execution Prevention	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>コンピューター・ウイルスやワームには、データのみが許可されている場所でコードを実行して、メモリー・バッファをオーバーフローさせるものがあります。『Data Execution Prevention』がオペレーティング・システムで使用されていて『Enabled』を選択すると、そのタイプのウイルスやワームからPCを保護することができます。『Enabled』を選択した後、プログラムが正常に動作しない場合は、『Disabled』を選択して、設定をやり直してください。</p>
Virtualization	Intel Virtualization Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>『Enabled』を選択すると、Virtualization Technology の追加ハードウェア機能を仮想マシン・モニター (VMM) で使用することができます。</p>
	Intel VT-d Feature	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>Intel VT-d とは、『Intel Virtualization Technology for Directed I/O』のことを言います。使用可能にすると、VMM (仮想マシン・モニター) はプラットフォーム・インフラストラクチャーを使用して I/O を仮想化することができます。</p>

表 3. 『Security』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
I/O Port Access	Ethernet LAN	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、イーサネットLANデバイスを使用することができます。
	Wireless LAN	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、ワイヤレスLANデバイスを使用できます。
	Wireless WAN	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、ワイヤレスWANデバイスを使用できます。
	Bluetooth	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、Bluetoothデバイスを使用できます。
	USB Port	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、USBコネクタを使用できます。
	Ultrabay (HDD/Optical)	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、Ultrabayデバイスを使用することができます。
	Memory Card Slot	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、メモリー・カード・スロットを使用できます。
	Smart Card Slot	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、スマート・カード・スロットを使用できます。
	Integrated Camera	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、内蔵カメラを使用することができます。
	Microphone	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、マイクロホン(内蔵/外付け/Line-In)を使用できます。
	Fingerprint Reader	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、指紋センサーを使用することができます。
	NFC Device	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、NFCデバイスを使用できます。
	ExpressCard Slot	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、ExpressCardスロットを使用できます。
Thunderbolt	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、Thunderboltコネクタを使用できます。	

表 3. 『Security』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
Internal Device Access	Bottom Cover Tamper Detection	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	改ざん検出を有効または無効にします。改ざんが検出された場合、システムを起動するには、スーパーバイザー・パスワードが必要です。スーパーバイザー・パスワードを有効にしないと、『Bottom Cover Tamper Detection』は有効になりません。
Anti-Theft	Intel AT Module Activation	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled • Permanently Disabled 	Intel AT モジュール (Intel Anti-Theft サービスのオプション) をアクティブにするために、UEFI BIOS インターフェースを使用可能または使用不可に設定します。 注：Intel AT モジュールを『 Permanently Disabled 』に設定すると、この設定を再度『Enabled』にすることはできなくなります。
	Intel AT Suspend	<ul style="list-style-type: none"> • Enter 	このオプションは、盗難防止機能が有効になっている場合にのみ表示されます。 Intel の盗難防止画面は、スタンバイ状態に入るために次回起動するときに表示されます。
	Computrace	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled • Permanently Disabled 	Computrace モジュールをアクティブにするために、UEFI BIOS インターフェースを使用可能または使用不可に設定します。Computrace は Absolute Software 社の監視サービスで、オプションです。 注：Computrace モジュールを『 Permanently Disabled 』に設定すると、この設定を再度『Enabled』にすることはできなくなります。

表 3. 『Security』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	選択する項目	コメント
Secure Boot	Secure Boot	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	<p>UEFI Secure Boot 機能を使用可能または使用不可にします。『Enabled』を選択して、起動時に無許可のオペレーティング・システムが実行されるのを防ぎます。『Disabled』を選択して、起動時にどのオペレーティング・システムでも実行できるようにします。</p> <p>Windows 8 および Windows 8.1 オペレーティング・システムでは、この機能を有効にする必要があります。</p>
	Platform Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Setup Mode • User Mode 	システムのオペレーティング・モードを指定します。
	Secure Boot Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Standard Mode • Custom Mode 	システムのオペレーティング・モードを指定します。
	Reset to Setup Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Yes • No 	このオプションは、現在のプラットフォーム・キーをクリアして、システムを『 Setup Mode 』にするために使用します。『 Setup Mode 』で、独自のプラットフォーム・キーをインストールし、Secure Boot 署名データベースをカスタマイズできます。Secure Boot モードが『 Custom Mode 』に設定されます。
	Restore Factory Keys	<ul style="list-style-type: none"> • Yes • No 	このオプションは、Secure Boot データベースのすべてのキーと証明書を、出荷時のデフォルト状態に戻します。カスタマイズされたすべての Secure Boot 設定が消去され、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10 オペレーティング・システムの証明書を含む元の署名データベースに従ってデフォルトのプラットフォーム・キーが再確立されます。

『Startup』メニュー

コンピューターの起動設定を変更するには、『ThinkPad Setup』メニューから『Startup』タブを選択します。

注意：

- 起動順序を変更した後は、コピー、保存、フォーマット操作の際に正しいデバイスが選択されていることを確認してください。デバイスの選択を間違えると、データが消去されたり上書きされたりする場合があります。
- BitLocker ドライブ暗号化を使用している場合は、起動順序を変更しないでください。BitLocker ドライブ暗号化によって起動順序の変更が検出されると、コンピューターの起動がロックされます。

起動順序を一時的に変更してコンピューターを目的のドライブから起動するには、次のようにします。

1. コンピューターを再起動します。ThinkPad ログが表示されたら、F12 キーを押します。
2. コンピューターを起動するためのデバイスを選択します。

注：デバイスからコンピューターを起動できない場合、またはオペレーティング・システムが見つからない場合は、『**Boot**』メニューが表示されます。

次の表に、『**Startup**』メニュー項目を示します。**太字**は出荷時の設定値です。メニュー項目は事前の予告なしに変更される場合があります。モデルによっては、デフォルトの値が異なることがあります。

注：ご使用の ThinkPad が該当する機能をサポートしている場合のみに表示されるメニューもあります。

表 4. 『Startup』メニューの項目

メニュー項目	選択する項目	コメント
Boot		電源ボタンを押して、コンピューターの電源がオンになったときに起動するデバイスを選択します。
Network Boot		LAN からコンピューターを起動するときの起動デバイスを選択します。 『 Wake On LAN 』が使用可能の場合は、ネットワーク管理者はネットワーク管理ソフトウェアを使用し、LAN 内のすべてのコンピューターをリモート側からオンにすることができます。
UEFI/Legacy Boot	<ul style="list-style-type: none"> • Both <ul style="list-style-type: none"> – UEFI/Legacy Boot Priority <ul style="list-style-type: none"> – UEFI First – Legacy First • UEFI Only • Legacy Only CSM Support (UEFI Only 用) <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No 	<p>システムの起動容量を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Both: 起動オプション UEFI および Legacy の優先順位を選択します。 • UEFI Only: コンピューターは UEFI 対応オペレーティング・システムから起動します。 • Legacy Only: コンピューターは、UEFI 対応オペレーティング・システム以外の任意のオペレーティング・システムから起動します。 <p>注：『UEFI Only』を選択した場合、UEFI 対応オペレーティング・システムがない起動可能デバイスからは起動できません。</p> <p>レガシー・オペレーティング・システムの起動には、互換性のあるサポート・モジュール (CSM) が必要です。『UEFI Only』を選択する場合、『CSM Support』を選択できます。『Both』モードまたは『Legacy</p>

表 4. 『Startup』メニューの項目 (続き)

メニュー項目	選択する項目	コメント
		『Only』モードの場合は、『CSM Support』は選択できません。
Boot Mode	<ul style="list-style-type: none"> • Quick • Diagnostics 	POST 中の画面: <ul style="list-style-type: none"> • Quick: ThinkPad ロゴ画面が表示されます。 • Diagnostics: テスト・メッセージが表示されます。 注: POST 中に Esc キーを押して、『Diagnostic』モードに入ることができます。
Option Key Display	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Disabled』を選択すると、POST 中に『To interrupt normal startup, press Enter』メッセージが表示されません。
Boot Device List F12 Option	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Enabled』を選択すると、F12 キーが認識され、『Boot Menu』ウィンドウが表示されます。
Boot Order Lock	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled • Enabled 	『Disabled』を選択すると、デフォルトの優先順位を使用してコンピューターが起動します。『Enabled』を選択すると、カスタマイズした優先順位を使用してコンピューターが起動します。

『Restart』メニュー

ThinkPad Setup プログラムを終了してコンピューターを再起動するには、『ThinkPad Setup』メニューから『Restart』を選択します。

次のサブメニュー項目が表示されます。

- **Exit Saving Changes**: 変更内容を保存し、コンピューターを再起動します。
- **Exit Discarding Changes**: 変更内容を破棄し、コンピューターを再起動します。
- **Load Setup Defaults**: 工場出荷時の状態に復元します。

注: 『OS Optimized Defaults』を有効にして、Windows 8、Windows 8.1 または Windows 10 認定要件を満たします。この設定を変更すると、『CSM Support』、『UEFI/Legacy Boot』、『Secure Boot』、および『Secure RollBack Prevention』などの他の設定も一部自動的に変更されます。

- **Discard Changes**: 変更内容を破棄します。
- **Save Changes**: 変更内容を保存します。

システム UEFI BIOS の更新

UEFI BIOS は、コンピューターの電源をオンにしたときに最初に実行されるプログラムです。UEFI BIOS によってハードウェア・コンポーネントが初期化され、オペレーティング・システムや他のプログラムがロードされます。

UEFI BIOS を更新するには、フラッシュ更新光学式ディスクまたは Windows 環境で実行されているフラッシュ更新プログラムを使用してコンピューターを起動します。新しいプログラム、デバイス・ドライバ、またはハードウェアをインストールすると、UEFI BIOS を更新するように指示される場合があります。

UEFI BIOS の更新方法については、以下の Web サイトを参照してください。
<http://www.lenovo.com/ThinkPadDrivers>

システム管理の使用

このトピックは、主にネットワーク管理者を対象としています。

ご使用のコンピューターは、システム管理機能によって日常の管理が容易に行えるように設計されていますので、お客様本来の業務目標に対してより多くの人材を振り分けることができます。

システム管理機能、つまり TCO (Total Cost of Ownership) 機能によって、コンピューターの電源をオンにしたり、ハードディスク・ドライブをフォーマットしたり、プログラムをインストールしたりするなど、自分のコンピューターを操作するのと同じようにクライアント・コンピューターをリモートで操作できます。

いったんコンピューターを構成して使用可能にすれば、クライアント・コンピューターおよびネットワーク上ですでに統合されているソフトウェアの管理機能を使用して、コンピューターを管理できるようになります。

Desktop Management Interface

コンピューターの UEFI BIOS は、System Management BIOS (SMBIOS) Reference Specification バージョン 2.6.1 と呼ばれるインターフェースをサポートします。SMBIOS はコンピューターのハードウェア・コンポーネントに関する情報を提供します。UEFI BIOS の役目は、UEFI BIOS 自体の情報とシステム・ボード上の装置に関する情報を提供することです。この仕様書には、BIOS 情報にアクセスするための規格が記載されています。

Preboot eXecution Environment

Preboot eXecution Environment (PXE) によって、サーバーから起動する機能が備わり、コンピューターの管理を効率的に行うことができます。ThinkPad は、PXE に必要なパーソナル・コンピューター機能をサポートしています。たとえば、適切な LAN カードを使用すると、ご使用のコンピューターを PXE サーバーから起動できます。

注：ご使用のコンピューターではリモート初期プログラム・ロード (RIPL または RPL) 機能は使用できません。

Wake on LAN

Wake on LAN 機能を使用すると、ネットワーク管理者は、管理用コンソールからコンピューターの電源を入れることができます。

Wake on LAN 機能を有効にすると、データ転送、ソフトウェア更新、UEFI BIOS のフラッシュ更新など、さまざまな操作をリモート側から無人で実行できます。このような更新処理は通常業務の後や週末に実行できるため、業務中に仕事を中断する必要がなく、また LAN トラフィックを最小限に抑えることができます。時間の節約と生産性向上につながります。

注：Wake on LAN を使用してコンピューターの電源をオンにすると、コンピューターは『**Network Boot**』の設定値に従って起動します。

Asset ID EEPROM

Asset ID EEPROM には、コンピューターの構成および主要コンポーネントのシリアル番号に関する情報が含まれます。また、ネットワークのエンド・ユーザーに関する情報を記録できる空のフィールドが複数あります。

管理機能の設定

ネットワーク管理者がコンピューターをリモート制御するには、ThinkPad Setup プログラムで以下のシステム管理機能を設定します。

- Wake on LAN
- Network Boot シーケンス
- フラッシュ更新

注：スーパーバイザー・パスワードを設定している場合は、ThinkPad Setup プログラムを起動するときにスーパーバイザー・パスワードを入力する必要があります。

Wake on LAN 機能を使用可能または使用不可にする

Wake on LAN 機能が使用可能になっていて、コンピューターが LAN に接続されているときは、ネットワーク管理者は、リモート・ネットワーク管理プログラムを使用して、管理用コンソールからコンピューターをリモート操作で起動することができます。

Wake on LAN 機能を使用可能または使用不可にするには、次のようにします。

1. ThinkPad Setup プログラムを開始します。115 ページの『ThinkPad Setup プログラムの使用』を参照してください。
2. 『Config』 → 『Network』を選択します。『Network』サブメニューが表示されます。
3. Wake on LAN 機能に対応するオプションを選択します。
4. F10 キーを押し、保存して終了します。

Network Boot 順序の定義

LAN からコンピューターを起動するときは、『Network Boot』メニューで指定されたデバイスから起動し、次に『Boot』メニューの起動順序リストに従います。

Network Boot シーケンスを定義するには、次のようにします。

1. ThinkPad Setup プログラムを開始します。115 ページの『ThinkPad Setup プログラムの使用』を参照してください。
2. 『Startup』 → 『Network Boot』を選択します。起動デバイスのリストが表示されます。
3. 起動の優先順位を最優先にする起動デバイスを選択します。
4. F10 キーを押し、保存して終了します。

注：F9 キーを押すと、工場出荷時の状態に復元できます。

フラッシュ更新の要件の確認

以下の要件を満たしている場合、ネットワーク管理者は管理用コンソールからコンピューターのプログラムを更新できます。

- LAN を介してコンピューターを起動する必要がある。
- コンピューターに Preboot eXecution Environment (PXE) が必要である。
- ネットワーク管理者のコンピューターに、ネットワーク管理プログラムをインストールする必要がある。

第9章 トラブルの予防

ThinkPad ノートブック・コンピューターを快適にご利用いただくには、適切なメンテナンスが必要です。正しく取り扱うことで、一般的な問題を回避できます。この章では、ご使用のコンピューターの円滑な稼働を維持する上で役立つ情報を提供します。

- 137 ページの『トラブルを予防するための一般的なヒント』
- 138 ページの『最新のデバイス・ドライバーの確認』
- 139 ページの『コンピューターの取り扱い』

トラブルを予防するための一般的なヒント

- ハードディスク・ドライブと M.2 ソリッド・ステート・ドライブの両方が付属しているコンピューターの場合、起動可能デバイスとして M.2 ソリッド・ステート・ドライブを使用することはお勧めできません。M.2 ソリッド・ステート・ドライブは、『キャッシュ』機能のことだけを考慮して設計され、開発されています。起動可能デバイスとして M.2 ソリッド・ステート・ドライブを使用する場合、その信頼性は保証されません。
- ときおり、ご使用のハードディスク・ドライブの容量を確認してください。ハードディスク・ドライブがいっぱいになると、Windows オペレーティング・システムがスローダウンし、エラーが発生することがあります。

ご使用のハードディスク・ドライブの容量を確認するには、次のようにします。

- Windows 7 の場合: 『スタート』 → 『コンピューター』の順にクリックします。
- Windows 8 および Windows 8.1 の場合: エクスプローラーを開き、『コンピューター』をクリックします。
- Windows 10 の場合: エクスプローラーを開き、『PC』をクリックします。
- 『ごみ箱』を定期的に空にします。
- データ検索および読み取り時間を短縮するために、ハードディスク・ドライブで定期的にディスク・デフラグ・ツールを使用します。
- ディスク領域を解放するために、使用しないアプリケーション・プログラムをアンインストールしてください。

注: また、プログラムやバージョンの重複がないか調べてみてください。

- ご使用の電子メール・クライアント・プログラムから受信箱、送信済み、ごみ箱フォルダーを空にします。
- 少なくとも 1 週間に一度は、データをバックアップします。重要なデータがある場合は、毎日バックアップ操作を行うことをお勧めします。Lenovo では、ご使用のコンピューターに使用できるさまざまなバックアップ用オプション機器を用意しています。再書き込み可能な光学式ドライブなどを簡単に取り付けることができます。
- システム復元処理のスケジュールを設定して、定期的にシステム・スナップショットを取ってください。システムの復元の詳細については、65 ページの第 5 章『リカバリー概要』を参照してください。
- 必要に応じて、デバイス・ドライバーと UEFI BIOS を更新します。
- <http://www.lenovo.com/support> でご使用のマシンのドライバーを最新に保ってください。
- 他社製ハードウェアを使用している場合は、その最新のデバイス・ドライバーが提供されているか確認してください。更新する前に、互換性の問題または既知の問題についてデバイス・ドライバーのリリース情報を確認してください。
- ログを保管してください。項目として、ハードウェアまたはソフトウェアの変更内容、ドライバーの更新、遭遇した小さな問題とその解決方法などを記録します。

- コンピューターでリカバリーを実行してハードディスクの内容を出荷時の状態に復元する場合は、次のことに注意してください。
 - プリンター、キーボードなど、すべての外付けデバイスを取り外します。
 - バッテリーが充電してあり、コンピューターに AC 電源が接続されていることを確認します。
 - 『ThinkPad Setup』にアクセスし、デフォルト設定をロードします。
 - コンピューターを再起動し、リカバリー処理を開始します。
 - リカバリー・メディアとしてディスクを使用する場合は、画面の指示が表示されるまでディスクを取り出さないでください。
- ハードディスク・ドライブに問題があると考えられる場合は、スマートセンターに問い合わせる前に、143 ページの『問題の診断』を参照してから、ドライブの診断テストを行ってください。コンピューターが起動しない場合は、<http://www.lenovo.com/hddtest> (英語のサイトです) から、起動可能な自己診断メディアを作成するためのファイルをダウンロードしてください。テストを実行し、すべてのメッセージやエラー・コードを書き留めておきます。テストで障害を示すエラー・コードまたはメッセージが表示された場合は、表示されたコードまたはメッセージを書き留め、問題のコンピューターを目の前に置いた状態でスマートセンターに連絡してください。これ以降の処理を技術員がお手伝いいたします。
- 必要に応じて、<http://www.lenovo.com/support/phone> で最寄りのスマートセンターへの連絡方法に関する情報を探することができます。スマートセンターに電話をかけるときは、コンピューターのモデル・タイプとシリアル番号を確認しておき、コンピューターを目の前に置いた状態で連絡してください。コンピューターの画面にエラー・メッセージが表示された場合は、そのメッセージを書き留めておくことと電話によるお問い合わせや修理などの際に役立ちます。

最新のデバイス・ドライバーの確認

デバイス・ドライバーは、特定のハードウェアの操作方法または『駆動』方法について、オペレーティング・システムのための指示が入っているプログラムです。コンピューター上の各ハードウェア・コンポーネントは、独自のドライバーを持っています。新しいコンポーネントが追加される場合、オペレーティング・システムには、そのハードウェアの操作方法についての指示が必要です。該当するドライバーがインストールされると、オペレーティング・システムは、そのハードウェア・コンポーネントを認識し、その使用方法を理解します。

注：ドライバーはプログラムであるため、ご使用の ThinkPad 上の他のファイルと同様、場合によっては破壊されてしまうことがあり、万一破壊されてしまうと ThinkPad が正しく動作しない場合があります。

いつも最新のドライバーのダウンロードが必要なわけではありませんが、コンポーネントのパフォーマンスの低下に気付いたり、新しいコンポーネントを追加したときは、古いドライバーに起因する問題を除去するために、そのコンポーネントの最新ドライバーをダウンロードすることをお勧めします。

Web サイトからの最新ドライバーの入手

次のようにして、Lenovo サポート Web サイトから、更新済みデバイス・ドライバーをダウンロードしてインストールできます。

1. <http://www.lenovo.com/ThinkPadDrivers> にアクセスします。
2. ご使用のコンピューター用のエントリを選択し、画面に表示される指示に従って、必要なソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

System Update を使用した最新ドライバーの入手

System Update プログラムは、ご使用のコンピューター上のソフトウェアを最新の状態に保つのに役立ちます。更新パッケージは、Lenovo サーバーに保存されているので、Lenovo サポート Web サイトからダウンロードできます。更新パッケージには、アプリケーション、デバイス・ドライバー、UEFI BIOS フラッシュ、またはソフトウェア更新が含まれている場合があります。System Update プログラムが Lenovo サポート Web サイトに接続されると、System Update プログラムは、ご使用のコンピューターのマシン・タ

IPとモデル、インストールされているオペレーティング・システム、およびオペレーティング・システムの言語を自動的に認識して、ご使用のコンピューターにどの更新が使用可能かを判別します。次に System Update プログラムは、更新パッケージのリストを表示し、重要度の理解に役立つように各更新を重要、推奨、またはオプションとして分類します。お客様は、どの更新をダウンロードし、インストールするかを完全に制御できます。ユーザーが必要な更新パッケージを選択した後、System Update プログラムは、ユーザーの介入なしに自動的に更新をダウンロードし、インストールします。

System Update プログラムは、お使いの ThinkPad にプリインストールされていて、いつでも実行できます。前提条件はアクティブなインターネット接続があることのみです。このプログラムは手動で開始できます。または、スケジュール機能を使用して、指定された間隔で自動的にプログラムが更新を検索できるようにすることもできます。また、更新のスケジュールを重大度別(重要な更新、重要な更新と推奨更新、またはすべての更新)に検索するように事前定義して、選択する元のリストにお客様が必要とする更新タイプのみを含めることができます。

System Update プログラムの使用方法について詳しくは、プログラムのヘルプ情報システムを参照してください。

コンピューターの取り扱い

コンピューターは、通常の使用環境で正常に機能するように設計されていますが、取り扱いには注意が必要です。このトピックに示す注意事項に従っていただければ、コンピューターを長期間快適に使用することができます。

ThinkPad の使用環境と使用方法に注意する

- ビニール袋による窒息事故を防止するために、梱包材はお子様の手の届くところに置かないでください。
- コンピューターは、磁石、通話中の携帯電話、電化製品、またはスピーカーなどのそばに置かないでください (13 cm 以上離す)。
- コンピューターを極端な温度 (5°C 以下または 35°C 以上) にさらさないでください。
- マイナス・イオン発生器 (マイナス・イオン卓上ファン、マイナス・イオン空気清浄機等) をご使用の際、コンピューター等、送風先に置かれたものが帯電することがあります。長時間こうした環境におかれ、帯電してしまった場合、蓄積された静電気は、お客様がコンピューターをご使用になる際に、お客様の手や、I/O 機器のコネクター等を通じて放電されることとなります。これは人体、衣服に帯電した静電気がコンピューターに向けて放電 (ESD) される場合とは逆ですが、コンピューターが誤動作したり故障してしまう可能性は同様です。

ご使用のコンピューターは静電気の影響は最小となるよう設計、製造しておりますが帯電する静電気が増加し、ある限界を超えた場合はこうした現象が起きる可能性が高くなりますので、ご利用に際し注意が必要です。そのため、コンピューターの側でマイナス・イオン発生器をお使いになる場合は以下の様なご配慮をお願い致します。

- マイナス・イオン発生器からの送風が直接コンピューターに当たらないようにする。
- マイナス・イオン発生器とコンピューターや周辺機器をできるだけ離す。
- 可能な場合は、コンピューターを接地して安全に静電気を放電できるようにする。

注：すべてのマイナス・イオン発生器が著しい静電気の放電を起こすわけではありません。

コンピューターを丁寧に扱う

- ディスプレイとキーボードの間やパームレストには、何も置かないでください。紙をはさんでもいけません。
- 液晶ディスプレイは、90 度より少し大きい角度に開いて使用するよう設計されています。LCD を 180 度以上に開くと、コンピューターのヒンジが損傷するおそれがあるので、そのように開かないでください。

- AC 電源アダプターを差し込んだままで、コンピューターを裏返さないでください。アダプター・プラグが破損する可能性があります。

コンピューターの持ち運びに注意する

- コンピューターを移動させる前に、必ずすべてのメディアを取り外し、接続デバイスの電源を切り、コードやケーブル類を抜いてください。
- LCD のカバーを開いた状態で ThinkPad を持ち上げるときは、底を持ってください。LCD の部分を持ってコンピューターを持ち上げないでください。

記憶メディアおよびドライブを正しく取り扱う

- コンピューターに光学式ドライブが装備されている場合は、ディスクの表面や、トレイのレンズに触れないでください。
- CD または DVD がドライブの中央の回転軸にカチッと音がして収まってから、トレイを閉じてください。
- ThinkPad では、Serial Ultrabay Enhanced ベイに対応して設計されている光学式ドライブのみを使用してください。
- ハードディスクドライブ、ソリッド・ステート・ドライブ、または光学式ドライブを取り付けるときは、ThinkPad に付属の説明書に従って行き、デバイス上の必要な位置以外は押さないようにしてください。
- ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを交換する前に、コンピューターの電源をオフにします。
- プライマリ・ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを交換した後は、ドライブ・スロットのカバーを取り付け直します。
- 外付けまたは取り外し可能なハードディスク・ドライブまたは光学式ドライブは、使用していないときは適切な箱または袋に保管しておいてください。
- 以下のデバイスを取り付ける前に、金属製のテーブルまたは接地 (アース) された金属製品に触れてください。これを行うと、身体の静電気が減少します。静電気はデバイスを損傷させる恐れがあります。

注：リストされたデバイスがすべて、ご使用のコンピューターに含まれているとは限りません。

- ExpressCard
- SD カード、SDHC カード、SDXC カード、MultiMediaCard などのメモリー・カード
- メモリー・モジュール
- スマート・カード
- SD カードなどのフラッシュ・メディア・カードにデータを転送したり、フラッシュ・メディア・カードからデータを転送する場合は、データ転送が完了するまでご使用の ThinkPad をスリープ状態または休止状態にしないでください。そうしないと、データが破損することがあります。

パスワード設定時の注意

- パスワードは忘れないでください。スーパーバイザー・パスワードまたはハードディスク・パスワードを忘れた場合、Lenovo でパスワードをリセットすることはできないため、システム・ボード、ハードディスク・ドライブ、またはソリッド・ステート・ドライブの交換をご依頼いただくことになります。

指紋センサーの取り扱い

以下のことを行うと、指紋読み取り部分に傷が付いたり正常に作動しなくなる可能性があります。

- 指紋センサー表面を、硬くて先のとがったもので引っかくこと。
- 指紋センサーの表面を、爪または何か硬いもので引っかくこと。
- 汚れた指で指紋センサーを使用したり触ったりすること。

下記のいずれかの状態の場合は、乾いた、柔らかく、けば立ちのない布で指紋センサーの表面を拭いてください。

- 指紋センサーの表面が汚れている、または着色している。
- 指紋センサーの表面が濡れている。
- 指紋センサーでの指紋の登録や認証にたびたび失敗する。

お客様登録

- <http://www.lenovo.com/register> にて、ご使用の ThinkPad コンピューターを Lenovo にご登録ください。詳しくは、19 ページの『お客様登録』を参照してください。

コンピューターを改造しない

- ThinkPad の分解や修理は、ThinkPad の認定技術者でない方は行わないでください。
- ディスプレイを開いたままや閉じたままの状態にするために、ラッチを改造したり、ラッチにテープを貼ったりしないでください。

ThinkPad のクリーニング

次のようにして、コンピューターを時々クリーニングしてください。

1. 中性洗剤(研磨剤や酸やアルカリなどの強い化学物質を含まないもの)を水で 1/5 に薄めてください。
2. 薄めた中性洗剤でスポンジを湿らせます。
3. スポンジから余分な液体を絞り出します。
4. そのスポンジでコンピューターのカバーをふきます。円を描くようにして、余分な液体がカバーに残らないよう注意してください。
5. 洗剤を残さないように、ふきます。
6. 使用後のスポンジは、流水でよくすすいでください。
7. 清潔なスポンジでカバーをふきます。
8. 乾いた柔らかい糸くずの出ない布で、カバーを再びふきます。
9. カバーが完全に乾くまで待ちます。布の糸くずが残っていたら、取り除きます。

キーボードのクリーニング

コンピューターのキーボードをクリーニングするには、次のようにします。

1. 清潔な柔らかい布に少量のイソプロピル消毒用アルコールを付けます。

注：キーボードに、クリーナーを直接吹き付けしないでください。

2. その布でキー表面をふきます。隣のキーに布を引っ掛けないように、キー表面は 1 点ずつふいてください。表面やキーの間に液体が垂れないように注意します。
3. 乾かします。
4. キーボードの下にある糸くずやほこりを取り除くために、ドライヤーの冷風や写真用ブロワーブラシなどを使用します。

コンピューター画面のクリーニング

液晶ディスプレイをクリーニングするには、次のようにします。

1. 乾いた柔らかい布で、ディスプレイを軽くふきます。画面に引っかけたような跡がある場合は、外側からカバーを押しした時にキーボードまたは TrackPoint ポインティング・スティックによって出来た可能性があります。
2. その跡を、乾いた柔らかい布で軽くふきます。

3. 跡が消えない場合は、不純物が入っていない水で半分に薄めたイソプロピル消毒用アルコールで湿らせた布でふきます。

注：キーボードに、クリーナーを直接吹き付けしないでください。

4. 液体を完全に絞り出します。
5. ディスプレイを再びふきます。コンピューターに液体が垂れないように注意します。
6. ディスプレイが完全に乾いてから、閉じるようにしてください。

第 10 章 コンピューターの問題のトラブルシューティング

ここでは、コンピューターに問題が生じたときの対処方法を説明します。

- 143 ページの 『問題の診断』
- 143 ページの 『問題判別』

問題の診断

ThinkPad に問題が起きた場合は、Lenovo Solution Center プログラムを使用して問題を解決します。

Lenovo Solution Center プログラムを使用すると、コンピューターに関連した問題のトラブルシューティングと解決を行うことができます。このプログラムは、最適なシステム・パフォーマンスを実現するためのヒントに加えて、診断テスト、システム情報収集、セキュリティー状況、およびサポート情報を結び付けます。

注：

- Lenovo Solution Center プログラムは次の Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.lenovo.com/diags>
- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 または Windows 10 以外の Windows オペレーティング・システムを使用している場合は、次の Web サイトでコンピューターの診断に関する最新情報をご覧ください。
<http://www.lenovo.com/diagnose>

コンピューターをセットアップするとき、Lenovo Solution Center プログラムにより、リカバリー・メディアを作成するようにプロンプトが表示されます。このリカバリー・メディアを使用すると、ハードディスク・ドライブを出荷時のデフォルトの状態に復元することができます。詳しくは、66 ページの 『バックアップおよびリカバリー操作の実行』を参照してください。

Lenovo Solution Center プログラムを実行するには、15 ページの 『Lenovo プログラムへのアクセス』を参照してください。

追加情報については、Lenovo Solution Center のヘルプ・システムを参照してください。

注：Lenovo Solution Center プログラムを実行しても問題の切り分けおよび修復ができない場合は、プログラムで作成されたログ・ファイルを保存して印刷してください。Lenovo テクニカル・サポート担当者に連絡するにあたって、このログ・ファイルが必要になります。

問題判別

コンピューターにエラーが発生すると、通常は、電源をオンにしたときに、メッセージやエラー・コードが表示されたり、ビーブ音が鳴ったりします。問題が生じた場合は、このトピックにある対応する項目を参照し、お客様自身で問題の解決を試みてください。

コンピューターが応答を停止した

現在必要でなくても、いつか必要になるときの備えとしてこのトピックを印刷して、コンピューターと一緒に保管しておくことをお勧めします。

コンピューターがまったく応答しない (ThinkPad ポインティング・デバイスもキーボードも使用できない) 場合は、次のようにします。

1. ThinkPad の電源がオフになるまで、電源ボタンを押したままにします。電源がオフになったら、電源ボタンを押してコンピューターを再起動します。ThinkPad の電源が入らない場合、ステップ 2 に進みます。

注： ThinkPad をリセットするためにバッテリーや AC 電源アダプターを取り外さないでください。

2. ThinkPad の電源をオフにした状態で、ThinkPad からすべての電源を取り外します (バッテリーおよび AC 電源アダプター)。電源ボタンを 10 秒押します。ThinkPad のバッテリーを外している間は、AC 電源アダプターを接続してください。ThinkPad の電源が入らない場合、ステップ 3 に進みます。

注： ThinkPad が起動して Windows 環境に入ったら、正しいシャットダウン手順で ThinkPad の電源をオフにします。ThinkPad の電源がオフになったら、バッテリーを再度取り付けて、ThinkPad を再起動します。バッテリーを再度取り付けた状態でコンピューターが起動しない場合は、バッテリーを取り外して、再度ステップ 2 から始めます。コンピューターが AC 電源では起動するが、バッテリーを取り付けたときに起動しない場合は、スマートセンターに連絡して、サポートを受けてください。

3. ThinkPad の電源をオフにした状態で、ThinkPad から電源をすべて取り外します (バッテリーおよび AC 電源アダプター)。ThinkPad に接続されているすべての外付けデバイスを取り外します (キーボード、マウス、プリンター、スキャナーなど)。ステップ 2 を繰り返します。ステップ 2 に失敗する場合、ステップ 4 に進みます。

注： 以下のステップでは、ご使用の ThinkPad から静電気に弱い部品を取り外す操作を含みます。正しく接地 (アース) されているものに触れて体に帯びた静電気を除去し、ThinkPad に接続されているすべての電源を取り外します。どの部品を取り外せばよいかよくわからない場合は、スマートセンターにお問い合わせください。

4. コンピューターの電源がオフになっているときに、すべての電源および外付けハードウェアを取り外します。ご購入後にお客様が追加または交換したメモリー・モジュールをすべて取り外します。増設メモリー・モジュールを取り外し、出荷時に装備されていたメモリー・モジュールを再度取り付けたら、ステップ 2 を繰り返します。それでもコンピューターの電源がオンにならない場合は、ユーザー・マニュアルを参照して、お客様での取替が可能なその他のコンポーネントについて調べてください。

それでもコンピューターが起動しない場合は、スマートセンターに修理をご依頼ください。

キーボードに液体をこぼした場合

モバイル・コンピューターですから、時にはキーボードに液体をこぼすようなこともあるかもしれません。ほとんどの液体は電気を通すので、キーボードに液体をこぼすとショートが多数発生して、コンピューターに取り返しの付かない損傷を与える危険性があります。

コンピューターに何かをこぼしてしまった場合は、次のように対処してください。

注意： AC 電源アダプターをご使用の場合は、AC アダプターをただちに外して、お客様と AC アダプターの間で液体によるショートがおこらないように注意してください。一部のデータや作業内容が失われる可能性があります。ThinkPad の電源をオンのままにしておく使用できなくなる恐れがあります。

1. ただちに AC 電源アダプターを慎重に抜き取ります。
2. ただちに ThinkPad の電源をオフにします。コンピューターの電源がオフにならない場合は、バッテリーを取り外します。ThinkPad に電流が流れるのをできるだけ早く止めれば、それだけショートによる損傷を受ける危険性を阻止または減らすことができます。
3. 液体がすべて確実に乾くまで待つから、ThinkPad の電源をオンにします。

注： キーボードの交換をご希望の場合は、修理を依頼してください。

エラー・メッセージ

- **メッセージ:** 0177: SVP データが正しくありません。POST タスクを停止します。

解決法: EEPROM のスーパーバイザー・パスワードのチェックサムが正しくありません。システム・ボードの交換が必要です。コンピューターの修理を依頼してください。

- **メッセージ:** 0183: EFI 変数のセキュリティ設定に不正な CRC があります。『ThinkPad Setup』で設定を再構成してください。

解決法: EFI 変数のセキュリティ設定のチェックサムが正しくありません。『ThinkPad Setup』を開始してセキュリティ設定を確認し、F10 キーを押してから、Enter キーを押してシステムを再起動します。それでも問題が解決しない場合は、コンピューターの修理を依頼してください。

- **メッセージ:** 0187: EAIA データ・アクセス・エラー。

解決法: EEPROM に対するアクセスに失敗しました。コンピューターの修理を依頼してください。

- **メッセージ:** 0188: RFID シリアルライゼーション情報域が無効です。

解決法: EEPROM チェックサムが正しくありません(ブロック #0 および 1)。システム・ボードを交換して、ボックス・シリアル番号を再インストールする必要があります。コンピューターの修理を依頼してください。

- **メッセージ:** 0189: RFID 構成情報域が無効です。

解決法: EEPROM チェックサムが正しくありません(ブロック #4 および 5)。システム・ボードを交換して、UUID を再インストールする必要があります。コンピューターの修理を依頼してください。

- **メッセージ:** 0190: 重大なバッテリー残量低下エラー。

解決法: バッテリー残量がほとんどなくなったため、ThinkPad の電源がオフになります。ThinkPad に AC 電源アダプターを接続してバッテリーを充電するか、フル充電したバッテリーに交換してください。

- **メッセージ:** 0191: システム・セキュリティー - 無効なりモート変更が要求されました。

解決法: システム構成の変更に失敗しました。再度変更を行ってください。この問題を解決するには、ThinkPad Setup プログラムで設定を再構成します。

- **メッセージ:** 0199: システム・セキュリティー - セキュリティー・パスワードの再試行の回数が限度を超えています。

解決法: スーパーバイザー・パスワードの入力を 3 回を超えて間違えると、このメッセージが表示されます。スーパーバイザー・パスワードを確認して、もう一度試してください。この問題を解決するには、ThinkPad Setup プログラムで設定を再構成します。

- **メッセージ:** 1802: 無許可のネットワーク・カードが接続されました。

解決法: ご使用のコンピューターは、ネットワーク・カードをサポートしていません。取り外してください。

- **メッセージ:** 1820: 複数の外付けの指紋センサーが接続されています。

解決法: 電源をオフにして、メイン・オペレーティング・システムで設定するもの以外の指紋センサーを取り外します。

- **メッセージ:** 2100: HDD0 (メイン HDD) の検出エラー。

解決法: ハードディスク・ドライブが作動していません。ハードディスク・ドライブの修理を依頼してください。

- **メッセージ:** 2101: HDD1 (Ultrabay HDD) の検出エラー。

解決法: ハードディスク・ドライブが作動していません。ハードディスク・ドライブの修理を依頼してください。

- **メッセージ:** 2102: SSD2 (M.2) での検出エラー
解決法: M.2 SSD デバイスが作動していません。M.2 SSD デバイスの修理を依頼してください。
- **メッセージ:** 2110: HDD0 (メイン HDD) の読み取りエラー。
解決法: ハードディスク・ドライブが作動していません。ハードディスク・ドライブの修理を依頼してください。
- **メッセージ:** 2111: HDD1 (Ultrabay HDD) の読み取りエラー
解決法: ハードディスク・ドライブが作動していません。ハードディスク・ドライブの修理を依頼してください。
- **メッセージ:** 2112: SSD2 (M.2) の読み取りエラー
解決法: M.2 SSD デバイスが作動していません。M.2 SSD デバイスの修理を依頼してください。
- **メッセージ:** 2200: マシン・タイプとシリアル番号が無効です。
解決法: マシン・タイプとシリアル番号が無効です。コンピューターの修理を依頼してください。
- **メッセージ:** 2201: マシン UUID が無効です。
解決法: マシン UUID が無効です。コンピューターの修理を依頼してください。
- **メッセージ:** ファン・エラー
解決法: 冷却用ファンが故障しています。すぐにコンピューターの電源を切り、修理を依頼してください。
- **メッセージ:** 温度センサー・エラー
解決法: 温度センサーが故障しています。すぐにコンピューターの電源を切り、修理を依頼してください。

メッセージが表示されないエラー

- **問題:** 画面を消したくないときでも時間がたつと消えてしまう。
解決法: Windows 7 オペレーティング・システムが初期インストールされている場合は、次の手順で、ディスプレイ電源オフ・タイマーやブランク・タイマーなどのシステム・タイマーをすべて使用不可に設定することができます。
 1. Power Manager を起動します。
 2. 『電源プラン』タブをクリックして、定義済みの電源プランから『マックス・パフォーマンス』を選択します。
- **問題:** ThinkPad の電源をオンにしても、起動中に画面に何も表示されず、ビープ音も鳴らない。
注: ビープ音が鳴ったかどうか確かでない場合は、電源ボタンを 4 秒間以上押し続けて、ThinkPad の電源をオフにします。コンピューターの電源をオンにして、もう一度ビープ音を確認します。
解決法: 次のことを確認してください。
 - バッテリーは正しく取り付けられていますか。
 - AC 電源アダプターがコンピューターに接続されており、電源コードがコンセントに差し込まれていますか。
 - コンピューターの電源がオンになっていますか。(確認のため、電源ボタンをもう一度押してください。)
 - 画面の輝度レベルが適切に設定されていますか。

パワーオン・パスワードが設定されている場合は、任意のキーを押すと、パワーオン・パスワードを求めめるプロンプトが表示されます。正しいパスワードを入力してから『Enter』キーを押してください。

上記の項目が正しく設定されているにもかかわらず画面に何も表示されない場合は、コンピューターの修理を依頼してください。

- **問題:** ThinkPad の電源をオンにすると、ブランクの画面に白いカーソルだけが表示される。

解決法: パーティション・ソフトウェアを使用してハードディスク・ドライブのパーティションを変更している場合は、パーティション情報またはマスター・ブート・レコードが壊れている可能性があります。

1. コンピューターの電源をオフにしてから、再度オンにします。
2. それでも画面にカーソルしか表示されない場合は、次のことを行ってください。
 - パーティション・ソフトウェアを使用した場合は、そのソフトウェアを使ってハードディスク・ドライブのパーティションを確認し、必要に応じてパーティションのリカバリーを行ってください。
 - リカバリー方法を使用して、システムを工場出荷時の状態に復元する。

それでも問題が解決しない場合は、コンピューターの修理を依頼してください。

- **問題:** ThinkPad の電源がオンになっているのに画面に何も表示されない。

解決法: スクリーン・セーバーまたは省電力機能が使用可能になっています。以下のいずれかを実行してください。

- TrackPoint ポインティング・デバイスを動かすか、ThinkPad トラックパッドに触れるか、またはどれかキーを押してスクリーン・セーバーを終了させる。
- 電源ボタンを押してスリープ状態または休止状態から通常の動作状態に戻す。

ビープ音が鳴るエラー

表 5. ビープ音が鳴るエラー

問題	解決法
短いビープ音が 1 回鳴り、休止し、短いビープ音が 3 回鳴り、休止し、短いビープ音が 3 回鳴り、休止し、短いビープ音が 1 回鳴る	コンピューターの修理を依頼してください。
短いビープ音が 3 回鳴り、休止し、短いビープ音が 1 回鳴り、休止し、再び短いビープ音が 1 回鳴り、短いビープ音が 3 回鳴る。	コンピューターの電源をオフにして、ExpressCard スロットからデバイスを取り外してください。それでもビープ音が止まらない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
長いビープ音 1 回と短いビープ音 2 回	ビデオ機能に問題があります。コンピューターの修理を依頼してください。
短いビープ音が 4 回鳴り、それが 4 回繰り返される	すぐにコンピューターの電源を切り、修理を依頼してください。
短いビープ音が 5 回	システム・ボードに問題があります。コンピューターの修理を依頼してください。

メモリー・モジュールの問題

現在必要でなくても、いつか必要になるときの備えとしてこのトピックを印刷して、コンピューターと一緒に保管しておくことをお勧めします。

ThinkPad のメモリー・モジュールが正常に動作しない場合は、以下の手順を参照してください。

1. ThinkPad にメモリー・モジュールが正常に装着されていることを確認します。
メモリー・モジュールを別途増設されている場合は、一度取り外して出荷時のメモリー・モジュール構成に戻した上で、標準のメモリー・モジュールを取り外し再度取り付けを行ってください。
2. 起動時のエラー・メッセージを確認します。
電源投入時自己診断 (POST) のエラー・コードが表示される場合、エラー・コードによって実施する作業が異なりますので、エラー・メッセージを参照して適切な作業を行います。
3. 最新の UEFI BIOS がインストールされていることを確認します。
4. ご使用の ThinkPad でサポートされているメモリーの最大容量や仕様を確認してください。
5. 『問題の診断』を実行します。143 ページの『問題の診断』を参照してください。

ネットワークの問題

以下に、ネットワークに関するよくある問題を説明します。

イーサネットの問題

- **問題:** ThinkPad がネットワークに接続できない。

解決法: 次のことを確認してください。

- ケーブルが正しく取り付けられていますか。

ThinkPad のイーサネット・コネクタと、ハブの RJ45 コネクタのどちらにも、ネットワーク・ケーブルがしっかりと接続されている必要があります。コンピューターからハブまでの最長許容距離は 100 メートルです。ケーブルが接続されていて、距離が許容限度内にあるのに問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してください。

- 正しいデバイス・ドライバーを使用していますか。正しいドライバーをインストールするには、次のようにします。

1. 『コントロールパネル』に進み、『ハードウェアとサウンド』 → 『デバイス マネージャー』の順にクリックします。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。
2. 『ネットワーク アダプター』のアダプター名の横に感嘆符マーク (!) が付いている場合は、正しいドライバーを使用していないか、ドライバーが使用不可になっている可能性があります。ドライバーを更新するには、強調表示されているアダプターを右クリックします。
3. 『ドライバー ソフトウェアの更新』をクリックして、画面の指示に従います。

- スイッチ・ポートとアダプターの全二重設定が同じですか。

アダプターを全二重に設定した場合は、スイッチ・ポートも全二重に設定されていることを確認します。間違った全二重モードを設定すると、パフォーマンスが低下したり、データが脱落したり、接続が切れたりする可能性があります。

- ネットワーク環境に必要なネットワーク・ソフトウェアをすべてインストールしましたか。
必要なネットワーク・ソフトウェアについては、LAN 管理者に問い合わせてください。

- **問題:** はっきりした原因なしにアダプターの作動が停止する。

解決法: ネットワーク・ドライバー・ファイルが破損または欠落している可能性があります。前述の解決法を参照してドライバーを更新し、正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

- **問題:** ギガビット・イーサネット・モデルの ThinkPad で 1000 Mbps を使用すると、接続に失敗するか、エラーが発生する。

解決法:

- カテゴリー 5 配線を使用し、ネットワーク・ケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
 - 1000 BASE-X ではなく、1000 BASE-T ハブ/スイッチに接続してください。
- **問題:** Wake on LAN 機能が作動しない。
- 解決法:**
- 『ThinkPad Setup』で Wake on LAN が使用可能になっているかどうか確認してください。
 - 『Enabled』になっている場合は、必要な設定値について LAN 管理者に確認してください。
- **問題:** ThinkPad がギガビット・イーサネット・モデルなのに、1000 Mbps でネットワークに接続できず、100 Mbps で接続する。
- 解決法:**
- ほかのケーブルを試してください。
 - リンク・パートナーが自動調整に設定されているか確認してください。
 - スイッチが 802.3ab 準拠 (1000 BASE-T) か確認してください。

ワイヤレス LAN の問題

問題: 内蔵ワイヤレス・ネットワーク・カードを使用してネットワークに接続できない。

解決法: 次のことを確認してください。

- 機内モードがオフであることを確認してください。
- ご使用のワイヤレス LAN ドライバーが最新バージョンであることを確認してください。
- ご使用のコンピューターがワイヤレス・アクセス・ポイントの範囲内にあることを確認してください。
- ワイヤレス機能が使用可能になっていることを確認してください。

注: Windows 7 オペレーティング・システムを使用している場合は、タスクバーの『**隠れているインジケータを表示します**』をクリックします。Access Connections アイコンが表示されます。アイコンについて詳しくは、Access Connections のヘルプ情報システムを参照してください。

Windows 7 オペレーティング・システムの場合は、ネットワーク名 (SSID) と暗号化情報を確認してください。これらの情報を確認する場合は、Access Connections プログラムを使用してください。

ワイヤレス WAN の問題

問題: 無許可の WAN カードが取り付けられていることを示すメッセージが表示される。

解決法: ご使用の ThinkPad は、WAN カードをサポートしません。WAN カードを取り外します。

注: 一部のモデルには、ワイヤレス WAN カードがありません。

Bluetooth の問題

注: 常にご使用の接続を確認して、接続するデバイスに対してほかの Bluetooth デバイスによる検索が行われていないことを確認してください。Bluetooth 接続では、同時検索はできません。

- **問題:** ヘッドセット・プロファイルまたは AV プロファイルを設定して接続しているのに Bluetooth ヘッドセット/ヘッドホンの音が出ない。しかし、付属のスピーカーからは音が出る。

解決法: 次のように行います。

1. サウンド・デバイスを使用するアプリケーションを終了します (例: Windows Media Player)。
2. 『コントロールパネル』に進み、『**ハードウェアとサウンド**』 → 『**サウンド**』 → 『**再生**』の順にクリックします。

3. ヘッドセット・プロファイルを使用している場合、『Bluetooth ハンズフリー オーディオ』を選択して、『既定値に設定』ボタンをクリックします。AV プロファイルを使用している場合、『ステレオオーディオ』を選択して、『既定値に設定』ボタンをクリックします。
 4. 『OK』をクリックして『サウンド』ウィンドウを閉じます。
- **問題:** Windows 7 オペレーティング・システムから送信された PIM 項目が、他の Bluetooth デバイスのアドレス帳で正しく受信できない。

解決法: Windows 7 オペレーティング・システムは PIM 項目を XML フォーマットで送信しますが、ほとんどの Bluetooth デバイスは PIM 項目を vCard フォーマットで処理します。別の Bluetooth デバイスが Bluetooth を通じてファイルを受信できる場合は、Windows 7 から送信された PIM 項目は拡張子が .contact のファイルとして保存されている可能性があります。

キーボードとポインティング・デバイスの問題

以下に、キーボードとポインティング・デバイスに関するよくある問題を説明します。

ThinkPad ポインティング・デバイスの問題

- **問題:** ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の動作状態に戻ったとき、マウス・ポインターが勝手に動く。
- 解決法:** 通常の動作状態で TrackPoint ポインティング・デバイスに触れていないにもかかわらず、マウス・ポインターが勝手に動く場合があります。これは、TrackPoint ポインティング・デバイスの特性の 1 つで、故障ではありません。TrackPoint に触れずにしばらく待つと、自動調整が終わって止まります。次のいずれかの状態のときにも、マウス・ポインターが勝手に動く場合があります。
 - ThinkPad の電源をオンにしたとき
 - ThinkPad が通常の動作状態に戻ったとき
 - TrackPoint ポインティング・デバイスを長時間使用し続けたとき
 - 環境温度が変化したとき
- **問題:** TrackPoint ポインティング・デバイスまたは ThinkPad トラックパッドが作動しない。
- 解決法:** 『マウスのプロパティ』ウィンドウで TrackPoint ポインティング・デバイスまたは ThinkPad トラックパッドが使用可能であることを確認します。

キーボードの問題

- **問題:** ThinkPad のキーボードの全部または一部が作動しない。
 - 解決法:** テンキーパッドが外付けで接続されている場合:
 1. コンピューターの電源をオフにします。
 2. 外付けテンキーパッドを取り外します。
 3. コンピューターの電源をオンにし、もう一度キーボードを操作します。これでキーボードの問題が解決した場合は、外付けテンキーパッドと外付けキーボードを注意して接続し直します。コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。
- 問題が解決しない場合は、次のようにして、正しいデバイス・ドライバーがインストールされているかどうか確認します。
1. 『コントロールパネル』に進みます。コントロールパネルの表示をカテゴリから大きいアイコンまたは小さいアイコンに変更します。
 2. 『キーボード』をクリックします。
 3. 『ハードウェア』タブを選択します。『デバイスのプロパティ』に、『デバイスの状態: このデバイスは正常に動作しています。』と表示されていることを確認します。
- キーボードのキーがまだ作動しない場合は、コンピューターの修理を依頼してください。

- **問題:** 外付けテンキーパッドの全部または一部が作動しない。
解決法: 外付けテンキーパッドが、ThinkPad に正しく接続されているか確認してください。

ディスプレイとマルチメディア・デバイスの問題

このトピックでは、ThinkPad 画面、外付けモニター、オーディオ・デバイス、光学式ドライブなど、ディスプレイおよびマルチメディア・デバイスの一般的な問題について説明します。

コンピューター画面の問題

- **問題:** 画面に何も表示されない。
解決法: 次のように行います。
 - F7 を押して画面の表示先を切り替えます。
 - AC 電源アダプターまたはバッテリーを使用中で、バッテリー・ゲージがバッテリーを使い切っていないことを示している場合は、F6 を押して画面を明るくします。
 - ThinkPad がスリープ状態の場合は、Fn キーを押して、スリープ状態からレジュームします。
 - 問題が解決しない場合は、次の問題の『解決法』に従ってください。
- **問題:** 画面が判読不能またはゆがんでいる。
解決法: 次のことを確認してください。
 - ディスプレイ・デバイス・ドライバが正しくインストールされているかどうか。
 - 画面の色および解像度は正しく設定されているかどうか。
 - モニターのタイプが正しいかどうか。これらの設定をチェックする手順は、次のとおりです。
 1. デスクトップ上で右クリックし、『**個人設定**』をクリックします。
 2. 左側の『**ディスプレイ**』をクリックします。
 3. 『**ディスプレイの設定の変更**』を選択します。画面の解像度が正しく設定されているか確認します。
 4. 以下のいずれかを実行します。
 - Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1 の場合: 『**詳細設定**』をクリックします。
 - Windows 10 の場合: 『**アダプターのプロパティの表示**』をクリックします。
 5. 『**アダプター**』タブをクリックします。アダプタの情報ウィンドウに、正しいデバイス・ドライバ名が表示されていることを確認します。

注: デバイス・ドライバ名は、ご使用の ThinkPad に装備されているビデオ・チップの種類により異なります。
 6. 『**プロパティ**』ボタンをクリックします。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。『**デバイスの状態**』ボックスで、デバイスが正常に動作していることを確認します。正常に動作していない場合は、『**トラブルシューティング**』ボタンをクリックして、画面の指示に従います。
 7. 『**モニター**』タブをクリックします。アダプタの情報ウィンドウに、正しいデバイス・ドライバ名が表示されていることを確認します。

注: デバイス・ドライバ名は、ご使用の ThinkPad に装備されているビデオ・チップの種類により異なります。
 8. 『**プロパティ**』ボタンをクリックします。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。『**デバイスの状態**』ボックスで、デバイスが正常に動

作していることを確認します。正常に動作していない場合は、『トラブルシューティング』ボタンをクリックして、画面の指示に従います。

- 『色の管理』タブをクリックします。画面の色が正しく設定されているか確認します。その他の情報も正しいことを確認します。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。『デバイスの状態』ボックスでデバイスが正常に動作しているか確認します。正常に動作していない場合は、『トラブルシューティング』ボタンをクリックして、画面の指示に従います。

- **問題:** 画面に間違った文字が表示される。

解決法: オペレーティング・システムとプログラムが正しくインストールされているか確認してください。インストールと構成が正しい場合は、コンピューターの修理を依頼してください。

- **問題:** 電源をオフにしても画面が消えない。

解決法: 電源ボタンを4秒間以上押し続けて、コンピューターの電源をオフにします。その後、もう一度コンピューターの電源をオンにします。

- **問題:** ThinkPad の電源をオンにするたびに、画面上のドットが欠落したり、色の違うドットや明るいドットが表示される。

解決法: これは TFT テクノロジーの本質的な特性の1つです。ThinkPad のディスプレイには、数百万個の TFT (Thin-Film Transistor) が使用されています。画面上には見えないドット、色が違うドット、または明るいドットが少量存在していることがあります。

外付けモニターの問題

- **問題:** 外付けモニターに何も表示されない。

解決法: 画面を表示するには、F7 を押して必要なモニターを選択します。それでも問題が解決しない場合は、次のようにします。

1. 外付けモニターを他のコンピューターに接続し、作動するかどうかを確認します。
2. 外付けモニターを、ご使用のコンピューターにもう一度接続します。
3. 外付けモニターに付属の資料を参照して、サポートされている解像度およびフレッシュ・レートを確認します。
 - 外付けモニターがサポートする解像度が、コンピューターの液晶ディスプレイの解像度と同じかそれ以上である場合は、外付けモニター単独、または外付けモニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力を表示します。
 - 外付けモニターが ThinkPad 画面よりも低解像度をサポートする場合、外付けモニターにのみ出力を表示します (ThinkPad 画面と外付けモニターの両方に出力を表示すると、外付けモニター画面は空になるかゆがみます)。

- **問題:** 外付けモニターに現在の解像度よりも高い解像度を設定することができない。

解決法: モニターの情報が正しいかどうか確認します必要に応じて、モニターのドライバーを更新します。40 ページの『外付けモニターの使用』を参照してください。

- **問題:** 画面が判読不能またはゆがんでいる。

解決法: 次のことを確認してください。

- モニターの情報が正しく、モニターのタイプが適切に選択されている。前述の問題の解決法を参照してください。
- 次の手順で、適切なりフレッシュ・レートが選択されているか確認します。
 1. 外付けモニターをモニター・コネクタに接続し、モニターを電源コンセントに接続します。
 2. 外付けモニターと ThinkPad の電源をオンにします。

3. デスクトップ上で右クリックし、次のいずれかを実行します。
 - Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1 の場合: 『**画面の解像度**』をクリックします。
 - Windows 10 の場合: 『**ディスプレイの設定**』をクリックし、表示されたウィンドウを全画面表示にして、『**ディスプレイの詳細設定**』をクリックします。

注: ThinkPad が外付けモニターを検出できない場合は、『**検出**』ボタンをクリックしてください。

4. 該当のモニターのアイコンをクリックします (外付けモニターは『**モニタ 2**』アイコンです)。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1 の場合: 『**詳細設定**』をクリックします。
 - Windows 10 の場合: 『**アダプターのプロパティの表示**』をクリックします。
6. 『**モニター**』タブをクリックします。
7. 正しい画面のリフレッシュ・レートを選択します。

- **問題:** 画面に間違った文字が表示される。

解決法: オペレーティング・システムまたはプログラムをインストールする際に、正しい手順で行いましたか?正しくインストールされている場合は、外付けモニターの修理を依頼してください。

- **問題:** 拡張デスクトップ機能が作動しない。

解決策: 拡張デスクトップ機能を使用可能にします。41 ページの『表示モードの選択』を参照してください。

- **問題:** 拡張デスクトップ機能を使用している場合、高い解像度またはリフレッシュ・レートをセカンドリー・ディスプレイ上で設定できない。

解決法: プライマリー・ディスプレイの画面の解像度と画面の色深度を低く設定します。前述の問題の解決法を参照してください。

- **問題:** ディスプレイの切り替えが作動しない。

解決法: 拡張デスクトップ機能を使用している場合は、使用不可にして、画面の表示先を変更します。DVD の動画が再生されている場合は停止して、そのプログラムを閉じます。それから、画面の表示先を変更します。

- **問題:** 外付けモニターを高解像度に設定すると、画面の位置がずれる。

解決法: 1600 x 1200 のような高解像度を使用すると、画像が画面の左や右にずれる場合がたまにあります。これを修正するには、まずご使用の外付けモニターが、設定された表示モード (解像度およびリフレッシュ・レート) をサポートしているか確認してください。サポートしていない場合には、モニターがサポートしている表示モードに設定します。設定した表示モードをサポートしている場合は、モニター自体の設定メニューで設定を調整します。通常外付けモニターには、設定メニューにアクセスするボタンがあります。詳しくは、モニターに付属の資料を参照してください。

オーディオの問題

- **問題:** Wave または MIDI サウンドが正しく再生されない。

解決法: 内蔵オーディオ・デバイスが正しく構成されているかどうか確認します。

1. 『**コントロール パネル**』に進みます。
2. 『**ハードウェアとサウンド**』をクリックします。
3. 『**デバイス マネージャー**』をクリックします。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。
4. 『**サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ**』をダブルクリックします。

5. 次のデバイスが使用可能になっており、正しく構成されているか確認します。

- **問題:** マイクロホン入力を使用して行った録音の音量が足りない。

解決法: 次のようにして、『マイクブースト』機能がオンになっていることと、その設定を確認します。

1. 『コントロールパネル』に進みます。
2. 『ハードウェアとサウンド』をクリックします。
3. 『サウンド』をクリックします。
4. 『サウンド』ウィンドウの『録音』タブをクリックします。
5. 『マイク』を選択して、『プロパティ』ボタンをクリックします。
6. 『レベル』タブをクリックして、『マイクブースト』スライダーを上方に移動します。
7. 『OK』をクリックします。

注: ボリューム・コントロールについて詳しくは、ご使用の Windows のオンライン・ヘルプを参照してください。

- **問題:** ボリュームまたはバランスのスライダーが動かせない。

解決法: スライダーがグレー表示になっている場合があります。これは、スライダーの位置がハードウェアによって固定されており、変更できないことを示しています。

- **問題:** 一部のオーディオ・アプリケーションを使用しているときにボリューム・スライダーの位置が変わる。

解決法: 一部のサウンド・アプリケーションを使用しているときに、スライダーの位置が変わるのは通常の動作です。このようなアプリケーションは、『音量ミキサー』ウィンドウの設定を認識して、その設定を独自に変更できます。この一例は Windows Media Player です。プログラムには通常、サウンドを制御するためのスライダーがあります。

- **問題:** バランス・スライダーが片方のチャンネルを完全に消音できない。

解決法: コントロールはバランスの小さな差を補正するために設計されており、一方のチャンネルを完全には消音しません。

- **問題:** 『音量ミキサー』ウィンドウに MIDI サウンドの音量調節機能がない。

解決法: ハードウェアのボリューム調節を使用します。これは、内蔵のシンセサイザーが『ボリュームコントロール』ウィンドウに対応しないためです。

- **問題:** 『マスタ音量』で音量を最小に設定しても、消音できない。

解決法: 『マスタ音量』で音量を最小に設定したとしても、わずかに音が出ます。消音するには、マスタ・ボリューム・コントロールに移動して『ミュートスピーカー』を選択します。

- **問題:** 音の再生中にヘッドホンをコンピューターに接続すると、スピーカーから音が出なくなる。

解決法: ヘッドホンが接続されると、ストリーミングの出力先は自動的にヘッドホンに変更されます。再びスピーカーから音声を聴くには、これらのスピーカーをデフォルト・デバイスに設定する必要があります。詳しくは、ヘルプ情報システムで Realtek HD Audio Manager に関するトピックを参照してください。

指紋センサーの問題

- **問題:** センサー表面が汚れている、着色している、または湿っている。

解決法: センサーを、乾いた柔らかい糸くずの出ない布でふいてください。

- **問題:** 指紋センサーが指紋の登録や認証にたびたび失敗する。

解決法: センサー表面が汚れている、着色している、または湿っている場合は、乾いた柔らかい糸くずの出ない布でふいてください。

指紋センサーを保守するためのヒントについては、指紋センサーの保守を参照してください。

バッテリーと電源の問題

ここでは、バッテリーと電源に関する問題のトラブルシューティングの方法について説明します。

バッテリーの問題

- **問題:** ThinkPad の電源がオフのときに、バッテリーを標準充電時間で充電してもフル充電にならない。

解決法: バッテリーが過放電状態になっている可能性があります。次の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオフにします。
2. 過放電状態と思われるバッテリー・パックが取り付けられていることを確認します。
3. AC 電源アダプターをコンピューターに接続し、バッテリーを充電します。

クイック・チャージャーが使用可能であれば、それを使用して過放電になっているバッテリー・パックを充電します。

バッテリー・パックを 24 時間充電してもフル充電にならない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。

- **問題:** バッテリー状況アイコンでバッテリーが空になる前にコンピューターの電源が切れる。または、バッテリー状況アイコンが空を示した後もコンピューターを操作できる。

解決法: バッテリーを放電してから、再充電します。

- **問題:** フル充電したバッテリー・パックの動作時間が短い。

解決法: バッテリーを放電してから、再充電します。バッテリーの動作時間がまだ短い場合は、新しいバッテリー・パックを使用します。

- **問題:** フル充電したバッテリーで ThinkPad が作動しない。

解決法: バッテリー・パック内のサージ・プロテクターが働いている可能性があります。コンピューターの電源を 1 分間オフにしてプロテクターをリセットし、再度コンピューターの電源をオンにします。

- **問題:** バッテリーを充電できない。

解決法: バッテリーが熱くなっていると、バッテリーを充電できません。バッテリーが熱い場合は、コンピューターからバッテリーを取り外し、そのまま室温まで冷まします。バッテリーが冷めたら、取り付け直して、バッテリーをもう一度充電します。それでも充電できないときは、修理を依頼してください。

AC 電源アダプターの問題

問題: AC 電源アダプターが ThinkPad および機能している電源コンセントに接続されているが、Windows の通知領域に電源アダプター (電源プラグ) アイコンが表示されない。AC 電源インジケーターも点灯していない。

解決法: 次のように行います。

1. AC 電源アダプターの接続が正しいことを確認します。AC 電源アダプターの接続手順については、ご使用のコンピューターに同梱の *安全上の注意と保証およびセットアップ* についての手引きを参照してください。
2. AC 電源アダプターが正しく接続されている場合は、コンピューターの電源をオフにし、AC 電源アダプターとメイン・バッテリーを取り外します。
3. バッテリーを元の位置に取り付けて AC 電源アダプターを再接続し、コンピューターの電源をオンにします。

- それでも Windows の通知領域に電源アダプター・アイコンが表示されない場合は、AC 電源アダプターとコンピューターの修理を依頼してください。

電源の問題

現在必要でなくても、いつか必要になるときの備えとしてこのトピックを印刷して、コンピューターと一緒に保管しておくことをお勧めします。

電源関連の一般的な問題 (例：電源が入らない、バッテリーの充電ができない、電源が突然切れるなど) の問題判別と解決を行うには、以下の手順を参照してください。

- 電源ボタンを確認してください。ThinkPad の電源がオンになっていれば、電源ボタンが点灯しています。
- 電源ケーブル、コネクターの接続をすべて確認します。電源タップやサージ・プロテクターなどを使用している場合は取り外し、AC 電源アダプターを AC 電源コンセントに直接接続してください。
- AC 電源アダプターを確認してください。物理的損傷がないか、電源ケーブルがアダプター・ブリックおよびコンピューターにしっかり接続されているか確認します。
- 他のデバイスを電源コンセントに接続して、AC 電源が作動していることを確認します。

コンピューターがバッテリーで動作しない場合は、以下の手順を行ってください。

- バッテリーを取り外してから取り付け直します。しっかり接続されているか確認します。
- バッテリーの電源が切れている場合は、AC 電源アダプターを接続してバッテリーを再充電します。
- バッテリーは充電されているのにコンピューターが動作しない場合は、新しいバッテリーに交換します。

電源ボタンの問題

問題: ThinkPad が反応しなくなり、ThinkPad の電源をオフにできない。

解決法: 電源ボタンを 4 秒間以上押し続けて、ThinkPad の電源をオフにします。それでもコンピューターがリセットされない場合は、AC 電源アダプターとバッテリーを取り外します。

起動の問題

現在必要でなくても、いつか必要になるときの備えとしてこのトピックを印刷して、コンピューターと一緒に保管しておくことをお勧めします。

オペレーティング・システムの起動前にエラー・メッセージが表示される場合は、電源投入時自己診断 (POST) のエラー・メッセージに応じて適切な作業を行います。

POST 完了後、オペレーティング・システムがデスクトップ構成をロードしている最中にエラー・メッセージが表示される場合は、以下の手順を参照してください。

- Lenovo サポート Web サイト (<http://www.lenovo.com/support>) でエラー・メッセージについて検索します。
- 『Microsoft サポートオンライン』 <http://support.microsoft.com/> でエラー・メッセージについて検索します。

スリープと休止状態の問題

- 問題:** ThinkPad が突然、スリープ状態になる。

解決法: マイクロプロセッサの温度が高くなりすぎると、温度を下げてマイクロプロセッサなどの内部部品を保護するために ThinkPad は自動的にスリープ状態に入ります。スリープ状態の設定を確認してください。

- 問題:** 電源投入時自己診断の直後に ThinkPad がスリープ状態に入る。

解決法: 次のことを確認してください。

- バッテリーは充電されていますか。
- 環境温度が許容される範囲内にありますか。14 ページの『操作環境』を参照してください。

バッテリーが充電されていて、温度が範囲内であるにもかかわらずこの問題が起きる場合は、コンピューターの修理を依頼してください。

- **問題:** バッテリー残量低下エラーが発生し、ThinkPad の電源が直ちにオフになる。

解決法: バッテリー電源の残量が少なくなっています。AC 電源アダプターを電源コンセントに差し込んで AC 電源アダプターをコンピューターに接続するか、フル充電したバッテリーに交換してください。

- **問題:** スリープ状態から戻るために Fn キーを押しても、液晶ディスプレイに何も表示されない。

解決法: ThinkPad がスリープ状態の間に、外付けモニターの接続が外れていないか、または電源が切られていないかどうか確認します。外付けモニターが取り外されたか電源が切られていたら、コンピューターをスリープ状態から戻す前に、接続するか電源を入れてください。外付けモニターを接続しないで、または電源を入れないでコンピューターをスリープ状態から戻した場合に、コンピューター画面に何も表示されないときは、F7 を押してコンピューター画面を表示させてください。

- **問題:** コンピューターがスリープ状態から戻らないか、システム状況インジケーターがゆっくり点滅したままで、コンピューターが作動しない。

解決法: システムがスリープ状態から戻らない場合は、バッテリーが消耗したために自動的にスリープ状態または休止状態に入っていることが考えられます。システム状況インジケーターを確認します。

- システム状況インジケーターがゆっくり点滅する場合、コンピューターはスリープ状態になっています。ThinkPad に AC 電源アダプターを接続してから、Fn キーを押します。
- システム状況インジケーターがオフの場合は、コンピューターは電源が切れた状態または休止状態になっています。ThinkPad に AC 電源アダプターを接続してから電源ボタンを押して操作を再開してください。

それでも ThinkPad がスリープ状態から戻らない場合は、システムが応答しなくなり、電源を切れないうちの状態になっていることが考えられます。この場合は、コンピューターをリセットしてください。データを保存していない場合は、データが失われることがあります。コンピューターをリセットするには、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。それでもシステムがリセットされない場合は、AC 電源アダプターとバッテリーを取り外します。

- **問題:** ThinkPad が、スリープ状態または休止状態にならない。

解決法: スリープ状態または休止状態を使用不可にするオプションを、ThinkPad で選択していないかどうか確認してください。

ThinkPad をスリープ状態に入れようとして拒否された場合、USB コネクタに接続されているデバイスが使用不可になっている可能性があります。このような場合は、USB デバイスのホット・アンプラグおよびホット・プラグ(コンピューターが電源オンの状態で USB デバイスのプラグを抜き、再度接続すること)を行ってください。

- **問題:** 休止状態中にバッテリー残量が減少する。

解決法: ウェイクアップ機能を使用可能にすると、ThinkPad はウェイクアップ機能のために少量の電力を消費します。これは故障ではありません。詳しくは、33 ページの『省電力モード』を参照してください。

ドライブとその他のストレージ・デバイスの問題

ここでは、ハードディスク・ドライブの問題、ソリッド・ステート・ドライブの問題、および光学式ドライブの問題について説明します。

ハードディスク・ドライブの問題

- **問題:** ハードディスク・ドライブが断続的にカタカタ音を立てる。
解決法: カタカタという音は、次のような場合に聞こえることがあります。
 - ハードディスク・ドライブがデータへのアクセスを開始するとき、または停止するとき。
 - ハードディスク・ドライブを持ち運んでいるとき。
 - コンピューターを持ち運んでいるとき。これは、ハードディスク・ドライブの通常の特徴であり、故障ではありません。
- **問題:** ハードディスク・ドライブが作動しない。
解決法: ThinkPad Setup の『Startup』メニューで、ハードディスク・ドライブが『Boot priority order』リストの中に入っているかどうか確認します。『Excluded from boot order』リストに含まれる場合、無効になります。リストのエントリを選択して、Shift+1 キーを押し、『Boot priority order』リストに戻します。
- **問題:** コンピューターのハードディスク・パスワードを設定した後、ドライブを別のコンピューターに移動した。すると、ハードディスク・パスワードをアンロックできなくなった。
解決法: ご使用の ThinkPad は高度なパスワード・アルゴリズムをサポートします。ご使用の ThinkPad よりも古いコンピューターの場合、このセキュリティー機能をサポートしない可能性があります。

ソリッド・ステート・ドライブの問題

問題: Windows のデータ圧縮機能でファイルまたはフォルダーを圧縮→解凍すると、それらへの書き込みや読み取りが遅くなる。

解決法: Windows のディスク・デフラグ・ツールを適用すると、データへのアクセス速度が回復します。

光学式ドライブの問題

- **問題:** CD、DVD、CD-RW ドライブなどの光学式ドライブが作動しない。
解決法: ThinkPad の電源がオンになっていて、CD、DVD、CD-RW などのメディアがドライブの中央の回転軸に正しく収まっているか確認してください。(カチッという音がするはずです。)
ドライブのコネクターが、コンピューターにしっかり接続されていますか。ドライブを取り付けるベイがあるデバイスを使用している場合は、そのデバイスがコンピューターにしっかり接続されていて、正しく作動しているかどうかを確認してください。
ドライブのトレイがしっかりと閉じているか確認してください。
デバイス・ドライバーが正しくインストールされているか確認してください。
- **問題:** CD、DVD、CD-RW ディスクなどの回転時に、ドライブが音を立てる。
解決法: メディアがドライブの中央の回転軸に正しく収まっていない場合は、メディアがドライブのカバーに触れて音をたてている可能性があります。メディアがドライブの中央の回転軸に正しく収まっているか確認してください。
- **問題:** イジェクト・ボタンを押しても、トレイが出てこない。
解決法: ThinkPad の電源がオフになっているとイジェクト・ボタンを押してもトレイは出てきません。コンピューターの電源がオンになっているか、ドライブのコネクターがコンピューターにしっかり接続されているか確認してください。
それでもまだトレイが出てこない場合は、コンピューターが動作中であることを確認したうえで、まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先などを非常用取り出し穴に入れて、トレイを出してください。
- **問題:** CD、DVD、CD-RW ディスクなどの光学式メディアを読み取れない。
解決法: CD、DVD、CD-RW ディスクが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、市販のクリーナー・キットで汚れを取り除いてください。

別の CD、DVD、CD-RW ディスクを試してみます。別のディスクが読み取れる場合は、読み取れないディスクに欠陥がある可能性があります。

ディスクが正しい向き(ラベルのある側を上にする)でトレイにセットされているか確認してください。(カチッという音がするはずです。)

ディスクの形式が次のいずれかであるか確認してください。

- 音楽 CD
- CD-ROM または CD-ROM XA
- マルチセッション・フォト CD
- ビデオ CD
- DVD-ROM (DVD ビデオ)

- **問題:** CD が再生できない。または音質が悪い。

解決法: ディスクがお客様の国の規格に合致していることを確認してください。ディスクレーベル面に下記の CD ロゴ・マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用下さい。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

ソフトウェアの問題

問題: アプリケーションが正しく作動しない。

解決法: 問題の原因がアプリケーションにあるかどうかを調べるために、次の項目を確認します。

そのアプリケーションを使用するために最低限必要なメモリーがコンピューターにあるか確認してください。アプリケーションに付属の説明書を参照してください。

以下を確認してください。

- 問題のアプリケーションがご使用のオペレーティング・システムで実行できるように設計されていますか。
- 問題のアプリケーション以外は、コンピューターで正しく実行されますか。
- 必要なデバイス・ドライバがインストールされていますか。
- 問題のアプリケーションは、別のコンピューターで正しく作動しますか。

アプリケーション・プログラムを使用しているときにエラー・メッセージが表示された場合は、アプリケーション・プログラムに付属の説明書を参照してください。

それでもアプリケーションが正しく実行されない場合は、アプリケーションの発売元のサポート窓口にご連絡ください。

ポートとコネクタの問題

以下に、ポートとコネクタに関するよくある問題を説明します。

USB の問題

問題: USB コネクタに接続した デバイスが作動しない。

解決法: 『デバイス マネージャ』ウィンドウを開き、USB デバイスのセットアップが正しく行われ、コンピューターのリソース割り当ておよびデバイス・ドライバのインストールが正しく行われているか確認します。『デバイス マネージャ』ウィンドウを開くには、『コントロール パネル』に移動し、『ハー

ドウェアとサウンド』 → 『デバイス マネージャー』の順にクリックします。管理者パスワードまたは確認のプロンプトが表示されたら、パスワードまたは確認の入力をします。

143 ページの『問題の診断』を参照し、USB コネクターの診断テストを実行します。

ドッキング・ステーション

問題: ThinkPad の電源をオンにしても ThinkPad が起動せず、レジューム操作を試みても応答しない。

解決法: 次のことを確認してください。

- AC 電源アダプターがドッキング・ステーションに接続されている。
- コンピューターがドッキング・ステーションに確実に接続されている。

第 11 章 サポートの入手

この章では、Lenovo のヘルプおよびサポートを受けることについて情報を提供します。

- 161 ページの 『Lenovo に電話をかける前に』
- 162 ページの 『サービス体制』
- 163 ページの 『有償サービスの利用』

Lenovo に電話をかける前に

コンピューターに関する問題の多くは、エラー・コードの説明を参照したり、診断プログラムを実行したり、または Lenovo サポート Web サイトを参照することによって解決できます。

お客様登録

お使いのコンピューターを Lenovo に登録してください。詳しくは、19 ページの 『お客様登録』を参照してください。

System Update のダウンロード

更新ソフトウェアをダウンロードすることで、ご使用のコンピューターに生じた不具合が解決する場合があります。

更新ソフトウェアをダウンロードするには、以下の Web サイトにアクセスし、画面の指示に従います。
<http://www.lenovo.com/support>

情報の記録

Lenovo に連絡する前に、ご使用のコンピューターに関する以下の重要な情報を記録しておいてください。

問題の症状と詳細の記録

以下の質問に対する回答をまとめてから、お問い合わせください。この情報を利用して問題を迅速に解決できます。

- 発生している問題。連続的に起こっているのか、それとも断続的に起こるのか。
- エラー・メッセージ、またそのエラー・コード (表示されている場合)。
- 使用しているオペレーティング・システムとバージョン。
- 問題発生時に実行していたソフトウェア・アプリケーション。
- 問題を再現できるか。再現できた場合は、その方法。

システム情報の記録

シリアル番号 (S/N) のラベルは、コンピューター本体の底面にあります。モデル番号 (TYPE) とシリアル番号 (S/N) を書き留めてください。

- Lenovo 製品名
- モデル番号 (TYPE)
- シリアル番号 (S/N)

サービス体制

お客様がヘルプ、サービス、または技術援助を必要とする場合や、Lenovo 製品に関する詳しい情報を必要とする場合に備えて、Lenovo ではお客様を援助するためさまざまなサービスを設けています。ここでは、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手場所、コンピューターに問題が起きたときの対処方法、サービスが必要なときの連絡先を説明します。

コンピューターおよび初期インストール済みソフトウェアについての情報は、ご使用のコンピューターに付属の資料でお読みいただけます。資料には、印刷された説明書、オンライン・ブック、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。さらに、Lenovo 製品についての情報は、インターネットを通じてもご利用いただけます。

初期インストール済みの Windows 製品のサービス・パックのインストールの技術的な支援、またはそれに関連する質問については、Web サイトからダウンロードしていただくか (接続料金がかかります)、ディスクに収録されている内容をご確認ください。詳細情報とリンクについては、<http://www.microsoft.com> を参照してください。Lenovo では、Lenovo に初期インストールされている Microsoft Windows 製品のインストール、製品に関するご質問、サービス・パックについて技術援助を提供しています。詳しくは、スマートセンターにお問い合わせください。

診断プログラムの使用

コンピューターに生じる問題の多くは、外部からの援助がなくても解決できます。ご使用のコンピューターに問題が検出された場合は、最初に、添付資料のトラブルシューティング情報を参照していただきます。ソフトウェアの問題らしいと思われる場合は、README ファイルやヘルプ情報システムも含めて、オペレーティング・システムやアプリケーション・プログラムに付属の資料を参照してください。

ThinkPad ノートブック・コンピューターには、ハードウェア障害の識別に役立つ診断プログラムが付属しています。診断プログラムの使用方法については、143 ページの『問題の診断』を参照してください。

トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo サポート Web サイト (<http://www.lenovo.com/support>) で、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーや更新をダウンロードしたりすることができます。

Lenovo サポート Web サイト

テクニカル・サポート情報は、次の Lenovo サポート Web サイトで入手できます。
<http://www.lenovo.com/support>

この Web サイトには、次のような最新のサポート情報が掲載されます。

- ドライバーとソフトウェア
- 診断解決法
- 製品 & サポートの保証
- 製品 & 部品の詳細
- マニュアル
- ナレッジ・ベース & よくある質問

電話によるサポート

お客様がご自分で問題を解決しようとして、やはり援助が必要になったとき、ご購入後一定の条件にもとづいてコンピューターの設置とソフトウェアのインストールに関してスマートセンターから電話によるサポートと情報を得ることができます。保証期間中は、以下のサービスをご利用いただけます。

- 問題判別 - 経験豊富な担当員が、ハードウェアに問題があるかどうかの判断と、問題を修正するために必要な処置について援助します。
- Lenovo ハードウェア修理 - 問題の原因が保証期間中の Lenovo ハードウェアであると判別された場合は、経験豊富な担当員が適切なレベルのサービスを提供できます。
- 技術変更管理 - 場合によっては、製品の販売後に製品の変更が必要になることがあります。その場合は、Lenovo または販売店 (Lenovo が許可した場合) は、お客様のハードウェアに適用される技術変更 (EC) を入手できるようにします。

次の項目は保証の対象外です。

- Lenovo 製または Lenovo 用以外のパーツや、保証のないパーツの交換および使用
- ソフトウェアの問題の原因の特定
- インストールまたはアップグレードの一部としての UEFI BIOS の構成
- デバイス・ドライバの変更、修正、またはアップグレード
- ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) のインストールと保守
- アプリケーション・プログラムのインストールと保守

ご使用の Lenovo ハードウェア製品に適用される『Lenovo 保証規定』は、製品に同梱の『安全上の注意と保証およびセットアップについての手引き』の『保証情報』をお読みください。

できれば、ご使用のコンピューターをそばに置いて電話をかけてください。技術サポートの担当員が問題の解決を援助する際に、そのコンピューターの操作が必要になる場合があります。電話をかける前に、最新のドライバおよびシステム更新をダウンロードしてあること、診断を実行したこと、および情報を記録してあることを確認してください。技術サポートに電話をかけるときは、次の情報を用意しておいてください。

- マシン・タイプ、モデル番号
- コンピューター、モニターなどのコンポーネントのシリアル番号 (S/N)、またはお買い上げの証明になるもの
- 問題の説明
- 正確なエラー・メッセージ
- ご使用のシステムのハードウェアおよびソフトウェア構成情報

電話番号

お住まいの国または地域の Lenovo サポートの電話番号リストについては、<http://www.lenovo.com/support/phone> にアクセスするか、ご使用のコンピューターに付属の『安全上の注意と保証およびセットアップについての手引き』を参照してください。

注：電話番号は、予告なしに変更される場合があります。最新の電話番号については、Web サイト <http://www.lenovo.com/support/phone> をご覧ください。お客様の国または地域の電話番号が記載されていない場合は、Lenovo 販売店または Lenovo の営業担当員にお問い合わせください。

有償サービスの利用

保証期間中、および保証期間終了後も追加サービスの購入が可能です。追加サービスには、Lenovo 社製および他社製品のハードウェア、オペレーティング・システム、およびアプリケーション・プログラムのサポート、さらにネットワークのセットアップと構成サービス、アップグレード済みハードウェアや拡張ハードウェアの修理サービス、そしてカスタム・インストール・サービスなどが含まれます。利用可能なサービスおよびサービスの名前は国によって異なる場合があります。

これらのサービスについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.lenovo.com/essentials>

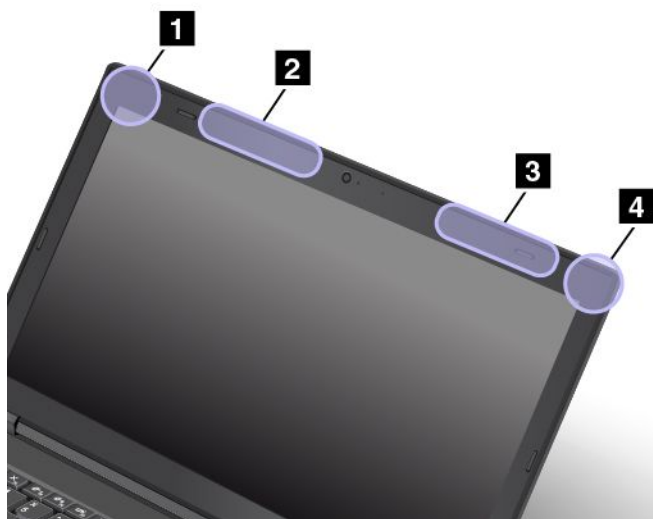
付録 A 規制情報

UltraConnect ワイヤレス・アンテナの位置

ThinkPad ノートブック・コンピュータには、高感度で速度低下の少ないワイヤレス通信を可能にする UltraConnect™ ワイヤレス・アンテナを内蔵しているモデルがあります。

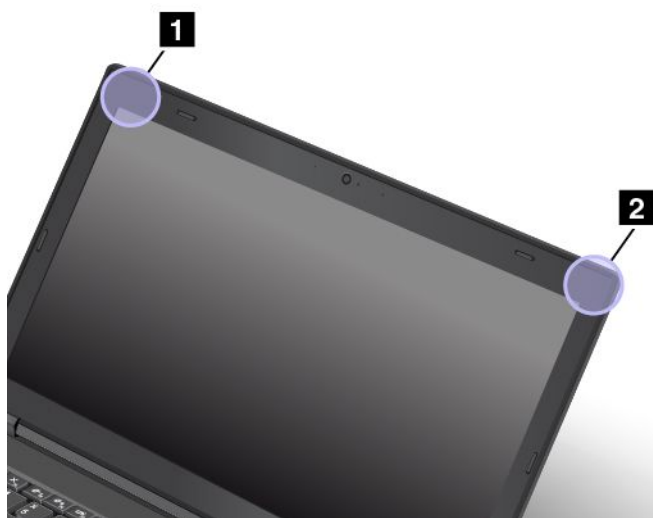
アンテナ位置には2タイプがあります。ご使用の ThinkPad は次のいずれかに対応しています。

タイプ 1: アンテナ位置



- 1 ワイヤレス LAN アンテナ (補助)
- 2 ワイヤレス WAN アンテナ (補助)
- 3 ワイヤレス WAN アンテナ (メイン)
- 4 ワイヤレス LAN アンテナ (メイン)

タイプ 2: アンテナ位置



- 1 ワイヤレス LAN アンテナ (補助)
- 2 ワイヤレス LAN アンテナ (メイン)

ワイヤレスに関する情報

ワイヤレス・インターオペラビリティ

ワイヤレス LAN カードは、DSSS (Direct Sequence Spread Spectrum) 無線テクノロジー、CCK (Complementary Code Keying) 無線テクノロジー、OFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing) 無線テクノロジーに基づいたワイヤレス LAN 製品と共通の操作で使用できるように設計されており、次のものに準拠しています。

- 米国電気電子学会 (IEEE) によって定義、承認された 802.11b/g、802.11a/b/g または 802.11n ドラフト 2.0 無線 LAN に関する規格。
- Wi-Fi Alliance によって定義された WiFi (Wireless Fidelity) 認証。

Bluetooth デバイスは、Bluetooth SIG の定義による Bluetooth 2.1+EDR 規格に準拠したすべての Bluetooth 製品との間で、相互運用できるように設計されています。Bluetooth デバイスは、以下のプロファイルをサポートします。

- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Control Transport Protocol (AVCTP)
- Audio/Video Distribution Transport Protocol (AVDTP)
- A/V Remote Control Profile (AVRCP)
- Basic Imaging Profile (BIP)
- Basic Printing Profile (BPP)
- Dial-Up Networking Profile (DUN)
- File Transfer Profile (FTP)
- Generic Access Profile (GAP)
- Generic A/V Distribution Profile (GAVDP)
- Hardcopy Cable Replacement Profile (HCRP)
- Headset Profile (HSP)
- Hands-Free Profile (HFP)
- Human Interface Device Profile (HID)
- Message Access Profile (MAP)
- Object Exchange Protocol (OBEX)
- Object Push Profile (OPP)
- Personal Area Networking Profile (PAN)
- Phone Book Access Profile (PBAP)
- Service Discovery Protocol (SDP)
- Synchronization Profile (SYNC)
- Video Distribution Profile (VDP)
- Generic Attribute Profile (GATT)
- Proximity Profile
- Find Me Profile
- Immediate Alert Profile
- Battery Status Profile

使用環境および快適に使用するために

このコンピューターに内蔵されているワイヤレス・カードは、無線周波数 (RF) に関する安全基準や勧告などのガイドラインに従って動作します。従って、Lenovo は、この製品を消費者が使用しても安全であると考えます。これらの基準および勧告は、世界各国の科学者団体の合意や広範な研究文献を継続的に検討、調査している科学者のパネルや委員会の審議の結果を反映しています。

状況や環境によって、建物の所有者や組織の代表責任者がワイヤレス・デバイスの使用を制限することがあります。たとえば、次のような場合や場所です。

- 飛行機の搭乗中、病院内、あるいはガソリンスタンド、(電気式起爆装置のある) 爆破場所、医療用インプラント、またはペースメーカーなどの装着式医療用電子機器の近辺。
- 他の装置や機能に対して有害と認識または確認されている妨害を 起こす危険性がある場合。

特定のエリアで(たとえば空港や病院など) ワイヤレス・デバイスの使用が許可されているかどうか分からない場合は、コンピューターの電源を入れる前に、ワイヤレス・デバイスを使用してもよいかどうかをお尋ねください。

無線の規制情報

ワイヤレス通信機能を搭載したコンピューター・モデルは、その無線使用を認可された国または地域の無線周波数と安全規格に適合しています。

ブラジルの無線規制情報

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

この装置はセカンダリー・タイプのデバイスであり、有害な妨害に対する保護は行われていません。たとえば、その妨害が同じタイプのデバイスが原因になっている場合でも同様です。さらに、プライマリー・タイプのデバイスに対して何ら妨害を引き起こすこともありません。

メキシコの無線規制情報

Advertencia: En Mexico la operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

ワイヤレス規制に関する通知の検索

ワイヤレス規制に関する通知について詳しくは、コンピューターに付属の『ThinkPad の内蔵無線アダプターを日本国内でご使用になる際の注意』を参照してください。

ご使用のコンピューターに『ThinkPad の内蔵無線アダプターを日本国内でご使用になる際の注意』が付属していない場合、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.lenovo.com/UserManual>

認証に関する情報

次の表には、製品名、コンプライアンス ID およびマシン・タイプに関する情報が記載されています。

製品名	コンプライアンス ID	マシン・タイプ
ThinkPad T540p	TP00060A	20BE および 20BF
ThinkPad W540	TP00060B	20BG および 20BH
ThinkPad W541	TP00060B	20EF および 20EG

輸出種別に関する注意事項

本製品は米国輸出管理規制 (EAR) の対象であり、その輸出種別管理番号 (ECCN) は 5A992.c. です。本製品は、EAR E1 国別リストの禁輸国を除く国に再輸出できます。

電磁波放出の注記

連邦通信委員会 - 適合宣言

以下の情報は、次の製品に関するものです。

- ThinkPad T540p、マシン・タイプ番号 20BE および 20BF
- ThinkPad W540、マシン・タイプ番号 20BG および 20BH
- ThinkPad W541、マシン・タイプ番号 20EF および 20EG

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an authorized dealer or service representative for help.

Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by using other than specified or recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

Lenovo (United States) Incorporated

1009 Think Place - Building One

Morrisville, NC 27560

Phone Number: 919-294-5900



カナダ工業規格クラス B 排出量適合性宣言

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

欧州連合 - 電磁適合性指令へのコンプライアンス

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class B Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class B equipment were derived for typical residential environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication devices.

EU contact: Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia



ドイツ: クラス B 適合宣言

Deutschsprachiger EU Hinweis:

Hinweis für Geräte der Klasse B EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse B ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln

Dieses Produkt entspricht dem „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln“ EMVG (früher „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten“). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EG Richtlinie 2004/108/EC (früher 89/336/EWG), für Geräte der Klasse B.

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Gropiusplatz 10, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse B.

韓国: クラス B 適合宣言

B급 기기(가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다

日本: VCCI クラス B 適合宣言

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

定格電流が単相 20 A 以下の主電源に接続する製品に関する日本の適合宣言

日本の定格電流が 20A/相 以下の機器に対する高調波電流規制
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

日本国内のお客様への AC 電源コードに関するご注意

The ac power cord shipped with your product can be used only for this specific product. Do not use the ac power cord for other devices.

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

Lenovo 製品サービス情報 (台湾向け)

台灣 Lenovo 產品服務資訊如下:

荷蘭商聯想股份有限公司台灣分公司

台北市內湖區堤頂大道二段89號5樓

服務電話: 0800-000-702

ユーラシアの認証マーク



ブラジルのオーディオに関する通知

Ouvir sons com mais de 85 decibéis por longos períodos pode provocar danos ao sistema auditivo.

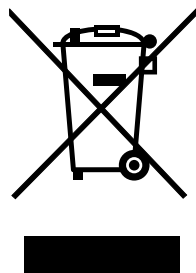
メキシコの規制に関する通知

Advertencia: En Mexico la operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

付録 B WEEE およびリサイクルについて

Lenovo では、情報技術機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、Lenovo では、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。製品のリサイクルについては、次の Lenovo Web サイトを参照してください。 http://www.lenovo.com/social_responsibility/us/en/

重要な WEEE 情報



Lenovo 製品の WEEE マークは WEEE (廃電気電子機器) および e-Waste (電気電子機器廃棄物) 規制国に適用されます (例えば、欧州 WEEE 指令、2011 年、インドの E-Waste 管理と取り扱い規則)。機器には、廃電気電子機器 (WEEE) に関する現地国の規制に従ってラベルが貼付されています。これらの規制は、各地域内で適用される中古機器の回収とリサイクルの骨子を定めています。このラベルはさまざまな製品に貼付され、使用済みの製品を廃棄するのではなく、所定の共同システムに回収して再生する必要がありますを示しています。

マークが付いている電気/電子機器 (EEE) の使用者は、使用済みの電気・電子機器を地方自治体の無分別ゴミとして廃棄してはならず、機器に含まれる有害物質が環境や人体へ与える悪影響を最小限に抑えるためにお客様が利用可能な廃電気・電子機器の回収、リサイクル、あるいは再生のための回収方法を利用しなければなりません。WEEE について詳しくは、<http://www.lenovo.com/recycling> を参照してください。

リサイクル情報 (中国)

《废弃电器电子产品回收处理管理条例》提示性说明

联想鼓励拥有联想品牌产品的用户当不再需要此类产品时，遵守国家废弃电器电子产品回收处理相关法律法规，将其交给当地具有国家认可的回收处理资质的厂商进行回收处理。更多回收服务信息，请点击进入

<http://support.lenovo.com.cn/activity/551.htm>

環境配慮に関して

本機器またはモニターの回収リサイクルについて

企業のお客様が、本機器が使用済みとなり廃棄される場合は、資源有効利用促進法の規定により、産業廃棄物として、地域を管轄する県知事あるいは、政令市長の許可を持った産業廃棄物処理業者に適正処理を委託する必要があります。廃棄物処理法の規定により、産業廃棄物として、地域を管轄する県知事あるいは、政令市長の許可を持った産業廃棄物処理業者に適正処理を委託する必要があります。また、弊社では

資源有効利用促進法に基づき使用済みパソコンの回収および再利用・再資源化を行う『PC回収リサイクル・サービス』を提供しています。詳細は、LenovoのWebサイト(<http://www.lenovo.com/recycling/japan>)をご参照ください。

また、同法により、家庭で使用済みとなったパソコンのメーカー等による回収再資源化が2003年10月1日よりスタートしました。このサービスは、2003年10月1日以降に販売された家庭で使用済みとなったコンピューターの場合、無料で提供されます。詳細については、Webサイト<http://www.lenovo.com/recycling/japan>にアクセスしてください。

重金属を含む内部部品の廃棄処理について

本機器のプリント基板等には微量の重金属（鉛など）が使用されています。使用後は適切な処理を行うため、上記『本機器またはモニターの回収リサイクルについて』に従って廃棄してください。

リチウム電池交換後の廃棄処理について

コンピューターの電源が切られているか、主電源から切り離されているときでも、コンピューター・クロックに電力を供給するために、本機器にはボタン型のリチウム電池がコンピューターの内部に取り付けられています。この電池を交換する必要がある場合は、お買い上げいただいた販売店またはLenovoに問い合わせるサービスを受けてください。古い電池を廃棄する必要がある場合は、ビニールテープなどで絶縁処理をして、お買い上げいただいた販売店もしくは産業廃棄物処理業者に問い合わせ、処理をご依頼ください。

リチウム電池を処分する際は、現地の条例および規則に従ってください。

Lenovo ノートブック・コンピューターの使用されなくなったバッテリー・バックの廃棄処理について

本機器には、充電可能なバッテリー・バックが取り付けられています。交換された古いバッテリーは、適切な処理を行うため、営業員、サービス員、特約店にお問い合わせいただくか、もしくは、<http://www.lenovo.com/jp/ja/environment/recycle/battery/>をご参照ください。

また一般家庭などから、一般廃棄物として自治体に廃棄を依頼するときは、地方自治体の条例・規則に従って廃棄してください。もしくは、<http://www.lenovo.com/jp/ja/environment/recycle/battery/>をご参照ください。

リサイクル情報 (ブラジル)

Declarações de Reciclagem no Brasil

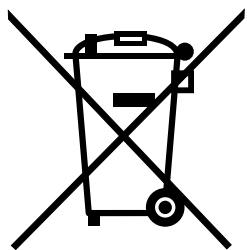
Descarte de um Produto Lenovo Fora de Uso

Equipamentos elétricos e eletrônicos não devem ser descartados em lixo comum, mas enviados à pontos de coleta, autorizados pelo fabricante do produto para que sejam encaminhados e processados por empresas especializadas no manuseio de resíduos industriais, devidamente certificadas pelos órgãos ambientais, de acordo com a legislação local.

A Lenovo possui um canal específico para auxiliá-lo no descarte desses produtos. Caso você possua um produto Lenovo em situação de descarte, ligue para o nosso SAC ou encaminhe um e-mail para: reciclar@lenovo.com, informando o modelo, número de série e cidade, a fim de enviarmos as instruções para o correto descarte do seu produto Lenovo.

バッテリー・リサイクル情報 (欧州連合)

EU



Notice: This mark applies only to countries within the European Union (EU).

Batteries or packaging for batteries are labeled in accordance with European Directive 2006/66/EC concerning batteries and accumulators and waste batteries and accumulators. The Directive determines the framework for the return and recycling of used batteries and accumulators as applicable throughout the European Union. This label is applied to various batteries to indicate that the battery is not to be thrown away, but rather reclaimed upon end of life per this Directive.

In accordance with the European Directive 2006/66/EC, batteries and accumulators are labeled to indicate that they are to be collected separately and recycled at end of life. The label on the battery may also include a chemical symbol for the metal concerned in the battery (Pb for lead, Hg for mercury, and Cd for cadmium). Users of batteries and accumulators must not dispose of batteries and accumulators as unsorted municipal waste, but use the collection framework available to customers for the return, recycling, and treatment of batteries and accumulators. Customer participation is important to minimize any potential effects of batteries and accumulators on the environment and human health due to the potential presence of hazardous substances. For proper collection and treatment, go to:
<http://www.lenovo.com/lenovo/environment>

バッテリー・リサイクル情報 (台湾)



廢電池請回收

バッテリー・リサイクル情報 (米国およびカナダ)



US & Canada Only

付録 C 有害物質の使用制限指令 (RoHS)

EU 連合 RoHS

This Lenovo product, with included parts (cables, cords, and so on) meets the requirements of Directive 2011/65/EU on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment (“RoHS recast” or “RoHS 2”).

For more information about Lenovo worldwide compliance on RoHS, go to:
http://www.lenovo.com/social_responsibility/us/en/RoHS_Communication.pdf

トルコ RoHS

The Lenovo product meets the requirements of the Republic of Turkey Directive on the Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE).

Türkiye AEEE Yönetmeliğine Uygunluk Beyanı

Bu Lenovo ürünü, T.C. Çevre ve Orman Bakanlığı'nın “Atık Elektrik ve Elektronik Eşyalarda Bazı Zararlı Maddelerin Kullanımının Sınırlanmasına Dair Yönetmelik (AEEE)” direktiflerine uygundur.

AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

ウクライナ RoHS

Цим підтверджуємо, що продукція Леново відповідає вимогам нормативних актів України, які обмежують вміст небезпечних речовин

インド RoHS

RoHS compliant as per E-Waste (Management & Handling) Rules, 2011.

中国 RoHS

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板组件	X	0	0	0	0	0
硬盘	X	0	0	0	0	0
光驱	X	0	0	0	0	0
LCD 面板 (LED 背光源)	X	0	0	0	0	0
键盘	X	0	0	0	0	0
内存	X	0	0	0	0	0
电池	X	0	0	0	0	0
电源适配器	X	0	0	0	0	0
底壳、顶盖和扬声器	X	0	0	0	0	0

注：

本表依据SJ/T 11364的规定编制。

0：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572标准规定的限量要求以下。

X：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572标准规定的限量要求。标有“X”的部件，皆因全球技术发展水平限制而无法实现有害物质的替代。印刷电路板组件包括印刷电路板（PCB）及其组件、集成电路（IC）和连接器。某些型号的产品可能不包含上表中的某些部件，请以实际购买机型为准。

图示：



在中华人民共和国境内销售的电子信息产品上将印有“环保使用期限”（EPU）符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用期限。

付録 D ENERGY STAR モデルについて



ENERGY STAR® は、米国環境保護庁および米国エネルギー省の合同プログラムであり、エネルギー効率の高い製品および実践を通じてコストを節約し、環境を保護することを目的としています。

Lenovo は ENERGY STAR の仕様に準拠した製品をお客様に提供しています。ENERGY STAR のロゴがコンピューターに貼り付けられているか、または電源設定インターフェースに表示される場合があります。以下のマシン・タイプの Lenovo コンピューターに ENERGY STAR のロゴがついていれば、ENERGY STAR プログラム要件に従って設計およびテストされています。

20BE、20BF、20BG、20BH、20EF および 20EG

ENERGY STAR 準拠の製品およびコンピューターの電源管理機能を利用することによって、消費電力の削減ができます。消費電力の削減は、コスト削減の可能性、環境のクリーン化、および温室効果ガスの削減に貢献します。

ENERGY STAR について詳しくは、
<http://www.energystar.gov> を参照してください。

Lenovo は、エネルギーの有効利用を日常業務の重要な位置づけにされるよう、お客様にお勧めします。そのために Lenovo では、コンピューターがある一定の時間使用されないと以下の電源管理機能が有効になるように設定しています。

電源プラン: デフォルト

- ディスプレイの電源を切る: 10 分後
- コンピューターをスリープ状態にする: 20 分後

コンピューターをスリープ状態から復帰させるには、キーボードの Fn キーを押します。設定方法の詳細については、コンピューターの Windows ヘルプ情報を参照してください。

ご使用の Lenovo コンピューターは工場出荷時に Wake on LAN 機能が使用可能に設定されています。この設定はコンピューターがスリープ状態になったときも有効です。コンピューターがスリープ状態になっていて Wake on LAN を使用可能にする必要がない場合、スリープ状態についての Wake on LAN 設定を使用不可に切り替えて、消費電力を抑え、スリープ状態の時間を延長できます。

スリープ状態の Wake on LAN の設定を無効にするには、次のようにします。

1. 『コントロールパネル』に進み、『ハードウェアとサウンド』 → 『デバイス マネージャー』の順にクリックします。
2. 『デバイス マネージャー』ウィンドウで、『ネットワーク アダプター』を展開します。
3. ご使用のネットワーク・アダプター・デバイスを右クリックし、『プロパティ』をクリックします。
4. 『電源の管理』タブをクリックします。

5. 『このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする』チェック・ボックスをオフにします。
6. 『OK』をクリックします。

付録 E 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、レノボ・ジャパンの営業担当員にお尋ねください。本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、Lenovo 以外の製品、プログラム、またはサービスの動作・運用に関する評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

Lenovo およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはアプリケーションに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書におけるいかなる記述も、Lenovo あるいは第三者の知的所有権に基づく明示または黙示の使用許諾と補償を意味するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

以下は、Lenovo Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Access Connections
Active Protection System
Lenovo
Secure Data Disposal
ThinkPad
TrackPoint
Ultrabay
UltraConnect

Intel、Intel SpeedStep、および Thunderbolt は Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、BitLocker、Windows、および Cortana は、Microsoft グループの商標です。

DisplayPort および Mini DisplayPort (mDP) は Video Electronics Standards Association の商標です。

HDMI および HDMI (ハイディフィニション・マルチメディア・インターフェース) という用語は、米国およびその他の国の HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

ThinkPad®